

平成26年度

# 神戸市男女共同参画年次報告書

平成26年11月

神戸市



はじめに

神戸市では、市民のだれもが、性別によって活動を制限されることなく個人として尊重され、自律的に自分らしい生き方を選択することができる夢と活力あふれるまちを、市民・事業者のみなさんとの協働により築くことをめざして、平成15年3月に「神戸市男女共同参画の推進に関する条例」を制定いたしました。

また、平成16年4月には、条例に基づき、男女共同参画の推進に関する施策を総合的、計画的に実施するための基本計画として「神戸市男女共同参画計画」を策定し、平成23年3月には、「神戸市男女共同参画計画（第3次）」を策定いたしました。

多様性が活きるまちづくり(ダイバーシティ・マネジメント)を基盤とし、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進、配偶者等からの暴力(DV)対策の強化等を重点的に推進すべき事項として、男女共同参画社会の実現のために関係各局が連携して取り組んでいます。

これらの取り組みについて、市民・事業者のみなさんにも関心をもっていたいただき、連携できるところは一緒に取り組み、協働して男女共同参画を進めていくことが、豊かな生活文化を備えたまちづくりにもつながると考えています。

この年次報告書は、条例に基づき、「神戸市男女共同参画計画（第3次）」に基づいた施策の実施状況等について取りまとめたものです。

この報告書が、市民・事業者のみなさんの男女共同参画についての関心と理解を一層深めていただくための一助となり、男女共同参画社会づくりの取り組みについて考えていただく契機となれば幸いです。

平成26年11月

神戸市長 久元喜造

# 目 次

1	神戸市の男女共同参画の現状	3
2	神戸市の男女共同参画施策の推進状況	
(1)	神戸市の男女共同参画の取り組み	33
(2)	重点的に推進すべき事項の取り組み状況	37
(3)	男女共同参画施策の推進状況一覧	63

## 参考資料

神戸市男女共同参画計画(第3次)体系図	145
神戸市男女共同参画の推進に関する条例	150
神戸市男女共同参画審議会規則	154
神戸市男女共同参画審議会委員名簿	155
神戸市男女共同参画の推進に関する条例施行規則	156
神戸市男女共同参画申出処理制度	158
男女共同参画行政のあゆみ	161

## 1 神戸市の男女共同参画の現状

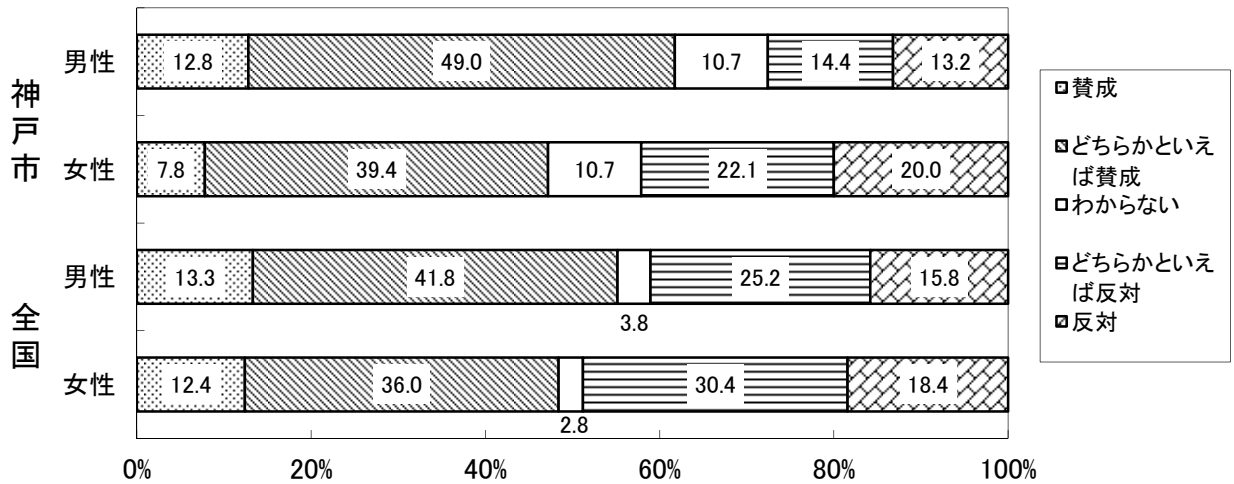


男女共同参画をデータでみると・・・

基本目標1 男女共同参画社会への啓発・教育の推進

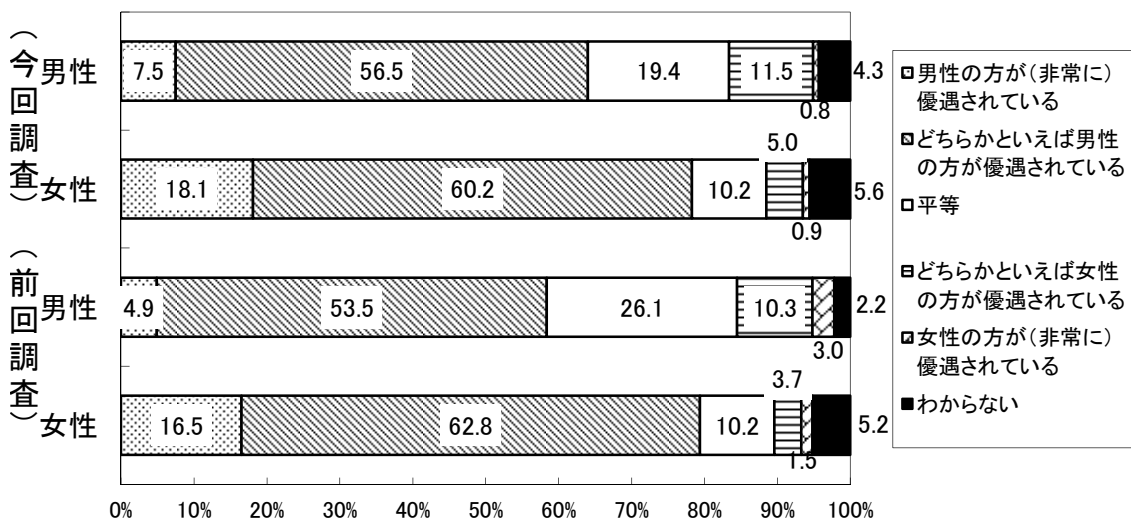
課題1 あらゆる世代・立場を視野に入れた意識啓発への取り組み  
 施策の方向・・・(1) 男女共同参画に関する広報・啓発の充実  
 (2) 関係機関との連携による啓発の推進  
 (3) 男女共同参画に関する調査・研究の推進  
 (4) 市職員に対する意識啓発の取り組み  
 (5) 男女共同参画の視点に立つ社会制度・慣行の中立性への配慮、意識啓発

○「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え



資料：神戸市／市政アドバイザー意識調査  
 (平成25年10月 第12期市政アドバイザー)  
 全国／内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」  
 (平成24年10月)

○社会全体における男女の地位の平等感



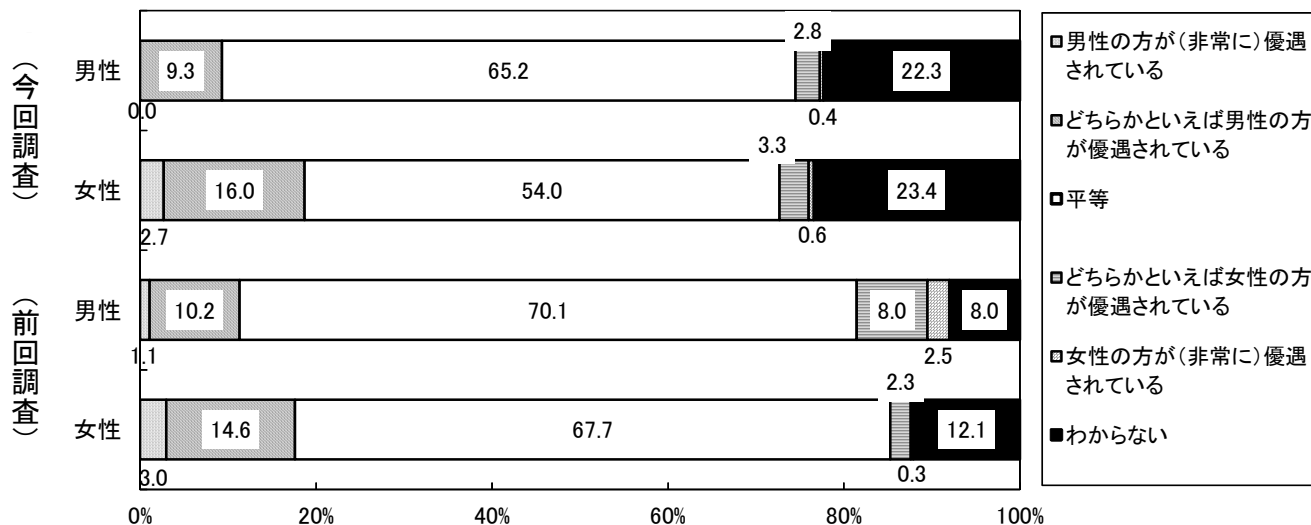
資料：神戸市市政アドバイザー意識調査  
 今回調査／平成25年10月(第12期市政アドバイザー)  
 前回調査／平成23年6月(第11期市政アドバイザー)

課題2 男女共同参画の視点に立つ教育の推進

施策の方向・・・(1) 男女共同参画の視点に立つ教育の推進

(2) 男女共同参画の視点に立つ学校教育の推進（保育所・幼稚園を含む）

○学校教育における男女の地位の平等感



今回調査／平成25年10月（第12期市政アドバイザー）  
 前回調査／平成23年6月（第11期市政アドバイザー）

○男女共同参画に関する教材「できること いっぱい」の利用率

年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
利用率(%)	81.3	76.5	86.4	85.7	78.2	84.4	79.7

資料：神戸市調べ（年度末利用状況アンケート）

※小学校3・4年生での利用状況  
 ※回答校のみ



課題3 男女共同参画の視点に立つ生涯学習の充実  
 施策の方向・・・(1) 男女共同参画の視点に立つ生涯学習の充実

○一時保育付き市の主催講座数・保育協力者数・保育児数

年度	男女共同参画センター実施分				センター以外実施分			
	22年度	23年度	24年度	25年度	22年度	23年度	24年度	25年度
講座数	59	48	58	57	310	304	406	345
保育協力者数 (延べ) (人)	106	83	81	74	580	594	804	1,043
保育児数 (延べ) (人)	200	153	129	120	4,015	3,690	4,649	5,180

資料：神戸市調べ

○神戸婦人大学の卒業生数

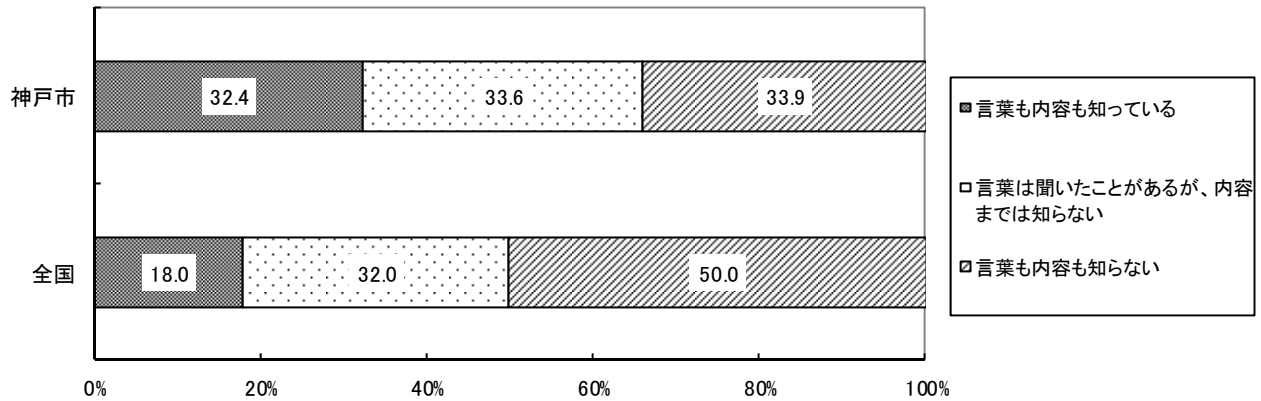
年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
卒業生数(人)	140	145	124	117	98	107	90	104

資料：神戸市調べ

## 基本目標2 ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)が実現した社会の構築

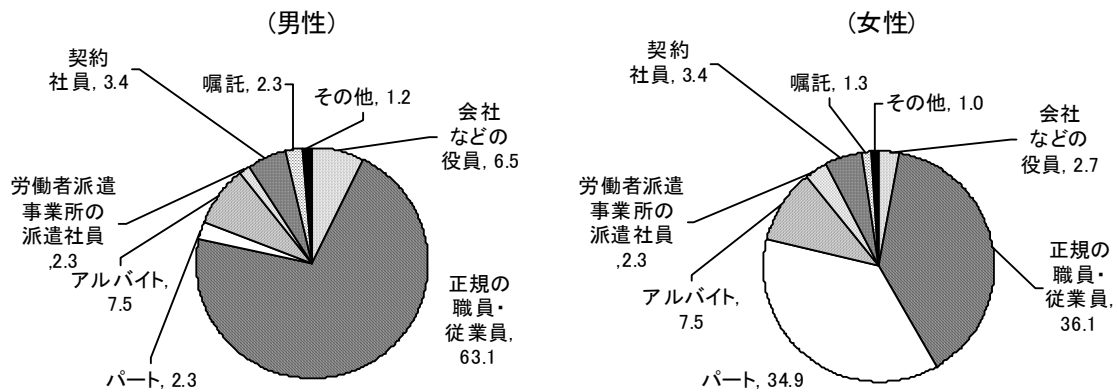
課題1 ワーク・ライフ・バランスの推進の啓発  
 施策の方向・・・(1) ワーク・ライフ・バランスの推進のための教育・啓発  
 (2) 多様な働き方を可能にする就業条件の整備

### ○仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の認知度(神戸市・全国)



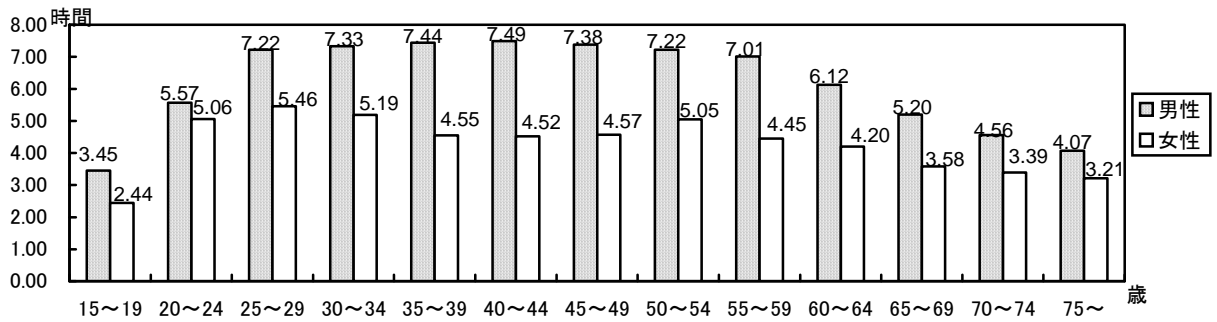
資料：神戸市／市政アドバイザー意識調査(平成25年10月 第12期市政アドバイザー)  
 全国／内閣府「東日本大震災後の『仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)』に関する調査」(平成24年10月調査)

### ○男女、雇用形態別雇用者の構成比(神戸市 %)



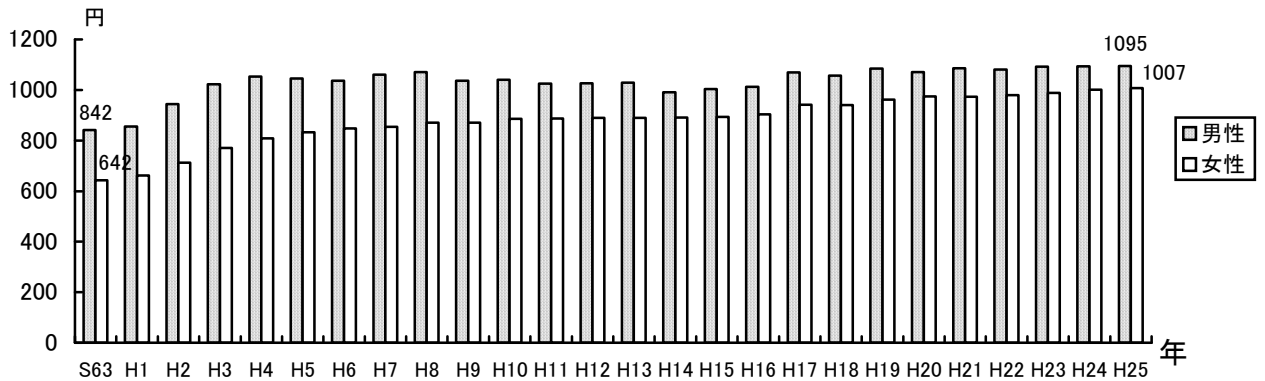
資料：総務省「就業構造基本調査」(平成24年)

○年齢階級別仕事時間（有業者）（全国）



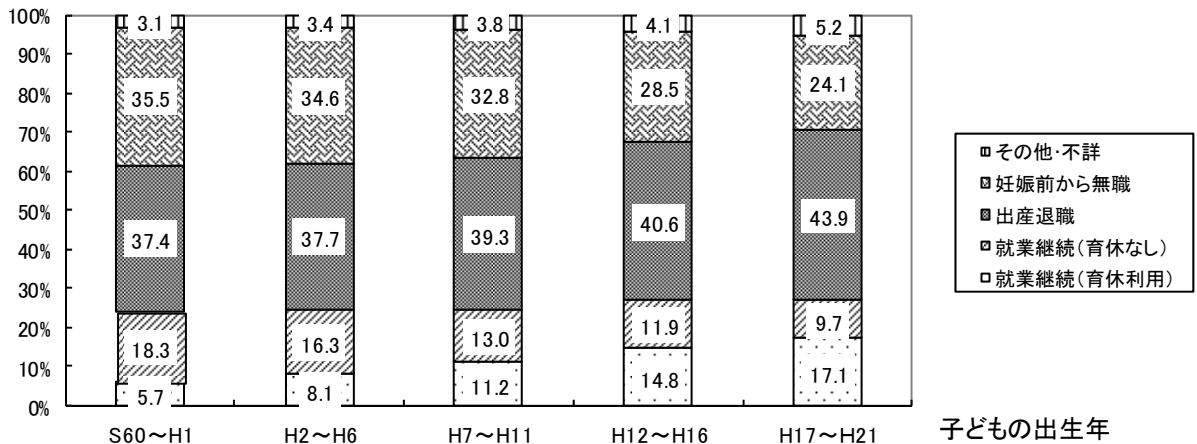
資料：総務省「社会生活基本調査」（平成 23 年）

○短時間労働者所定内給与額（1時間あたり）の男女比（全国）



資料：厚生労働省「賃金構造基本統計調査」（各年 6 月末時点）

○子どもの出生年別第 1 子出産前後の妻の就業経歴（全国）



資料：国立社会保障・人口問題研究所「第 14 回出生動向基本調査(夫婦調査)」

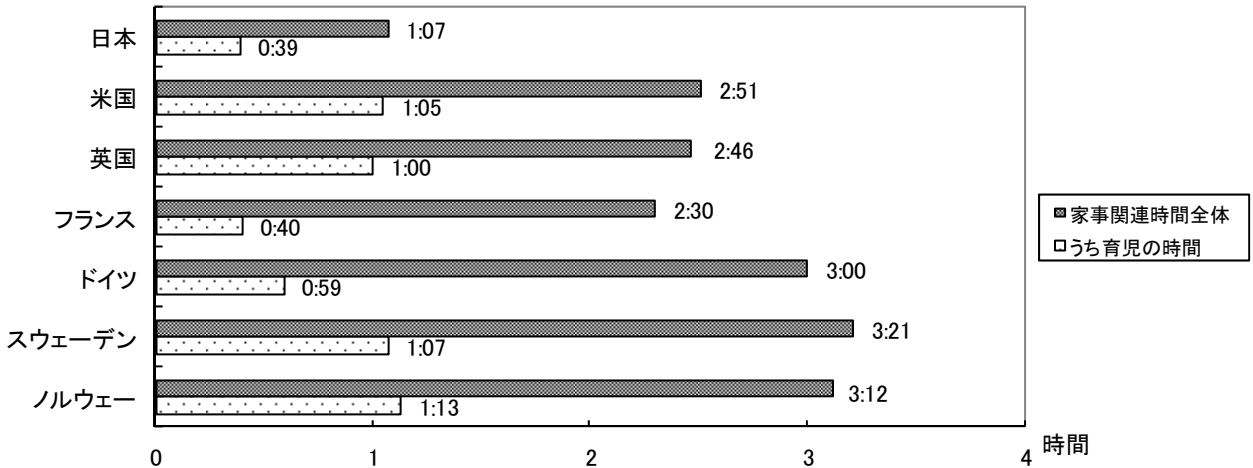
○市のSOHOプラザ会員

年度	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度
会員数(人)	3,937	4,097	4,237	4,299	4,649	4,856

資料：神戸市調べ

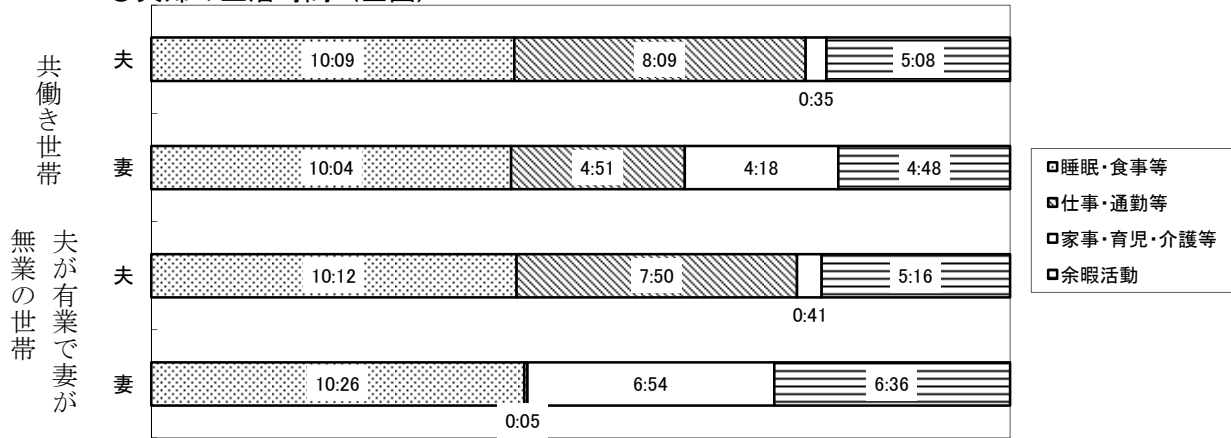
課題2 男女ともに家庭・地域生活に積極的に参画しやすい環境の整備  
 施策の方向・・・(1) 家事・育児・介護への男性の積極的な参画の促進  
 (2) 地域活動など市民活動への男女共同参画の推進

○6歳未満児のいる夫の家事・育児関連時間(1日当たり)(国際比較)



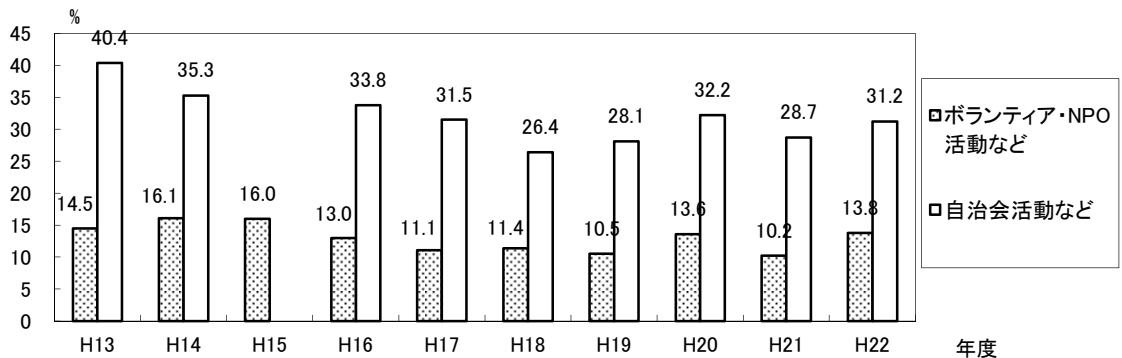
資料：Eurostat” How Europeans Spend Their Time Everyday Life of Women and Men” (2004), Bureau of Labor Statistics of the U.S.” America Time-Use Survey ” (2011)及び総務省「社会生活基本調査」(平成23年)

○夫婦の生活時間(全国)



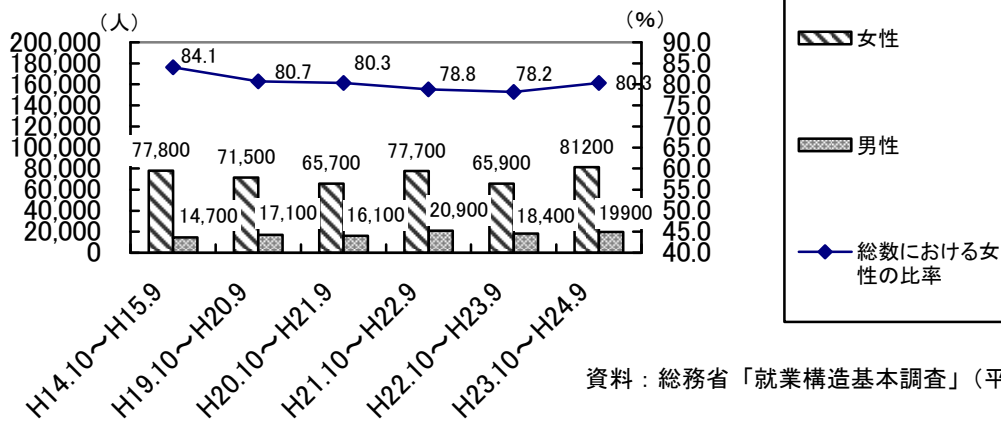
資料：総務省「社会生活基本調査」(平成23年)

○各種活動参加状況(神戸市)



資料：神戸市調べ(1万人アンケート)  
 平成15年度自治会活動についてはデータなし

○介護・看護を理由に離職・転職した人数（全国）



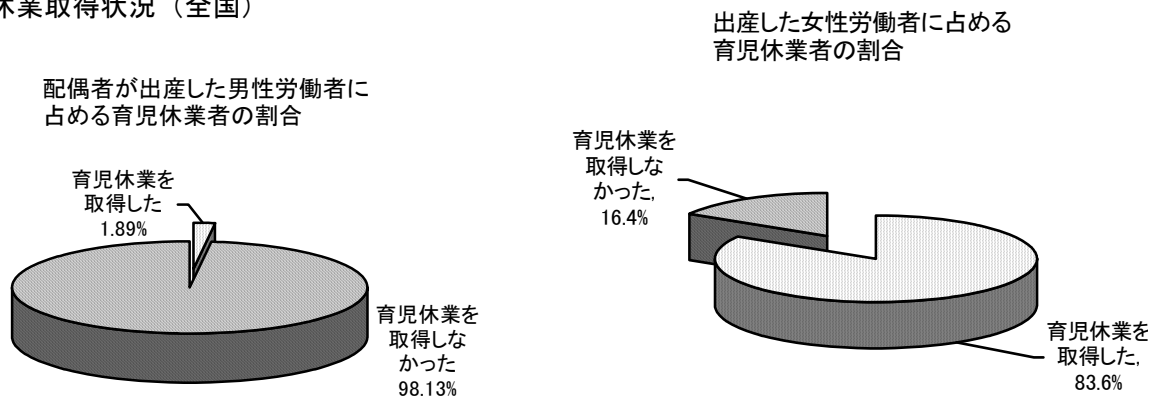
課題3 子育てをしやすい環境の整備  
 施策の方向・・・(1) 仕事と子育ての両立支援の推進  
 (2) 子育てをしやすいまちづくり

○市職員の育児休業取得率（神戸市）

年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
男性(%)	1.3	2.6	2.6	3.1	3.1	2.4	1.2
女性(%)	98.5	96.8	97.5	98.6	96.2	98.7	98.1

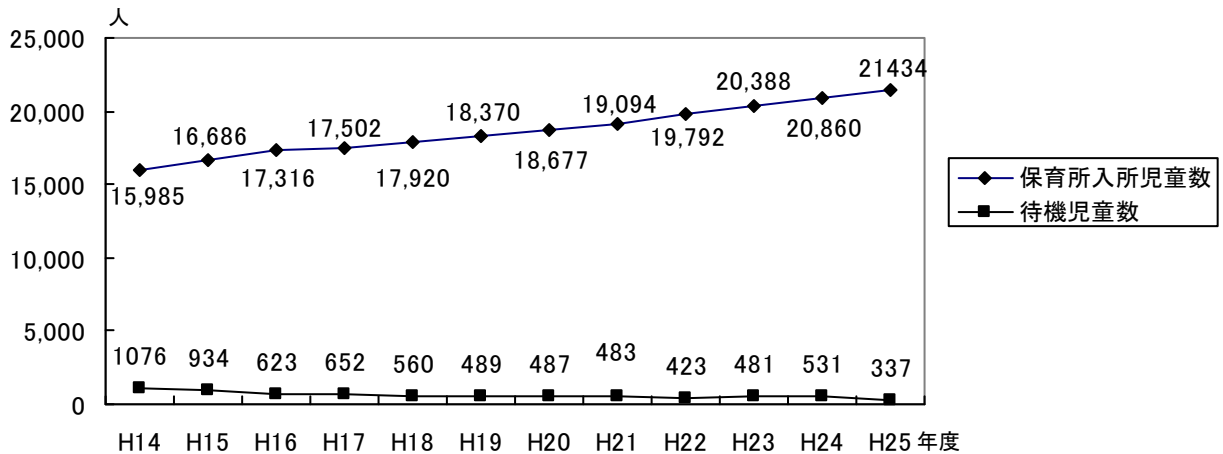
資料：神戸市調べ

○育児休業取得状況（全国）



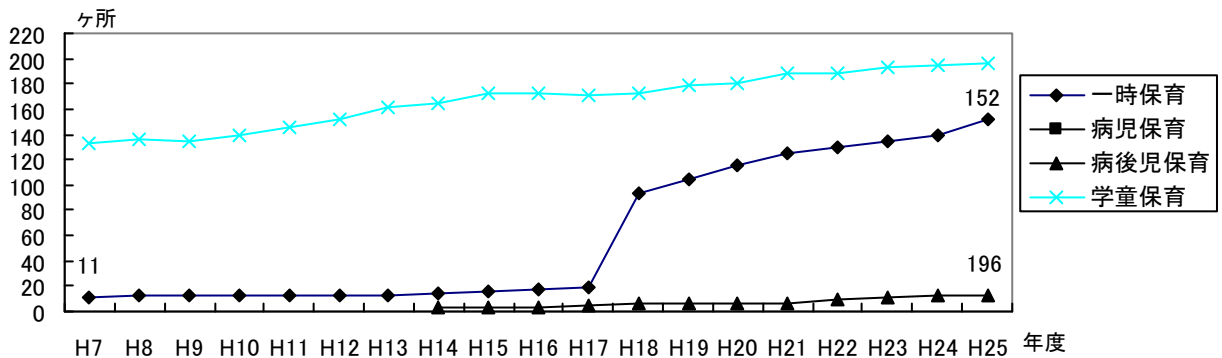
資料：厚生労働省「雇用均等基本調査」（平成 24 年度）  
 ただし岩手県、宮城県及び福島県を除く

○保育所の現状（神戸市）



資料：神戸市調べ（各年度4月1日時点）

○各種保育サービス（神戸市）



資料：神戸市調べ（各年度3月末時点）

○育児休業からの職場復帰準備セミナー参加者数

年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
参加者数(人)	59	43	31	27	38

資料：神戸市調べ

○ファミリー・サポート・センター会員数（神戸市）

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
活動件数(件)	12,915	13,211	15,950	14,212	14,393	14,188
会員数(人)	3,136	3,632	4,234	4,064	4,704	3,857
(依頼会員)(人)	1,974	2,419	2,926	2,640	3,251	2,398
(協力会員)(人)	909	926	974	1,026	1,058	1,067
(両方会員)(人)	253	287	334	398	395	392

資料：神戸市調べ（各年度3月末時点）

### 基本目標3 女性の社会への更なる参画の促進

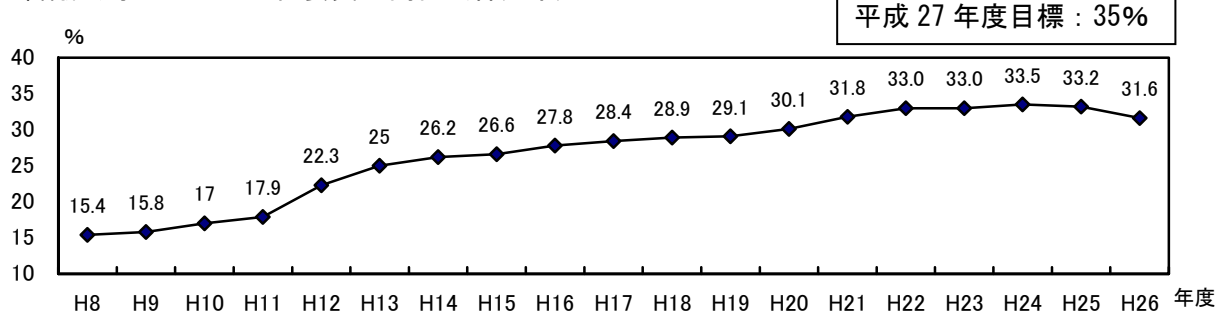
#### 課題1 政策・方針決定の場への女性の参画の促進

施策の方向・・・(1) 市政への女性の参画の促進

(2) 企業・団体などにおける方針決定の場への女性の参画の促進

(3) 市における女性職員の職域拡大と登用促進

#### ○審議会等における女性委員の割合（神戸市）



資料：神戸市調べ（各年3月末時点）

#### ○HDI（人間開発指数）・GII（ジェンダー不平等指数）・GGI（ジェンダーギャップ指数）

HDI (人間開発指数)		GII (ジェンダー不平等指数)		GGI (ジェンダーギャップ指数)	
順位	国名	順位	国名	順位	国名
1	ノルウェー	1	オランダ	1	アイスランド
2	オーストラリア	2	スウェーデン	2	フィンランド
3	米国	3	スイス	3	ノルウェー
4	オランダ	3	デンマーク	4	スウェーデン
5	ドイツ	5	ノルウェー	5	フィリピン
6	ニュージーランド	6	ドイツ	6	アイスランド
7	アイスランド	7	フィンランド	7	ニュージーランド
7	スウェーデン	8	スロベニア	8	デンマーク
9	スイス	9	フランス	9	スイス
10	日本	10	アイスランド	10	ニカラグア
11	カタール				
12	韓国	21	日本	105	日本

資料：UNDP（国連開発計画）“Human Development Report 2013”  
世界経済フォーラム “The Global Gender Gap Report 2013”

**HDI**：基本的な人間の能力がどこまで伸びたかを測るもので、「長寿を全うできる健康的な生活」、「教育」及び「人間らしい生活」という人間開発の3つの側面を簡略化した指数。

187か国中の順位。

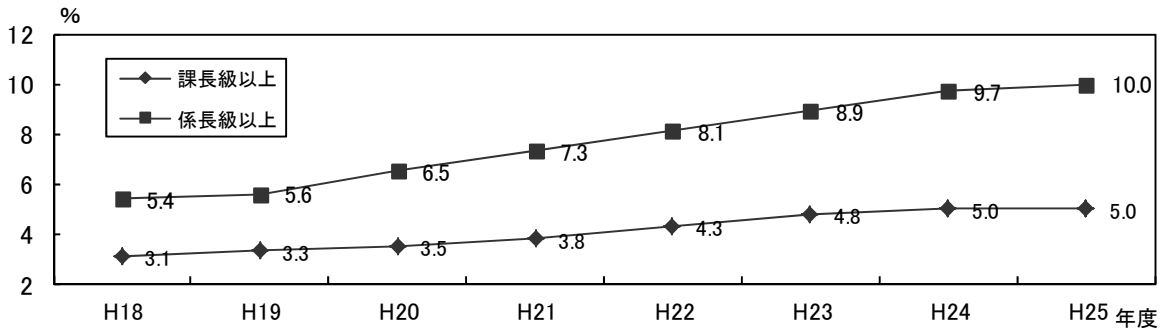
**GII**：GIIは、これまでのGDI（ジェンダー開発指数）とGEM（ジェンダー・エンパワーメント指数）にかわる指数で、保健分野、エンパワーメント、労働市場の3つの側面から構成されており、国家の人間開発の達成が男女の不等によってどの程度妨げられているかを明らかにするもの。

148か国中の順位。

**GGI**：各国内の男女間の格差を、経済分野、教育分野、政治分野、保健分野から割り出したもの。

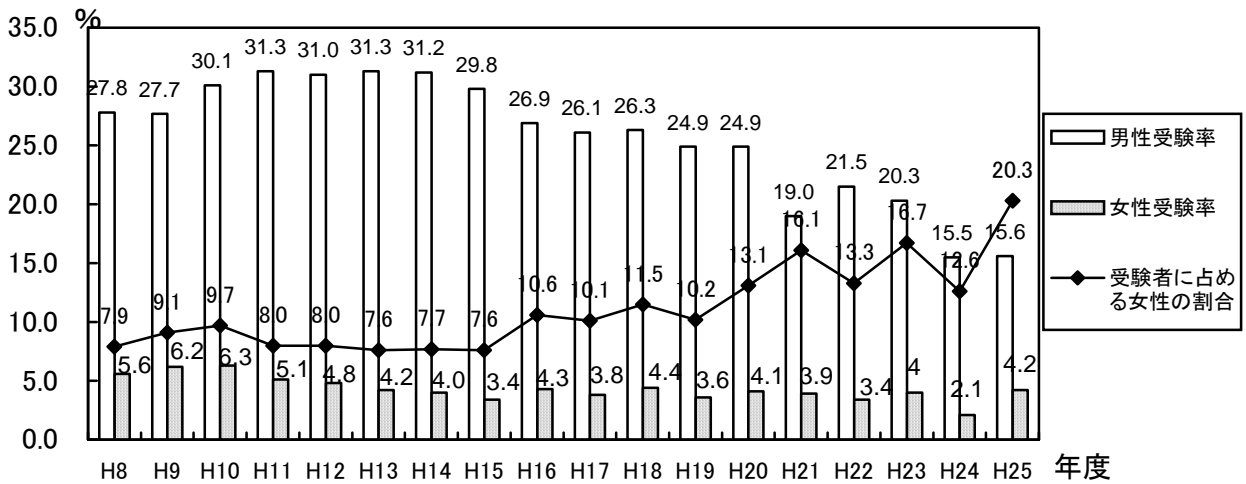
135か国中の順位。

○市の女性管理職（一般行政・事務職）の比率



資料：神戸市調べ

○市の係長昇任選考受験率（一般行政職A・B選考）



資料：神戸市調べ

○女性の校長・教頭の人数・比率

年度		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
女性の校長数 ・比率	中学校 (人)	7	7	7	5	9	8
	(%)	8.4	8.4	8.4	6.5	11.0	9.8
	小学校 (人)	16	16	21	20	22	22
	(%)	9.4	9.6	12.7	12.0	13.3	13.2
幼稚園	(人)	34	33	32	31	32	31
	(%)	73.9	73.3	91.4	88.5	72.7	73.8
盲・養護学校	(人)	1	1	1	1	1	1
	(%)	16.6	16.6	16.6	16.6	16.6	16.6
女性の教頭数 ・比率	中学校 (人)	9	8	7	6	6	5
	(%)	10.5	9.4	8.2	7.7	7.1	6.0
	小学校 (人)	26	27	20	19	20	21
	(%)	15.3	16.2	12.0	11.4	12.0	12.6
幼稚園		—	—	—	—	—	—
盲・養護学校	(人)	0	0	1	1	1	1
	(%)	0	0	14.3	14.3	14.3	12.5

資料：神戸市調べ(各年度4月1日現在)



○市職員採用数に占める女性の割合

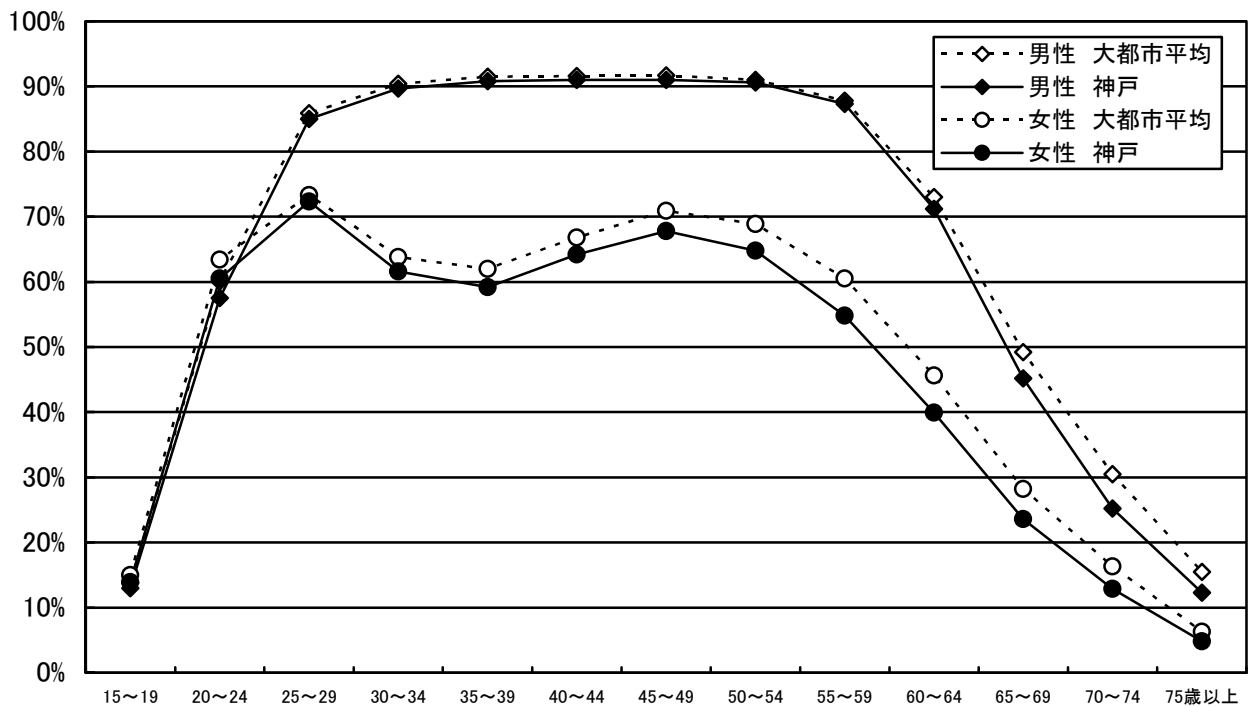
職種	採用女性職員数（人） （15～26年度累計）	割合 （％）
一般行政職	527	44.8
消防吏員	34	6.6
看護師	806	96.4
保育士	308	96.6
保健師	83	97.6

資料：神戸市調べ

※看護師については平成25年4月1日までの数字

課題2 就業の場における男女共同参画の推進  
 施策の方向・・・(1) 職場における男女共同参画の推進  
 (2) さまざまな就業の場で働く人の労働条件の向上

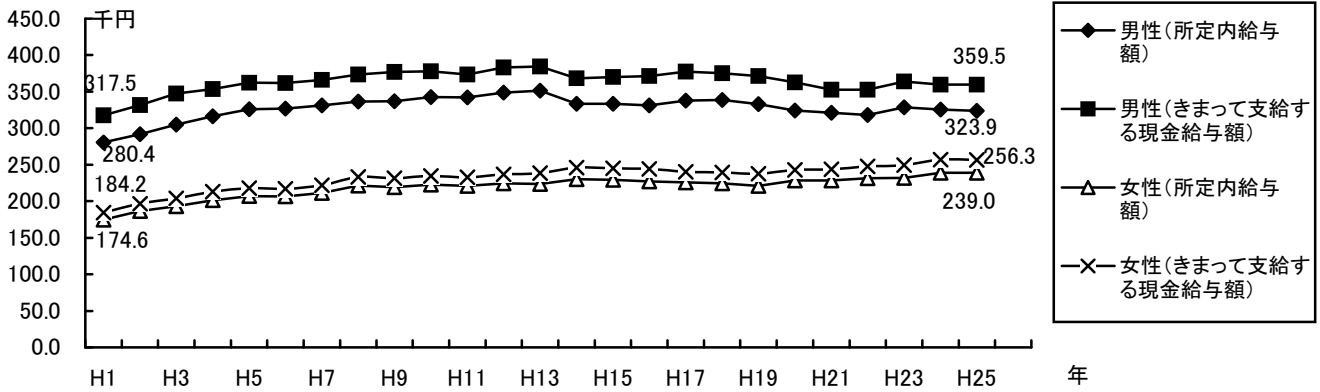
○神戸市と大都市の就業率の年代別比較



資料：国勢調査（平成22年度）

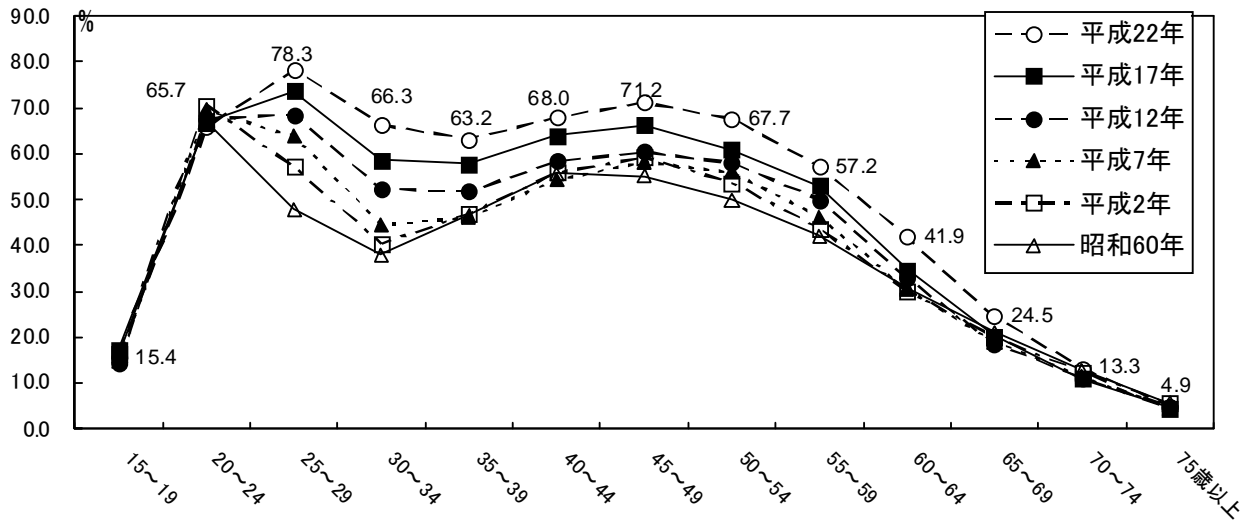
※就業率＝就業者数／15歳以上人口

○男女別賃金格差（きまって支給する現金給与額及び所定内給与額）（兵庫県）



資料：厚生労働省「賃金構造基本統計調査」（各年6月末時点）

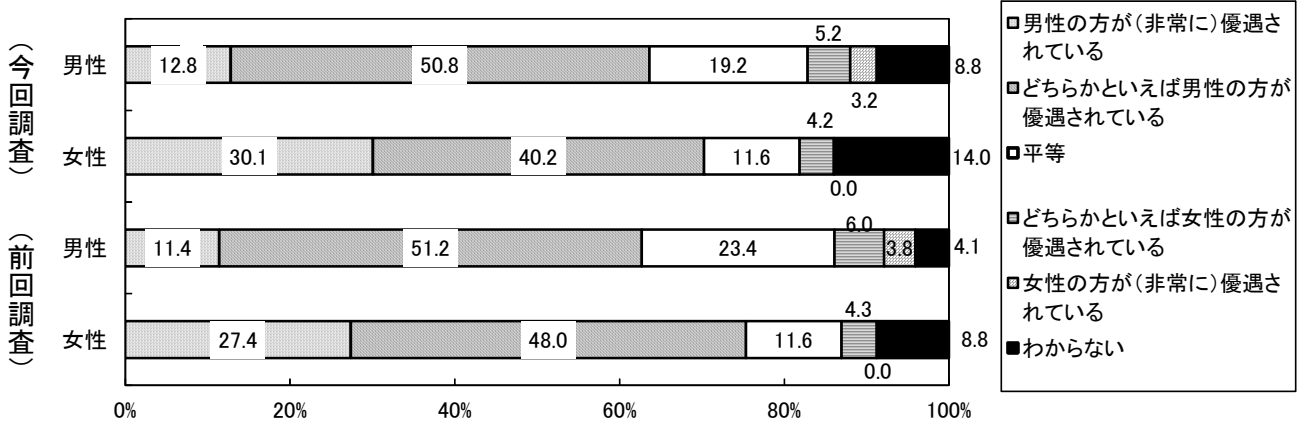
○女性の労働力率（神戸市）



資料：国勢調査（平成22年度）

※労働力率＝労働力人口÷非労働力人口のうち就業希望者÷15歳以上人口

○職場における男女の地位の平等感



資料：神戸市市政アドバイザー調査

今回／平成25年10月（第12期市政アドバイザー）

前回／平成23年6月（第11期市政アドバイザー）

## 基本目標4 女性に対するあらゆる暴力の根絶

### 課題1 神戸市配偶者等暴力（DV）対策基本計画（第2次）の推進

#### 施策の方向・・・（1）相談機能の充実

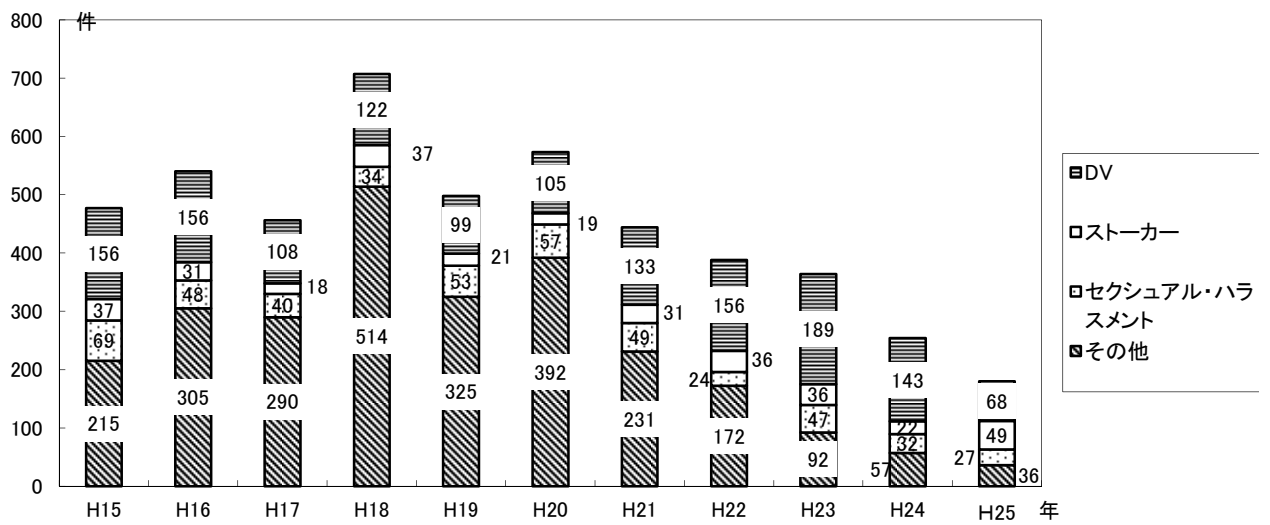
（2）被害者の安全確保の徹底

（3）被害者の自立支援と生活再建の支援

（4）教育・啓発の推進

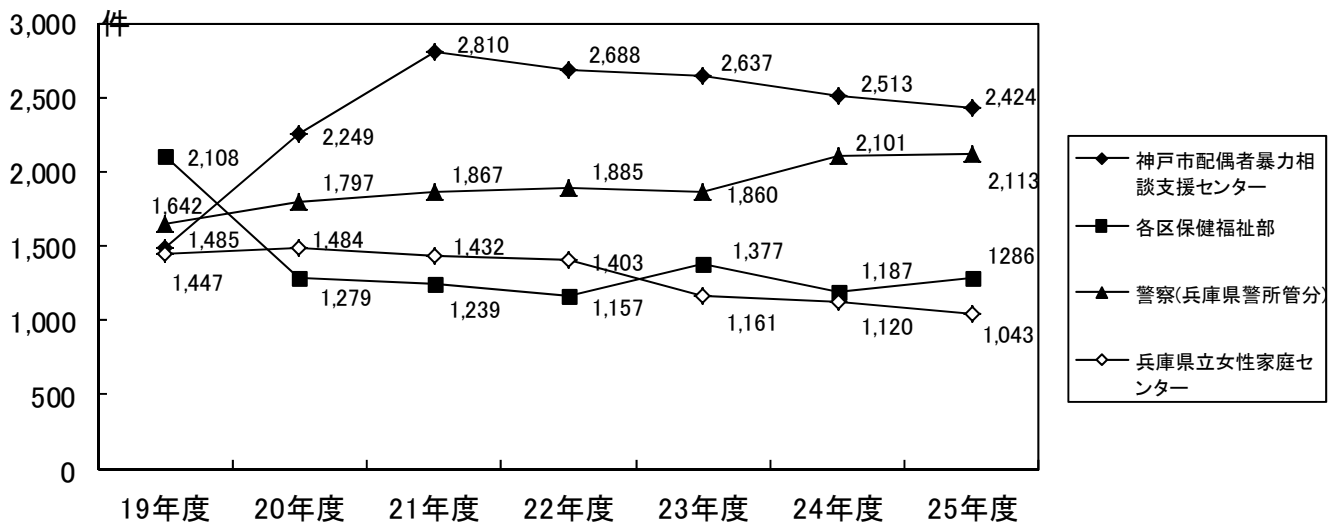
（5）推進体制の充実

### ○女性の人権侵害に関する相談件数（神戸地方法務局）



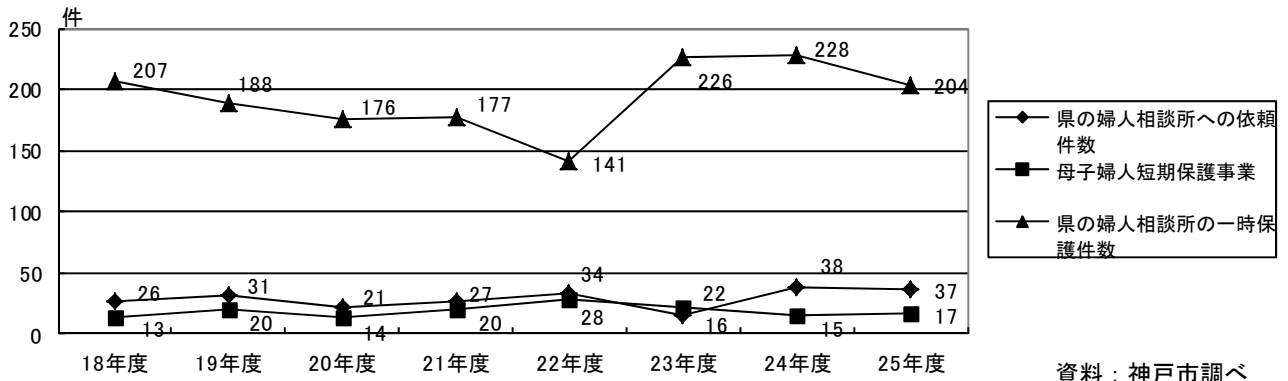
資料：神戸市調べ  
（神戸地方法務局からの情報提供）

### ○DV相談件数



資料：神戸市調べ  
なお兵庫県警察本部のデータは暦年。

○一時保護件数

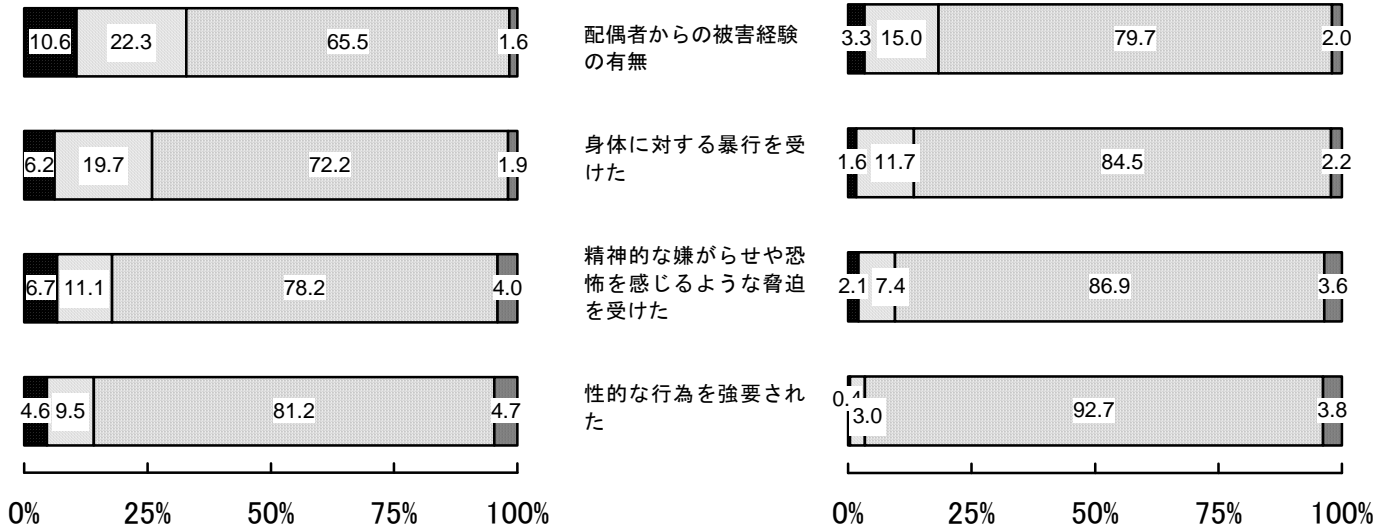


○配偶者からの被害経験

[女性]

■何度もあった □1,2度あった  
□まったくない ■無回答

[男性]

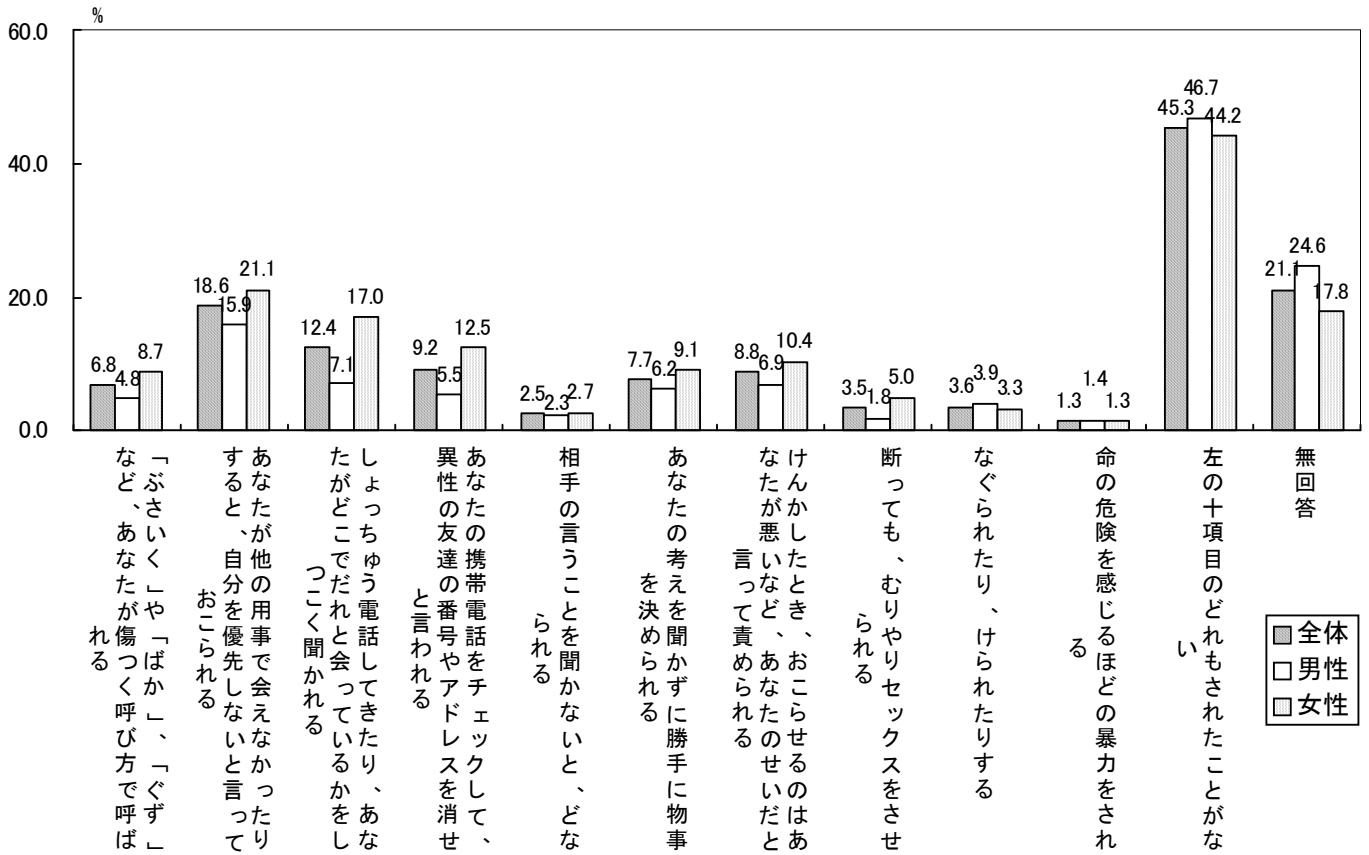


○DV支援者向け研修 受講者数

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
受講者数(延べ)(人)	212	233	301	225	161	170

資料：神戸市調べ

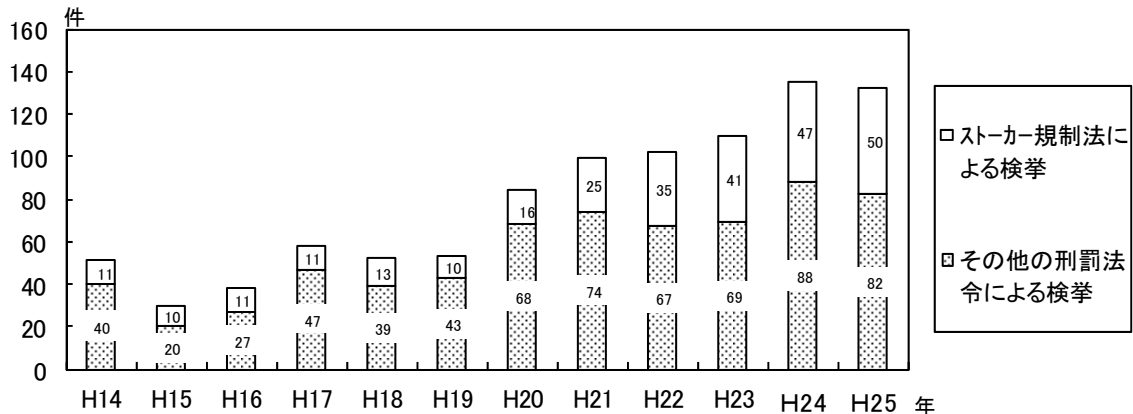
○デートDVの実態（交際経験のある人）



資料：平成 19 年 神戸市「男女共同参画と暴力に関する高校生の意識調査」

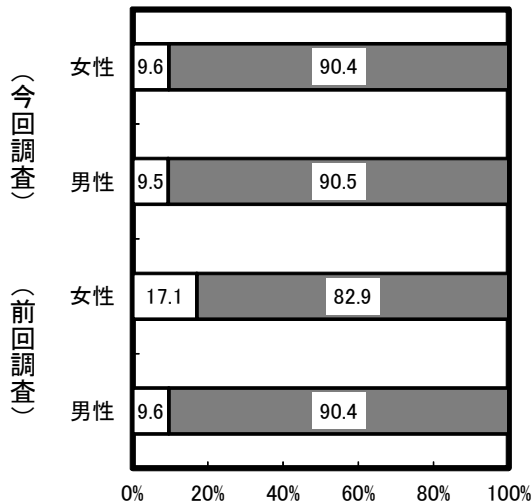
課題 2 女性の人権尊重の啓発  
 施策の方向・・・(1) 女性に対するあらゆる暴力の根絶に向けての啓発の推進  
 (2) メディアにおける女性の人権の尊重

○ストーカー措置状況（兵庫県警察本部）

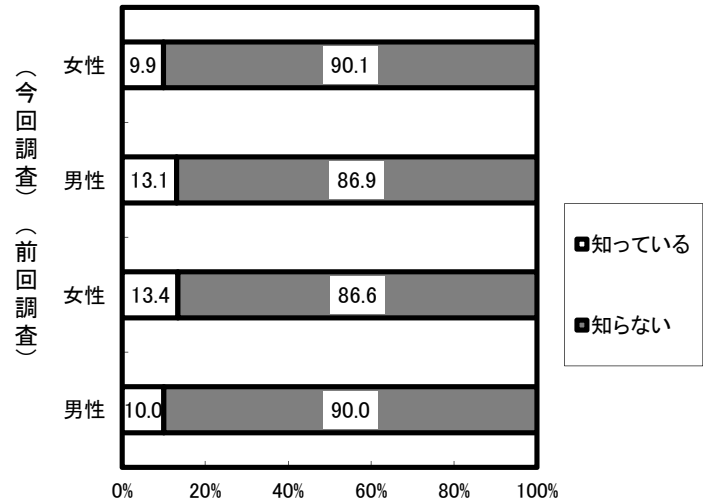


資料：兵庫県警察ストーカー白書

○この1年間に自身も含めてDV  
(ドメスティック・バイオレンス)を  
受けた人を知っている人の割合



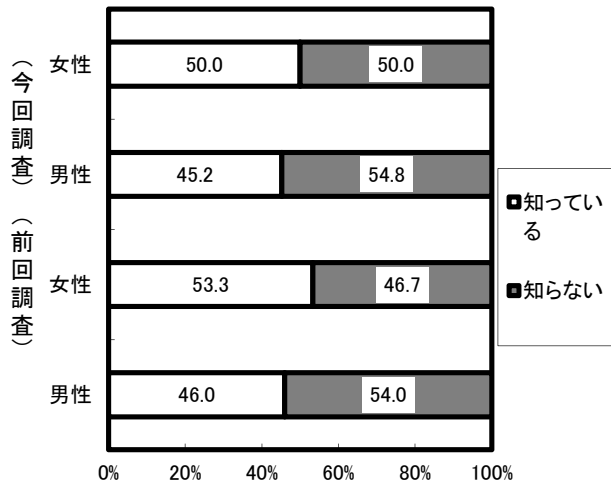
○この1年間に自身も含めて  
セクシュアル・ハラスメントを  
受けた人を知っている人の割合



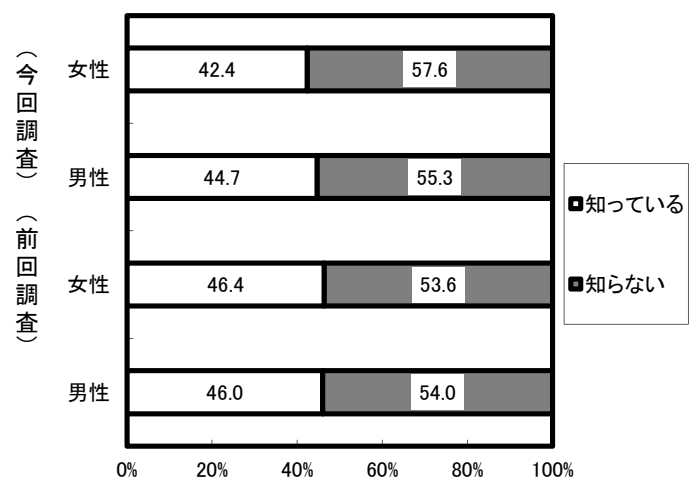
資料：神戸市市政アドバイザー意識調査  
今回調査／平成26年6月(第12期市政アドバイザー)  
前回調査／平成25年10月(第12期市政アドバイザー)

○DV、セクシュアル・ハラスメント相談窓口の認知度

DV相談窓口



セクシュアル・ハラスメント相談窓口

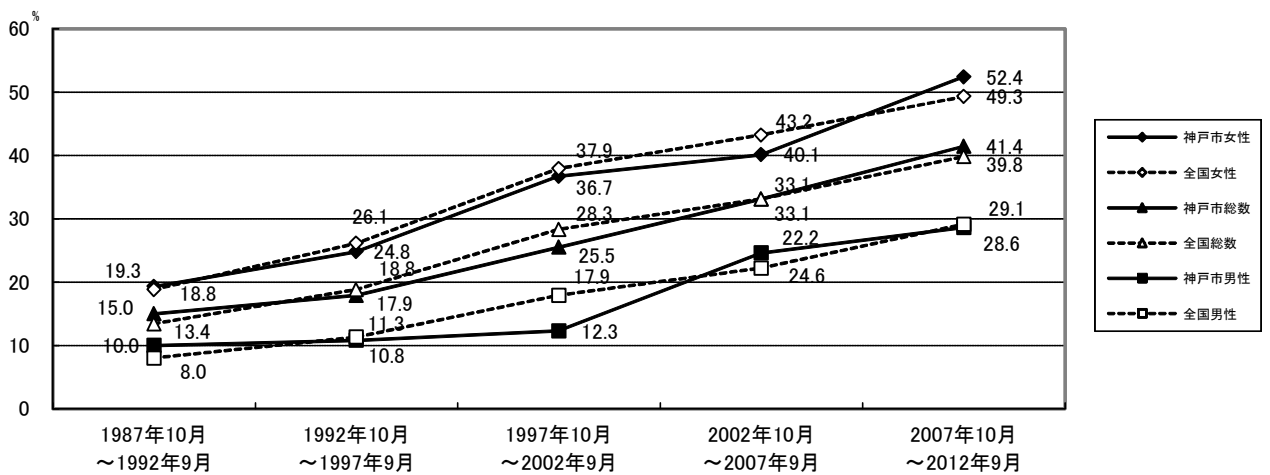


資料：神戸市市政アドバイザー意識調査  
今回調査／平成26年6月(第12期市政アドバイザー)  
前回調査／平成25年10月(第12期市政アドバイザー)

## 基本目標5 あらゆる人の自立を支える社会環境の整備

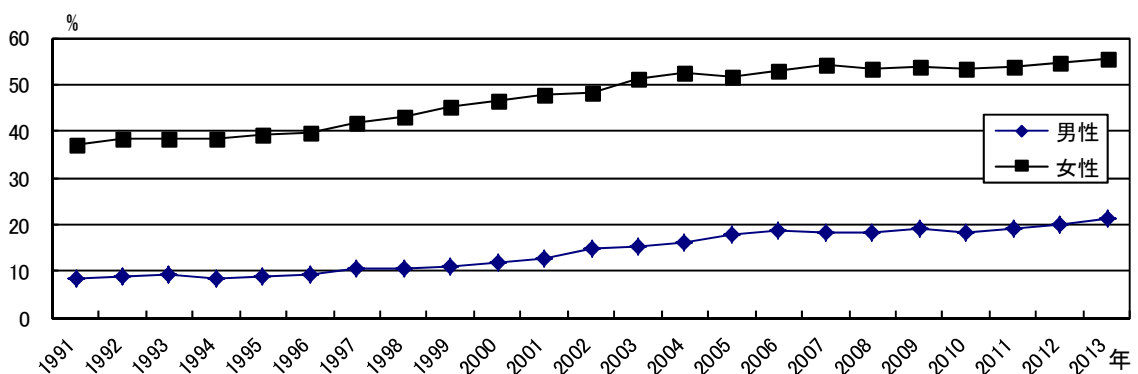
課題1 あらゆる人が安心して暮らせる環境の整備  
 施策の方向・・・(1) 安心できる地域生活の実現  
 (2) 介護の社会化・男女共同参画の推進  
 (3) 在宅福祉サービスの基盤整備  
 (4) ユニバーサルデザインのまちづくり  
 (5) 高齢者の主体的生活を支える条件整備  
 (6) 児童虐待の防止・要保護児童への支援

### ○男女、初職就業時期別「非正規の職員・従業員として初職に就いた者」の割合



資料：総務省「就業構造基本調査」

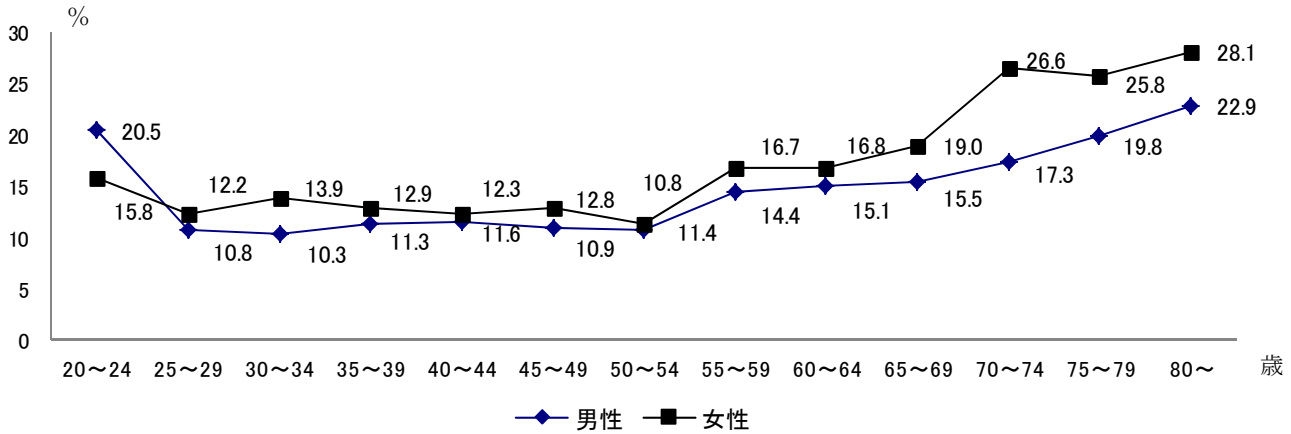
### ○非正規の職員・従業員比率の推移



資料：総務省「労働力調査」

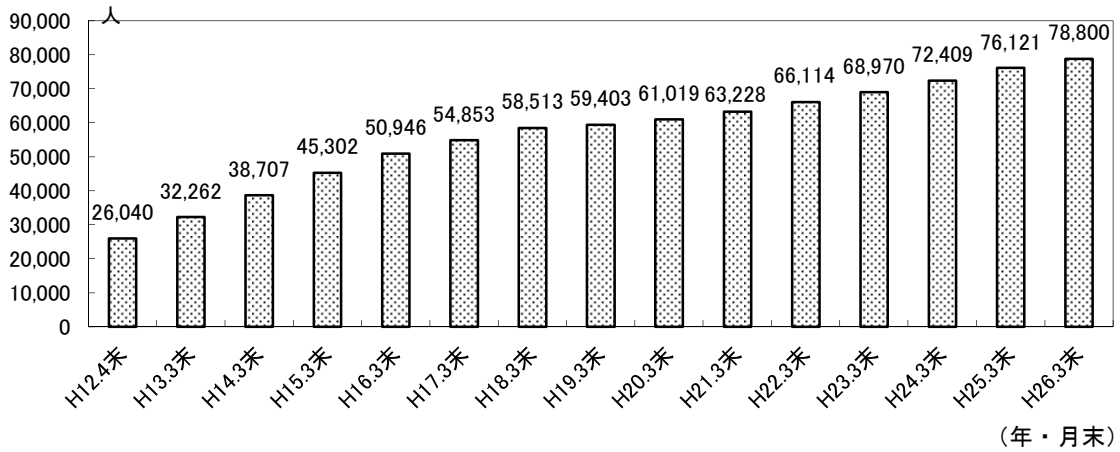
2012年度数値は岩手県、宮城県及び福島県を除く

○男女別・年齢階層別相対的貧困率



資料：内閣府 男女共同参画白書(平成23年度)

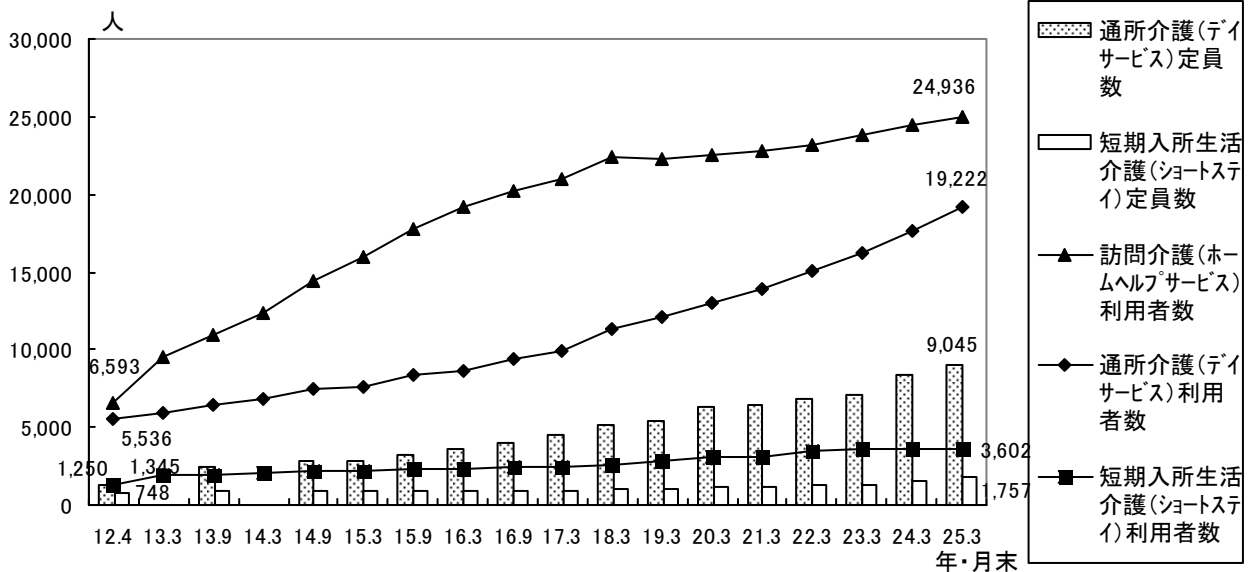
○要介護等認定者数



(年・月末)

資料：神戸市調べ

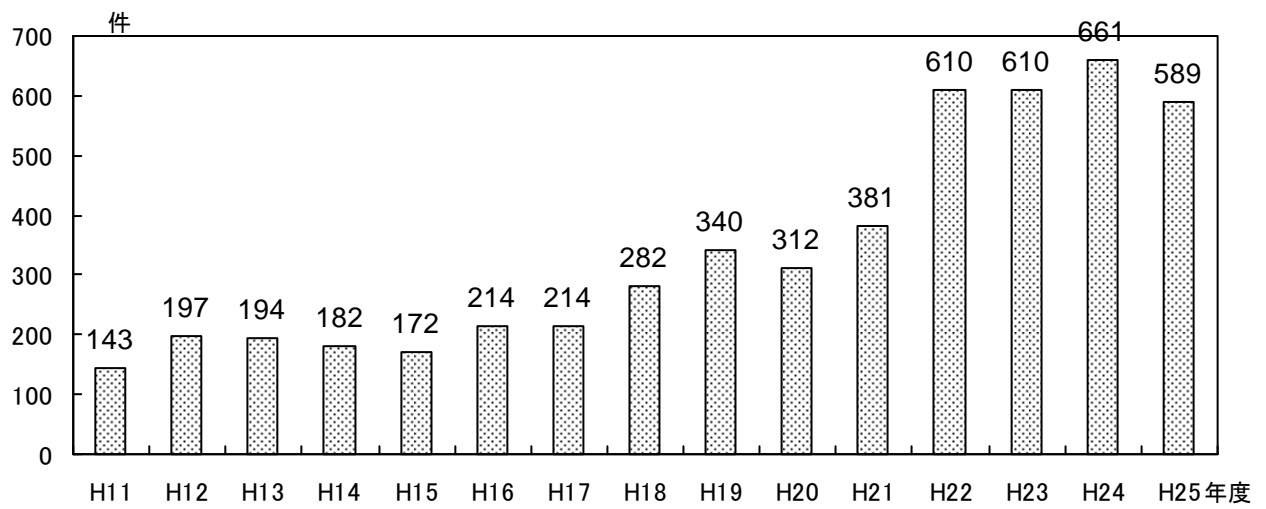
○各種サービス利用状況



資料：神戸市調べ



○子ども家庭センターの相談件数の推移



資料：神戸市調べ

○相談対応結果

	22年度	23年度	24年度	25年度
前年度処理中件数(件)	30	29	19	54
当年度相談件数(件)	610	610	661	589
次年度繰越件数(件)	27	23	50	31
当年度処理件数(件)	617*	614*	630*	612
継続(観察)指導	393	408	396	412
児童福祉司指導	7	10	4	3
助言指導	95	84	121	98
継続指導	78	76	71	64
入所施設措置	33	26	31	24
他機関斡旋	4	10	7	11
その他	7	0	0	0

\*複数回処理ケース含む

資料：神戸市調べ

○児童虐待防止110番 電話相談件数

年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
相談件数(件)	498	565	451	435	536	598

資料：神戸市調べ

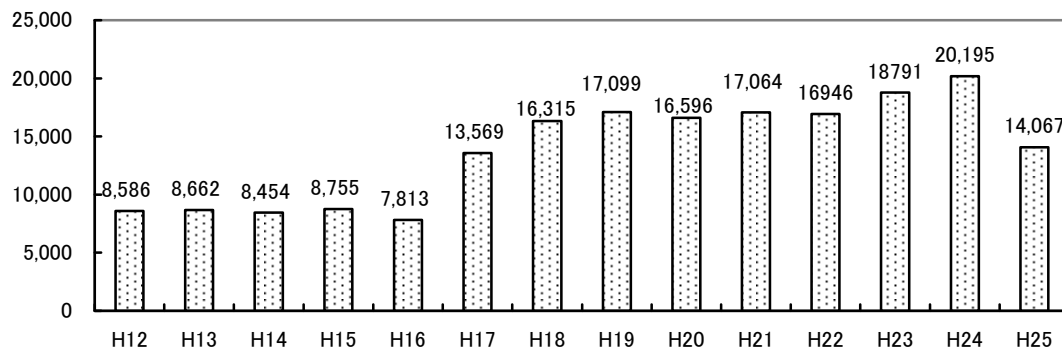
課題2 社会的支援を必要とするあらゆる人のための支援の充実

施策の方向・・・(1) ひとり親家庭(母子・父子家庭)への自立の支援

(2) 障害のある人(大人・子どもを含む。)の自立及びその家庭への支援

(3) 外国人への自立支援

○外国人市民相談窓口の相談件数・利用件数



資料：神戸市調べ

○児童扶養手当受給資格者数、離婚件数及び被保護母子世帯数

	児童扶養手当 受給資格者 (人)	離婚件数 (件)	離婚率 (%)		被保護母子世帯	
			神戸市	全 国	世帯数	構成比(%)
平成 21 年	13,736	3,176	0.207	0.201	3,052	10.0
平成 22 年	14,187	3,126	0.202	0.199	3,195	9.8
平成 23 年	14,201	3,044	0.197	0.187	3,280	9.8
平成 24 年	14,328	3,046	0.198	0.187	3,232	9.4
平成 25 年	14,296	2,938	0.191	0.184	3,149	9.1

※平成 22 年度の離婚件数、離婚率は概数

資料：神戸市調べ

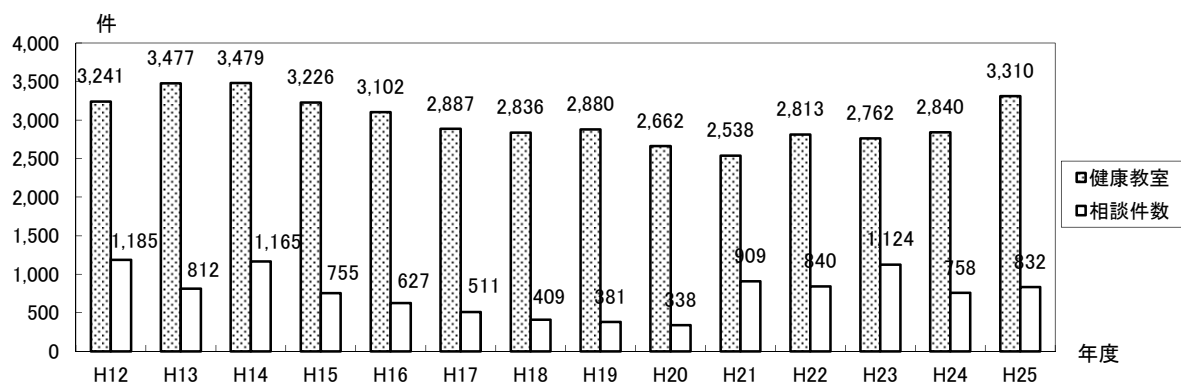
## 基本目標6 生涯を通じた心身の健康づくり

### 課題1 生涯を通じた男女の健康保持及び増進

施策の方向・・・(1) 生涯を通じた男女の健康保持及び増進

(2) 人権としての性への意識啓発

#### ○健康教室開催件数 健康相談件数



資料：神戸市調べ

#### ○あすてっぷ KOBE 「女性のための相談室」

(こころ・からだ) 相談件数

年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
こころの相談(件)	389	326	340	372	377	380
からだの相談(件)	8	8	14	12	11	10

資料：神戸市調べ

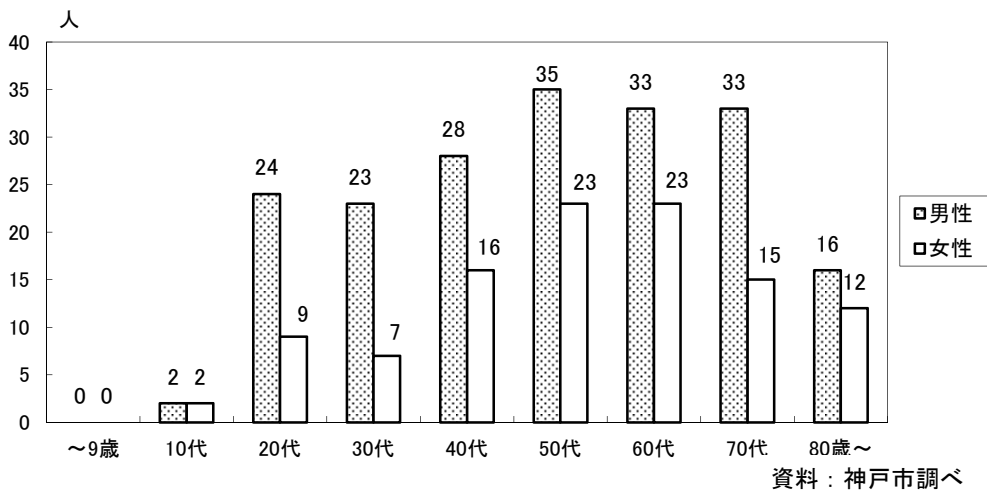
#### ○女性特有のがん検診受診率

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
子宮がん検診(%)	12.5	12.2	14.1	18.1	17.3	16.8	16.5
乳がん検診(%)	12.2	13.4	17.4	21.2	18.8	19.3	19.7

※非就業者が対象

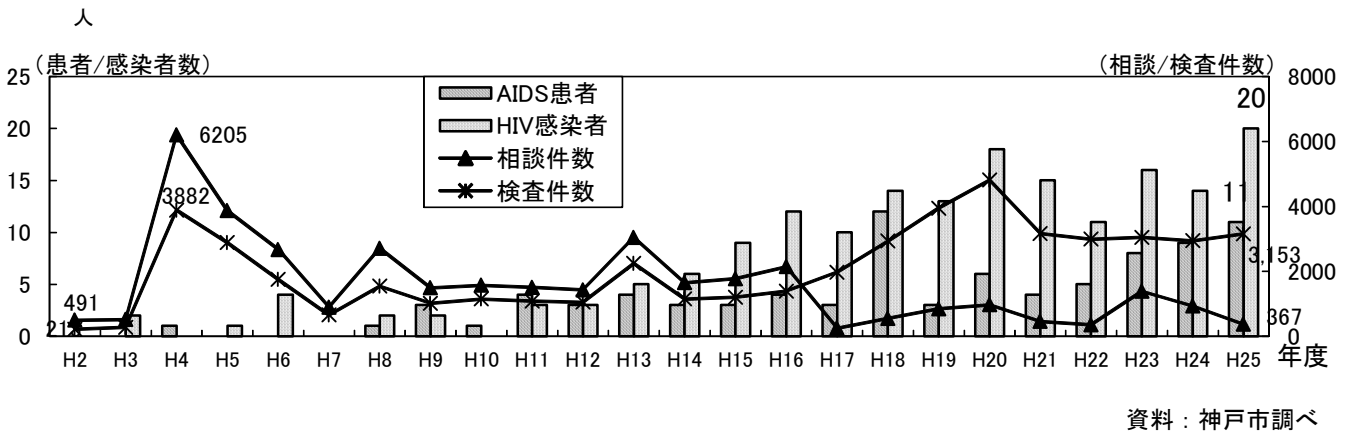
資料：神戸市調べ

○自殺者数（神戸市 平成 25 年）



課題2 健康をおびやかす問題についての対策の推進  
 施策の方向・・・(1) HIV/AIDS及び性感染症対策の推進  
 (2) 薬物乱用、喫煙・飲酒対策の推進

○エイズ患者/HIV感染者数及び相談・検査件数（神戸市）



○薬物乱用防止教室を実施している割合（中学校）

年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
実施校数割合(%)	67.5	63.9	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

資料：神戸市調べ

課題3 妊娠・出産などの母性の保護と母子保健施策の充実  
 施策の方向・・・(1) 妊娠・出産などの母性の社会的重要性についての啓発の推進  
 (2) 妊娠・出産などの母性の保護・母子保護対策の充実

○乳幼児健診受診率及び未受診児対応後の状況把握率

年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
4か月児 (%)	98.0	98.5	98.2	98.2	98.3	98.9	97.5
9か月児 (%)	93.5	94.1	93.8	94.7	94.1	94.8	94.2
1歳6か月児 (%)	97.0	96.8	96.5	97.5	96.4	97.5	96.2
3歳児 (%)	95.1	95.3	95.0	96.4	96.2	96.6	95.4
未受診児対応後の 状況把握率 (%)	99.7	99.5	99.3	99.3	98.0	98.8	99.0

資料：神戸市調べ

○妊婦健康診査受診者数

年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
受診者数(延べ) (人)	25,630	71,317	156,564	159,198	156,712	155,200	151,869

資料：神戸市調べ

○専門職による新生児全世帯訪問の割合

年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
割合(%)	76.8	77.5	82.1	87.0	90.7	88.8	92.5

資料：神戸市調べ

○妊娠届出者(母子健康手帳交付者)数(平成25年度)

		総数	28週未満	28週～ 出産まで	出産後	不明
届出者数(人)	神戸市	12,739	12,649	88	1	1

資料：神戸市調べ

## 基本目標7 国際的協調の推進

課題1 国際理解と国際交流の推進 施策の方向・・・(1) 男女共同参画の視点に立つ国際理解と国際交流の推進
--

### ○国籍別登録外国人数（平成25年3月末現在）

（単位：人 総数 42,308人）

韓国又は朝鮮	中国	ベトナム	米国	フィリピン
19,310	13,263	1,584	1,193	1,033
インド	ブラジル	英国	インドネシア	タイ
968	436	376	291	279
オーストラリア	カナダ	ペルー	その他	無国籍
221	221	208	2,866	59

資料：神戸市統計書（平成25年度版）

### ○国際協力交流センターでの海外からの研修生受入れ人数

年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
受入れ人数(人)	93	101	120	219	182	66	110	90

資料：神戸市調べ

### ○外国人生活支援事業助成件数

年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
助成件数(件)	0	3	3	2	2	2	3
助成額(円)	0	435,000	400,000	200,000	200,000	178,000	300,000

資料：神戸市調べ

## 数値目標

基本目標	目標項目	現状値		平成27年度目標 (平成25年度実績)
2	ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の認知度（言葉も内容も知っている割合） (市政アドバイザー意識調査)	21.5% (平成22年度)	→	50% (32.4%)
	職場における男女の地位の平等感 「平等と感じる人の割合」(市政アドバイザー意識調査)	17.3% (平成21年度)	→	35% (15.0%)
	こうべ男女いきいき事業所数	43事業所 (平成22年度)	→	80事業所 (61事業所)
	次世代認定マーク（くるみん）市内取得企業数	20企業 (平成22年10月末)	→	40企業 (32企業)
	保育所定員 ・3歳未満児  ・3歳以上児	6,678人  12,065人 合計18,743人 (平成20年度)	→  →	7,878人 (7,514人) 13,310人 (13,248人) 合計21,188人 (20,762人)
	学童保育実施か所数 (児童数)	186か所 (8,498人) (平成20年度)	→	230か所(196か所) 10,940人 (9,129人)
	延長保育利用児童数	3,092人 (平成20年度)	→	4,460人 (3,603人)
	病児・病後児保育室数 (利用児童数)	7か所 (5,370人) (平成20年度)	→	14か所(12,250人) (13か所(11,991人))
	休日保育利用児童数	264人 (平成20年度)	→	600人 (422人)
	一時保育実施保育所数 (利用児童数)	112か所 (52,725人) (平成20年度)	→	全民間園及び公立 135か所68,260人 (152か所68,207人)
3	男性市職員の育児休業等の取得率 ・子どもの生まれる前後の連続5日間以上の育児休業に相当する休暇を取得した場合も含む ・育児休業・部分休業	12.9% (平成21年度)  2.6% (平成21年度)	→  →	60% (18.9%)  5.0% (1.2%)
	市の審議会における女性委員の登用率	33.0% (平成21年度)	→	35% (31.6%)
	市の係長級以上の女性管理職の割合 (一般行政・事務職)	8.1% (平成22年度)	→	12% (10.0%)
	市の係長昇任選考（一般行政A、B選考）全受験者に占める女性受験者の割合	13.3% (平成22年度)	→	20% (20.3%)

基本 目標	目 標 項 目	現 状 値		平成 27 年度目標 (平成 25 年度実績)
3	女性活躍推進プログラムの受講者数 (のべ人数)	31 人 (平成 22 年度)	→	181 人 (109 人)
4	DVの相談窓口を知っている人の割合 (市政アドバイザー意識調査)	43.9% (平成 21 年度)	→	70% (50.2%)
	外国語によるDVリーフレットの作成 (配偶者暴力相談支援センター)	5カ国語 (平成 22 年度)	→	7カ国語 (7ヶ国語)
	グループカウンセリングの実施回数 (配偶者暴力相談支援センター)	2クール/年 (平成 21 年度)	→	2クール/年 (2クール/年)
	DV防止に関するセミナーの参加者数	387 人/年 (平成 21 年度)	→	400 人/年 (299 人/年)
	企業への出前トークの実施回数	—	→	5回/年 (実施なし)
	デートDV予防啓発事業実施校数 (市立中学・市立高校)	5 校 (平成 22 年度)	→	全校(累計) (28 校)
	教育関係者に対する研修の実施回数	1 回/年 (平成 22 年度)	→	8 回/年 (0 回/年)
	支援者等関係者に対する研修の受講者数	840 人/年 (平成 21 年度)	→	1,000 人/年 (1,087 人/年)
	支援者養成研修の受講者数	—	→	50 人/年 (のべ 72 人/年)
	実務担当者以外の市職員に対するDV研修の実施回数	13 回/年 (平成 21 年度)	→	15 回/年 (5 回/年)
市内DV対策ネットワーク会議の実施回数	1 回/年 (平成 21 年度)	→	2 回/年 (1 回/年)	
5	地域団体が実施するUDの視点での取り組み事業数 (ふれあいのまちづくり協議会、景観形成市民団体等)	8 事業 (平成 22 年度)	→	67 事業 (49 事業)
6	がん検診受診率 ・乳がん ・子宮頸がん	— —	→ →	50% 50%
	エイズ健康教育参加者数	9,922 人 (平成 21 年度)	→	12,000 人 (1,074 人)
	薬物乱用防止教室を実施している割合 (中学校) (文部科学省報告)	100% (平成 21 年度)	→	100% (100%)
	妊産婦の喫煙者割合	4.7% (平成 21 年度)	→	0% (3.6%) (※平成 25 年度)
	乳幼児健診の受診割合 ・1歳6ヵ月児 ・3歳児 健診未受診児に対する把握率 生後4ヵ月までの乳児のいる家庭の状況の把握率	96.5% 95.0% 99.3% 82.1% (平成 21 年度)	→	97.0% (96.2%) 97.0% (95.4%) 100% (99.0%) 100% (92.5%)



## 2 神戸市の男女共同参画施策の推進状況



## (1) 神戸市の男女共同参画の取り組み

我が国においては、国際社会の動向に合わせて、昭和 50 年の国際婦人年世界会議以降、男女平等の実現に向けたさまざまな取り組みが進められてきました。

神戸市においては、昭和 52 年、市民局に婦人問題担当室（当時）を設置して以来、「神戸市婦人計画の指針」や「神戸市女性計画」の策定を経て、平成 10 年 9 月に、神戸市の男女共同参画社会の実現を目指し、平成 19 年度までに市として取り組むべき 123 項目の施策を盛り込んだ「こうべ男女共同参画プラン 21」（以下「プラン」という。）を策定しました。

このプランに沿って、平成 11 年度に庁内の推進体制である「神戸市男女共同参画推進本部」を設置するとともに、「神戸市男女共同参画懇話会」を設置しました。また、地域団体や経済団体等から構成される連携推進組織として、平成 11 年度に「神戸市男女共同参画推進会議」を設置し、市との協働により男女共同参画推進の取り組みを進めてきました。

平成 12 年度には、それまでの「神戸市生活学習センター」を、男女共同参画推進の拠点施設としての機能充実を図り、「神戸市男女共同参画センター」（愛称：あすてっぷ KOBE）としてリニューアル・オープンしました。

また、国の「男女共同参画社会基本法」や「男女共同参画基本計画」など新たに整備された法制度等との整合性を図るとともに、仕事と子育ての両立等に関する社会の関心の高まりや社会情勢の変化などに対応するため、平成 14 年度にプランを改定しました。

平成 15 年 4 月には、市の男女共同参画社会づくりの目指すべき方向性を示し、男女共同参画に関する施策の法的な拠り所となる「神戸市男女共同参画の推進に関する条例」を施行しました。条例では、「男女の人権の尊重」、「社会における制度又は慣行についての配慮」、「政策や方針の立案及び決定への男女共同参画の機会確保」、「家庭生活における活動とその他の活動の両立」など、男女共同参画の推進についての 7 つの基本理念を定めています。また、市の男女共同参画施策のあり方及び施策の推進状況について審議、助言をいただくため、「神戸市男女共同参画審議会」を同年 7 月に設置しました。さらに 10 月には、「男女共同参画申出処理制度」をスタートさせました。

平成 16 年 4 月には、条例に基づき、男女共同参画の推進に関する施策を総合的・計画的に実施するための基本計画となる「神戸市男女共同参画計画」（平成 16 年度～19 年度）を策定し、6 つの基本目標を定め、161 項目の具体的事業の推進に取り組んできました。

平成 15 年度に制定された「次世代育成支援対策推進法」に基づき、「神戸市次世代育成

支援対策推進行動計画（神戸っこすこやかプラン）」を平成 17 年 2 月に策定し、さらに、平成 22 年 2 月には後期計画を策定し、子育て支援策を展開しています。また、次世代育成支援対策推進法を受けて、神戸市自身がモデル事業所となるような取り組みを行う必要があり、平成 22 年 9 月に「仕事と子育ていきいき両立プラン～神戸市特定事業主行動計画(後期)～」を策定し、仕事と子育てがいきいきと両立できるよう施策を推進しています。

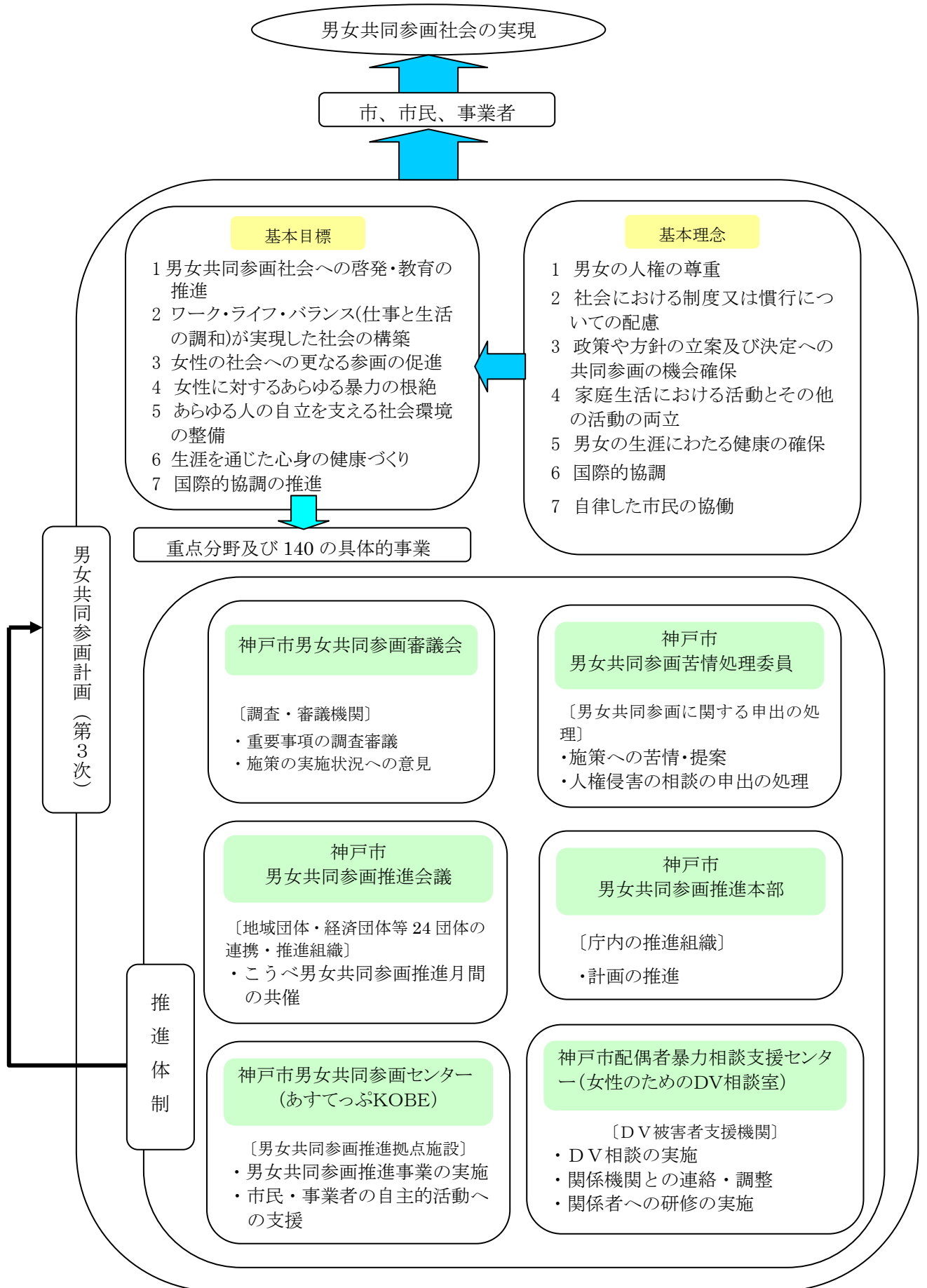
一方、女性の人権に関わる深刻な問題である「女性に対するあらゆる暴力の防止」の取り組みとして、平成 17 年度から民間支援団体が行うシェルターの設置・運営や、DV被害者の関係機関への同行支援について、DV被害者支援活動補助を行っています。また、平成 18 年 11 月より女性のためのDV相談室（神戸市配偶者暴力相談支援センター）の業務を開始し、市民に身近な相談窓口として、DV被害者に対する支援を行っています。

平成 23 年 3 月には、「神戸市男女共同参画計画（第 3 次）」（平成 23 年度～27 年度）を策定し、多様性が活きるまちづくり（ダイバーシティ・マネジメント）を男女共同参画社会の実現のためのすべての施策の基盤と位置づけ、「ワーク・ライフ・バランスの推進」、「女性の活躍推進」、「男性にとっての男女共同参画の推進」、「地域における男女共同参画の推進」、「配偶者等からの暴力（DV）対策の強化」、「市役所の事業所としての取り組み」の 6 つの分野を重点的に推進すべき事項として、関係各局が連携して取り組んでいます。さらに、本計画の着実な推進をはかるため、32 項目の数値目標を定めています。

特に重点的に取り組むべき柱のうち、「ワーク・ライフ・バランスの推進」については、六甲アイランドを推進モデル地域として、企業や従業員、地域住民の方々などが交流と連携をはかりながら、働きやすく、住みやすい都市づくりをめざしています。

また、特に重点的に取り組むべきもう 1 つの柱である配偶者等からの暴力（DV）の防止・被害者支援については、平成 23 年 3 月に「神戸市配偶者等暴力（DV）対策基本計画（第 2 次）」を策定し、関係機関と連携しながら、DV対策を総合的、体系的に推進しています。

神戸市男女共同参画推進のための概念図





## **(2) 重点的に推進すべき分野の取組状況**

## 重点事項1 ワーク・ライフ・バランスの推進

### 委員意見(平成25年度)

#### 【待機児童対策】

・保育所を確保しておかないと就職が決まらないにも関わらず、就職が決まらなると申込みリストに載らない。もう少し柔軟に、求職中でも仮内定を出すなど一時的な対応ができないのか。  
・京都府、滋賀県のマザーズジョブでは、府・市・労働局が連携して、求職者がワンストップで職探しと保育所を相談できるという新しい取り組みが、結構うまく動き始めている。神戸市も兵庫県、労働局と連携し、縦割りではなく、横串で進めていけるとよい。  
・保育所受入枠の大幅増、一時保育利用児童数は目標を達成し、順調に進んでいるが、今後、質的向上を視野に入れられるよう、利用者の声等を集約・分析するとよい。

#### 【企業への働きかけ】

・表彰事業所への取り組みを他の事業所に広げようとしたとき、どういう点が困難・障壁になっているかが分かれると見通しが持ちやすいのではない。  
・取り組みが遅れると思われる中小規模の事業所を重点的に推進すると良い。推進にはトップダウンの仕組みが重要で、最初の段階で経営者・社長と直接面談し、理解・共感をいかに得るかがポイント。  
・育児・介護休業法は労使ともに内容を知っている必要があるが、24年度実績では、労働者側への周知のみとなっている。企業側への周知の機会を設ける必要があるのではないのか。

#### 【プランの具体化】

・課題整理(ACTION)に記載されていることを更に具体化し、年次別の数値目標も設定し、それぞれに対する目標達成のためのプラン(目に見える行動)を明文化しておくことが必要。

### 事業概要(PLAN)

#### 基本目標2 ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)が実現した社会の構築

##### 課題1 ワーク・ライフ・バランスの推進の啓発

###### (1) ワーク・ライフ・バランスの推進のための教育・啓発

#### 27 ワーク・ライフ・バランスの推進に関する市民、事業者及び大学への啓発(市民参画推進局・産業振興局)

ワーク・ライフ・バランスの推進の必要性について市民、事業者、及び大学に啓発を行います。また、こうべ男女いきいき事業所の表彰などにより、ワーク・ライフ・バランスの推進は、働きやすい職場づくりや優秀な人材の確保に寄与し、企業の成長にとっても有用であることを情報発信します。

###### (2) 多様な働き方を可能にする就業条件

#### 30 育児・介護休業法などの普及・啓発(市民参画推進局・産業振興局)

育児・介護休業法など、仕事と家庭の両立支援のための法律の趣旨や内容、助成金制度などについて、国、県、経済団体などと連携しながら啓発を行います。  
また、育児・介護休業制度が適切に運用され取得促進されるよう、国や県、経済団体などと連携し、育児・介護休業を取得しやすい環境の整備について、企業及び労働者などに働きかけます。



委員意見(平成26年度)

<p><b>【企業及び大学への働きかけ】</b>                  ・こうべ男女いきいき事業所に関する情報が、これから就職する学生に届いていない。他自治体と協力してサイトを立ち上げたり、就職情報サイトを利用したりするなど、ITを活用した情報発信ができるとうい。                  ・就職先を考える際に、「ワーク・ライフ・バランスを推進している企業に行きたい」と思っている学生は多い。大学と連携するなどし、学生を対象に、就職先に何を求めているか等のアンケートを実施し、その結果を企業に提供するなどすれば、企業でのワーク・ライフ・バランスの推進の取り組みが進むのではないか。</p>
<p><b>【意識調査】</b>                  ・意識調査の数値が下がっている項目については、その理由まで分析できれば、どのように改善すべきなのかが見えてくるはずである。                  ・全国の統計と比較する神戸市の統計として、市政アドバイザー意識調査がふさわしいのかどうか。単独で予算を確保して調査を実施する方が、実態をより正確に把握できるかもしれない。</p>
<p><b>【企業調査】</b>                  ・厚生労働省が行った調査の分析から、短時間勤務制度の導入など、次世代育成支援対策推進法の効果が出てきていると言われている。施行から10年近く経つが、一般事業主行動計画と関連した項目を入れて、何がどのように効果があるのか等を分析してほしい。</p>
<p><b>【保育所などの充実】</b>                  ・保育所等の子育てに関する施策については、ニーズがどれくらいあって、それに対してどのような対策を講じているのかを確認できるとよい。                  ・病児・病後児保育についても、病児・病後児ごとに、また区ごとにデータをとるなどして、的確なニーズの把握に基づく充実を図るべきである。</p>

実施内容(DO)	評価(CHECK)	課題整理(ACTION)
<p><b>基本目標2 ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)が実現した社会の構築</b></p> <p>課題1 ワーク・ライフ・バランスの推進の啓発</p> <p>(1) ワーク・ライフ・バランスの推進のための教育・啓発</p>	<p><b>基本目標2 ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)が実現した社会の構築</b></p> <p>課題1 ワーク・ライフ・バランスの推進の啓発</p> <p>(1) ワーク・ライフ・バランスの推進のための教育・啓発</p>	<p><b>基本目標2 ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)が実現した社会の構築</b></p> <p>課題1 ワーク・ライフ・バランスの推進の啓発</p> <p>(1) ワーク・ライフ・バランスの推進のための教育・啓発</p>
<p>27 ワーク・ライフ・バランスの推進に関する市民、事業者及び大学への啓発(市民参画推進局・産業振興局)</p> <p>26年度予算 977千円</p> <p>26年度実績                  1. こうべ男女いきいき事業所表彰                  ①募集期間 5月2日～6月28日                  ②表彰事業所 5社                  有限会社システムプラネット、株式会社ドンク、株式会社神戸風月堂、株式会社ラフト、独立行政法人理化学研究所神戸事業所                  過去の表彰事業所の取組について、パンフレット・ポスターを作成し、他の事業所にPRしている。(毎年更新)                  2. ワーク・ライフ・バランス推進モデル地域事業                  平成20年度から六甲アイランドをワーク・ライフ・バランス推進のモデル地域に設定し、啓発活動や企業、地域住民などの各主体間の交流と連携をはかる会議等を開催している。平成22年6月に六甲アイランドにおいて「NPO法人【仕事と子育て】カウンセリングセンター(理事長:坂東真理子氏)」とP&amp;Gジャパン(本社:神戸市)が協働で、活動拠点「“輝く私”神戸RICステーション」を開設した。                  市も、平成25年度も引き続き、市のホームページを活用した情報発信を行うなどステーションの活動を支援している。                  3. 企業セミナー                  ①開催日 10月2日                  ②テーマ 「神戸経済の活性化と男女共同参画」                  ③講師 (株)日本総合研究所主席研究員 藻谷 浩介氏</p> <p>26年度事業                  1. こうべ男女いきいき事業所表彰(募集期間5月13日～6月30日)                  10月7日 こうべ男女共同参画推進月間の企業セミナーにおいて表彰。                  2. ワーク・ライフ・バランス推進モデル地域事業                  「NPO法人【仕事と子育て】カウンセリングセンター(理事長:坂東真理子氏)」の活動拠点である「“輝く私”神戸RICステーション」(六甲アイランド)について、平成26年度も引き続き、市のホームページを活用した情報発信を行うなどステーションの活動を支援していく。</p>	<p>27 ワーク・ライフ・バランスの推進に関する市民、事業者及び大学への啓発(市民参画推進局・産業振興局)</p> <p>目標項目1                  ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の認知度 平成27年度目標 50%                  平成25年度 実績 32.4%  <b>【実績の評価】</b>                  前回(H23調査31.9%)と比べるとわずかではあるが、向上してきている。</p> <p>目標項目2                  職場における男女の地位の平等感「平等と感じる人の割合」(市政アドバイザー意識調査)平成27年度目標 35%                  平成25年度実績 15.0%  <b>【実績の評価】</b>                  前回(H23年度)調査の17.2%に比べ減少している。</p> <p>目標項目3                  こうべ男女いきいき事業所表彰企業数 平成27年度目標 80事業所                  平成25年度実績 61事業所  <b>【実績の評価】</b>                  ほぼ目標どおり推移している。</p> <p>目標項目4                  次世代認定マーク(くるみん)市内取得企業数 平成27年度目標 40事業所                  平成25年度実績 32事業所  <b>【実績の評価】</b>                  ほぼ目標どおり推移している。</p>	<p>27 ワーク・ライフ・バランスの推進に関する市民、事業者及び大学への啓発(市民参画推進局・産業振興局)</p> <p>課題と今後の方向性                  ・こうべ男女いきいき事業所表彰の応募事業所を増やすために、今後も、男女共同参画推進会議に参画する経済団体との連携等により有効なPRを行っていく。                  ・表彰事業所の取り組みをパンフレット・ポスターなどでPRしているが、いかに他の事業者につなげていくか、事業所における主体的な取り組みの推進が課題である。また、過去の表彰事業所の取り組みをフォローしていく必要がある。                  ・平成26年度、市内の中小企業を中心に企業経営者や管理職、人事担当者に対して、ワーク・ライフ・バランスに関する調査を行うとともに、その取り組みを推進し、中小企業における仕事と家庭の両立支援に繋げていく。</p>
<p>(2) 多様な働き方を可能にする就業条件</p>	<p>(2) 多様な働き方を可能にする就業条件</p>	<p>(2) 多様な働き方を可能にする就業条件</p>
<p>30 育児・介護休業法などの普及・啓発(市民参画推進局・産業振興局)</p> <p>26年度事業                  事業継続</p>	<p>30 育児・介護休業法などの普及・啓発(市民参画推進局・産業振興局)</p> <p><b>【実績の評価】</b>                  募集定員に対し、7割以上の参加となった。セミナー受講前は「子育てしながら働き続ける不安があった」「育休後、まともに復帰できるか悩んでいた」との意見があったが、受講後は「復帰への力が湧いてきた」「子育てと仕事が両立できると安心できた」などの感想があり、好評であった。</p>	<p>30 育児・介護休業法などの普及・啓発(市民参画推進局・産業振興局)</p> <p>課題と今後の方向性                  ・育児休業からの職場復帰準備セミナーや企業セミナーについては、男女共同参画推進会議に参画している経済団体等と連携して効果的なPRを行う必要がある。                  ・セミナーなどを通じて、仕事と家庭の両立支援のための法律、制度についての啓発や、ロールモデルの提示による個人の意識改革を行っていく。</p>

事業概要(PLAN)

課題3 子育てをしやすい環境の整備

(1) 仕事と子育ての両立支援の推進

38 保育所などの充実(こども家庭局)

保育所待機児童の解消のため、保育所の新設など受入れ枠の拡大を図ります。  
低年齢児保育、延長保育(早朝・夜間)、一時保育、すこやか保育などを充実させます。  
休日保育など、多様な保育サービスを検討します。赤ちゃんホーム等を充実させます。

40 放課後児童健全育成事業の充実(こども家庭局)

放課後留守家庭児童に生活の場を与え、育成を図るために、放課後児童健全育成事業を充実させます。

実施内容(DO)		評価(CHECK)	課題整理(ACTION)
課題3 子育てをしやすい環境の整備 (1) 仕事と子育ての両立支援の推進		課題3 子育てをしやすい環境の整備 (1) 仕事と子育ての両立支援の推進	課題3 子育てをしやすい環境の整備 (1) 仕事と子育ての両立支援の推進
26年度予算 3,298,524千円	<b>38 保育所などの充実(こども家庭局)</b> <b>&lt;25年度実績&gt;</b> ・地域の需要に応じた保育所の適正配置を進める。 ・ニーズの高い地域での既設保育所の増築等による定員拡大 ・延長保育、一時保育、すこやか保育(障害児保育)の充実 ・休日保育のモデル実施 ・民間保育所新設:11か所 ・既存保育所の増築、建替:12か所 ・延長保育:全箇所 ・一時保育:152か所 ・休日保育:2か所 ・すこやか保育(障害児保育) 平成25年度には、9か所の保育所創設、8か所の増築等、23か所の小規模保育施設新設等により、全市で1173人分の保育枠を確保した。	<b>38 保育所などの充実(こども家庭局)</b> 保育所定員 平成27年度目標 3歳未満児7,878人/3歳以上児13,310人 (※弾力的な入所により2万4千人を確保) 平成25年度実績 3歳未満児7,514人/3歳以上児13,248人(合計20,762人) 平成26年4月1日 3歳未満児7,811人/3歳以上児13,646人(合計21,457人) 目標項目5 ※ 目標としていた2015年度保育所定員21,188人については一年前倒しで達成したが、待機児童の解消には至っておらず、2015年度保育所定員の目標を22,417人に見直しを図った。 <b>【実績の評価】</b> 保育所等整備「マッチング事業」などによる保育所の新增設等により、大幅な受入枠の拡大を実現した。	<b>38 保育所などの充実(こども家庭局)</b> 引き続き様々な手法を駆使して、保育の量的拡大を図り、待機児童の解消に取り組むとともに、保育サービスの更なる拡大に努めていく。 今後は、平成27年度より施行予定の「子ども・子育て支援新制度」において、潜在需要も含めたニーズ調査を踏まえて事業計画を策定し、保育枠の確保に取り組む。 その事業計画に基づき、保育所・認定こども園の整備や、既存の幼稚園からの認定こども園への移行、小規模保育事業を中心とした地域型保育事業の整備を着実に進め、早期に待機児童の解消が図れるよう全力で取り組んでいく。
	<b>&lt;26年度事業&gt;</b> ・民間保育所新設:11か所 ・既存保育所の増改築:12か所 ・延長保育:全箇所 ・一時保育:167か所 ・休日保育:2か所 ・すこやか保育(障害児保育) 平成26年4月1日の待機児童は、123人ですが、今年度は保育所の新設や増築等、小規模保育事業や事業所内保育事業により、約1400人分の保育枠の確保を目標とする。	目標項目6 延長保育利用児童数 平成27年度目標 4,460人 平成25年度 実績 3,603人 <b>【実績の評価】</b> 利用人数は昨年度比16人減少。就労形態多様化への対応を進めることができた。	
26年度予算 1,262,564千円	<b>40 放課後児童健全育成事業の充実(こども家庭局)</b> <b>&lt;25年度実績&gt;</b> 児童館や学校の余裕教室等を利用した学童保育コーナーに学童保育クラブを開設している他、社会福祉法人が社会福祉施設等を活用して実施する福祉施設方式、地域の住民が自主的に地域活動の一環として実施する地域方式などがある。 学童保育ニーズのある小学校区に1か所を基準として、公設または民設の学童保育施設を設置・助成しているが、現在、公設では学童保育ニーズの増加に伴い、施設の過密化が進んでおり、まずは過密施設の解消に取り組んでいるところである。	目標項目7 病児・病後児保育室数 平成27年度目標 14箇所/利用児童数 12,250人 平成25年度 実績 13か所 /11,991人 <b>【実績の評価】</b> 保育室数は昨年度比1か所増加。新たな需要に対応することができた。	課題と今後の方向性
	<b>&lt;26年度事業&gt;</b> ・児童館方式 106館 ・学童保育コーナー 51か所 ・福祉施設方式 8か所 ・地域方式 27か所 ・法人方式 3か所 ・地域団体方式 1か所	目標項目8 休日保育利用児童数 平成27年度目標 600人 平成25年度 実績 422人 <b>【実績の評価】</b> 利用人数は昨年度比118人減少した。特定の地域にて利用者が減少したことが要因と考えられる。	
26年度予算 1,262,564千円	<b>40 放課後児童健全育成事業の充実(こども家庭局)</b> <b>&lt;25年度実績&gt;</b> 児童館や学校の余裕教室等を利用した学童保育コーナーに学童保育クラブを開設している他、社会福祉法人が社会福祉施設等を活用して実施する福祉施設方式、地域の住民が自主的に地域活動の一環として実施する地域方式などがある。 学童保育ニーズのある小学校区に1か所を基準として、公設または民設の学童保育施設を設置・助成しているが、現在、公設では学童保育ニーズの増加に伴い、施設の過密化が進んでおり、まずは過密施設の解消に取り組んでいるところである。	目標項目9 一時保育実施保育所数 平成27年度目標 利用児童数68,260人(135か所) 平成25年度 実績 利用児童数68,207人(152か所) <b>【実績の評価】</b> 利用人数は昨年度比1,410人減少したものの、実施保育所数は昨年度比12か所増加。緊急利用、リフレッシュ利用、就労形態多様化への対応を進めることができた。	課題と今後の方向性
	<b>&lt;26年度事業&gt;</b> ・児童館方式 106館 ・学童保育コーナー 51か所 ・福祉施設方式 9か所 ・地域方式 27か所 ・法人方式 3か所 ・地域団体方式 2か所	目標項目10 学童保育実施か所数/利用児童数 平成27年度目標 230か所 /10,940人 平成25年度 実績 196か所 /9,129人 <b>【実績の評価】</b> 実施か所は1か所増加し、目標に向けて前進した。	

**重点事項2 女性の活躍推進**

**委員意見(平成25年度)**  
**【女性活躍推進プログラム@神戸】**  
・効果の評価するには、参加人数よりも過去の参加者がその後管理職になっているかなど、追跡調査して質の向上に努めるべき。  
・女性管理職の少ない事業所等に焦点を当てることも大切だが、例えば女性管理職の多い事業所、女性管理職自身、あるいは女性起業家等のネットワークづくり等、当事者の力を何か上手く活用できないか(成功事例や経験談等の紹介・普及等)  
・経営者には女性の活躍が会社の活性化につながった実例を示す一方で、その会社で抱える問題を女性の力で解決できないかなど、一緒に考える場を持ってもらうとよい。  
・企業から参加を募る研修プログラムは商工会議所などと連携して参加者の選定や確保に努めるとよいのではないか。また学生対象ならば、大学と連携して単位取得に組み込んでいくなどの取り組みで、働いている人や学生により情報が届きやすくなるか。  
**【女子学生社会人材アッププロジェクト】**  
・開催日が授業と重なって参加できない。もう少し開催日程を考えてもらえるとありがたい。

**事業概要(PLAN)**

<b>基本目標3 女性の社会への更なる参画の促進</b>	
課題1 政策・方針決定の場への女性の参画の推進	
(2) 企業・団体などにおける方針決定の場への女性の参画の促進	
53	<b>女性の活躍を促進する研修プログラムの実施(市民参画推進局)</b> 市内の企業・団体の将来リーダー的な役割が期待される女性の活躍推進を支援するため、研修プログラムを実施します。



委員意見(平成26年度)

<p><b>【女性の活躍研修プログラム】</b>                  ・女性活躍推進プログラムや女子学生社会人力アッププロジェクトなど、これまでは女性が自ら活躍するための意識づけという意味合いでの事業を行ってきたが、管理職に対する意識づけを行うことも有効ではないか。ただし、多くの企業に取り組んでもらうには工夫が必要。</p> <p><b>【女子学生社会人力アッププロジェクト】</b>                  ・今年度実施した時期は、特に3回生については、インターンシップで参加できない学生が多かったため、各大学の意見も踏まえて、開催時期の工夫が求められる。                  ・ハローワークが実施しているように、大学に出向いて、セミナーを実施するなどすると、参加者は増えるのではないか。</p> <p><b>【再就職】</b>                  ・再就職については兵庫県が助成制度を設けているがあまり利用されていない。他自治体の事業であっても広く周知する取り組みがあってもいいのではないか。協力し合って効率的な施策実施をすべき。                  ・神戸市男女共同参画センター(あすてっぶKOBE)と兵庫県男女共同参画センター(イーブン)が協力して、どちらの施設でも市と県の双方の男女共同参画施策に関する情報を入手できるようにすればいいのではないか。</p>
---

実施内容(DO)	評価(CHECK)	課題整理(ACTION)
<p>基本目標3 女性の社会への更なる参画の促進</p> <p>課題1 政策・方針決定の場への女性の参画の推進</p> <p>(2)企業・団体などにおける方針決定の場への女性の参画の促進</p>	<p>基本目標3 女性の社会への更なる参画の促進</p> <p>課題1 政策・方針決定の場への女性の参画の推進</p> <p>(2)企業・団体などにおける方針決定の場への女性の参画の促進</p>	<p>基本目標3 女性の社会への更なる参画の促進</p> <p>課題1 政策・方針決定の場への女性の参画の推進</p> <p>(2)企業・団体などにおける方針決定の場への女性の参画の促進</p>
<p>53 女性の活躍を促進する研修プログラムの実施(市民参画推進局)</p> <p>〈25年度実績〉                  1.女性活躍推進プログラム@神戸                  女性管理職の少ない中小企業などを対象に実施。あわせて参加者の所属する企業の経営者などに対し、女性の活躍を推進する企業風土づくりを働きかけ、女性管理職の登用に貢献する。                  ・期間:5月～11月 全7回プログラム                  ・受講生:22人                  2.女子学生社会人力アッププロジェクト                  平成24年度より開始した、「女子学生社会人力アッププロジェクト」を平成25年度も実施、「こうべ男女いきいき事業所」の社会人と座談会を行うなどし、就職後のキャリアデザインやワーク・ライフ・バランスについて学べる機会を提供した。開始当初の「男女共同参画センター(あすてっぶKOBE)」での実施に加え、25年度は神戸市外国語大学とも連携し、学園都市にある「UNITY」でも実施し、計2回プログラムを行った。                  ・日時:平成25年9月11日(水)～13日(金) UNITY                  平成25年9月19日(木)～21日(土) あすてっぶKOBE                  ・参加者:70人</p> <p>〈26年度事業〉                  1.女性活躍推進プログラム@神戸                  ・期間:5月～11月 全7回プログラム                  ・受講生:24人                  2.女子学生社会人力アッププロジェクト                  ・日時:平成26年9月9日(火)～10日(水)                  ・参加者:36名</p> <p>26年度予算 1,223千円</p>	<p>53 女性の活躍を促進する研修プログラムの実施(市民参画推進局)</p> <p>女性活躍推進プログラムの受講者数(のべ人数) 平成27年度目標 181人 平成25年度 実績 109人</p> <p>【実績の評価】                  受講者数は募集定員の30名に対して22名だったが、受講生からは「将来のビジョンについて明確にすることができた。」「チームリーダーとして、皆を引っ張っていききたいという思いが自分の中にあることに初めて気付いた。」などの意見があり、大変意義があったと考える。                  「女子学生社会人力アッププロジェクト」においても、実際に活躍している先輩社員と直に接することが自身のキャリアデザインに対する意識づけにもつながっているようで、参加した学生からは好評を得ている。</p> <p>目標項目1</p>	<p>53 女性の活躍を促進する研修プログラムの実施(市民参画推進局)</p> <p>・「女性活躍推進プログラム@神戸」については、引き続き、リーダーに必要なスキルを取得し、リーダーになることへ更に興味を持つようなプログラムになるよう努めるとともに、受講生のその後の状況について、参加企業の協力を得て追跡調査したい。                  ・「女子学生社会人力アッププロジェクト」の取り組みについては、各大学のキャリアセンター等へのこうべ男女いきいき事業所の取り組みなどの積極的なPRもあり、徐々にではあるが事業所や大学等の関係者にも認知されつつあるものとする。参加した学生からは好評を得ているため、より多くの学生に参加してもらえるよう、引き続き改善や工夫を重ねながら事業実施していきたい。</p> <p>課題と今後の方向性</p>

事業概要 (PLAN)

課題2 就業の場における男女共同参画の推進

(2)さまざまな就業の場で働く人の労働条件の向上

65	<b>農漁業に従事する女性の労働条件の向上(市民参画推進局・産業振興局)</b> 国、県、農漁業関係団体と連携しながら、農漁業に従事する市内の女性のおかれている実態について把握するとともに、家族経営協定の普及や農業者年金への女性の加入について、啓発を図ります。
----	---

課題3 女性の就業機会の拡大

(1)女性の就業支援と企業支援

67	<b>就業支援のための講座及び情報提供・相談の充実(市民参画推進局・産業振興局)</b> 神戸市男女共同参画センター(あすてっぶKOBE)や神戸婦人大学などにおいて、女性の就業に役立つ講座、再就職等へのチャレンジ支援のための講座、キャリアアップのための講座などを充実させます。また、さまざまな分野で活躍する女性の情報など、女性の就業に関する情報提供や相談を行います。
----	--

実施内容(DO)		評価(CHECK)	課題整理(ACTION)
<p>課題2 就業の場における男女共同参画の推進</p> <p>(2)さまざまな就業の場で働く人の労働条件の向上</p>		<p>課題2 就業の場における男女共同参画の推進</p> <p>(2)さまざまな就業の場で働く人の労働条件の向上</p>	<p>課題2 就業の場における男女共同参画の推進</p> <p>(2)さまざまな就業の場で働く人の労働条件の向上</p>
<p>65</p> <p>26年度予算 960千円</p>	<p><b>農漁業に従事する女性の労働条件の向上(市民参画推進局・産業振興局)</b></p> <p>〈25年度実績〉  <b>女性の就業支援(産業振興局、計画課)</b>                      市内の求職者に対して研修等を実施することにより、就職に必要な技能、知識、ノウハウを身につけ、早期の就職を支援する。                      新規就農支援事業                      (対象)市内で就農を希望する者                      (内容)JA新規就農者塾 県・市・JAの共催による講座及びびほ場実習                      ・就農支援里親事業 就農及び就農後のフォローアップ                      ・就農相談 各種相談                      ※JA兵庫六甲が開設している農作業無料職業紹介とタイアップしながら、雇用農業についても推進していく。</p> <p>〈26年度事業〉                      事業継続</p>	<p>65</p> <p>農漁業に従事する女性の労働条件の向上(市民参画推進局・産業振興局)</p> <p>【実績の評価】                      平成25年度の女性新規就農者は13名(62名中・雇用含)で、女性の就農が進んでいる</p>	<p>65</p> <p>農漁業に従事する女性の労働条件の向上(市民参画推進局・産業振興局)</p> <p>着実に女性の就農は進んでいるが、就農後フォローアップをしていく必要がある。</p> <p>課題と今後の方向性</p>
<p>課題3 女性の就業機会の拡大</p> <p>(1)女性の就業支援と企業支援</p>		<p>課題3 女性の就業機会の拡大</p> <p>(1)女性の就業支援と企業支援</p>	<p>課題3 女性の就業機会の拡大</p> <p>(1)女性の就業支援と企業支援</p>
<p>67</p> <p>26年度予算 11,659千円</p>	<p><b>就業支援のための講座及び情報提供・相談の充実(市民参画推進局・産業振興局)</b></p> <p>〈25年度実績〉  <b>1.女性の就業支援(産業振興局経済企画課)</b>                      市内の求職者に対してセミナー等を実施することにより、就職に必要な技能、知識、ノウハウを身につけ、早期の就職を支援する。                      「神戸ワーク・ネットワーク」事業                      「神戸ワーク・ネットワーク」(就業促進協議会)において、関係機関との連携により就職面接会、就労支援セミナーなどの就労促進策を引き続き実施するとともに、就労に関する情報提供やキャリアカウンセリングなどを行う就労相談窓口において、求職者一人ひとりの状況に応じたきめ細やかな就労支援を行う。</p> <p><b>2.女性の再就職支援(市民参画推進局男女共同参画課)</b>                      国において「女性の再チャレンジ支援プラン」が策定され、再チャレンジに向けた様々な支援策が打ち出されたことにより、神戸市においても、一人ひとりの女性が仕事と子育て等をバランスよく両立しながら、ライフステージに応じて柔軟に活動を選択できるよう、再就職等にチャレンジする女性の支援を行う。                      ①就業・チャレンジセミナー                      11月27日「再就職に生かす心理学 交流分析で自分発見」講師:吉田弦氏 44名                      ②就業・チャレンジ相談会(県との共催)                      講師:上芝美恵氏 7月13日 2名、2月7日 3名                      ②就業・チャレンジ相談 毎月1回土曜 31名                      ③就業・チャレンジ情報コーナーの運営</p> <p>〈26年度事業〉                      事業継続年度</p>	<p>67</p> <p>就業支援のための講座及び情報提供・相談の充実(市民参画推進局・産業振興局)</p> <p>【実績の評価】                      就職相談、セミナー開催等の就労支援を行う中、合同就職面接会において、学生等の希望が多い職種の求人確保や学生への積極的な周知などを市内就労関係機関との連携により行うことで参加企業・参加者の確保に取り組むことができた。</p> <p>【実績の評価】                      就業・チャレンジセミナーの参加者アンケートには、「自分を見つめ直すきっかけとなった。」「参考にして今後の生活に役立てたい。」などの感想があり、参加者の約9割から「よかった」との評価を得ている。</p>	<p>67</p> <p>就業支援のための講座及び情報提供・相談の充実(市民参画推進局・産業振興局)</p> <p>【女性の就業支援】                      これらの施策は、女性に限った就職支援策というわけではないが、今後こうした事業においてさらに男女共同参画を進めていく。</p> <p>【女性の再就職支援】                      今後も女性の就労に関わるセミナーや相談窓口、情報を提供していくとともに、再就職や起業、地域活動の実現に結びつけるために、より一層関係機関との連携深め、女性の就労支援体制の強化に努める。</p> <p>課題と今後の方向性</p>

**重点事項3 男性にとっての男女共同参画の推進**

**委員意見(平成25年度)**  
**【神戸市職員の育児休業取得】**  
 ・取得率が低すぎる。休業中の給与補償については制約があるものの、一時金などの不利益を補填するなど積極的に働きかけていくべきだ。  
 ・給与に影響しない連続休暇はもっと頑張れるはずだ。強制的に取得させるなど、意識的に努力するべき。  
 ・男性の育児休暇取得について周知する際、単に制度の紹介をするだけでなく、取得者の体験談等を紹介するほか、周囲や上司の理解が肝要なので、例えばそういった人たちの取るべき態度等について研修等は開催できないか。  
 ・子どもがいない段階から男性が家事を担う重要性を認識させる教育、啓発も必要。  
 ・男性育児休業者の多い企業の取組を紹介(どのような制度や環境を整えているか)する機会を設けてはどうか  
 ・さらなる取り組みが必要。具体的な施策を講じて明文化する必要がある。  
 ・啓発の方法の抜本的見直しが必要。  
**【男性と介護】**  
 ・男性の介護者が増えている中、ジェンダーの意識に捉われて疲弊してしまい、自分も要介護者も追い詰める人が出てきている。50代の働いている男性を対象とした介護講座を実施していくべき。  
 ・基本的に男女共同参画は男性側の変化を促さないと進まないという認識のもと、どう男性に対して意識啓発していくかが課題

**事業概要(PLAN)**

**基本目標2 ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)が実現した社会の構築**

**課題2 男女ともに家庭・地域生活に積極的に参加しやすい環境の整備**

**(1)家事・育児・介護への男性の積極的な参画の促進**

<b>34</b>	<b>男性の育児・介護休業の取得に向けての啓発(市民参画推進局・行財政局)</b>
	男性の育児・介護休業取得者はまだ少ないのが現状です。そのため、企業及び市民に対し、男性の育児・介護休業取得に向けての啓発を行います。
<b>35</b>	<b>男性が参加しやすい家事・育児・介護講座の充実(市民参画推進局・保健福祉局・教育委員会)</b>
	男性が参加しやすい内容や時間帯に考慮した家事・育児・介護講座を充実させます。また、男女がペアで参加できる両親教室を開催します。



<p><b>【神戸市職員の育児休業取得】</b>                  ・市の男性職員については、パートナーの出産の際に、たとえ3日でも5日でも休ませることはできないものか。                  ・管理職が職員に休みを取得させるように働きかける取り組みが必要ではないか。自己点検的なチェックリストを作成したり、人事評価の項目に加えたりしてはどうか。</p> <p><b>【仕事と介護の両立】</b>                  ・介護休業取得の推進だけでなく、仕事と介護の両立を支援するような取り組みが必要ではないか。                  ・介護休業は介護をするための休みではなく、介護の段取りを整える準備期間としても捉えるべきであり、そのような意識改革をふまえ、男女がともに働きながら、育児も介護も乗り切れるようにするセミナーなどは今後ますます重要である。                  ・介護セミナーについては、男性が介護をすることに対する偏見等もいまだにあると考えるので、男性の参加率を把握するなどし、男性が参加しやすいような工夫をする必要がある。</p>
--

実施内容(DO)	評価(CHECK)	課題整理(ACTION)
<p><b>基本目標2 ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)が実現した社会の構築</b></p> <p>課題2 男女ともに家庭・地域生活に積極的に参加しやすい環境の整備</p> <p>(1)家事・育児・介護への男性の積極的な参画の促進</p>	<p><b>基本目標2 ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)が実現した社会の構築</b></p> <p>課題2 男女ともに家庭・地域生活に積極的に参加しやすい環境の整備</p> <p>(1)家事・育児・介護への男性の積極的な参画の促進</p>	<p><b>基本目標2 ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)が実現した社会の構築</b></p> <p>課題2 男女ともに家庭・地域生活に積極的に参加しやすい環境の整備</p> <p>(1)家事・育児・介護への男性の積極的な参画の促進</p>
<p><b>34</b> 男性の育児・介護休業の取得に向けての啓発(市民参画推進局・行財政局)</p> <p>26年度予算 150千円</p> <p>〈25年度実績〉  <b>男性にとっての男女共同参画の推進(市民参画推進局、行財政局)</b>                  ①市職員に対する取り組み(モデル事業所としての取り組み)                  子育てに関心がある職員等を対象に 仕事と家庭の両立支援セミナーの実施。                  ・実施日 10月30日                  ・参加人数 25名                  ②市民・事業所等に対する取り組み                  “こうベイクメン実行委員会”を中心に、家族で楽しみながらイクメンの知恵を共有できるイベント「こうベイクメンの日in楠寺 瑠璃光苑」を開催。                  ・開催日 6月16日(日)                  ・参加者 約150名</p> <p>〈26年度事業〉                  ①市職員に対する取り組み                  より多くの職員へ育児休業制度等の周知をはかるため、階層別研修のカリキュラムに組み込んで、研修を実施。                  ②市民・事業所等に対する取り組み                  こうベイクメンの日2014                  ・開催日 6月15日(日)                  ・参加者 約1,000名</p>	<p><b>34</b> 男性の育児・介護休業の取得に向けての啓発((市民参画推進局・行財政局)</p> <p>目標項目1                  男性市職員の育児休業等の取得率(子どもの生まれる前後の連続5日間以上の育児休業に相当する休暇を取得した場合も含む)                  平成27年度目標 60%                  平成25年度実績 18.9%</p> <p>【実績の評価】                  引き続き、研修等で制度の周知や取得の推進に努めており、目標には届いていないが、平成24年度実績(14.3%)から比べると少し上昇している。</p> <p>目標項目2                  男性市職員の育児休業等の取得率(育児休業・部分休業)                  平成27年度目標 5.0%                  平成25年度実績 1.2%</p> <p>【実績の評価】                  目標項目1と同様、引き続き、研修等で制度の周知や取得の推進に努めている。</p>	<p><b>34</b> 男性の育児・介護休業の取得に向けての啓発((市民参画推進局・行財政局)</p> <p>課題と今後の方向性                  ・市職員の男性の育児休業取得については、育児のための休暇制度等について、すべての職員が必ず一度は説明を受ける機会を設けるため、平成26年度から階層別研修(採用3年次研修)のカリキュラムに組み込んだ。今後、管理職に対する研修などの啓発方法についても検討しており、当事者本人と管理職の双方への働きかけにより、制度を利用しやすい職場環境の整備に努めていく。                  ・事業所における取り組みの推進が課題であり、表彰事業所の取り組みをいかにして他の事業者の主体的な取り組みにつなげていくか検討が必要。                  ・男性の子育て参加や、地域活動に関わるきっかけとなる啓発やイベント等を開催するNPOや民間団体はまだまだ少ない状況であり、引き続き、NPO等の民間団体が企画するイベント等に共催で開催するなど、団体の活動支援を行っていく必要がある。</p>
<p><b>35</b> 男性が参加しやすい家事・育児・介護講座の充実(市民参画推進局・保健福祉局・教育委員会)</p> <p>26年度予算 825千円</p> <p>〈25年度実績〉  <b>プレパパママ食育講座(保健福祉局地域保健課)</b>                  初めての子どもを妊娠中の妊婦と夫を対象に、親自身の健康づくりとこれから生まれる子どもへの「食育」への関心を深め、家族そろって食事を楽しめる家庭づくりの推進を図るために、講話と調理実習による講習会を行う。                  開催回数:年間14回                  参加定員:毎回15組</p> <p>〈26年度事業〉                  事業継続</p>	<p><b>35</b> 男性が参加しやすい家事・育児・介護講座の充実(市民参画推進局・保健福祉局・教育委員会)</p> <p>【実績の評価】                  親自身の食生活を見直すだけでなく、「父親の食事づくりへの参加」、「生まれてくる子どものための食育」への意欲を高めることができた。</p>	<p><b>35</b> 男性が参加しやすい家事・育児・介護講座の充実(市民参画推進局・保健福祉局・教育委員会)</p> <p>課題と今後の方向性                  生まれてくる子どものために、家庭での食育について夫婦で取り組み、家族そろって食事を楽しめる家庭づくりの推進を図る。</p>

**重点事項4 地域における男女共同参画の推進**

**委員意見(平成25年度)**

**【ユニバーサルデザイン】**  
 ・UD自体は着実に整備が進みつつあるので、今後は障がいのある女性に特化した意識調査・実態調査等を通じて、使い勝手の改善等、質的向上を目指すことも一案と思われる。  
 ・UDは街中でもよく見かけるが、「こういうためにやっている」という目的をうまくアピールすれば浸透していくのではないかと。

**【あすてっぷKOBEの運営】**  
 利用率で伸び悩んでいるが、一定の飽和状態を迎えているのかもしれない。他都市・他地域における同等施設の先進例に学ぶところがあるかもしれない(先進地視察等)。

**【地域活動について】**  
 知らない行事が多かったため、周知方法を生活に密着した自治会掲示板、回覧板など広げる工夫が必要ではないかと。また、地域活動については参加者が少なく、年齢層も偏っているため参加しにくい。本来ならば地域住民で作っていくものだろうが行政からも積極的な仕掛けをしてはどうか。

**事業概要(PLAN)**

<b>基本目標2 ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)が実現した社会の構築</b>	
課題2 男女ともに家庭・地域生活に積極的に参加しやすい環境の整備	
(2) 地域活動など市民活動への男女共同参画の促進	
36	<p><b>地域活動、防災福祉コミュニティ活動など市民活動への男女共同参画の推進(危機管理室・市民参画推進局・環境局・産業振興局・区役所・消防局)</b></p> <p>地域活動や、防災福祉コミュニティ活動、ボランティア活動など市民活動への男女共同参画を推進するため、男女共同参画の視点を取り入れ、さまざまな機会を通じて啓発を図るとともに、情報の提供や活動支援、活動拠点の整備など環境整備を進めます。</p> <p>また、団塊の世代の退職者が地域でいきいきと生活できるような機会を提供するための啓発を進めます。</p> <p>更に、男女共同参画を推進することによって、新たな発展が期待できる、まちづくり、観光、環境、文化の分野の取り組みを支援します。</p>
37	<p><b>男女共同参画社会の実現をめざす市民活動への支援(市民参画推進局)</b></p> <p>市民活動については、男女共同参画社会の実現をめざす活動も含め、情報提供・活動拠点などに対して支援します。</p>

委員意見(平成26年度)

<p><b>【地域活動】</b>                  ・日頃の地域防災活動に女性がどう関わっているのか等を把握し、国から示された「男女共同参画の視点からの防災・復興の取組指針」を受けて、地域防災計画の見直しを進める必要がある。</p> <p><b>【あすてっぷKOBEの運営】</b>                  ・男女共同参画センター(あすてっぷKOBE)に関して、参加者の満足度が高いことを考慮すると、「現在実施している事業は目的をほぼ達成している」という評価としてもよいのではないか。そのうえで、事業の新規開拓を検討すればさらによくなるのではないか。</p>
--

実施内容(DO)	評価(CHECK)	課題整理(ACTION)
<p><b>基本目標2 ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)が実現した社会の構築</b></p> <p>課題2 男女ともに家庭・地域生活に積極的に参加しやすい環境の整備</p> <p>(2)地域活動など市民活動への男女共同参画の促進</p>	<p><b>基本目標2 ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)が実現した社会の構築</b></p> <p>課題2 男女ともに家庭・地域生活に積極的に参加しやすい環境の整備</p> <p>(2)地域活動など市民活動への男女共同参画の促進</p>	<p><b>基本目標2 ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)が実現した社会の構築</b></p> <p>課題2 男女ともに家庭・地域生活に積極的に参加しやすい環境の整備</p> <p>(2)地域活動など市民活動への男女共同参画の促進</p>
<p>36 地域活動、防災福祉コミュニティ活動など市民活動への男女共同参画の推進(危機管理室・市民参画推進局・環境局・産業振興局・区役所・消防局)</p> <p>26年度 予算 一千万円</p> <p>〈25年度実績〉                  防災福祉コミュニティづくりの推進や、婦人防災安全委員の委嘱、女性消防団員の採用などの実施。                  ・応急手当の普及啓発                  ・寸劇による広報                  ・放水訓練や消防団車両によるパトロール                  ・子供たちへの防災教育                  ・地区担当制による地域の支援                  ・津波避難等含む防災教育の実施                  ・防災福祉コミュニティ訓練実施回数828回、市民防災リーダー育成数814人(全市)</p> <p>〈26年度事業〉                  事業継続</p>	<p>36 地域活動、防災福祉コミュニティ活動など市民活動への男女共同参画の推進(危機管理室・市民参画推進局・環境局・産業振興局・区役所・消防局)</p> <p>【実績の評価】                  ・平成25年度においても訓練回数を概ね維持しており、継続して、地域の方々の参加しやすい環境づくりに取り組んでいる。                  ・消防団ポンプ操法大会に初めて2名の女性団員が出場した。女性も地域活動に参加しやすい環境が整備されつつあることがうかがえる。</p>	<p>36 地域活動、防災福祉コミュニティ活動など市民活動への男女共同参画の推進(危機管理室・市民参画推進局・環境局・産業振興局・区役所・消防局)</p> <p>課題と今後の方向性                  消防団員のうち女性の占める割合が、他の政令指定都市と比較して少ないため今後も積極的に呼びかけを継続していく。定員の関係があるため早急な採用は困難であるが、当面は4%を目標に進めていく。  <b>【女性消防団員の割合】</b>                  当市:全団員 3,835名 女性団員 118名 3.1%(平成26年4月1日)                  東京都及び政令指定都市(消防団がない大阪市を除く19市)のうち、上から14番目。</p>
<p>37 男女共同参画社会の実現をめざす市民活動への支援(市民参画推進局)</p> <p>26年度 予算 33,923 千円</p> <p>〈25年度実績〉  <b>男女共同参画センター(あすてっぷKOBE)の運営</b>                  女性の地位向上及び男女共同参画社会実現のための拠点施設として、女性の意識啓発・エンパワーメントのためのセミナーや就業支援のための実務講座、また男性のための講座のほか、女性のグループの活動・交流支援、情報ライブラリーの運営、女性のための相談室の運営などを行い、すべての主催講座で一時保育を行っている。                  センター利用者数 40,971人 セミナー室利用率37.95%                  グループ学習室利用件数 542件                  情報ライブラリー貸出件数 1,052件                  女性のための相談室 2,266件                  男女共同参画セミナー 56回 延べ2,079人                  登録グループ数 66グループ</p> <p>〈26年度事業〉                  事業継続</p>	<p>37 男女共同参画社会の実現をめざす市民活動への支援(市民参画推進局)</p> <p>【実績の評価】                  登録グループとの共催セミナー(4講座)や、「あすてっぷKOBE企画・発信DAY」の参加者の満足度は高く、9割の方が「とても良かった」または「良かった」と感じていただいている。</p>	<p>37 男女共同参画社会の実現をめざす市民活動への支援(市民参画推進局)</p> <p>課題と今後の方向性                  引き続き男女共同参画社会の実現をめざす地域活動へ、情報提供や学習の場の提供など、活動拠点としての支援を行っている。</p>

事業概要(PLAN)

基本目標5 あらゆる人の自立を支える社会環境の整備

課題1 あらゆる人が安心して暮らせる環境の整備

(4)ユニバーサルデザインのまちづくり

105 ユニバーサルデザインの視点に立つ公共建築物、交通施設、道路、公園等の整備(保健福祉局・建設局・都市計画総局・各局室区)

高齢者や障がいのある人を含むすべての人が、安心かつ主体的に社会活動に参加できるまちづくりを進めるため、高齢者や障がいのある人をはじめさまざまな特性を持つ利用者の参画を得て、公共建築物や交通施設、道路、公園等のユニバーサルデザインを推進します。

108 ユニバーサルデザインの普及・啓発(市民参画推進局・保健福祉局・教育委員会)

「こうべUD広場」を核として、情報・啓発の拠点整備や普及推進を担う市民やこうべUDサポーターの拡大を図りながら、さまざまな事業を展開します。また、市民一人ひとりがユニバーサルデザインの考え方を正しく理解し、互いの多様性を認め合い、相手の立場に立って思い合う心を持って行動することができるよう、教育・啓発を進めます。



実施内容(DO)	
基本目標5 あらゆる人の自立を支える社会環境の整備	
課題1 あらゆる人が安心して暮らせる環境の整備	
(4)ユニバーサルデザインのまちづくり	
105	ユニバーサルデザインの視点に立つ公共建築物、交通施設、道路、公園等の整備(保健福祉局・建設局・都市計画総局・各局室区)
26年度 予算 174,276 千円	<p>〈25年度実績〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「神戸市バリアフリー基本構想」の推進</li> <li>・鉄道駅舎EV等設置補助 JR住吉駅・元町駅等 内方線(点字ブロックに沿って設置するホームの内側を示す線状ブロック)の設置に付する補助も実施</li> <li>・鉄道駅舎EV整備資金融資 神鉄鈴蘭台駅・山陽滝の茶屋駅・神戸高速新開地駅</li> <li>・ノンステップバス導入促進補助:山陽バス7台・神姫バス5台・阪急バス1台 計13台</li> </ul>
	<p>〈26年度事業〉</p> <p>引き続き鉄道駅舎でのエレベーター等設置などの都市環境の改善に取り組むとともに、「神戸市バリアフリー基本構想」を推進し、ソフト・ハード両面からユニバーサル社会の実現を目指していく。</p>
108	ユニバーサルデザインの普及・啓発(市民参画推進局・保健福祉局・教育委員会)
26年度 予算 5,427 千円	<p>〈25年度実績〉</p> <p>ユニバーサルデザインの推進(保健福祉局計画調整課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「こうべUD大学」を開催(年10回)(登録者数39名)</li> <li>・こうべUD広場の定期的な開催(毎月1回)</li> <li>・「こうべユニバーサルデザインフェア」を開催(来場者数約11,000名)</li> <li>・UD職員研修を実施(参加者数34名)</li> <li>・市内各所においてUDに関する展示を実施</li> <li>・こうべUDサポーターと協働で教材を開発するとともに、地域・学校等にサポーターを講師として派遣し、出前授業を行いUD教育を推進(24小学校、4中学校、4団体で実施)</li> <li>・「夏休み親子UD体験教室」を開催(参加者数86名)</li> <li>・地域組織が実施する先進的なUDの視点での取り組みを、UDサポーターと共に取材し、取材結果を冊子にして配布して広く情報発信を行うなど、地域でのUDの推進を図った。(累計49事業)</li> </ul>
	<p>〈26年度事業〉</p> <p>引き続き、誰もが住み慣れた地域で安心して快適に暮らせるよう、こうべUD広場(こうべユニバーサルデザイン推進会議)と連携して、協働と参画によるUDの意識づくり、しくみづくり等を推進する。</p>

評価(CHECK)	
基本目標5 あらゆる人の自立を支える社会環境の整備	
課題1 あらゆる人が安心して暮らせる環境の整備	
(4)ユニバーサルデザインのまちづくり	
105	ユニバーサルデザインの視点に立つ公共建築物、交通施設、道路、公園等の整備(保健福祉局・建設局・都市計画総局・各局室区)
	<p>【実績の評価】</p> <p>「神戸市バリアフリー推進会議」を開催し、「神戸市バリアフリー基本構想」の整備目標の進捗確認を行うことができた。また、補助制度を利用した駅舎のバリアフリー化やノンステップバスの導入が進み、バリアフリーのまちづくりにつながった。</p>
108	ユニバーサルデザインの普及・啓発(市民参画推進局・保健福祉局・教育委員会)
	<p>地域団体が実施するUDの視点での取り組み事業数(ふれあいのまちづくり協議会、景観形成市民団体等)</p> <p>平成27年度目標 67事業(累計)</p> <p>平成25年度実績 49事業(累計)</p> <p>【実績の評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年度より、先進的な取り組みをUDサポーターと共に取材して広く情報発信を行っている。その効果もあり、平成25年時点での目標を達成できた。</li> <li>・UD大学等の開催や、学校や地域でのUD出前授業・学習会を通じて、市民や事業者等へUDを普及・啓発することができた。</li> <li>・また、UDフェアを市・地域団体・事業者等の1年間のUDへの取り組みを発表できる場とし、単なる一過性のイベントではなく、多くの方がUDについてより深く考えられる機会となるように開催した。</li> </ul>

課題整理(ACTION)	
基本目標5 あらゆる人の自立を支える社会環境の整備	
課題1 あらゆる人が安心して暮らせる環境の整備	
(4)ユニバーサルデザインのまちづくり	
105	ユニバーサルデザインの視点に立つ公共建築物、交通施設、道路、公園等の整備(保健福祉局・建設局・都市計画総局・各局室区)
課題と今後の方向性	<p>「神戸市バリアフリー基本構想」の重点整備地区における主な整備目標に基づいた改善を着実に進め、公共・民間事業主の協力を得ながら、より多くの人の社会参画を図るまちづくりを推進していく必要がある。</p>
108	ユニバーサルデザインの普及・啓発(市民参画推進局・保健福祉局・教育委員会)
課題と今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より多くの人にUDの意識を広めていくためのしくみづくり(例:ふれあいのまちづくり協議会等の地域組織での啓発活動)を浸透・定着させる必要がある。</li> <li>・今後も、より効果的な普及・啓発事業に取り組み、市民意識の向上に努めていく。</li> </ul>

## 重点事項5 配偶者等からの暴力(DV)対策の強化

### 委員意見(平成25年度)

幅広く手厚い施策が取り組まれている。物理的暴力のみならず、精神的暴力・言葉の暴力等についての対策についてどうなっているのか、また、特に若い世代に広く知ってもらうことが大事。

#### 【若年層への啓発】

- ・デートDV予防啓発事業は全校を目標に比して実績が少なすぎる。更に継続的かつ効果的で強力な取り組みが必要。
- ・高校・大学生への啓発活動の充実が必要。市内大学の学生部との連携、教員のネットワークを利用したパンフレット配布や講演活動の実施を検討してはどうか。
- ・相談窓口の認知度向上に努めるだけでなく、身近な地域において、子どもへの虐待や家庭の問題について気付き、相談に乗り、通報できる体制の強化が望まれる。
- ・啓発は駅のチラシ設置、車内広告、情報誌(フリーペーパー)も活用してはどうか。

#### 【キャンペーンの効果】

キャンペーンは労力と見合う効果(相談件数の増など)を検証すべき。

#### 【相談件数と質の確保】

相談の裾野を広げることも大切だが、質の高いケアを継続して受けられているかも検証して評価することが大切だ。各区の母子婦人相談会の充実を図ることが継続的長期支援につながるのではないかと。初期の相談件数を上げるだけでなく、丁寧な支援のところが評価へ書き込む必要がある。

### 事業概要(PLAN)

#### 基本目標4 女性に対するあらゆる暴力

##### 課題1 神戸市配偶者等暴力(DV)対策基本計画(第2次)の推進

##### (1) 相談機能の充実

71	<b>神戸市配偶者暴力相談支援センターの充実(市民参画推進局)</b> 神戸市配偶者暴力相談支援センターでは、更にきめ細やかに対応するため相談体制の充実を図り、DV相談機関の中核としての連絡・調整機能を強化します。
72	<b>相談窓口の充実(市民参画推進局・こども家庭局・各区役所・市民病院機構)</b> 市民に身近な相談窓口であり、一時保護や自立支援等、福祉の相談窓口である各区保健福祉部の相談窓口について、さらなる機能充実を図り、関係機関との連携強化に努めます。また、男女共同参画センターやその他相談窓口の充実を図ります。

委員意見(平成26年度)

【市民・企業に対する啓発】  
 ・DV被害者支援ダイヤルカードは、コンビニエンスストアだけでなく、女性が集まる商業・集客施設にも設置し、周知に努めてはどうか。  
 ・企業への出前トークは、「ワーク・ライフ・バランス」の一環というように、企業に関心をもってもらえるような工夫をし、取り組んではどうか。  
 ・特に若年層への啓発の取り組みとして、市のホームページから関連ページへリンクを貼りつけるなど、ネットを通じた情報発信に積極的に努めるべきである。少なくとも啓発カードに書かれている関連団体などはリンクを貼ってほしい。  
 ・パープルリボンバッジは、学校の先生や市の職員など、支援する立場の人からまず身につけていく必要があると思うので、啓発方法を検討してほしい。  
 ・児童虐待とDVは密接な関係があるため、児童虐待防止のためのオレンジリボン運動との一体的な取り組みを進めていくことで、効果的な啓発ができるのではないかと。

実施内容(DO)	評価(CHECK)	課題整理(ACTION)
----------	-----------	--------------

基本目標4 女性に対するあらゆる暴力	基本目標4 女性に対するあらゆる暴力	基本目標4 女性に対するあらゆる暴力
課題1 神戸市配偶者等暴力(DV)対策基本計画(第2次)の推進	課題1 神戸市配偶者等暴力(DV)対策基本計画(第2次)の推進	課題1 神戸市配偶者等暴力(DV)対策基本計画(第2次)の推進
(1) 相談機能の充実	(1) 相談機能の充実	(1) 相談機能の充実
71 神戸市配偶者暴力相談支援センターの充実(市民参画推進局)	71 神戸市配偶者暴力相談支援センターの充実(市民参画推進局)	71 神戸市配偶者暴力相談支援センターの充実(市民参画推進局)
<p>〈25年度実績〉                      平成16年6月の改正DV防止法及びこれに基づく国の基本方針に対応して、配偶者暴力相談支援センターの業務を平成18年11月より開始し、DV被害者支援の一層の強化を図っている。                      ①相談(電話・面接)業務の実施 火曜日～日曜日(祝日含む) 午前9時～午後5時                      ②個別カウンセリング                      ③保護命令のための手続支援                      ④関係機関(警察、県立女性家庭センター、区役所、裁判所など)への同行支援及び被害者の安全確保や自立支援等のための連絡・調整                      ⑤支援者向け研修の開催                      ⑥25年度件数                      相談延べ件数2,424件(電話相談1,921件、面接相談299件、カウンセリング204件)                      同行支援24件、保護命令書面提出25件、証明書発行55件</p> <p>26年度                      予算                      17,013                      千円</p> <p>〈26年度事業〉                      事業継続</p>	<p>DVの相談窓口を知っている人の割合(市政アドバイザー意識調査) 平成27年度目標70%                      平成25年度実績 50.2%</p> <p>【実績の評価】                      DV防止啓発キャンペーン(期間:11月12日～25日)では、引き続き、相談窓口を記載した啓発グッズをさんちかで配布したほか、民生児童委員が地域で配布するなど窓口の周知に取り組んだ結果、12月の新規相談件数は前月比約10%アップし、1月以降も新規件数は増加した。しかし、市政アドバイザーの意識調査では50.2%と24年度に比べて1.7%低下した。</p> <p>目標項目1</p>	<p>神戸市配偶者暴力相談支援センターの充実(市民参画推進局)                      ・関係機関との役割分担と連携、民間支援団体との連携協力体制を今後も強化していき、相談者の立場に立ったきめ細やかな対応に努めていく。                      ・相談窓口の周知、啓発については、神戸市HPで啓発を行うほか、市政アドバイザーの年齢層が60歳以上44.9%と大きな比率を占めることから、広報こうべや啓発グッズの地域での配布にも重点を置いて取り組んでいく。</p> <p>課題と今後の方向性</p>
72 相談窓口の充実(市民参画推進局・こども家庭局・各区役所・市民病院機構)	72 相談窓口の充実(市民参画推進局・こども家庭局・各区役所・市民病院機構)	72 相談窓口の充実(市民参画推進局・こども家庭局・各区役所・市民病院機構)
<p>〈25年度実績〉                      女性のための相談室の運営(市民参画推進局男女共同参画課)                      ①夫婦・親子間、生き方等「こころの悩みの相談」                      ②離婚・親権・慰謝料等「法律相談」                      ③更年期等「からだの相談」                      ④就業等「就業・チャレンジ相談」                      ⑤一般電話相談                      ⑥25年度実績                      電話相談・面接相談(こころの悩み相談・法律相談・からだ相談・就業チャレンジ相談)                      計2,266件 うちDV関連232件</p> <p>26年度                      予算                      6,801千                      円</p> <p>〈26年度事業〉                      女性のための相談室の継続実施</p>	<p>外国語によるDVリーフレットの作成 平成27年度目標 7ヶ国語                      平成25年度実績 7ヶ国語</p> <p>【実績の評価】                      英語・中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語・ベトナム語・タガログ語 7言語で作成。今後も必要な言語の需要の把握に努めていく。</p> <p>目標項目2</p> <p>【実績の評価】                      女性のための相談室への相談は年々増加しており、特にDV事由で継続した支援が必要な方は配偶者暴力相談支援センターなどの専門機関へ適切に繋いでいる。</p>	<p>相談窓口の充実(市民参画推進局・こども家庭局・各区役所・市民病院機構)                      女性のための相談室、その他区などの窓口には寄せられるDV相談を配偶者暴力相談支援センターなどの専門機関に適切につなげていくなど、関係機関との連携を強化し、相談者に対する適切な支援を継続して実施していく。</p> <p>課題と今後の方向性</p>

事業概要(PLAN)

(3) 被害者の自立支援と生活再建の支援	
75	生活基盤を整えるための支援 (市民参画推進局・こども家庭局・各区役所)
	被害者の個々の状況に応じ、必要な経済的支援を適切に行います。
81	心理的ケアの充実 (市民参画推進局)
	神戸市配偶者暴力相談支援センターでの個別カウンセリング体制を強化します。また、大学等関係機関と連携して実施している被害者へのグループカウンセリングについて、関係機関に周知します。なお、長期的な心理的ケアの必要な被害者について、支援のあり方を検討するほか、DV被害者同士の自助グループの形成について支援します。
(4) 教育・啓発の推進	
82	市民・企業に対する啓発(市民参画推進局・教育委員会)
	DV防止啓発のためのキャンペーンやDVを含むあらゆる暴力を許さないための啓発事業を更に積極的に実施します。なお、加害者更生施策については、国及び他の自治体の取り組み状況において、実効性のある施策を把握します。



実施内容(DO)		評価(CHECK)	課題整理(ACTION)
(3) 被害者の自立支援と生活再建の支援		(3) 被害者の自立支援と生活再建の支援	(3) 被害者の自立支援と生活再建の支援
75	<p>生活基盤を整えるための支援 (市民参画推進局・こども家庭局・各区役所)</p> <p>〈25年度実績〉 DV被害者の保護、自立支援(こども家庭局こども家庭支援課) DV被害者に対する保護・自立支援に向けて各区保健福祉部、北須磨支所保健福祉課、北区北神保健福祉課で、次の対応を行っている(こども家庭局こども家庭支援課所管分)。 ①各区保健福祉部、北須磨支所保健福祉課、北区北神担当保健福祉課にて被害女性からの相談を受理。 相談延べ件数 20,963件(内、DV相談件数 1,286件) ②兵庫県配偶者暴力相談支援センターへ一時保護依頼。危険性が低い場合は、市内の母子生活支援施設にて短期保護実施。 一時保護依頼件数 52件(内、DVを主訴とする保護依頼件数 37件) 短期保護件数 36件(内、DVを含む「家庭からの逃避」による保護件数 17件) ③関係機関との連携による自立支援。 ④各区担当者・母子生活支援施設職員向けに、神戸市配偶者暴力相談支援センター・男女共同参画センターと協力して研修の実施。 母子生活支援施設職員及び母子婦人相談担当者合同研修会 平成26年2月14日(出席者20名)</p> <p>〈26年度事業〉 事業継続</p>	<p>生活基盤を整えるための支援 (市民参画推進局・こども家庭局・各区役所)</p> <p>【実績の評価】 相談者の心情に配慮した対応を実施するとともに、母子・婦人相談と保健相談と連携を図るなど、確実な支援に繋げている</p> <p>各区に配置されている母子・婦人相談員は、相談者からの電話・来所相談を受けて、相談者の抱えている問題や課題を全体的に把握し、自立支援に向けて相談者の個別のニーズに応じた支援を実施している。たとえば、継続的に電話・来所相談を受けたり、法的支援・心理的支援などの紹介、緊急避難支援をするなどの支援を実施している。</p>	<p>生活基盤を整えるための支援 (市民参画推進局・こども家庭局・各区役所)</p> <p>「神戸市配偶者暴力対策基本計画」の推進について、担当職員に周知を図る。また、神戸市配偶者暴力相談支援センター等関係機関との連携・協力をさらに密にしていく。</p> <p>課題と今後の方向性</p>
26年度 予算 3,960千 円			
81	<p>心理的ケアの充実 (市民参画推進局)</p> <p>〈25年度実績〉 ①DV被害者のグループカウンセリングの実施 延べ45名参加 ②DV被害当事者グループ活動支援事業 ③(DV関連セミナー) ・DV情報提供会 「知ってますか？DVのこと」6月7日 4名、9月6日 8名、12月6日 6名、3月7日 3名 ・DV防止セミナー 「モラルハラスメントってなに？」9月26日 26名 「親密な関係における暴力について」11月28日 27名 ・性暴力被害者支援公開講座(民間支援団体との共催)</p> <p>〈26年度事業〉 事業継続</p>	<p>81 心理的ケアの充実 (市民参画推進局)</p> <p>グループカウンセリングの実施回数 平成27年度目標 2クール/年 平成25年度 実績 2クール</p> <p>【実績の評価】 子どもとの関係の再構築や再被害の防止など参加者の回復に大きな成果があった。</p> <p>目標項目3</p> <p>DV防止に関するセミナーの参加者 平成27年度目標 400人/年 平成25年度実績299人/年</p> <p>【実績の評価】 前年度同様、目標を下回ったが、セミナー参加者にはDV被害者も含まれているため、安全に配慮しながら、広く市民にDVについて知っていただけるよう、広報に努めていく。</p> <p>目標項目4</p>	<p>81 心理的ケアの充実 (市民参画推進局)</p> <p>引き続き被害者へのグループカウンセリングについて、関係機関に周知するとともに、長期的な心理的ケアの必要な被害者について、きめ細やかな支援に努めていき、DVの予防啓発のためのセミナー等の開催及び周知に努めていく。</p> <p>課題と今後の方向性</p>
26年度 予算 -千円			
(4) 教育・啓発の推進		(4) 教育・啓発の推進	(4) 教育・啓発の推進
82	<p>市民・企業に対する啓発(市民参画推進局・教育委員会)</p> <p>〈25年度実績〉 DV防止に関する啓発として、啓発資料の作成や情報紙への掲載、各種セミナーを実施している。 ①DV検討会 (平成25年7月2日・平成26年1月24日) ②DV啓発の推進 (パープルリボンバッジ作成、配布) ③DV防止キャンペーン 啓発資料の配布等を行うキャンペーンを実施し、市民にDV防止についての周知・啓発を行う。 啓発資料の配布:11月～ あすてっぷKOBE、各区役所等で配布 11月12日 さんちか夢広場で配布 ライトアップ施設:ポートタワー、モザイク観覧車、フラワーロード(H25初)、明石海峡大橋(H25初)</p> <p>〈26年度事業〉 事業継続</p>	<p>82 市民・企業に対する啓発(市民参画推進局・教育委員会)</p> <p>企業への出前トークの実施回数 平成27年度目標 5回/年 平成25年度実績 なし</p> <p>【実績の評価】 出前トークの依頼実績はなかったが、パープルリボンバッジを男女共同参画推進会議で配布したり、「こうべ男女いきいき事業所」(61事業所)に送付したりなど、企業向けの意識啓発に取り組んでいる。 また、DV防止キャンペーンにおいては、パープルリボン作成協力者(H24:10,310個→H25:13,050個)やライトアップ施設は開始当初より増加してきている。</p> <p>目標項目5</p>	<p>82 市民・企業に対する啓発(市民参画推進局・教育委員会)</p> <p>パープルリボンのキャンペーンは浸透してきていると思われるが、更なる相談窓口の周知に努めていく必要がある。その取り組みのひとつとして、神戸市との包括連携に関する協定を締結している(株)ファミリーマート・(株)ローソンの神戸市内の店舗の女性トイレにDV被害者支援ダイヤルカードを設置するように協力を求めている。</p> <p>課題と今後の方向性</p>
26年度 予算 276千円			

事業概要(PLAN)

83	<p><b>若年層等への教育・啓発及び教育関係者に対する啓発(市民参画推進局・教育委員会)</b></p> <p>高校生に向けた「デートDV」予防啓発事業を積極的に実施します。また、学校と関係機関の連携を強化します。更に、大学におけるデートDV防止プログラムの実施について検討します。</p>
(5) 推進体制の充実	
86	<p><b>被害者を担う関係者の人材育成(市民参画推進局・教育委員会)</b></p> <p>DV被害者には、性的マイノリティを含め、様々なケースがあることを認識するなど、被害者への二次的被害を防ぎ、資質の向上に努めます。また、支援者等関係者のセルフケアを目的とした研修を実施し、関係者の二次的受傷の防止を強化します。 実務担当者以外の市職員に対して、研修計画を立ててDV研修を実施します。</p>
87	<p><b>関係機関の連携・協力(市民参画推進局・各局室区)</b></p> <p>男女共同参画推進本部及び男女共同参画推進会議で、重点的に取り組みます。また、国、県や他の市町村、民間支援団体を含む様々な関係機関との連絡会議を立ち上げるほか、庁内DV対策関係課長会議及びネットワーク会議において、被害者支援施策の検討や情報交換、事例検討を行います。 更に警察との連携により、通報者の安全を確保するための仕組みについて検討します。 なお、民間支援団体が十分な活動ができるよう、効果的な支援を実施します。 被害者等からの苦情対応のためのフローチャートを広く広報し、対応内容については、申出者及び当該苦情関係機関にフィードバックし、必要な機関で情報を共有します。</p>

実施内容(DO)		評価(CHECK)		課題整理(ACTION)	
26年度 予算 849千円	83 若年層等への教育・啓発及び教育関係者に対する啓発(市民参画推進局・教育委員会)	83 若年層等への教育・啓発及び教育関係者に対する啓発(市民参画推進局・教育委員会)	83 若年層等への教育・啓発及び教育関係者に対する啓発(市民参画推進局・教育委員会)		
	<p>〈25年度実績〉 若者に向けたDVの予防啓発として、市内の高校生等を対象に予防啓発プログラム等を実施する。 高校3校・中学12校 教職員0回</p> <p>〈26年度事業〉 事業継続</p>	<p>デートDV予防啓発事業実施校数 平成27年度目標 全校 平成25年度実績 28校(累計)</p> <p>【実績の評価】 25年度も引き続き、校長会や養護教諭部会で研修の依頼を行ったが、過密カリキュラム中でデートDV予防啓発の時間を割くことが難しい学校もあり、実施は16校(累計32校)に留まった。目標の全校を達成するために、講師派遣によるデートDV予防啓発実施だけでなく、各校での教職員による実施を含め、在学中の3年間で一度はDVについて学べるような取組みが必要である。</p>	<p>デートDV予防啓発事業実施校数 平成27年度目標 全校 平成25年度実績 28校(累計)</p> <p>【実績の評価】 25年度も引き続き、校長会や養護教諭部会で研修の依頼を行ったが、過密カリキュラム中でデートDV予防啓発の時間を割くことが難しい学校もあり、実施は16校(累計32校)に留まった。目標の全校を達成するために、講師派遣によるデートDV予防啓発実施だけでなく、各校での教職員による実施を含め、在学中の3年間で一度はDVについて学べるような取組みが必要である。</p>	<p>若年層等への教育・啓発及び教育関係者に対する啓発(市民参画推進局・教育委員会) 26年度も予算を増やし、より多くの学校での研修実施に取り組むとともに、DVの関心が高い地域等を考慮して効果的な研修に努めていく。</p>	
(5) 推進体制の充実		(5) 推進体制の充実		(5) 推進体制の充実	
26年度 予算 一千円	86 被害者を担う関係者の人材育成(市民参画推進局・教育委員会)	86 被害者を担う関係者の人材育成(市民参画推進局・教育委員会)	86 被害者を担う関係者の人材育成(市民参画推進局・教育委員会)		
	<p>〈25年度実績〉 支援者向け研修(配偶者暴力相談支援センター・市民参画推進局男女共同参画課) ・7月13日「被害者支援機関の昨日と支援の実際について」72名 講師:兵庫県女性家庭センター 課長補佐 他 ・9月26日「スーパーバイズ研修」12名 ・12月4日「切れ目のない支援のために～行政と民間でできること～」27名 講師:民間支援団体スタッフ 他 ・2月26日「DV被害者を理解し、支援者の対応技術の向上を目指す」59名 講師:立命館大学大学院教授 内藤みちよ氏</p> <p>〈26年度事業〉 事業継続</p>	<p>支援者等関係者に対する研修の受講者数 平成27年度目標 1,000人/年 平成25年度実績 1,087人/年</p> <p>【実績の評価】 今後も関係者への研修を実施し、担当者の資質向上に努める。</p>	<p>支援者等関係者に対する研修の受講者数 平成27年度目標 1,000人/年 平成25年度実績 1,087人/年</p> <p>【実績の評価】 今後も関係者への研修を実施し、担当者の資質向上に努める。</p>	<p>被害者を担う関係者の人材育成(市民参画推進局・教育委員会) ・民間支援団体の活動実績に副うような助成を検討するとともに、支援者養成研修を実施し支援の裾野を広げていく。 ・実務担当者以外の市職員に対する研修では、引き続き「人権シート」の活用を続け、その他の方法についても検討していく必要がある。</p>	
26年度 予算 1,200千円	87 関係機関の連携・協力(市民参画推進局・各局室区)	87 関係機関の連携・協力(市民参画推進局・各局室区)	87 関係機関の連携・協力(市民参画推進局・各局室区)		
	<p>〈25年度実績〉 DV被害者支援活動補助(市民参画推進局男女共同参画課) 民間団体が行っているシェルター運営や、PTSDを抱えるDV被害者や日本語の不自由な外国人DV被害者への関係機関・施設等への同行支援に対して補助を行う。  DV被害者への対応に関し、庁内の関係各課が、相互に連携しながら、DV被害者への適切な支援の取り組みを推進するため、「神戸市DV対策関係課長連絡会議」を設置する。 ・関係各課の取り組みについての情報交換 ・DV対策についての研究協議 ・個別事例の研究 等</p> <p>〈26年度事業〉 事業継続</p>	<p>庁内DV対策ネットワーク会議の実施回数 平成27年度目標 2回/年 平成25年度実績 1回/年</p> <p>【実績の評価】 計画進捗状況確認の機会なども通じて随時連携に努めているが、庁内DV対策ネットワーク会議の開催は1回に留まった。</p>	<p>庁内DV対策ネットワーク会議の実施回数 平成27年度目標 2回/年 平成25年度実績 1回/年</p> <p>【実績の評価】 計画進捗状況確認の機会なども通じて随時連携に努めているが、庁内DV対策ネットワーク会議の開催は1回に留まった。</p>	<p>関係機関の連携・協力(市民参画推進局・各局室区) ・必要に応じ、県・県警など庁外の関係機関や民間のDV被害者支援団体等との連携・協力を図っていく。 ・庁内DV対策関係課長会議、ネットワーク会議においては、次期改革策定に向けてより緊密に情報共有を行い、連携を図る必要がある。</p>	

**重点事項6 市の事業所としての取り組み**

委員意見(平成25年度)  
 ・局長級に女性が1人もいないことは残念。部長級の人数も少ない。企業の取り組みを参考に少なくとも部長級に対して個人毎にキャリアカルテなどを作成し、確実に次のステップに進めるよう組織ぐるみでのフォローも必要。企業と同様に女性自身が昇任・昇格を望まないケースもあるので、課長級以上の女性職員と1対1又はグループ単位で、本人たちと利害の衝突しない第三者がヒヤリングを実施するか、全員にアンケートを取るなど、何があれば彼女たちが昇任・昇格しやすいのか、又はしたいと思えるのかを見つけ出し、対応策を講じることで女性管理職を増やすことが可能。  
 ・ポジティブアクションを掲げて取り組むのであれば、結果としての数字を割り当て制にするなどの具体的な措置が必要。

**事業概要(PLAN)**

**基本目標1 男女共同参画社会への啓発・教育の推進**

課題1 あらゆる世代・立場を視野に入れた意識啓発への取り組み

(4) 市職員に対する意識啓発の取り組み

13	<p><b>市職員に対する男女共同参画に関する研修の推進(行財政局・市民参画推進局・各局室区・人事委員会)</b></p> <p>職員が男女共同参画やセクシュアル・ハラスメントの防止について正しく理解するよう、研修を充実させます。また、管理職が、男女共同参画の視点から女性の能力を評価し、向上させていくことができるよう、研修を進めます。</p>
----	--

**基本目標3 女性の社会への更なる参画の促進**

課題1 政策・方針決定の場への女性の参画の促進

(1) 市政への女性の参画の促進

49	<p><b>市の審議会などへの女性委員の登用促進(行財政局・市民参画推進局・各局室区)</b></p> <p>女性委員比率35%以上を目標に、女性委員ゼロ審議会の解消、審議会に委員を推薦している団体などに対する協力依頼、職務指定委員についての柔軟な対応の検討、女性委員の人材情報の充実、女性委員登用状況の定期的な調査などを実施し、審議会などへの女性委員の登用促進を図ります。</p>
----	---



委員意見(平成26年度)

【男女共同参画に関する研修】  
 ・新規採用職員が増えてきており、職員の入れ替わりが激しくなっている。最初が肝心なので、新規採用職員に対する研修はしっかりと実施してほしい。  
 【女性の登用】  
 ・他市では、女性役員が就任した自治会への助成制度を設けているところがあり、女性役員の率が上昇した。役員に女性を登用した自治会からは、今のところ、概ねよかったという意見が聞かれている。  
 ・市の職員採用の際に女性に加点することは難しいだろうが、昇進に際しては積極的な女性登用に努めてほしい。  
 ・女性の係長昇任選考の受験率がなかなか上がらない。取り組みはしているようだが、原因を分析してより効果的な取り組みが望まれる。  
 ・メンター制度については、一部の部署のみを対象にパイロット的に実施してみてもどうか。同時に、女性職員に対するキャリアデザインを考えるための働きかけも必要。  
 ・女性委員の登用率が低い市の審議会などについては、その理由を分析し、取り組みを進めていくべきである。

実施内容(DO)		評価(CHECK)	課題整理(ACTION)
<b>基本目標1 男女共同参画社会への啓発・教育の推進</b> 課題1 あらゆる世代・立場を視野に入れた意識啓発への取り組み (4)市職員に対する意識啓発の取り組み		<b>基本目標3 女性の社会への更なる参画の促進</b> 課題1 政策・方針決定の場への女性の参画の促進 (1)市政への女性の参画の促進	<b>基本目標1 男女共同参画社会への啓発・教育の推進</b> 課題1 あらゆる世代・立場を視野に入れた意識啓発への取り組み (4)市職員に対する意識啓発の取り組み
13 市職員に対する男女共同参画に関する研修の推進(行財政局・市民参画推進局・各局室区・人事委員会) <25年度実績> 男女共同参画に関する職員研修(行財政局職員研修所) ※人権研修実施計画の中で、男女共同参画を主要なテーマと位置づけ研修を実施。 ①基本研修(階層別研修) ・カリキュラムのひとつとして、「人権」をテーマに男女共同参画の視点を取り入れ実施。 新規採用職員研修 323名、課長昇任時研修 77名 ・カリキュラムのひとつとして、「ダイバーシティとワーク・ライフ・バランス」をテーマに実施。 採用3年次職員研修 208名 ②専門研修 職場人権リーダー養成研修 80名 仕事と家庭の両立支援セミナー 23名 人材育成セミナー 32名 ③職場人権リーダー研修時に、男女共同参画をテーマの1つとして実施。 人権問題職場研修(延べ4,175名) 人権シート研修(全職員) <26年度事業> ①基本研修(階層別研修) ・新規採用職員研修 330名 ・3年次研修 約240名(予定) ・課長昇任時研修 約130名(予定) ②専門研修 ・女性活躍推進ワークショップ ・職場人権リーダー養成研修 ③職場研修 ・人権問題職場研修 ・人権シート研修 26年度予算 一千円	13 市職員に対する男女共同参画に関する研修の推進(行財政局・市民参画推進局・各局室区・人事委員会) 【実績の評価】 採用3年次職員研修において、ダイバーシティとワーク・ライフ・バランスをテーマとした研修を新たに実施するとともに、管理職に対しても、多様性を重視した人材育成の重要性をテーマとした研修を行い、より幅広い層の職員の意識啓発を行った。採用3年次研修の受講者からは、「変えようという意識が大切」「時間管理の重要性がわかった」などの感想があった。	13 市職員に対する男女共同参画に関する研修の推進(行財政局・市民参画推進局・各局室区・人事委員会) ・職員一人ひとりが、男女共同参画の意義や重要性について理解するために、引き続き、研修のあり方(内容・対象職員等)について検討していく必要がある。具体的には、平成26年度に立ち上げた市役所改革のための「ダイバーシティ・人材育成プロジェクトチーム」や女性活躍推進ワークショップを通じて、働きやすい環境づくりについて検討している。 課題と今後の方向性	
<b>基本目標3 女性の社会への更なる参画の促進</b> 課題1 政策・方針決定の場への女性の参画の促進 (1)市政への女性の参画の促進		<b>基本目標3 女性の社会への更なる参画の促進</b> 課題1 政策・方針決定の場への女性の参画の促進 (1)市政への女性の参画の促進	<b>基本目標3 女性の社会への更なる参画の促進</b> 課題1 政策・方針決定の場への女性の参画の促進 (1)市政への女性の参画の促進
49 市の審議会などへの女性委員の登用促進(行財政局・市民参画推進局・各局室区) <25年度実績> 目標(平成27年度末までに35%以上)の達成を図るため、平成23年度から平成27年度までの登用実施計画に基づき、各審議会等の所管課に対し、委員改選や委員選定に女性委員の登用を働きかけた。 [参考] 女性委員の登用率の推移 平成11年度末時点 17.9% ⇒ 平成25年度末 31.6% (女性委員数/全体委員数)(402人/2,252人) (842人/2,664人) 会議数 141(内女性委員0の会議数 20) <26年度事業> 引き続き、平成27年度までの登用実施計画に基づき、各審議会等の所管課に対し、委員改選や委員選定に女性委員の登用を働きかけていく。	49 市の審議会などへの女性委員の登用促進(行財政局・市民参画推進局・各局室区) 市の審議会における女性委員の登用率 平成27年度目標 35% 平成25年度 実績 31.6% 目標項目1 【実績の評価】 平成23年度(33.5%)から減少傾向にあり、目標の達成に向けて、より一層の取り組みが必要である。	49 市の審議会などへの女性委員の登用促進(行財政局・市民参画推進局・各局室区) ・分野によっては、女性の専門家が少なかったり、全くいなかったりする場合があります。そうした分野の審議会等では、特定の女性委員に委嘱が集中したり、女性委員の登用が困難となっている。 例)国民保護協議会【女性委員数3名(全委員数73名)、女性委員比率4.1%】、各地区市街地再開発審査会(5地区計)【女性委員数1名(全委員数41名)、女性委員比率2.4%】(25年度末時点) ・特定の女性に集中する場合、別途、指針で設けている重複制限に抵触する恐れがある。 ・女性委員登用に関して各局からの相談に対応するためには、様々な分野における人材データの収集・蓄積が必要となっている。 ・①特定の範囲の対象者から選挙等の方法で選任されるような取り決めがされている委員の場合、②当該附属機関等の担当事務に密接な関連を有する団体を代表する者及びこれらに準ずると認められる者である場合、③専門的な知識、経験を有する者が他に得られない場合など特別な事情があると認められる場合なども男女共同参画の趣旨からできるだけ女性委員からの選任に努めていく。 課題と今後の方向性	

事業概要 (PLAN)

(3) 市における女性職員の職域拡大と登用促進

56	<p><b>ポジティブ・アクション(積極的改善措置)としての女性職員の職域拡大の促進(行財政局・消防局・交通局・各局室区)</b></p> <p>人材開発の観点から職務分担を考え、女性職員が特定の職場や職務に偏ることなく、出産等のライフサイクルに合わせた柔軟な人事配置又は登用を実施し、多様な仕事を経験しながら、能力を向上させていくことができるように、ポジティブ・アクションとして職域拡大を進めます。同時に、部下を育成する観点から管理職の意識啓発にも努めます。</p>
57	<p><b>女性職員の管理職への登用の促進・支援(行財政局・消防局・人事委員会・各局室区)</b></p> <p>女性職員が管理職をめざしやすい環境をつくっていくため、女性職員に対する管理職への意識啓発を図るとともに、ステップアップのための研修を行うなど、管理職登用の第1段階である係長等昇任選考を受験しやすい環境づくりを行い、女性職員の管理職への登用を促進・支援します。</p>
58	<p><b>女性職員の働きやすい職場環境の整備(行財政局・市民参画推進局・教育委員会・各局室区)</b></p> <p>女性職員の職域拡大と登用促進、女性教職員の管理職への登用、セクシュアル・ハラスメントの防止や女性の健康対策の充実、仕事と家庭の両立をしやすい職場環境づくりなど女性職員の働きやすい職場環境の整備に努めます。また、女性職員に限らず、非常勤職員の働きやすい職場環境の整備について検討します。</p>

実施内容(DO)													
(3)市における女性職員の職域拡大と登用促進													
56	<p>ポジティブ・アクション(積極的改善措置)としての女性職員の職域拡大の促進(行財政局・消防局・交通局・各局室区)</p> <p>〈25年度実績〉 次世代育成支援対策推進法にかかる「特定事業主行動計画」等の推進(行財政局人事課) 子育てにかかる休暇制度の情報発信 ①男女共同参画推進員(局の庶務担当係長等)に対する研修の実施(6月) ②仕事と子育ての両立支援セミナー(希望者)を実施(10月) ③イントラネットの活用</p> <p>〈26年度事業〉 イントラネット・研修等を活用し、休暇制度の情報発信を強化し、職員(取得対象者・所属長)への周知徹底を図ることにより、男性職員の育児休業等の取得率の向上や休暇の取得促進に努めていく。</p> <p>26年度予算 -千円</p>												
57	<p>女性職員の管理職への登用の促進・支援(行財政局・消防局・人事委員会・各局室区)</p> <p>〈25年度実績〉 係長昇任選考制度(人事委員会事務局任用課) 更なる女性職員の登用にむけて、係長昇任選考の受験者に占める女性受験者の割合の向上を目指すため、係長昇任に対する意識が高まるよう啓発活動に取り組む。 ①昇任選考制度の情報提供のため、係長昇任選考説明会を実施(参加者 43名、うち女性 6名) ②女性管理職との交流会を実施 27名参加</p> <p>〈26年度事業〉 ①係長昇任選考説明会 ②女性職員のためのキャリア形成応援セミナー(関係部局と調整中)</p> <p>26年度予算 -千円</p>												
26年度予算 -千円	<p>〈25年度実績〉 女性管理職の登用(行財政局人事課) 「神戸市職員いきいきプラン～神戸市人材育成基本計画～(平成15年8月策定)」に基づき、係長昇任試験の見直しや人事異動等を通じて、女性職員の管理職への積極的登用を図る。</p> <p>平成26年4月1日現在</p> <table border="0"> <tr> <td colspan="2">左のうち一般行政事務</td> </tr> <tr> <td>局長級 1</td> <td>局長級 1</td> </tr> <tr> <td>部長級 22</td> <td>部長級 10</td> </tr> <tr> <td>課長級 93</td> <td>課長級 24</td> </tr> <tr> <td>係長級 367</td> <td>係長級 110</td> </tr> <tr> <td>計 483(人)</td> <td>計 145(人)</td> </tr> </table> <p>〈26年度事業〉 事業継続</p>	左のうち一般行政事務		局長級 1	局長級 1	部長級 22	部長級 10	課長級 93	課長級 24	係長級 367	係長級 110	計 483(人)	計 145(人)
左のうち一般行政事務													
局長級 1	局長級 1												
部長級 22	部長級 10												
課長級 93	課長級 24												
係長級 367	係長級 110												
計 483(人)	計 145(人)												
58	<p>女性職員の働きやすい職場環境の整備(行財政局・市民参画推進局・教育委員会・各局室区)</p> <p>〈25年度実績〉 男女共同参画推進員(サポーター)制度(市民参画推進局男女共同参画課) 職員一人ひとりの男女共同参画に関する理解を深め、男女ともに働きやすい職場環境づくりを進めるため、各局室区に係長級職員等男女各1名の「男女共同参画推進員(サポーター)」を設置し、各局室区において、男女共同参画に関する情報の収集提供や連絡・調整など、庁内の男女共同参画の推進を支援する役割を担う。 ①25年度推進員選任 4月1日 62名 ②こうべ男女共同参画ニュース 2回発行 ③男女共同参画サポーター研修 ・特別企画 6月26日(「『輝く私』神戸RICステーション」3周年記念イベント)参加者数 23名 ・第1回 7月31日(サポーター活動について、仕事・子育ていきいき両立プラン、係長昇任選考について 他)参加者数 27名 ・第2回 10月2日(「こうべ男女共同参画推進月間」企業セミナー)参加者数 12名</p> <p>〈26年度事業〉 ①26年度推進員選任 4月1日 62名 ②こうべ男女共同参画ニュース 4回発行予定 ③男女共同参画サポーター研修 3回予定</p>												

評価(CHECK)	
(3)市における女性職員の職域拡大と登用促進	
56	<p>ポジティブ・アクション(積極的改善措置)としての女性職員の職域拡大の促進(行財政局・消防局・交通局・各局室区)</p> <p>【実績の評価】 男女共同参画推進員(サポーター)研修などを通じ、制度の周知や休暇取得の奨励を図ることができた。</p> <p>目標項目2</p>
57	<p>女性職員の管理職への登用の促進・支援(行財政局・消防局・人事委員会・各局室区)</p> <p>市の係長昇任選考(一般行政A、B選考)全受験者に占める女性受験者の割合 平成27年度目標 20%</p> <p>平成25年度 実績 20.3%</p> <p>【実績の評価】 目標の20%は上回ったが、女性職員の受験率は10年以上大きな変化はなく、男性職員の受験率の低下傾向の影響によるものと思われる。</p> <p>目標項目2</p>
26年度予算 -千円	<p>市の係長級以上の女性管理職の割合(一般行政・事務職) 平成27年度目標 12%</p> <p>平成25年度 実績 10.0%</p> <p>【実績の評価】 昨年の実績を上回ったが、目標にはまだ至っていない。女性の係長昇任選考受験率を引き上げるよう、引き続き取り組んでいく。</p> <p>目標項目3</p>
58	<p>女性職員の働きやすい職場環境の整備(行財政局・市民参画推進局・教育委員会・各局室区)</p> <p>【実績の評価】 研修の参加率は5割弱であるが、アンケートからは男女共同参画についての認識が深まったと見受けられる。特に特別企画で実施した「『輝く私』神戸RICステーション」3周年記念イベントへの参加者からは、「先進的な企業の取り組みについて学ぶことで刺激を受けた」などの感想があった。</p>

課題整理(ACTION)	
(3)市における女性職員の職域拡大と登用促進	
56	<p>ポジティブ・アクション(積極的改善措置)としての女性職員の職域拡大の促進(行財政局・消防局・交通局・各局室区)</p> <p>【次世代育成支援対策推進法にかかる「特定事業主行動計画」等の推進】 各年度において数値目標の達成状況を把握・点検し、その結果を踏まえて、必要に応じ施策の実施を行う必要がある。</p> <p>課題と今後の方向性</p>
57	<p>女性職員の管理職への登用の促進・支援(行財政局・消防局・人事委員会・各局室区)</p> <p>【係長昇任選考制度】 人物評価を重視した昇任選考制度へと制度改正をした平成18年度以後も、係長昇任選考の受験率は低い状況が続いている。 今後、これまでに寄せられた多くの意見を基に、改善点や問題点を検証し、他の部局とも連携しながら、管理職の職務の魅力が伝わる情報の発信に努め、より一層受験を奨励する職場環境を目指すために、対策を検討していく必要がある。</p> <p>課題と今後の方向性</p>
26年度予算 -千円	<p>【女性管理職の登用】 近年、女性職員の採用数が増加し、女性の職域は着実に広がっており、女性管理職数も増加している。しかしながら、その割合はまだ低水準にとどまっており、今後更なる女性職員の登用が望まれる。 そのため、平成18年度より実施した、女性のライフサイクルへの配慮を念頭に置いた係長昇任選考試験の制度変更を機に、係長昇任に対する意識を高めるよう啓発活動に取り組んでいる。また、「仕事・子育ていきいき両立プラン」に掲げられている、子育て中の職員に対する配慮・時間外勤務の縮減・休暇の取得促進等に向けた具体的な方針を推進していくことによって、女性が仕事と家庭との両立を行うことができる環境づくりをより一層推進し、女性の係長昇任選考試験受験率を引き上げていく必要がある。</p>
58	<p>女性職員の働きやすい職場環境の整備(行財政局・市民参画推進局・教育委員会・各局室区)</p> <p>【男女共同参画推進員(サポーター)制度】 各局に配置されているサポーターの制度について、「こうべ男女共同参画ニュース」を通じて広く広報する必要がある。なお、働きやすい職場環境について、平成26年度に立ち上げた市役所改革のための「ダイバーシティ・人材育成プロジェクトチーム」を通じて検討していく。</p> <p>課題と今後の方向性</p>





### (3) 男女共同参画施策の推進状況一覧



## 基本目標1 男女共同参画社会への啓発・教育の推進

### 課題1 あらゆる世代・立場を視野に入れた意識啓発への取り組み

#### (1) 男女共同参画に関する広報・啓発の充実

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>1 あらゆる世代・立場の市民および事業者を対象とした啓発</b>				
<b>「あすてっぷ講演会」の開催</b> 広く市民等を対象とした講演会を開催し、意識啓発をする。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> (日時)10月19日(土)13:30～15:30 (テーマ)「フィンランドのイクメン事情～イクメン大使のしあわせな子育て～」 (講師) 駐日フィンランド大使館 報道・文化担当 参事官 ミッコ・コイヴマー氏 (会場) 男女共同参画センター  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> (日時)10月25日(土)13:30～15:30 (テーマ)「私たちの暮らしとダイバーシティ～多様性と男女共同参画～」 (講師) 首都大学東京副学長兼ダイバーシティ推進室長 江原由美子氏 (会場) 男女共同参画センター	—	—	市民参画推進局 男女共同参画課 (男女共同参画センター)
<b>男女共同参画セミナーの開催</b> 男女共同参画センターにおいて男女共同参画の啓発セミナーを実施する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> ・こころとからだの健康セミナー(126参照) ・自己表現セミナー 6回 ・夫婦・家族の法律セミナー 3回 ・就業・チャレンジセミナー(67参照) ・あすてっぷ講演会 ・DV防止セミナー(82参照) ・男の生き方セミナー(5参照) ・シネマ&トーク 2回 ・育児休業からの職場復帰準備セミナー(30参照) ・護身セミナー1回  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> ・こころとからだの健康セミナー ・自己表現セミナー ・夫婦・家族の法律セミナー ・就業・チャレンジセミナー ・あすてっぷ講演会 ・DV防止セミナー ・男の生き方セミナー ・シネマ&トーク ・育児休業からの職場復帰準備セミナー ・護身セミナー	1,216	1,171	市民参画推進局 男女共同参画課 (男女共同参画センター)
<b>男女共同参画センターの運営</b> (37参照)	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> (37参照)  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> (37参照)	(37参照)	(37参照)	市民参画推進局 男女共同参画課 (男女共同参画センター)

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>2 「男女共同参画推進月間」の実施</b>				
<b>「こうべ男女共同参画推進月間」事業の実施</b> 毎年10月を「こうべ男女共同参画推進月間」と位置づけ、その期間中に啓発事業を集中的に実施する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> ①あすてっぷ講演会(1参照) ②企業セミナー (日時)10月2日(水)15:00～17:00 (会場)男女共同参画センター (内容)・こうべ男女いきいき事業所表彰 ・講演「神戸経済の活性化と男女共同参画」 ③あすてっぷ登録グループ企画・発信DAY ④シネマ&トーク「クレイマー、クレイマー」 ⑤男女共同参画の絵手紙イラストコンテスト入賞作品展示 ⑥広報 ・広報こうべ(10月号)、情報紙「あすてっぷKOBE」(10月号)、関係団体機関誌 ・横断幕の掲出(本庁、区役所、男女共同参画センター)  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> ①あすてっぷ講演会(1参照) ②企業セミナー (日時)10月7日(火)15:00～17:00 (会場)男女共同参画センター (内容)・こうべ男女いきいき事業所表彰 ・講演「ワーク・ライフ・バランス～仕事も家庭も一生懸命～」 ③あすてっぷ登録グループ企画・発信DAY ④シネマ&トーク「ニューヨークで暮らしています～彼女たちがここにいる理由～」 ⑤男女共同参画の川柳コンテスト入賞作品展示 ⑥広報 ・広報こうべ(10月号)、情報紙「あすてっぷKOBE」(10月号)、関係団体機関誌 ・横断幕、のぼりの掲出(本庁、区役所、男女共同参画センター) ・バナーの掲出(フラワーロード)	387 (再掲分除く)	371 (再掲分除く)	市民参画推進局 男女共同参画課 (男女共同参画センター)
<b>3 多様な広報媒体による広報・啓発の充実(その1)</b>				
<b>広報テレビ・ラジオ番組等での男女共同参画に関する情報発信</b>	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> -  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> ・ラジオ番組「サンデー神戸」において「こうべ男女いきいき事業所」について取材レポート	51,792	51,474 (全体)	市民参画推進局 広報課
<b>広報紙等への掲載</b>	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> ・広報紙KOBE 9月号 ・すくらむKOBE  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> ・広報紙KOBE 9月号 ・すくらむKOBE	—	—	市民参画推進局 広報課 男女共同参画課
<b>ホームページへの掲載・インターネットによる情報発信</b> 市の男女共同参画施策、神戸市男女共同参画センター、神戸婦人大学などの情報をホームページに掲載し、インターネットによる情報発信を行う。(13年3月～)	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 事業継続  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	—	—	市民参画推進局 男女共同参画課
<b>男女共同参画啓発リーフレットの作成・配布</b>	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 『こうべ男女いきいき事業所』表彰企業が取り組んでいる先進的な事例や制度、社会貢献活動等について紹介する「みんながいきいきと働くために」(改訂版)など配布  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 「みんながいきいきと働くために」(改訂版)など配布	—	—	市民参画推進局 男女共同参画課

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>3 多様な広報媒体による広報・啓発の充実(その2)</b>				
<b>男女共同参画センター 情報ライブラリーにおける啓発ビデオ等の貸出(対象)</b> 市内の企業・団体・学校・行政機関等	<25年度実績> 11件  <26年度事業> 事業継続	—	—	市民参画推進局 男女共同参画課 (男女共同参画センター)
<b>啓発冊子「あすへの飛翔」の作成</b> さまざまな人権課題についてとりあげ、人権意識の高揚と啓発を推進する。人権課題の一つである「女性の人権」については、男女共同参画社会基本法の趣旨や男女共同参画に関するデータ等を取り上げている。(平成14年度～)	<25年度実績> ・15,000部 ・市立中学1年生全員及び啓発行事等で配布  <26年度事業> ・15,000部 ・市立中学1年生全員及び啓発行事等で配布	763	763	保健福祉局人権推進課
<b>男女共同参画センター情報紙の発行(12年8月創刊)</b>	<25年度実績> 年4回発行(4月、7月、10月、1月) 各4,000部  <26年度事業> 事業継続	197	173	市民参画推進局 男女共同参画課 (男女共同参画センター)
<b>4 地域社会での男女共同参画についての啓発</b>				
<b>地域情報紙の提供</b> 住民自治組織の指導者に対し、地域情報紙「ふれあい」を発行・送付することにより、定期的に地域活動に関する事例の紹介、コミュニティ情報の提供を行う。 また、地域活動に関係の深い市政情報もあわせて提供し、地域広報の徹底を図るとともに市政への理解と協力を求める。	<25年度実績> 年2回発行 各14,500部  <26年度事業> 年2回発行 各16,500部	332	342	市民参画推進局 市民協働推進課
<b>5 男性に対する男女共同参画についての啓発</b>				
<b>男の生き方セミナーの開催</b> 男性が、自分自身の生き方を振り返り、「男らしく」でなく「自分らしく生きる」ということについて考える場とする。	<25年度実績> 11月9日「父と子の遊び大百科」 講師:榎本英樹氏 1月25日「心が折れない生き方講座」 講師:吉岡俊介氏 2月8日「中高年のためのリタイア生活応援講座」 講師:大阪樟蔭大学教授 石蔵文信氏 3月8日「イクジイ地域デビュー～孫育ては未来育て～」 講師:和田憲明氏  <26年度事業> 1月31日「男のコミュニケーション力(仮)」 講師:立命館大学非常勤講師 坊隆史氏 2月未定「男の悩み相談室」 3月7日「男のための夫婦関係講座(仮)」 講師:大阪樟蔭女子大学学芸部教授 石蔵文信氏	— (1に計上)	— (1に計上)	市民参画推進局 男女共同参画課 (男女共同参画センター)

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>6 人権教育・啓発の推進</b>				
<b>「第2次人権教育・啓発に関する基本計画」に基づく施策の推進</b>	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> ・神戸市人権教育・啓発推進本部(人権教育・啓発部会、UD部会、相談ネットワーク部会)の運営及び総合的な人権教育・啓発施策の展開 ・人権啓発用リーフレット「みんなにやさしいまち、みんながやさしいまち神戸をめざして」の作成 配布  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> ・神戸市人権教育・啓発推進本部(人権教育・啓発部会、UD部会、相談ネットワーク部会)の運営及び総合的な人権教育・啓発施策の展開 ・人権啓発用リーフレット「みんなにやさしいまち、みんながやさしいまち神戸をめざして」の作成 2,000部	736	748	保健福祉局人権推進課
<b>「人権教育の推進について」(教育委員会通知・平成14年4月)に基づく人権教育の推進</b>	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 教職員研修、教材・参考資料の整備、区域別学校園人権教育研究活動等  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	6,507	6,421	教育委員会事務局人権教育課

(2) 関係機関との連携による啓発の推進

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>7 企業・団体などへの出前講座の実施</b>				
<b>出前講座の実施</b> 男女共同参画推進会議と連携し、市民・事業者等の男女共同参画に関する理解と認識を深めることを目的として、推進会議構成団体及びその傘下の団体が実施する学習会、研修会等へ講師等の派遣などを行う。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 実施なし  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 引き続き推進会議構成団体及びその参加の団体へ実施していく。	80	80	市民参画推進局男女共同参画課
<b>8 男女共同参画推進会議による啓発事業の推進(その1)</b>				
<b>男女共同参画推進会議</b> 市内の地域団体、経済団体、教育団体等全市的な団体が構成する推進会議を開催し、情報・意見交換その他必要な連携を図り、男女共同参画社会の実現をめざして社会の幅広い分野での取組を推進する。(構成団体)市内の全市的な25団体及び学識経験者	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 2回開催 8月5日 第1回会議 ・「平成25年度こうべ男女共同参画推進月間行事(案)」について 他 ・講演 [NPO法人【仕事と子育て】カウンセリングセンター “輝く私”神戸RICステーション3年間の活動報告]  3月12日 第2回会議 ・平成25年度「こうべ男女共同参画推進月間行事」実施結果報告 ・神戸市男女共同参画推進会議 平成26年度事業計画(案) 他 ・講演 「ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて」神戸大学大学院 教授 上林 憲雄 氏  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 2回開催予定	626	637	市民参画推進局男女共同参画課

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>8 男女共同参画推進会議による啓発事業の推進(その2)</b>				
<b>推進会議ニュース「すくらむKOBÉ」の発行</b> 男女共同参画に取り組む個人や団体の紹介、市や国の動き、トピックスなどを掲載したニュース「すくらむKOBÉ」を発行し、推進会議を通じて、企業・団体への啓発を進める。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> VOL.26(8月発行)において、家族(母と娘)で頑張っている歯科用品販売店を紹介。平成24年度こうべ男女いきいき事業所表彰事業所である「日本政策金融公庫(神戸支店・神戸東支店)」を紹介。 VOL.27(2月発行)において、「踊り」を通じて交流や文化を発信に取り組んでいる女性を紹介。平成25年度こうべ男女いきいき事業所表彰事業所である「株式会社システムプラネット」を紹介。  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 25年度と同様に、年2回発行予定。	156	137	市民参画推進局 男女共同参画課

(3) 男女共同参画に関する調査・研究の推進

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>9 男女共同参画に関する調査</b>				
<b>市政アドバイザーへの男女共同参画に関する意識調査の実施</b> 施策の参考とするため、市政アドバイザーに対し、男女共同参画社会の実現にとって重要だと思われることや意識に関する調査を実施する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 25年10月実施 (対象)第12期市政アドバイザー約1,000人  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 26年6月実施 (対象)第12期市政アドバイザー約1,000人	—	—	市民参画推進局 男女共同参画課
<b>10 男女共同参画に関する情報の収集・整理・提供</b>				
<b>情報ライブラリーの運営</b> 男女共同参画センター内に男女共同参画・女性問題・男性問題に関する啓発図書、行政資料を備え、市民に提供する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 貸出件数 1,052件 蔵書数 図書9,196件 行政資料10,923件  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	310	304	市民参画推進局 男女共同参画課 (男女共同参画センター)
<b>男女共同参画センター情報紙の発行(12年8月創刊)</b>	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 年4回発行予定(4月、7月、10月、1月) 各4,000部  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	— (3に計上)	— (3に計上)	市民参画推進局 男女共同参画課 (男女共同参画センター)
<b>婦人教育に関する資料や情報の収集</b> 文部科学省及び国立女性教育会館などの婦人教育に関する資料や情報を収集。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 事業継続  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	20	74	教育委員会事務局 生涯学習課
<b>11 市内大学での男女共同参画に関する研究の推進</b>				
<b>神戸婦人大学(50参照)</b>	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 9月5日「男女共同参画と子育て・子育て支援」 神戸親和女子大学教授 勝木 洋子 氏  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 9月4日「男女共同参画と子育て・子育て支援」 神戸親和女子大学教授 勝木 洋子 氏	—	—	市民参画推進局 男女共同参画課

(4) 市職員に対する意識啓発の取り組み

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>12 市職員を対象とする意識調査</b>				
<b>「子育て支援に関するアンケート」調査の実施</b>	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 未実施  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 実施時期・内容を検討	—	—	行財政局人事課
<b>「男女共同参画の推進に関するアンケート」調査の実施</b> 男女の地位の平等感や重要と思われる施策などについて、職員を対象としてアンケートを実施する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 事業継続  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	—	—	市民参画推進局 男女共同参画課

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>13 市職員に対する男女共同参画に関する研修の推進</b>				
<b>職場研修の中での取り組み</b> 各局・室・区で毎年実施される人権研修や各課で毎年実施される倫理研修、その他の職場研修において、男女共同参画をテーマに取り上げ、職員の意識啓発を行う。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 事業継続  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	—	—	各局
<b>基本研修(階層別研修)及び専門研修・職場研修</b>	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 新規採用職員研修 採用3年次職員研修 他も事業継続  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	—	—	行財政局職員研修所
<b>男女共同参画推進員(男女共同参画サポーター)制度</b> 男女ともに働きやすい職場環境づくりを進めるため、各局室区に係長級職員等男女各1人の男女共同参画サポーターを設置し、男女共同参画に関する情報の収集提供や連絡・調整など、庁内の男女共同参画の推進を支援する役割を担う。(16年度～)	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> ①25年度推進員選任 62人 ②こうべ男女共同参画ニュースの発行(2回) ③サポーター研修の開催(3回)  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> ①26年度推進員選任 62人 ②こうべ男女共同参画ニュースの発行(3回予定) ③サポーター研修の開催(2回予定)。	29	29	市民参画推進局 男女共同参画課
<b>仕事と家庭の両立支援セミナー</b>	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 「仕事と子育ての両立支援セミナー」 10月30日  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 未定	—	—	行財政局人事課・ 職員研修所・市民 参画推進局男女 共同参画課
<b>女性職員の活躍推進に関する研修等</b>	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 12月18日 「女性管理職との交流会」 3月14日 人材育成セミナー  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 「女性活躍推進ワークショップ」(7月～2月 8回開催)	—	—	行財政局職員研修所・市民参画推進局男女共同参画課・人事委員会事務局

(5) 男女共同参画の視点に立つ社会制度・慣行の中立性への配慮、意識啓発

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>14 市民への広報・啓発活動の推進</b>				
<b>「こうべ男女共同参画推進月間」事業の実施</b> (再掲 2参照)	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> (2参照)  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> (2参照)	(2参照)	(2参照)	市民参画推進局 男女共同参画課
<b>男女共同参画セミナーの開催</b> (再掲 1参照)	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> (1参照)  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> (1参照)	(1参照)	(1参照)	市民参画推進局 男女共同参画課 (男女共同参画センター)
<b>15 男女共同参画に関連する法令等についての普及・啓発</b>				
<b>神戸婦人大学</b> (50参照)	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 9月28日 「国際社会における男女平等への営み～女性の権利と『文化』のはざままで～」 甲南大学法学部教授 中井 伊都子 氏  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 7月12日 「国際社会における男女平等への営み～女性の権利と『文化』のはざままで～」 甲南大学法学部教授 中井 伊都子 氏	—	—	市民参画推進局 男女共同参画課



**課題2 男女共同参画の視点に立つ教育の推進**

(1) 男女共同参画の視点に立つ家庭教育の推進

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>16 男女共同参画の視点に立つ家庭教育の推進</b>				
<b>推進会議ニュース「すくらむKOBÉ」における地域での男女共同参画への取り組みの紹介記事掲載</b> (8参照)	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> VOL.26(8月発行)において、家族(母と娘)で頑張っている歯科用品販売店を紹介。平成24年度こうべ男女いきいき事業所表彰事業所である「日本政策金融公庫(神戸支店・神戸東支店)」を紹介。 VOL.27(2月発行)において、「踊り」を通じて交流や文化を発信に取り組んでいる女性を紹介。平成25年度こうべ男女いきいき事業所表彰事業所である「株式会社システムプラネット」を紹介。  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 25年度と同様に、年2回発行予定。	— (8に計上)	— (8に計上)	市民参画推進局 男女共同参画課
<b>PTA活動</b> 神戸市立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、盲・養護学校のPTAによる子どもたちの健全育成活動を通じて、啓発を行う。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> PTA役員研修(前期2回、後期3回)  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> PTA役員研修(前期2回、後期3回)	129	129	教育委員会事務局 生涯学習課

(2) 男女共同参画の視点に立つ学校教育の推進(保育所・幼稚園を含む)

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>17 男女共同参画の視点に立つ指導計画の作成</b>				
<b>男女共同参画の視点に立つ指導計画の作成</b> 職員研修や校内委員会などで男女共生の理念に基づく取り組みが進められるようにする。例えば、名簿の順番、児童朝会での並ぶ順番等、従来からの慣例をそのまま踏襲してしまうことがないよう意識化を図る。特に男女混合名簿については、校長会や指導主事の学校訪問などで実施と定着を進めている。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> ・男女混合名簿の推進(23参照) ・教職員研修の充実  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 引き続き ・男女混合名簿の推進(23参照) ・教職員研修の充実	—	—	教育委員会事務局 人権教育課

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>18 男女共同参画に関する教材の充実・活用</b>				
<b>小学生向け男女共同参画教育用啓発資料「できることいっぱい」の作成・配布</b> 男女共同参画についての教育を実施することが、将来の意識形成に大きな意義を持つことから、小学生向け啓発資料「できることいっぱい」を作成、市内の小学3年生全員に配付し、授業等で活用してもらう。 (平成元年初版、12年改訂、15年部分改訂)	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 「できることいっぱい」を3～4年生の指導計画に引き続き位置づけ、道徳以外の学級活動でも活用する。  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 「できることいっぱい」を3～4年生の指導計画に引き続き位置づけ、道徳以外の学級活動でも活用する。	583	510	市民参画推進局 男女共同参画課
<b>「できることいっぱい」の活用</b> 男女共同参画課編集の「できることいっぱい」を利用し、特に3・4年生を対象に男女共同参画教育の視点からねらいを立て、道徳の時間を中心に年間計画に位置づけた指導を行っている。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 「できることいっぱい」を3～4年生の指導計画に引き続き位置づけ、道徳以外の学級活動でも活用する。  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	—	—	教育委員会事務局 人権教育課
<b>保育所での保育</b> 保育教材については、男女の区別なく同じものを使用している。年齢が高くなると、おもちゃなどは子どもが興味を示すものを与えるように保育士が配慮している。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 事業継続  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	864	889	こども家庭局子育て支援部
<b>小学生用人権教育資料「あゆみ」の改定</b> 20年度の「あゆみ3」(小学5・6年生用)の改定で「あゆみ」3冊の改定作業は終了。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 配布済の「あゆみ1」(小学1・2年生用)、「あゆみ2」(小学3・4年生用)、「あゆみ3」(小学5・6年生用)を教材として活用する。  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	—	—	教育委員会事務局 人権教育課
<b>道徳副読本の活用</b> 教育委員会では道徳副読本を作成し、道徳の時間に教材として使用している。その中で各学年段階で男女共同参画教育の観点から指導できる教材を配置している。低中学年では、みんながなかよくしようといった観点から、高学年では異性に対する正しい理解と男女間の友情を育てることに配慮する観点から、中学校では健全な異性観を培う観点から、年間指導計画に位置づけて指導している。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 事業継続 小4～6用改訂  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続 中1～3用改訂	8,926	10,237	教育委員会事務局 指導課
<b>選択制授業の実施</b> 子どもたちの発達段階に応じた自主性・自立性の育成を目指し、男女を問わず、自らが選択した体育授業(いわゆる選択制授業)の履修幅の拡大と男女共習授業の内容の充実を図る。 (男子のダンス履修、女子の柔道履修等)	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> ・中学校 未実施 ・高校 全校実施  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> ・中学校 平成24年度より新しい学習指導要領が全面実施となり、1、2年生は2年間ですべての領域が必修となった。また領域によっては男女共習、また、体格差・筋力差を考慮し領域によっては男女別習で実施することもある。3年生においては、各校の状況により生徒および学校が領域等を選択して実施する。その場合においては、ほぼ男女共習となる。 ・高校 全履修領域において選択制となっており、基本的に男女共習で実施する。体格差・筋力差を考慮しなければならない履修領域は男女別習で実施する場合もある。	—	—	教育委員会事務局 スポーツ体育課

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>19 教育・保育関係者への研修の充実</b>				
<b>基本研修</b> (目的)教職経験のそれぞれの段階に必要な研修として位置づけ、総合的な視点に立って基本的知識・技能・態度を養う。この中で、教員として必要な人権教育の視点、人権感覚の向上を図る。 (対象)市立学校園教職員	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 8月2・6日:人権教育の視点・人権感覚を養う「自尊感情の育成」対象:初任者研修 4月25日:人権教育の視点「自尊感情・共生の態度の育成」対象:教職経験者(8年目)研修 4月18日:人権教育の推進「自尊感情の育成」対象:臨時講師研修 10月3日・10月24日・11月11日:人権教育の推進「男女共同参画社会」対象:臨時講師研修  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 7月31日・8月4日:人権教育の視点・人権感覚を養う「自尊感情の育成」対象:初任者研修 4月24日・5月2日:人権教育の視点「自尊感情・共生の態度の育成」対象:教職経験者(8年目)研修 4月15日:人権教育の推進「自尊感情の育成」対象:臨時講師研修	—	—	教育委員会事務局総合教育センター
<b>全市管理職研修</b> (目的)管理職として職務に必要なより高度な専門知識、技能、態度を養い、教員一人一人が高い人権感覚を持ち、健康で、自信を持って職務に取り組めるように指導力を高める。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 4月30日:労務管理「個々の職員の尊重」対象:新任校園長研修 5月13日:労務管理「教員の指導力向上・メンタルヘルス」対象:二年度校園長研修 6月25日:職務管理「不応適や指導力不足の教員を出さないための職場づくり」対象:二年度教頭研修  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 4月28日:労務管理「個々の職員の尊重」対象:新任校園長研修 5月12日:労務管理「人権感覚・メンタルヘルス」対象:二年度校園長研修 6月24日:職務管理「不応適や指導力不足の教員を出さないための職場づくり」対象:二年度教頭研修	30	30	教育委員会事務局総合教育センター
<b>20 男女共同参画の視点に立つ主体的な進路・職業選択能力の育成</b>				
<b>男女共同参画の視点に立つ進路指導の徹底</b> 進路指導担当者会などで、女子向き、男子向きと固定的にとらわれない進路指導を研修し、保護者会などの講話にも留意するようにする。 特別活動等で就業体験を行う際に、幅広い体験ができるようにする。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 5月17日 第1回進路指導研修会(第3学年担当者対象)の開催 7月24日 初任者研修(進路指導)の開催 11月21日 第2回進路指導研修会(第1学年担当者対象)の開催  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 5月16日 第1回進路指導研修会(第3学年担当者対象)の開催 5月13日 初任者研修(進路指導)の開催 8月8日 第2回進路指導研修会 11月20日 第3回進路指導研修会(第1学年担当者対象)の開催	26	27	教育委員会事務局指導課

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>21 職業観・勤労観を育てる就労教育・キャリア教育の推進</b>				
<b>女性学関係講座の開講</b> 神戸市看護大学では女子学生が大半を占めており、女性の社会的貢献および意義についての教育研究が必要であるため、「女性学」関係の講座を開講している。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> ①「ジェンダー論」 高田昌代教授、藤井ひろみ准教授他 ②「女性と女性の健康」(単位互換講座・UNITY、なお高大連携講座として高校生にも授業を開講している。) 高田昌代教授  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> ①「ジェンダー論」 高田昌代教授、藤井ひろみ准教授他 ②「女性と女性の健康」(単位互換講座・UNITY、なお高大連携講座として高校生にも授業を開講している。) 高田昌代教授 他	—	—	保健福祉局看護大学
<b>指導担当者会などでの研修の実施</b>	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 5月17日 第1回進路指導研修会兼キャリア教育重点推進校打合会の開催 7月24日 初任者研修(進路指導)の開催 11月21日 第2回進路指導研修会にてキャリア教育重点推進校打合会の開催  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 5月16日 第1回進路指導研修会兼キャリア教育重点推進校打合会の開催 5月13日 初任者研修(進路指導)の開催 8月8日 第2回進路指導研修会 11月21日 第3回進路指導研修会にてキャリア教育重点推進校打合会の開催	26	26	教育委員会事務局指導課
<b>キャリア教育の推進</b> 小中高の発達段階に応じたキャリア教育の実施、その道の達人に学ぶ体験講座等の実施、企業・事業者の協力を得て、「大人・親の働く姿を見せる運動」を展開。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 事業継続 小中高の発達段階に応じたキャリア教育の実施、その道の達人に学ぶ体験講座等の実施、企業・事業者の協力を得て、「大人・親の働く姿を見せる運動」の展開を行った。 ・小中高の発達段階に応じたキャリア教育の推進 小中学校での重点推進校でのキャリア教育の実践研究。 ・その道の達人に学ぶ体験講座 夏休みなどに、様々な分野のプロを招き、体験活動を開催 講座数78講座 参加人数7,167人 ・大人・親の働く姿を見せる運動 人材バンクの登録状況(26年3月31日現在) 団体登録数34団体(46人)、個人登録8人 社会人講師の派遣状況 派遣講師数延べ35人、派遣校数26校 職場訪問の実施 民間企業13社、神戸市役所27か所  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	(指導課) 234 (生涯学習課) 150	(指導課) 234 (生涯学習課) 150	教育委員会事務局教育企画課・指導課・生涯学習課
<b>22 共生の態度の育成</b>				
<b>自尊感情を育み自立向上の心を育てるための発達段階に応じた教育活動の取組み</b>	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 自尊感情を育み自立向上の心を育てるため、発達段階に応じた教育活動に取り組んだ。  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	—	—	教育委員会事務局人権教育課

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>23 男女共同参画の視点に立つ技術・家庭科教育の推進及び50音順名簿等の定着の促進</b>				
<b>教員研修会の実施</b>	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 事業継続 教科目標に則った授業展開を行った  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続 教科目標に則った授業展開を行う	—	—	教育委員会事務局指導課
<b>男女混合名簿の導入</b> 校長会や指導主事の学校訪問などで導入を推進するとともに各校が取り組んでいる男女共同参画教育の内容を把握する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 幼稚園 42/42 小学校 166/166 中学校 84/82校2分校 高等学校 9/9 特別支援学校 6/6 計 307/307 導入率 100%  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	—	—	教育委員会事務局人権教育課
<b>24 学校におけるセクシュアル・ハラスメント及びデートDVの防止や対策の整備・充実</b>				
<b>「セクシュアル・ハラスメント防止ハンドブック」の配付</b> (90参照)	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> (90参照)  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> (90参照)	—	—	市民参画推進局男女共同参画課
<b>「スクールセクハラ相談窓口」の設置</b> 学校園における児童生徒に対するセクシュアル・ハラスメント(スクールセクハラ)に関する相談窓口を平成17年4月に設置。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 相談窓口の周知徹底。スクール・セクハラ根絶に向けたガイドラインの各学校での研修等での利用の働きかけ。  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	—	—	教育委員会事務局人権教育課
<b>デートDV予防啓発事業</b> (83参照)	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> (83参照)  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> (83参照)	(83参照)	(83参照)	市民参画推進局男女共同参画課

### 課題3 男女共同参画の視点に立つ生涯学習の充実

#### (1) 男女共同参画の視点に立つ生涯学習の推進

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>25 男女共同参画の視点に立つ学習機会の提供(その1)</b>				
<b>男女共同参画センターにおける講座</b> 男女共同参画センターにおいて、男女共同参画推進の視点を持った各種講座を開催し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを推進する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> (1参照)  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> (1参照)	— (1に計上)	— (1に計上)	市民参画推進局男女共同参画課(男女共同参画センター)
<b>出前講座の実施</b> (再掲 7参照)	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> (7参照)  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> (7参照)	(7参照)	(7参照)	市民参画推進局男女共同参画課



事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>25 男女共同参画の視点に立つ学習機会の提供(その2)</b>				
<b>神戸婦人大学の運営</b> (50参照)	<25年度実績> (50参照)  <26年度事業> (50参照)	(50参照)	(50参照)	市民参画推進局 男女共同参画課
<b>神戸市シルバーカレッジ</b> 高齢者の豊富な経験や知識・技能をさらに高め、その成果を社会に還元することをめざして、高齢者に学習・実践活動の場を提供する。	<25年度実績> 25年4月現在 学生数(3学年計) 健康福祉コース 217 人 国際交流・協力コース 257 人 生活環境コース 200 人 総合芸術コース 443 人 計 1117 人(うち女性は約 43%)  <26年度事業> 26年4月現在 学生数(3学年計) 健康福祉コース 212 人 国際交流・協力コース 268 人 生活環境コース 188 人 総合芸術コース 451 人 計 1119 人(うち女性は約 44%)	155,600	155,600	保健福祉局高齢福祉課
<b>公民館事業</b> 公民館の講座において、高齢者・青少年等問題別・対象別の講座を随時開催している。	<25年度実績> 事業継続  <26年度事業> 事業継続	148,901	127,933	教育委員会事務局 生涯学習課
<b>老眼大学</b> 60歳以上の高齢者に対し、時代に即応した新しい知識の提供をするとともに、学習活動を通して仲間づくりの輪を広げてもらう場を提供する。	<25年度実績> 事業継続  <26年度事業> 事業継続	93,281 (指定管理料)	115,605 (指定管理料) ※修正の可能性あり	教育委員会事務局 生涯学習課
<b>老人体育大学</b> 高齢者における生涯スポーツの導入により、余暇活動と健康の増進を図る。 春秋2回開講。延べ11日間の講座を実施。1回定員240人。60歳以上。 (実施種目)健康講話・ハイキング・ボウリング・グラウンドゴルフ・弓道・卓球・民踊・バドミントン・フォークダンス・乗馬 同大学卒業後には、同窓会(任意団体)活動への参加ができる。	<25年度実績> ・春期 5月10日～6月28日 ・秋期 9月13日～11月1日  <26年度事業> ・春期 5月9日～6月27日 ・秋期 9月19日～10月31日	1,920	1,920	教育委員会事務局 スポーツ体育課
<b>26 参加しやすい講座の提供</b>				
<b>男女共同参画センター主催講座での一時保育の実施</b> 男女共同参画センター主催の講座において一時保育を実施(全講座で実施・無料) 保育者は、男女共同参画センターに登録している保育ボランティア(保育士の有資格者、その他育児経験等必要)	<25年度実績> 一時保育協力者 延べ74名 保育児童 延べ120名  <26年度事業> 事業継続	— (1に計上)	— (1に計上)	市民参画推進局 男女共同参画課 (男女共同参画センター)
<b>生涯学習の振興</b> 生涯学習の大切さや意義を企業・団体を含め、広くPR・啓発するための事業を実施している。 また、市民の生涯学習を支援する全市民的な拠点施設として、生涯学習支援センター(コムスタこうべ)を設置(12年9月～)	<25年度実績> 事業継続  <26年度事業> 事業継続	93,281 (指定管理料)	115,605 (指定管理料) ※修正の可能性あり	教育委員会事務局 生涯学習課
<b>その他の市の主催講座での一時保育の実施</b> ・すくすく赤ちゃんセミナー(各区保健福祉部) ・子どもの読書週間行事講演会(中央図書館、総合児童センター)	<25年度実績> 事業継続  <26年度事業> 事業継続	—	—	各局  各区  教育委員会事務局 中央図書館

## 基本目標2 ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)が実現した社会の構築

### 課題1 ワーク・ライフ・バランスの推進の啓発

#### (1) ワーク・ライフ・バランスの推進のための教育・啓発

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>27 ワーク・ライフ・バランスの推進に関する教育の充実</b>				
<b>ワーク・ライフ・バランスの推進</b>				
推進モデル地域における事業展開	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 事業継続  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	—	—	市民参画推進局 男女共同参画課
事業所に対する啓発の強化	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> ・啓発事業を実施。  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> ・啓発事業を継続。 ・市内中小企業を中心に、男女共同参画に関する実態調査・啓発業務を実施予定。	—	—	市民参画推進局 男女共同参画課
女性活躍推進事業の実施 (53 参照)	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> (53参照)  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> (53参照)	(53参照)	(53参照)	市民参画推進局 男女共同参画課
こうべ男女いきいき事業所表彰 (62 参照)	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> (62参照)  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> (62参照)	(62参照)	(62参照)	市民参画推進局 男女共同参画課
<b>28 ワーク・ライフ・バランスの推進に関する教育の充実</b>				
男女共同参画の視点に立つ進路指導の徹底 (再掲 20参照)	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> (20参照)  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> (20参照)	—	—	教育委員会事務局 指導課
指導担当者会などでの研修の実施 (再掲 21参照)	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> (21参照)  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> (21参照)	—	—	教育委員会事務局 指導課
キャリア教育の推進 (再掲 21参照)	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> (21参照)  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> (21参照)	—	—	教育委員会事務局 教育企画課・指導課・生涯学習課
<b>29 ワーク・ライフ・バランスの推進企業に対するインセンティブの創設</b>				
事業所に対する啓発の強化 (再掲 27参照)	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> (27参照)  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> (27参照)	—	—	市民参画推進局 男女共同参画課

## (2) 多様な働き方を可能にする就業条件の整備

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>30 育児・介護休業法などの普及・啓発(その1)</b>				
<b>育児休業からの職場復帰準備セミナー</b> 育児休業から復帰する女性及び男性に対し、仕事と家庭の両立に向けてのアドバイスや情報提供等を行うセミナーを開催し、スムーズに職場復帰ができるよう支援する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 9月14日「さあ、育休後から始めよう！」講師:山口理栄氏 21名 10月9日「ベビーマッサージ&おしゃべりタイム」講師:若林美由紀氏 17名  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	(1に計上)	(1に計上)	市民参画推進局 男女共同参画課 (男女共同参画センター)
<b>こうべ男女いきいき事業所表彰</b> (62 参照)	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> (62参照)  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> (62参照)	(62参照)	(62参照)	市民参画推進局 男女共同参画課
<b>31 労働時間短縮やフレックスタイム制・再雇用制度などの普及・啓発</b>				
<b>こうべ男女いきいき事業所表彰</b> (62 参照)	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> (62参照)  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> (62参照)	(62参照)	(62参照)	市民参画推進局 男女共同参画課
<b>32 正社員転換制度や短時間正社員制度などの普及・啓発</b>				
<b>こうべ男女いきいき事業所表彰</b> (62 参照)	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> (62参照)  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> (62参照)	(62参照)	(62参照)	市民参画推進局 男女共同参画課
<b>各種広報を媒体とした周知徹底による、就業条件の改善に向けた取り組み</b>	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 事業継続  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続		—	市民参画推進局 男女共同参画課
<b>33 雇用でない就業形態についての情報提供等の支援や、家内労働法等の普及・啓発</b>				
<b>家族従業者等の活動報告と家内労働の概況調査</b>	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 事業継続  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	—	—	市民参画推進局 男女共同参画課
<b>商店街や市場等における女性の活動事例等の紹介</b>	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 推進会議ニュース「すくらむKOBE」で事例を紹介  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 推進会議ニュース「すくらむKOBE」で事例を紹介	—	—	市民参画推進局 男女共同参画課



**課題2 男女ともに家庭・地域生活に積極的に参画しやすい環境の整備**

(1) 家事・育児・介護への男性の積極的な参画の促進

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>34 男性の育児・介護休業の取得に向けての啓発</b>				
「こうべ男女共同参画推進月間」における企業セミナーなどによる啓発(再掲 2参照)	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> (2参照)  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> (2参照)	(2参照)	(2参照)	市民参画推進局 男女共同参画課
<b>35 男性が参加しやすい家事・育児・介護講座の充実(その1)</b>				
<b>男性のための料理教室の開催</b> 男性が料理をすることによって家事により一層の協力ができ、また自活ができるように、男性を対象にした料理教室を開催する。				市民参画推進局 文化交流部
<b>「男性のための料理教室①」</b> <b>「男性のための料理教室②」(定例講座)(東灘区民センター)</b> 初歩から手軽に料理の美味しさと楽しさを味わいながら、男性にも料理を作ってもらおう。(①18年度春季～②18年度秋季～)	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 事業継続:6回講座をそれぞれ2季開催×2講座  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	551	551	((公財)神戸市民文化振興財団)
<b>「男性クッキング講座」(定例講座)(葦合文化センター)</b> 男性が参加しやすいよう上記の名称にしているが、夫婦、希望があれば女性のみでも受付。(15年度秋季～)	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 事業継続:6回講座を2季開催  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	223	223	
<b>「男性もクッキング」(定例講座)(生田文化会館)</b> 初めて料理を作る男性に食材の知識や調理方法を教え、メタボリックシンドロームの予防も。(16年度秋季～)	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 事業継続 :6回講座を2季開催  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	253	253	
<b>「男性の料理」(定例講座)(北区民センター)</b> 男性が参加しやすい曜日を設定。(13年度秋季～)	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 事業継続:5回講座を2季開催  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	196	196	
<b>「シルバー男性の料理(60歳～)」(定例講座)(北区民センター)</b> 60歳以上の男性を対象に、受講生にあわせて、カロリー・塩分を考えたカリキュラムを実施。(15年度春季～)	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 事業継続:5回講座を2季開催  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	199	199	
<b>男性も参加できる介護教室の開催</b>				
<b>「らくらく介護」(定例講座)(北区民センター)</b> 一般市民を対象に、家庭介護をテーマとした講座を実施(24年度～)	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 事業継続 10回講座を2季開催  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業廃止	305		
<b>「らくらく介護」(定例講座)(西区民センター)</b> 一般市民を対象に、家庭介護をテーマとした講座を実施(25年度～)	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 10回講座を2季開催  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業廃止	324		

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算 額(千円)	26年度予算 額(千円)	所管課
<b>35 男性が参加しやすい家事・育児・介護講座の充実(その2)</b>				
<b>市民福祉大学</b>		89,643 (全体)	90,725 (全体)	保健福祉局 計画調整課
<b>家庭介護セミナー</b> 一般市民を対象に家庭介護をテーマとした講座を実施。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 5/23～6/13(4回開催) 参加者数 計82名 <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	—	—	
<b>介護セミナー「らくらくケアのコツ！」</b> 一般市民を対象に家庭介護をテーマとした講座を実施。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 11/11～11/25(3回開催) 参加者数 計61名 <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	—	—	
<b>介護セミナー「古武術から学ぶ無理ナイ介護術のヒント！」</b> 一般市民を対象に、古武術の体の動きから、介護する側される側、両方に「無理ナイ」介護術のヒントを学ぶ講座を実施。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 1/23・1/30開催 参加者数 計69名 <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	—	—	
<b>介護セミナー「人として生きるための排泄ケア」</b> 一般市民を対象に家庭介護をテーマとした講座を実施。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 8/20開催 参加者数 計85名 <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	—	—	
<b>両親教室</b> 講義・実習等により、妊娠中の栄養・歯科衛生・出産のための具体的準備・育児上の注意事項など、妊娠から育児期に関する指導を行っている。 また、妊婦体験実習などにより父親への育児参加への動機づけを図り、お互いの情報交換の場として交流を行う。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 開催回数 両親教室(母親教室) 年間54回 <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業全内容継続	2,011	2,035	子ども家庭局こども家庭支援課
<b>すくすく赤ちゃんセミナー</b> 5～6か月の乳児と保護者を対象に、離乳食や育児・歯科に関する講習会を行う。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 開催回数 年間105回 <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	2,631	2,624 (母子保健指導に含む)	子ども家庭局こども家庭支援課
<b>プレパパママ食育講座</b> 初めての子どもを妊娠中の妊婦と夫を対象に、親自身の健康づくりとこれから生まれる子どもへの「食育」への関心を深め、家族そろって食事を楽しめる家庭づくりの推進を図るために、講話と調理実習による講習会を行う。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 開催回数:年間14回 参加定員:毎回15組 <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	802	825	保健福祉局地域保健課

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>36 地域活動、防災福祉コミュニティ活動など市民活動への男女共同参画の推進</b>				
<b>協働と参画のプラットフォームの運営</b> ・情報の提供 官民協働・市民協働による地域活動・市民活動事例を「協働と参画のプラットフォーム通信」等の媒体により市民に紹介 ・活動支援 パートナーシップ活動助成により、地域課題解決型の市民提案による取り組みを支援する。 ・活動拠点の整備 市の遊休施設を活用し、市民活動の拠点づくりを進める。 ・コーディネート 協働のまちづくりに関する相談・提案を随時NPO・地域等から受け付け、活動方法や連絡先などについてアドバイスし、関係各課との協働のコーディネートを行う。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> ①「プラットフォーム通信」 年4回発行 各26,500部 ②「プラットフォームHP」 ③「パートナーシップ活動助成」 年2回実施 ・一般型 ・被災地支援(1回) 各区でも地域提案型助成を実施  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> ①「プラットフォーム通信」 年4回発行 各26,500部 ②「プラットフォームHP」 ③「パートナーシップ活動助成」 年2回実施 ・一般型 ・被災地支援(1回) 各区で地域提案型助成を実施	16,010	13,134	市民参画推進局 市民協働推進課
<b>ふれあいのまちづくり</b> 高齢者や障害者、児童をはじめすべての人々が地域社会のあたたかいふれあいの中で自立とふれあいをめざしながら、快適な日常生活を送れるよう市と地域住民が協力してまちづくり活動を推進するため、拠点となる地域福祉センターを整備し、「ふれあいのまちづくり協議会」の地域活動、交流活動等を推進する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 民間地域福祉センターの整備 1か所(だいち小学校区) ふれあいのまちづくり助成による支援  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 小立地域福祉センターの整備 1か所(井吹の丘小学校区) ふれあいのまちづくり助成による支援	586,634	630,387	保健福祉局計画調整課
<b>地域活動の促進</b> 高齢者のボランティア活動・健康づくり活動等の地域活動事業に対する支援を促進する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 事業継続  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続(地域活動の促進)	11,908	11,908	保健福祉局高齢福祉課
<b>女性消防団員の採用</b> 男女共同参画社会の実現と女性の能力を活かして地域の防災力の向上のために、12年度に女性消防団員採用検討委員会を設け、定員の割以内、女性を採用することとした。(13年度～) ※平成19年度、割の定員枠を撤廃した。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 積極的な採用を推進したことにより、女性消防団員が10名増加した。(108名→平成26年4月1日現在:118名)  消防団別女性の人数(割合) ・東灘区消防団 8名(5.9%) ・灘消防団 18名(13.1%) ・中央消防団 15名(9.6%) ・兵庫消防団 6名(4.3%) ・北消防団 32名(2.5%) ・長田消防団 9名(6.4%) ・須磨消防団 21名(14.3%) ・垂水消防団 5名(3.0%) ・西消防団 0名(0.0%) ・水上消防団 4名(3.4%)  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 地域に密着して生活し、地域コミュニティとの結びつきといった観点から、引き続き女性団員の積極的な採用を推進する。	—	—	消防局警防課
<b>防災福祉コミュニティづくりの推進</b> 地域の独自性を活かした活動を行うことができるよう積極的に支援を実施する。 ・防災福祉コミュニティの育成 ・市民防災リーダー研修の充実	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 地区担当制による地域の支援、津波避難等含む防災教育の実施。25年度防災福祉コミュニティ訓練実施回数828回、市民防災リーダー育成数814人(全市)  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	—	—	消防局予防課

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算 額(千円)	26年度予算 額(千円)	所管課
<b>37 男女共同参画社会の実現をめざす市民活動への支援</b>				
<b>市民活動の支援</b> 「男女共同参画社会の実現をめざす」ことにテーマを限定していないが、活動支援拠点等の設置、事務所等のあつせん、コミュニティ基金の協力、事業委託・共同事業の推進などの支援等を行っており、間接的に男女共同参画も支援していく。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 市民活動総合支援の提供 全市の市民活動の支援・交流・活動・情報等の総合支援拠点として、生涯学習センター(旧吾妻小学校の一部)を活用して提供する。 地域活動拠点の提供 遊休施設を暫定的に活用し、地域活動拠点として中間支援活動を行う市民活動団体に提供(2か所)	2,371	2,352	市民参画推進局 市民協働推進課
	<b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続			
<b>男女共同参画センター(あすてつぶK OBE)の運営</b> 女性の地位向上及び男女共同参画社会実現のための拠点施設。 センターでは、女性の意識啓発・エンパワメントのためのセミナーや就業支援のための実務講座、また男性のための講座のほか、女性のグループの活動・交流支援、情報ライブラリーの運営、女性のための相談室の運営などを行い、すべての主催講座で一時保育を行っている。  (施設概要) 地下1階～地上5階のうち地下1階～地上2階部分 ・B1F 駐車場 ・1F 情報ライブラリー、相談室、交流コーナー、グループ学習室 ・2F セミナー室、保育ルーム、印刷コーナー	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> センター利用者数 40,971人 セミナー室利用率 37.95% グループ学習室利用件数 542件 情報ライブラリー貸出件数 1,052件 女性のための相談室 2,266件 男女共同参画セミナー 56回 延べ2079人	33,703	33,923	市民参画推進局 男女共同参画課 (男女共同参画センター)
	<b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続			
<b>地域人材支援センターの運営</b> 市民が行う地域活動への参加支援を行うとともに、交流・学び、歴史・文化、ものづくりを通じて地域活性化を担う人材の育成を推進する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> センター利用者数 78,474人、利用率56.7%	40,719	41,169	市民参画推進局 市民協働推進課
	<b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続			

### 課題3 子育てをしやすい環境の整備

#### (1) 仕事と子育ての両立支援の推進

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>38 保育所などの充実</b>				
<b>保育所などの充実</b> ・地域の需要に応じた保育所の適正配置を進める。 ・ニーズの高い地域での既設保育所の増築等による定員拡大 ・延長保育、一時保育、すこやか保育(障害児保育)の充実 ・休日保育のモデル実施	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> ・民間保育所新設:11か所 ・既存保育所の増築、建替:12か所 ・延長保育:全箇所 ・一時保育:152か所 ・休日保育:2か所 ・すこやか保育(障害児保育)  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> ・民間保育所新設:11か所 ・既存保育所の増築、建替:12か所 ・延長保育:全箇所 ・一時保育:167か所 ・休日保育:2か所 ・すこやか保育(障害児保育)	3,048,577	3,298,524	こども家庭局振興課・事業課
<b>赤ちゃんホーム等の充実</b> 乳児を産休明けから保育所の集団の中に入れるより、家庭的な雰囲気の中で保育するほうが望ましいとして保育所の補完的機能を担う、神戸市独自の制度 ・赤ちゃんホーム(S36.6～) 対象 0歳児 ・家庭託児所(S35.6～) 対象 原則1、2歳児	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> ・赤ちゃんホーム:34か所 ・家庭託児所:1か所  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	116,386	114,755	こども家庭局事業課
<b>第三者評価の推進</b> 保育所(園)の保育の質の向上及び、利用者への適切な判断材料の提供を図る。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 民間保育所3か所で実施  <b>&lt;26年度予定&gt;</b> 民間保育所5か所で実施	250	250	こども家庭局事業課
<b>小規模保育事業</b> 「子ども・子育て支援新制度」における新たな認可事業であり、待機児童の多い3歳未満児を対象とした定員6人から19人の保育施設を駅前等に整備し、保育枠の拡大を図る。 (※家庭的保育(保育ママ)事業より移行)	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 保育ママ事業14か所で実施  <b>&lt;26年度予定&gt;</b> 保育ママからの移行14か所に加えて、新規に23か所を整備	258,696	993,663	こども家庭局事業課
<b>民間保育園の老朽改築補助</b> 老朽化した民間保育園の改築に必要な経費の一部を補助する市独自の制度を設けることにより、保育環境の改善を図る。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 11か所 (8か所は地域の元気臨時交付金の活用によるもの)  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 3か所	30,000  (地域の元気臨時交付金 71,397)	30,000	こども家庭局振興課
<b>社会福祉法人への移管保育所の保育環境整備</b> 社会福祉法人への移管保育所における児童の処遇改善と保育環境の維持向上をはかる。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 環境整備 15か所  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 環境整備 11か所	59,886	9,456	こども家庭局振興課
<b>送迎保育ステーション事業の実施</b> 垂水駅前にある認可保育園を送迎保育ステーションとし、分園への送迎を実施することにより、待機児童の解消を図る。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 実施事業 1か所  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業廃止	6,558	—	こども家庭局事業課

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算 額(千円)	26年度予算 額(千円)	所管課
<b>39 保育所情報の提供</b>				
<b>保育所の情報提供</b> 保育所の入所案内を作成し、福祉事務所や保育所で配布又は閲覧できるようにしている。またインターネットでの情報提供も行っている。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 事業継続  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	—	—	こども家庭局事業課
<b>40 放課後児童健全育成事業の充実</b>				
<b>放課後児童健全育成事業</b> 保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校低学年の児童を対象に、授業の終了後に、適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る。 児童館において学童保育クラブ、学校の余裕教室等を利用した学童保育コーナーを開設している他、社会福祉法人が社会福祉施設等を活用して実施する福祉施設方式、地域の住民が自主的に地域活動の一環として実施する地域方式がある。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> ・児童館方式 106館 ・学童保育コーナー 51コーナー ・福祉施設方式 8か所 ・地域方式 27か所 ・法人方式 3か所 ・地域団体方式 1か所  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> ・児童館方式 106館 ・学童保育コーナー51コーナー ・福祉施設方式 9か所 ・地域方式 27か所 ・法人方式 3か所 ・地域団体方式 2か所	1,201,028	1,262,564	こども家庭局こども青少年課
<b>41 子育てを支える多様な保育サービスの提供</b>				
<b>ファミリー・サポート・センターの運営</b> 「子育ての応援をしてほしい人」と「子育ての応援をしたい人」との会員組織による、地域レベルでの子育て相互支援活動。具体的には、保育所(園)や幼稚園等への送迎や終了後の預りなどを行う。 (運営主体)神戸市社会福祉協議会	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 子育て支援の相互援助活動  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	12,712	13,076	こども家庭局こども青少年課
<b>地域ほいく室推進事業</b> 近年の少子化、核家族化の進行に伴う家族形態の変化や都市化の進展に伴う近隣との人間関係の希薄化により、子育てや育児について、気軽に相談できる相手や仲間が身近な地域にいないなど、家庭や地域における子育て支援機能の低下が問題となっているため、「地域ほいく室推進事業」を実施し、保育所待機児童の解消を図るとともに、地域と協働での子育て支援を行う。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 事業継続  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 12月に事業終了	1,700	0	こども家庭局振興課
<b>病児・病後児保育の実施</b> 急な病気などのため、保育所などでの集団生活が困難な児童で、かつ、保護者の勤務の都合や傷病、事故、冠婚葬祭など社会通念上やむを得ない事情により、家庭での育児が困難な児童を一時的に預かる。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 計13か所で事業実施。 区別一覧: ・東灘区 1か所 ・灘区 3か所 ・中央区 2か所 ・兵庫区 0か所 ・北区 1か所 ・長田区 2か所 ・須磨区 1か所 ・垂水区 1か所 ・西区 2か所  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 既存の13か所に加え、新規に1箇所の整備を実施予定	198,977	208,388	こども家庭局事業課



## (2) 子育てをしやすいまちづくり

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>42 子育てについての相談の充実</b>				
<b>児童館子育て相談</b> 各児童館で、親の抱える育児についての相談を行う。	<25年度実績> 各児童館で相談を実施。  <26年度事業> 事業継続	(児童館運営に含む)	(児童館運営に含む)	子ども家庭局 子ども青少年課
<b>カンガルークラブトピックス</b> 低出生体重児を持つ家族に対しての子育て支援事業。 育児における両親の不安、悩みなどを共有し、自主グループを形成する場を提供する。また、看護師・医師が適宜相談を受け付ける。	<25年度実績> 事業継続  <26年度事業> 事業継続	—	—	保健福祉局(地方 独立行政法人 神戸 市民病院機構 中央市民病院)
<b>赤ちゃん安心Web</b> 妊娠・出産・育児に関するアドバイスや、神戸市の制度について、ホームページによる情報提供を行う。	<25年度実績> 24年度よりダイヤルサービスを廃止し、Webのみで事業継続。  <26年度事業> 事業継続	530	545	子ども家庭局 子ども家庭支援課
<b>子ども家庭支援室</b> 市民にわかりやすい身近な相談窓口として、各区の保健福祉部に設置。妊娠や育児に関する相談に加え、虐待や虐待の疑いに関する相談にも対応。乳幼児期、学童期、思春期の子育てを支援する。	<25年度実績> 24年度より、子ども家庭支援室に名称を変更し事業継続。  <26年度事業> 事業継続	4,267	4,311	子ども家庭局 子ども家庭支援課
<b>みんなの幼稚園事業</b> 公立・私立幼稚園で、地域の幼児と保護者を対象に月2～4回程度「みんなの幼稚園事業」を実施 幼稚園に入る前の幼児に集団で遊ぶ機会を提供するとともに、保護者に対して、子育ての相談を行うなど適切な指導を行う。	<25年度実績> 公立42園で実施(私立は子ども家庭局へ移管)  <26年度事業> 公立42園で実施予定(私立は子ども家庭局へ移管)	公立 473	公立 399	教育委員会事務 局教育企画課・指 導課
<b>43 「地域での子育て」支援(その1)</b>				
<b>児童館すこやかクラブ</b> 2～4歳児とその保護者を対象に、親子で遊んだり子育てについて学びながら保護者同士の交流を深める。	<25年度実績> 各児童館で実施  <26年度事業> 事業継続	(児童館運営に含む)	(児童館運営に含む)	子ども家庭局 子ども青少年課
<b>地域子育て支援センター</b> 保育士の専門性を活用し、子育てサークルの育成、施設開放、育児相談等により、在宅の児童を含め、広く地域の子育てを家庭を支援する。 ・0～2歳児の親子を中心に子育てサークル等の育成、支援を行うとともに、区内の保育園を巡回して同様の活動を行う。 ・特別保育事業の積極的実施 ・園庭開放事業及び青空保育の実施 ・育児不安等についての相談指導等	<25年度実績> 東灘区役所、灘区役所、中央区役所、小河保育所(兵庫区)、桜の宮保育所(北区)、北神中央ビル(北神)、長田区役所、須磨区役所、北須磨保育園(須磨区)、垂水区役所、西区役所、あゆみ幼稚園(西区)で実施  <26年度事業> 25年度同様、12か所で実施	31,056	30,222	子ども家庭局 振興課
<b>母子健康づくりグループ支援事業</b> 乳児等を持つ母親を対象に、グループワーク等を内容とする健康講座を児童館等で開催する。地域での仲間づくりを支援することにより、子育ての孤立化防止等育児不安の解消と子どもの健全な発育環境の整備を図る。	<25年度実績> 開催回数 371回  <26年度事業> 事業継続	885	839	子ども家庭局 子ども家庭支援課

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>43 「地域での子育て」支援(その2)</b>				
<b>多胎児等の子育て教室</b> 多胎児や障害児、極低体重出生児を持つ親子等を対象に、対象者毎に親子遊びやグループワークなどを中心としたきめ細かい子育て教室を実施することにより、育児不安の解消や外出促進・仲間づくりの支援を行う。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 開催回数 ・多胎児 58回 ・障害児 74回 ・要フォロー児 264回 ・極低体重出生児 40回  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	8,408	8,355	こども家庭局こども家庭支援課
<b>神戸方式「つどいの広場」</b> 在宅育児家庭等における育児の孤立化や保護者の育児不安への対応として、児童館、保育所、幼稚園など既存の施設や、育児サークルリーダーなどの子育て支援ボランティア、主任児童委員などの人材を最大限に活用して保護者や乳幼児が気軽に「広場」づくりを進め在宅育児支援を行う。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> ・児童館キッズクラブの実施 111館 ・地域子育て支援センターの実施 10か所 ・保育所地域交流事業の実施 ・地域ほいく室の実施 ・みんなの幼稚園事業の実施  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> ・児童館キッズクラブの実施 118館	15,731 (児童館キッズクラブのみ)	15,908 (児童館キッズクラブのみ)	こども家庭局こども青少年課
<b>地域子育て推進プロジェクト</b> 児童館の子育て支援の機能を生かして、地域の子育て支援のネットワークづくりや支援を行う。 また、児童館事業の充実のため、事業の企画・調整や運営支援を行う。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 地域と児童館が協力連携して、地域の子育て課題を解決する、地域子育て元気アップ事業の実施。  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	171,407 (総合児童センター運営を含む)	187,720 (総合児童センター運営を含む)	こども家庭局こども青少年課
<b>命の感動体験学習の展開</b> 地域や学校と連携して主に小学校高学年を対象に、「命の大切さ」や「家族」、「性」についての授業及び乳幼児とのふれあい体験などの授業を全市に展開する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 9区・1支所で実施  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 9区・1支所で実施予定	1,368	1,386	こども家庭局総務課
<b>神戸市次世代育成支援対策推進行動計画(神戸っすこやかプラン)の推進</b> 神戸市次世代育成支援対策推進行動計画を全庁あげて推進するとともに、「神戸市子ども・子育て会議」を活用した実施状況の検証を行う。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> ・行動計画の検証の公表(H24年度の検証) ・行動計画の推進と、「神戸市子ども・子育て会議」を活用した進捗状況の検証  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> ・行動計画の検証の公表(H25年度の検証) ・行動計画の推進と、「神戸市子ども・子育て会議」を活用した進捗状況の検証 ・次期行動計画のあり方の検討	700	720	こども家庭局総務課
<b>大学と連携した子育て支援事業</b> 保育士養成校の指定を受けている大学などに、乳幼児が自由に遊べるスペースを設け、子育て支援の場を提供する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 6か所で実施  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	28,217	27,322	こども家庭局こども青少年課
<b>市営住宅の若年・子育て世帯向け活用</b> 郊外の中層階段室型住宅団地の4～5階の空き住戸を若年・子育て世帯向けの特定目的住宅として募集する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> ・郊外の中層階段室型住宅団地の4～5階の空き住戸を「若年・子育て世帯向け住宅」として、5月と10月の特定目的住宅募集において、40戸募集した。  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> ・引き続き特定目的住宅として年間50戸程度募集する予定である。	34,260	7,240	住宅都市局住宅管理課



事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>43 「地域での子育て」支援(その3)</b>				
<b>市営住宅ストックを活用した子育て支援</b> <b>【住み替え制度の実施】</b> 住宅の規模と世帯構成の適合をはかるとともに、ストックの有効活用の観点から、一定規模以下の市営住宅に入居している世帯のうち、18歳以下の子どもが2人以上(但し15歳以下を1人以上含む)いる世帯を対象とした住み替え制度を実施する。 <b>【期限付き入居制度の導入】</b> 子育て支援を目的として、募集倍率の高い住宅の入退居サイクルを早めることにより、多くの子育て世帯が入居機会を得られるよう期限付き入居制度を導入する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> (1)住み替え制度については、3戸実施した。 (2)期限付き入居制度については、10戸募集した。  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> (1)住み替え制度については、年間20戸程度募集する予定である。 (2)期限付き入居制度については、年間10戸募集する予定である。	6,000	2,700	住宅都市局住宅部住宅管理課
<b>特定優良賃貸住宅を活用した子育て支援補助</b> 子育て世帯を支援するとともに、活力ある世帯の居住促進による地域活性化をはかるため、特定優良賃貸住宅に、世帯の所得月額322,000円以下で小学生以下の子どもがいる世帯(妊娠中の者がいる世帯も含む)が新たに入居する場合には、家主が行う入居者負担額減額の2/3(最大月額1万円)を最長5年間補助する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 新規補助件数149件  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	79,368	62,308	住宅都市局住宅政策課
<b>子育てサークルネットワークの支援</b> 区内の子育てサークル同士の交流を図り、ネットワークを強化充実させる。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> ・子育てひろばマップ(こうめちゃん)情報発信 ・子育てサークルの育成・支援(講師派遣・サークル育成のための巡回支援) ・講師派遣5回  <b>&lt;26年度予定&gt;</b> ・子育てひろばマップ(こうめちゃん)情報発信 ・子育てサークルの育成・支援(サークル育成のための巡回支援)	394	394	東灘区 (保健福祉部健康福祉課)
<b>東灘子育てサポートネットワーク運営の支援</b> 区内の子育て支援に関わる機関等の実務者によって構成されたネットワークで、機能的で実効性のある地域での子育て支援の体制づくりをめざしている。参加団体29団体	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 子育てサポートネットワーク会議 ・開催回数:年2回 ・内容:区内子育て支援関係機関の実務者で構成したワーキング部会にて区内の子育てに関する取り組みについて検討し、3か年の活動計画を立案。  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 子育てサポートネットワーク会議 ・内容:区内子育て支援関係機関の実務者で構成したワーキング部会にて立案した活動計画の実践。	1,276	1,276	東灘区 (保健福祉部健康福祉課)

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>43 「地域での子育て」支援(その4)</b>				
<b>子育ての仲間づくりを支援</b> ①子育てサークルリーダー連絡会、 ②「子育てフェスタ☆なだ」 子育てサークル間の交流を図るとともに、サークルのPRの場としてフェスタを実施する。 ③なだ子育て支援情報ホームページ継続配信、内容の充実を図る。 ④ベビーキャラバン 地域福祉センター等に出向いて乳幼児と保護者の地域デビューのきっかけ作り、仲間作りを目的に交流会を開催する。(区社協共催) ⑤子育てサークルOB会支援 子育てサークルを支援するOBに対して助成金を支給する。 ⑥赤ちゃんを迎える教室OB会 育児中の保護者とプレパパママの交流を図ると同時に男性の育児参加も促進する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> ①連絡会3回開催 ②10/26開催2,200名参加 ③なだ子育て支援情報ホームページ継続配信 ④ベビーキャラバン(14カ所)開催 ⑤子育てサークルOB会3サークル支援 ⑥赤ちゃんを迎える教室OB会  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	286	286	灘区 (保健福祉部こども家庭支援課)
<b>お出かけしやすいまちづくりを支援</b> 小さな子ども連れで気軽に入れる店を募集し、審査会をへて認定された協力店にはステッカーを進呈。「子育て協力店マップ」(冊子)を作成し保護者らに配布。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 3500冊作成し配布(新生児訪問や乳幼児健診等で配布。利用者アンケートの実施をした。  <b>&lt;26年度事業定&gt;</b> 事業継続	318	318	灘区 (保健福祉部こども家庭支援課)
<b>保護者支援</b> ①子育て応援講演会 ②子育てに悩む保護者のカウンセリング 子育てに悩む保護者に対して臨床心理士によるカウンセリングを行う。 ③児童館での子育て支援事業 児童館に臨床心理士を派遣し、発達に障害を持つなど育てにくい子どもへの対応指導や保護者の相談に応じる。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> ①10/16「認めるだけで子どもは変わる」 講師:原坂 一郎氏 参加者121名 ②48回実施。 ③34回派遣。  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	1,032	1,032	灘区 (保健福祉部こども家庭支援課)
<b>イクメンサポート事業</b> ①大学と連携した子育て広場事業の実施 ②イクメン支援講演会 ③なだパパマママップの作成	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 26年度からの実施のため実績なし  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> ①のびやかスペースあーち(神戸大学)、まつぼっくり(神戸松蔭女子学院大学)での父親向け事業の開催 ②イクメン支援講演会 開催日 平成26年9月9日 内容「パパを子育てに巻き込む10の方法」 講師 和田憲明氏 定員80名 託児20名 ③なだパパマママップの作成 灘区内の子育て便利情報、父親の参加できるイベントなど掲載し、配布する。	—	500	灘区 (保健福祉部こども家庭支援課)

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>43 「地域での子育て」支援(その5)</b>				
<b>ふれあいのまちづくり助成のうち、子育てサークルづくりに対する備品加算助成</b> 子育てサークルづくり事業に取組むふれあいのまちづくり協議会に対し、備品購入のための年間20千円の助成を行っている。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 雲中、宮本、籠池、北野、神戸諏訪山、小野柄、二宮、脇の浜、山の手の9協議会に助成(計180千円)  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	3,752	3,760	中央区まちづくり支援課
<b>地域でまもり育てる親子地域ケアネット事業</b> 発達障害児サポート事業として、①「相談室」や②「親子支援教室」を開催し、発達障害児をもつ保護者への支援を強化する。 さらに、就学に向けての支援として、③「個別支援情報シート」の作成、④地域の子育て支援者の啓発・養成のための研修等を計画、また、⑤発達を促す地域の居場所づくりの推進。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> ①週1回実施(予約制) ②月2回実施(予約制) ③シート活用のための研修開催(幼稚園等幼児に関わる関係機関職員) ④2回の開催を予定 ⑤区内1ヶ所活動支援(月1回)  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	2,151	2,197	中央区 (保健福祉部こども家庭支援課)
<b>知っとこどもネットワーク</b> 地域が子供や家族に知っておいてほしい情報、価値観、知らせたい情報を子供やその家族、地域が一緒になって伝えていく仕組みをつくる。今年度は中央区で建設が続いているタワーマンションの多い地域を対象に、「地元を知って友達づくり」の集いを開催し、新住民である母親の孤立感・不安感の解消をはかる。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> ・地域子育て情報等の提供 ・母親同士の交流機会を設け、情報共有・友人作りを支援する。 1.日時 平成26年3月11日(火)13:30~15:00 2.場所 こうべまちづくり会館 2階 3.対象 平成23年1月生まれから25年12月生まれまでのJRから南のこうべ小学校区に居住する親子(対象世帯104件) 4.参加者数 18世帯(母親18人、子ども21人 計39人)  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> ・地域子育て情報等の提供 ・母親同士の交流機会を設け、情報共有・友人作りを支援する。 1.日時 平成26年4月18日(火)13:30~15:00 2.場所 こうべまちづくり会館2階 3.対象 平成23年1月生まれから25年12月生まれまでのJRから南の山の手小学校区に居住する親子(対象世帯120件) 4.参加者数 29世帯(母親29人、子ども31人、計60人)	-	-	中央区 (保健福祉部こども家庭支援課)

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>43 「地域での子育て」支援(その6)</b>				
<b>子どもを地域で育てるまちづくり</b> 子育てサークル育成・継続活動支援を担当するまち育てサポーターを配置し、地域と区・まち育てサポーターが共同で「子育て世代の親子が気軽に集いふれあえる場づくり」を進め、仲間づくりや情報交換など親同士のネットワーク化を図る。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> ・まち育てサポーター(子育て支援)委託 ・子育てサークル育成、継続活動支援 ・サークルリーダー交流会(2回) ・全体交流会(にこにこフェスティバル1回)  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> ・まち育てサポーター(子育て支援)委託 ・子育てサークル育成、継続活動支援 ・子育てサークルへの地域福祉センター利用助成 ・サークルリーダー交流会(2回) ・全体交流会(にこにこフェスティバル1回)	1,971	1,837	兵庫区 (保健福祉部こども家庭支援課)
<b>こどもの笑顔を守り育てるネットワーク事業</b> 児童虐待事例の増加をはじめとして、子どもに関する問題が深刻化する中で、各地域で子育て支援に関わる関係者が会議を実施し、ネットワーク化を図ることにより、顔の見える関係を築き、地域内での情報共有や課題の解決のための検討や、必要な取り組みを行っていく。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> ①子育て支援ネットワーク小地域連絡会(4地域のべ10回開催) ②子育て支援ネットワーク連絡会(11月6日開催)《地域の関係者》 兵庫区こども家庭支援室・まちづくり課・ふれあいのまちづくり協議会・婦人会・学校・幼稚園・保育所・児童館・民生委員児童委員(主任児童委員)・兵庫区社会福祉協議会・地域子育て支援センター兵庫・青少年育成協議会・兵庫警察署・兵庫消防署ほか ③子育て情報がたづねの更新(3,000部)  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> ①子育て支援ネットワーク連絡会(11月18日開催) ②小地域連絡会(6地域で開催予定) ③子育て情報がたづねの更新(3,000部)	502	558	兵庫区 (保健福祉部こども家庭支援課)
<b>地域で支える子育て親育て</b> 地域の児童館を会場に、育児知識の普及と親同士の交流を図る育児講座を実施する。また、小地域単位での子育て世代の交流の場作りとして、ふれあいのまちづくり協議会を実施主体とする地域福祉センター等での子育てサロンの開設を支援する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> ・あかちゃん講座day開催(区内8児童館、64回のべ556組参加) ・子育てサロン(区内14ヵ所で月1回開催)  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> あかちゃん講座day(区内8児童館、56回予定) 子育てサロン(区内14ヵ所、月1回開催)	253 237	253 237	兵庫区 (保健福祉部こども家庭支援課)
<b>親育ち応援プログラム</b> 親自身が親として成長し、また子育てへの意欲が高まるよう、参加者同士の討議や講義などのプログラムを提供する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 親支援プログラム「楽♥育エンパワメントプログラム」 3回講座×2クール 実17人 のべ46人参加  <b>&lt;26年度予定&gt;</b> 楽♥育エンパワメントプログラム 2クール実施	293	293	兵庫区 (保健福祉部こども家庭支援課)
<b>地域に密着した子育て支援事業</b> 子育て支援世帯が、情報交換や交流の場を通して、育児不安や孤独感を解消する機会を増やしていくために、まち育てサポーターを配置し、子育てサークルの結成支援、継続的な活動支援を行う。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> ・子育てサークルの立ちあげ。2ヵ所 ・連続講座の開催 のべ11回 ・親子のふれあいを促すふれあい講座の開催(10ヵ所) ・活動中の子育てサークルへ活動継続支援 ・子育て支援関係機関との連携 ・地域の親子へ子育てサークルや地域の子育て支援行事などへの参加勧奨と情報提供  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続 子育てサークルの結成支援・活動支援等	1,823	1,875	長田区 (保健福祉部こども家庭支援課)

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>43 「地域での子育て」支援(その7)</b>				
<b>子育てを応援する地域の環境づくり</b> 子育て支援に関わる関係機関等によって構成されたネットワークシステムを構築し、①各地域で子育て支援に関する現状や課題を共有する場として地域連絡会等を開催、②子育てボランティアとして「すまっこサポーター」を平成14年度から養成、③親子のふれあいや親同士の交流を推進するため子育てサークルを支援するなどにより、地域における子育てを支援する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> ①子育てネットワーク学習会(H26.1/23)52名参加 ②地域連絡会の開催(本区7箇所22回・支所11箇所36回実施) ③地域連絡会代表者会の開催(H26.1/23)14名参加 ④フォローアップ研修(H25.10/29)20名参加 ⑤・子育て支援グループ(20サークル)への支援連絡会(年3回)、音楽講師等の派遣 ・すまっこフェスタ開催(H25.11/20)216組参加 ⑥子育てマップの改訂・配布(本区・支所各3000部)  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> ①子育て支援ネットワーク会議 ②地域連絡会・地域連絡会代表者会の開催 ③第7期生すまっこサポーター養成講習会の開催 ④子育て支援グループ(20サークル)への支援連絡会(年3回)、音楽講師等の派遣 すまっこフェスタ開催 ⑤子育てマップの改訂・配布	1,749	1,740	須磨区 (保健福祉部こども家庭支援課) (北須磨支所保健福祉課)
<b>父親の子育て支援</b> ・母子手帳発行時・出生届提出時など、父(母)が来所する機会を捉えて「父子健康手帳」や冊子を配布し、父親の育児参加を促す ・子育て支援室の直通電話を記入したカードを父親向けに配布	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 配布数 1,392/年間 両親教室(父親の参加本区 46人参加・支所31人)  <b>&lt;26年度予定&gt;</b> 事業継続 ・父子健康手帳、冊子の配布 ・両親教室	424	519	須磨区 (保健福祉部こども家庭支援課) (北須磨支所保健福祉課)
<b>インターナショナルすくすく広場(外国人の親子の子育てサークル)</b> 外国人の親子が安心して子育てを話せる場、相談し合う場を提供し、育児サークルを開催することで、育児不安や孤立を防ぐ。 また、行政情報も提供し、同郷への啓発の機会とする。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 子育て家庭への家庭訪問時の通訳:1回  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 家庭訪問時の通訳 母国語での情報提供	25	0	垂水区 (保健福祉部こども家庭支援課)
<b>子育て支援(子育て支援パスポート作成、地域の子育てデリバリー事業)</b> 地域での子育て情報の集約を図り、身近な情報として子育て家庭に届ける子育てパスポートを作成する。 また、子育て家庭について、主任児童委員、子育てアドバイザー(フレンドママ)が協力し、個別訪問をモデル地区にて実施する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> ・「たるみっこ子育てパスポート」情報の更新追加情報については、「ほめ方・叱り方」を作成。 ・個別訪問を「フレンド訪問」の愛称で開始。東垂水北・東垂水南・霞ヶ丘地区に加え、23年度7地区、24年度4地区、25年度4地区、新たに実施。民生委員・児童委員エリア19地区のうち18地区での実施となる。  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> ・子育て支援パスポート:継続配布 ・フレンド訪問:継続実施 垂水区全域で実施予定 ・各地区の連絡会、合同連絡会を開催予定	780	765	垂水区 (保健福祉部こども家庭支援課)
<b>子育てサークル交流会</b> 子育てサークル間の交流を図るとともに、サークルの世話役に活動の進め方などの研修を実施する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 子育てサークル相互の交流とスキルアップを目標に区と地域応援プラザ垂水、共同で3日間(同じ内容)実施。15サークル29人参加  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 地域応援プラザと共に交流会的な要素を盛り込んで実施予定。	0	0	垂水区 (保健福祉部こども家庭支援課)



事業名と内容	25年度実績と26年度予定	25年度予算 額(千円)	26年度予算 額(千円)	所管課
<b>43 「地域での子育て」支援(その8)</b>				
<b>子育てふれあい教室</b> ・育児やしつけ、親子遊びについての学習 ・1歳半から3歳前後の幼児のいる保護者が対象 ・年5～6回、各区毎に区民センター等で開催	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 市内11ヶ所、72回 参加者(保護者、子ども)2,840人 <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	4,652	4,631	教育委員会事務局生涯学習課
<b>3歳児を持つ親と子の教室</b> 住之江・清風公民館で幼稚園に入る前の幼児の保護者を対象に子育てについての学習と併せ仲間づくりを行う。また、幼児には、集団で遊ぶ機会を提供する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 事業継続 <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	—	—	教育委員会事務局生涯学習課
<b>マナビひろば事業</b> 地域の拠点である小学校を中心に、地域住民が主体となり、子どもから高齢者まで幅広い年齢層が交流したり、子どもたちが各種体験活動をしたりする機会を提供する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 実施校 39校 <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 実施予定校 38校	4,164	4,202	教育委員会事務局生涯学習課
<b>神戸総合型地域スポーツクラブ事業</b> 小学校を拠点に、子どもから高齢者まで幅広い世代の市民が、さまざまなスポーツ(バレーボール、サッカー、野球、バドミントンなど)に親しみ、健康づくりができる、地域住民の自主運営によるクラブづくりを進める。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 全小学校区で実施 <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 全小学校区で実施	61,250	43,250	教育委員会事務局スポーツ体育課
<b>神戸市PTA家庭教育アカデミー</b> 子どもたちの幸せを基本とした生涯学習社会をつくるため、自らの学習を深める場とするとともに、家庭や学校、地域社会を結ぶ架け橋となり、明るく住みよいまちづくりの「つながり」とをめざす。 (内容)家庭教育支援、学校教育支援を行う生涯学習ボランティアとして、地域で実践活動を行う。(11年度～) (主催)神戸市PTA協議会 (会員)50人程度 (履修期間)2年間(4学期制) アカデミー修了生180人の多くが地域活動を通して子どもたちの健全育成の充実に努めているため、24年度末をもってアカデミーの活動を終了		—	—	教育委員会事務局生涯学習課
<b>生涯学習支援センター</b> 市民の生涯学習を支援する全市的な拠点施設として、旧吾妻小学校施設を整備。12年9月開設(同年4月、一部開設) 子ども・親子を対象とした行事等に関する情報の収集・提供	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 事業継続 <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	93,281 (指定管理料)	115,605 (指定管理料) ※修正の可能性あり	教育委員会事務局生涯学習課
<b>読み聞かせびと講座</b> 地域で、絵本の読み聞かせを行うボランティアを養成する講座を開催する。(13年度～)	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 一般市民を対象に実施。 ・初級コース (春)2ヶ所 5回シリーズ48人 (秋)2ヶ所 5回シリーズ41人 ・ステップアップコース (春)2ヶ所 5回シリーズ19人 (秋)2ヶ所 5回シリーズ22人 ・ボランティア講座1回20人 <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	601	586	教育委員会事務局生涯学習課

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算 額(千円)	26年度予算 額(千円)	所管課
<b>43 「地域での子育て」支援(その9)</b>				
<b>子育てサークル支援</b> 地域の幼児(在宅児等)および保護者等の中で、継続した親子活動が実施できるグループを対象に、幼稚園の園庭や保育室を開放し、未就園児をもつ保護者等の自主的な子育てグループの活動を支援する。 保護者が互いに子育てを学んでいこうとする気持ちを育て、地域の教育力の充実を図り、幼稚園が核となる地域のネットワークづくりの推進を強化する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 市立幼稚園14園 <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 市立幼稚園15園 (あずま幼、兵庫くすのき幼、すずかぜ幼、大沢幼、長尾幼、西野幼、多聞ひまわり幼、たるみ幼、小束山幼、いかわ幼、神出幼、岩岡幼、六甲山幼、遊喜幼、みどりのまち幼)	690	552	教育委員会事務局指導課
<b>放課後子ども教室の実施</b> 小学校の放課後に地域の方々の参画を得て、安全・安心な活動場所づくりを進め、子どもたちが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。 また学童保育と一体的・連携して運営するモデル事業を実施する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 実施校 139校 <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 実施予定校 136校 うち8校でモデル事業実施予定	131,734	182,116	こども家庭局こども青少年課
<b>44 子育てリフレッシュステイ事業などの充実</b>				
<b>子育てリフレッシュステイ</b> 疾病、冠婚葬祭等で一時的に子どもを養育できない時や子育てを離れ心身のリフレッシュをしたい時に、必要に応じて子どもを預かることにより子育てを支援する。 ・実施施設:児童養護施設(14か所) 乳児院(3か所) 母子生活支援施設(7か所) (内容)デイサービス、ショートステイ (対象)18歳未満 (受入期間)原則10日/1月以内 デイサービス8～21時 (利用料)2,400～6,600円/1日	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 事業継続 <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	52,256	53,464	こども家庭局こども家庭支援課
<b>45 児童館の整備・充実</b>				
<b>児童館整備事業</b> 1中学校区に児童館を1館整備するとともに、既設の児童館が利用しにくい地域についても、諸条件を勘案しながら整備を図る。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 26年3月に新たに1館を開設(御影北児童館) <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	35,585	35,585	こども家庭局こども青少年課
<b>46 子ども会活動などの支援</b>				
<b>単位子ども会活動助成</b> 単位子ども会の活動に要する経費の一部として、会員数に応じた助成を行う。 また、新規結成した子ども会には、5,000円と子ども会旗1旗の助成を行う。さらに、研修等を行い指導者の養成に努めるほか、スポーツ等を通じて子ども会相互の連携と交流を図る。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 各区の子ども会の活動助成、子ども会相互の連携交流 <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	12,151	11,478	こども家庭局こども青少年課

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>47 子連れで安心して行動できるまちづくり</b>				
男女共同参画センター主催講座での一時保育の実施 (再掲 26参照)	<25年度実績> (26参照)  <26年度事業> (26参照)	(26参照)	(26参照)	市民参画推進局 男女共同参画課 (男女共同参画センター)
その他市の主催講座での一時保育の実施 (再掲 26参照)	<25年度実績> (26参照)  <26年度事業> (26参照)	—	—	各局・各区 教育委員会事務局 中央図書館
都市施設整備の推進 (105参照)	<25年度実績> (105参照)  <26年度事業> (105参照)	(105参照)	(105参照)	保健福祉局計画 調整課・障害福祉課
「だれでもトイレタウン」計画 (105参照)	<25年度実績> (105参照)  <26年度事業> (105参照)	(105参照)	(105参照)	住宅都市局計画 部まちのデザイン室
ユニバーサル歩道整備事業～だれもが安心して歩きやすいみちに～(105参照)	<25年度実績> (105参照)  <26年度事業> (105参照)	(105参照)	(105参照)	建設局道路部工務課・計画課
ユニバーサルデザイン公園の整備～子どもと環境を育てるユニバーサルな公園をめざして～ (105参照)	<25年度実績> (105参照)  <26年度事業> (105参照)	(105参照)	(105参照)	建設局公園砂防部緑地課
<b>48 小児科救急医療体制の整備</b>				
小児科救急医療体制(休日、夜間)の整備と情報提供	<25年度実績> ・休日・夜間の救急医療機関の案内 電話・パソコン・携帯端末による (月～金17:00～翌9:00 土曜・休日9:00～翌9:00(24時間)) ・相談(助言)、医療機関紹介 休日急病電話相談所(休日9:00～16:30) 神戸こども初期急病センターこども急病電話相談(月～金曜20:00～翌7:00 土曜15:00～翌7:00 休日9:00～翌7:00)(23年4月～) #8000(小児救急医療電話相談)(月～土曜18:00～24:00 休日9:00～24:00) ・ママとパパの医療講座(こどもの病気に関する最新情報や対応などの講座)の実施 ・小児科救急医療体制 神戸こども初期急病センター(月～金曜19:30～翌7:00 土曜14:30～翌7:00 休日8:30～翌7:00) 小児科休日急病診療所(休日9:00～16:40) 病院群輪番制(毎日24時間) 毎日交替で当番病院が診療 西神戸医療センター(月・火・木・土・日17:00～24:00) 市立医療センター中央市民病院(救命救急センター)毎日24時間  <26年度事業> 事業継続	・救急医療対策等 806,177	・救急医療対策等 1,048,405	保健福祉局地域医療室
市民救命士 小児コース(3時間) 小児や乳児で、呼吸や心臓が止まったり、食物等が喉に詰まったときに必要な応急手当を広く市民の方に習得していただくため、市民救命士小児コースを新設した。(15年度～)	<25年度実績> 事業継続 1,786人養成  <26年度事業> 事業継続	4,911	5,471	消防局市民防災 総合センター



### 基本目標3 女性の社会への更なる参画の促進

#### 課題1 政策・方針決定の場への女性の参画の促進

##### (1) 市政への女性の参画の促進

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>49 市の審議会などへの女性委員の登用促進</b>				
<b>市の審議会等への女性委員の登用</b> 女性委員比率35%以上(目標年度平成27年度)と女性委員ゼロ審議会の解消を目標に、女性委員の登用促進を図る。 また、年に1度登用状況の調査を行い、進捗状況を把握する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 25年3月31日現在 (カッコ内は24年3月31日現在の数値) ・審議会数 152(105) ・0審議会数 31(10) ・総委員数 2,664(2,418) ・女性委員数 842(802) ・登用率 31.6%(33.2%)  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 引き続き、平成27年度までの登用実施計画に基づき、所管する各審議会の委員改選や委員選定に女性委員の登用を図っていく。また、登用状況調査を行い、進捗状況を把握する。	—	—	各局 (登用状況調査は、行政経営課と男女共同参画課が行う)
<b>市の審議会等への女性委員の登用についての働きかけ</b> 各審議会等の委員の改選時期の前に、担当部局に対して登用実施計画に基づき、女性委員の積極的な登用について依頼・協議している。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 事業継続  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	—	—	市民参画推進局 男女共同参画課
<b>50 女性の人材を育成する場の充実</b>				
<b>神戸婦人大学の運営</b> 女性が自らの生き方を発見し、社会のあらゆる分野における活動に参加並びに参画するための基礎的な能力を身につけることを目的とする3年制の市民大学である神戸婦人大学を運営する。 (対象)神戸市在住・在勤の67歳以下の女性 (内容)①生活・環境コース ②文化・デザインコース	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 学生数435人(25年4月当初) 本科 1年生 169人 2年生 130人 3年生 102人 研究科 1年生 23人 2年生 11人  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 学生数424人(26年4月当初) 本科 1年生 148人 2年生 151人 3年生 92人 研究科 1年生 15人 2年生 18人	34,936	36,619	市民参画推進局 男女共同参画課
<b>男女共同参画セミナーの開催</b> (再掲 1参照)	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> (1参照)  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> (1参照)	(1参照)	(1参照)	市民参画推進局 男女共同参画課 (男女共同参画センター)
<b>51 市政への女性の意見の反映(その1)</b>				
<b>神戸市男女共同参画審議会</b> 学識経験者、実務家、市民などで構成される審議会を設置し、男女共同参画の推進に関する重要事項や施策の実施状況について、調査・審議し、意見を述べてもらう。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> ・審議会2回開催 神戸市男女共同参画年次報告書についてなど  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> ・審議会2回開催予定 神戸市男女共同参画年次報告書についてなど	711	700	市民参画推進局 男女共同参画課
<b>男女共同参画申出処理制度</b> 市民・事業者からの男女共同参画に関する施策に対する苦情・提案又は人権侵害の相談に対し、苦情処理委員が調査を行い、その報告を受けて市が適切に対応する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 事業継続  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	348	346	市民参画推進局 男女共同参画課

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>51 市政への女性の意見の反映(その2)</b>				
<b>市政アドバイザー</b> 市内在住外国人を含む「市政アドバイザー」約1,000人を無作為選任し、意識調査、施設見学会、インターネットアンケート、市政セミナー等を実施し、市政に対する意見要望の把握に努める。(任期2年)	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 第12期(25.5~27.3) 男 511人、女554人 ・市政アドバイザー意識調査 3回 ・市政セミナー施設見学会 3回 ・インターネットアンケート ・市政の資料等送付 ・審議会委員への推薦  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 第12期(25.5~27.3) 男 511人、女554人 ・市政アドバイザー意識調査 2回 ・市政セミナー施設見学会 1回 ・インターネットアンケート ・市政の資料等送付 ・審議会委員への推薦	4,240	4,449	市民参画推進局 広聴課
<b>婦人市政懇談会</b> 婦人を対象に、身近な問題や市政に関する諸問題について話し合い、集約されたこれらの声を把握し、市政に反映していくとともに、相互の対話により、市政に対する理解と認識を深める。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> ・地域集会 113回 ・問題別懇談会 3回 ・年代別懇談会 6回 ・各区総括集会 9回 ・全市総括集会 1回 ・報告集会 1回  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> ・地域集会 113回 ・問題別懇談会 2回 ・年代別懇談会 5回 ・各区総括集会 9回 ・全市総括集会 1回 ・報告集会 1回	3,549	3,720	市民参画推進局 広聴課

(2) 企業・団体などにおける方針決定の場への女性の参画の促進

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>52 企業・団体などにおける方針決定の場への女性の参画の促進</b>				
<b>神戸市男女共同参画推進会議における登用状況の把握</b> 市内の地域団体、経済団体、教育団体等各種団体からなる「男女共同参画推進会議」(平成11年4月~)において、女性の登用状況等について報告してもらう。(男女共同参画推進会議 30参照)	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 第1回推進会議(8月5日開催)において、男女共同参画への取り組み状況について各団体から報告  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 第1回推進会議(8月1日開催)において、男女共同参画への取り組み状況について各団体から報告	— (8に計上)	— (8に計上)	市民参画推進局 男女共同参画課
<b>53 女性の活躍を推進する研修プログラムの実施</b>				
<b>女性活躍推進事業の実施</b>	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 女性管理職の少ない中小企業などを対象に、企業における女性活躍推進プログラムを実施。またプログラム終了後、過去の修了生を対象に、フォローアップ研修も実施した。  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	476	473	市民参画推進局 男女共同参画課
<b>54 女性リーダーの育成支援(その1)</b>				
<b>消費者学級</b> 消費者意識の高揚と消費生活に関する知識を深めるため、自主的な学習活動等を行う消費者グループに対して助成を行う。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 消費者学級数 83学級  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 消費者学級数 現在、集計中	1,067	1,050	市民参画推進局 消費生活課

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>54 女性リーダーの育成支援(その2)</b>				
<b>新任民生委員・児童委員研修及び活動助成事業</b> 民生委員・児童委員活動の円滑化のため、民生委員・児童委員活動への助成を行う。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> ・新任民生委員・児童委員研修会 12月17日 ・全国社会福祉協議会主催研修会への参加 (1) 全国民生委員指導者研修会 平成26年2月19日～2月21日 (2) 民生委員・児童委員リーダー研修会 11月11日～13日 など  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 引き続き、民生委員・児童委員活動の円滑化のための研修を実施する。	656	656	保健福祉局 計画調整課
<b>婦人防災安全委員</b> 防災意識の高揚を図るとともに、一般家庭における防災安全体制づくりの推進を図り、もって市民生活の安全性を高める。 (対象) 婦人会活動を通じて、地域のために活動する女性300人を2年任期として委嘱する。 (内容) 習得した防災知識・技術を婦人会活動を通じて地域・家庭に広めるなど、防災の推進者として活動してもらおう。また、防災福祉コミュニティ活動にも積極的に活躍してもらおう。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 婦人会活動を通じて、住宅火災の軽減のため住宅用火災警報器の更なる普及推進、及び防災意識の高揚を図るため防災福祉コミュニティや自治会活動等、地域における防災活動に積極的に参加している。  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	—	—	消防局予防課
<b>野外活動指導者講習会</b> 野外活動(キャンプ)におけるリーダーを養成する。大学生・短大生・専門学校生。120名。1泊2日のキャンプを行うなかで、キャンプリーダーとしての初歩の講習を受ける。講習会を経て、希望する者は、神戸市野外活動ジュニア指導者協議会に入会し、年間を通じて、野外活動におけるリーダーとして活動する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> ・前期 4月20・21日 参加者 60人(男3人 女57人) ・後期 4月27・28日 参加者 44人(男2人 女42人)  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> ・前期 4月19・20日 参加者 25人(男2人 女23人) ・後期 4月26・27日 参加者 50人(男6人 女44人)	293	293	教育委員会事務局 スポーツ体育課
<b>55 政治・選挙への女性の参加を促進するための啓発</b>				
<b>婦人政治選挙講座の開催</b> 女性の有権者を対象に、政治、選挙、時事問題等についての講座を開催し、政治、選挙に対する関心を高める。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 25年7・8月、11月～26年1月開催 開催回数 48回 参加者 1612人  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	631	650	選挙管理委員会 事務局

(3) 市における女性職員の職域拡大と登用促進

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>56 ポジティブ・アクション(積極的改善措置)としての女性職員の職域拡大の促進(その1)</b>				
<b>女性職員の職域拡大・積極的登用</b>				
<b>女性職員の職域拡大と積極的な登用</b> 女性職員の職域を、庶務的な事務のみに限らず、政策形成的な企画部門あるいは直接事業を実施する部門へ広げていく。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> ・人事異動による職域の拡大 ・庁内公募制の実施  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	—	—	行財政局 人事課
<b>女性消防吏員の採用及び職域の拡大</b> 9年度から計画的に女性消防吏員の採用を図り、18年度から採用試験において男女枠を撤廃している。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> ・大卒 3名 ・高専、短大卒 0名 ・高卒 0名  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	—	—	消防局 職員課

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>56 ポジティブ・アクション(積極的改善措置)としての女性職員の職域拡大の促進(その2)</b>				
<b>地下鉄・市バス関連の女性職員の職域拡大</b> 乗合自動車運転士及び地下鉄駅掌の募集対象を、これまでの男性のみから、男女とも対象に拡大している。(12年度～)	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 25年4月1日現在 地下鉄の女性車掌・駅掌 11人  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	—	—	交通局 職員課
<b>57 女性職員の管理職への登用の促進・支援</b>				
<b>女性職員の管理職への登用促進</b>				
<b>一般行政職員の管理職への登用の促進</b> 人事異動を通じて、女性職員の管理職への登用を促進している。	26年4月1日現在 (カッコ内は25年4月1日現在の数値) 左のうち一般行政事務 ・局長級 1 (0)                      ・局長級 1 (0) ・部長級 22 (20)                    ・部長級 10(8) ・課長級 93 (86)                    ・課長級 24 (20) ・係長級 367 (379)                  ・係長級 110 (108) 計 483 (485)                           計 145 (136)	—	—	行財政局 人事課
<b>消防職員</b>	26年4月1日現在 (カッコ内は平成25年4月1日現在の数値) ・司令 2 (2) ・司令補 16(16)	—	—	消防局 職員課
<b>女性職員が係長昇任選考を受験しやすい環境づくり</b> 女性職員がより受験しやすい係長昇任選考制度の検討とともに、管理職への意識の向上のために啓発活動に取り組む。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> ・昇任選考制度の情報提供のため、係長昇任選考説明会を実施 ・女性管理職との交流会を実施  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> ・係長昇任選考説明会 ・女性職員のためのキャリア形成セミナー(関係部局と調整中)	50	50	人事委員会 事務局
<b>58 女性職員の働きやすい職場環境の整備</b>				
<b>次世代育成支援対策推進法に基づく特定事業主行動計画の策定</b> 次世代育成支援対策推進法(15年7月制定)に基づき、神戸市を事業主とする特定事業主行動計画を策定する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> ・子育てにかかる休暇制度の情報発信 ①男女共同参画推進員(局の庶務担当係長等)に対する研修の実施(7月) ②仕事と家庭の両立支援セミナー(希望者)を実施(10月)  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> ・引き続き休暇制度の情報発信を行い、職員(取得対象者・所属長)への周知徹底を図る。	—	—	行財政局 人事課
<b>セクシュアル・ハラスメント防止対策</b> 改正男女雇用機会均等法(11年4月1日施行)に基づき、セクシュアル・ハラスメント防止についての市の方針の明確化(11年4月30日付 神総職人第44号)と周知・啓発、相談・苦情への対応、事後の迅速かつ適切な対応等を行い、セクシュアル・ハラスメントの防止に努める。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> コンプライアンス職場研修を通じて、全職員に周知・徹底  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	—	—	行財政局 人事課・監察室
<b>外郭団体におけるセクシュアル・ハラスメント防止研修の実施</b>	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 男女共同参画課よりビデオを貸出すなど、事業継続  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	—	—	各局 (各外郭団体)

課題2 就業の場における男女共同参画の推進

(1) 職場における男女共同参画の推進

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>59 男女雇用機会均等法などの普及・啓発</b>				
「KOBE E・TIPS」の発行 神戸市の産業振興施策、市内の経済動向、企業情報等を紹介する、一般市民向け情報誌を発行する。	<25年度実績> 「こうべ男女いきいき事業所」表彰結果の掲載  <26年度事業> 事業継続せず	2,000	—	市民参画推進局 男女共同参画課・ (公財)神戸市産業振興財団
「E-こうべ経済つうしん」の配信 神戸市の産業振興施策、中小企業支援に関する情報をメールマガジン方式で配信。	<25年度実績> 事業継続  <26年度事業> 事業継続	—	—	市民参画推進局 男女共同参画課・ 産業振興局経済企画課
・こうべ男女共同参画推進月間の開催 ・こうべ男女いきいき事業所表彰の実施(再掲 2、62参照)	<25年度実績> (2、62参照)  <26年度事業> (2、62参照)	(2、62参照)	(2、62参照)	市民参画推進局 男女共同参画課
<b>60 妊娠・出産などの母性の保護とそれを理由とした差別解消に向けての啓発</b>				
女性のための健康とからだセミナーの実施 (126 参照)	<25年度実績> (126 参照)  <26年度事業> (126 参照)	(126 参照)	(126 参照)	市民参画推進局 男女共同参画課・ 男女共同参画センター
<b>61 職場におけるセクシュアル・ハラスメント防止に関する啓発</b>				
・セクシュアル・ハラスメント防止ハンドブックの一部改訂・配布 ・啓発ビデオの貸出し (90 参照)	<25年度実績> (90参照)  <26年度事業> (90参照)	—	—	市民参画推進局 男女共同参画課・ 男女共同参画センター
<b>62 企業のポジティブ・アクションへの取り組みについての啓発</b>				
こうべ男女いきいき事業所表彰 男女共同参画に積極的な取り組みを行っている事業所等を「こうべ男女いきいき事業所」として表彰し、当該取り組みを広く紹介することによって、他の事業所における男女共同参画を推進する。	<25年度実績> ・表彰事業所 5事業所 ・(株)神戸風月堂 有限会社システムプラネット (株)ドンク (株)ラフト 独立行政法人理化学研究所(神戸事業所) ・表彰事業所はホームページ等によりPR  <26年度事業> 事業継続	219	606	市民参画推進局 男女共同参画課
工事請負契約競争入札参加資格の等級各付における男女共同参画支援点数加算 ・平成24・25年度より神戸市工事請負競争入札参加資格における等級格付について、男女共同参画推進に関して、平成15年度以降に国の「均等・両立推進企業表彰」(※注)あるいは神戸市の「こうべ男女いきいき事業所表彰」を受賞している者のみ、5点を加算している。(※注 旧「均等推進企業表彰」「ファミリー・フレンドリー企業表彰」も可としている。) ・平成24・25年度より神戸市工事請負競争入札参加資格における等級格付について、「次世代育成支援対策推進法」に基づく「一般事業主行動計画」を策定(平成24年1月31日現在有効なもの)し、都道府県労働局へ届け出ている者のみ、5点を加算している。	<25年度実績> 平成26・27年度神戸市工事請負競争入札参加資格における等級格付についても同様に実施  <26年度事業> 継続実施	—	—	行財政局財政部 契約監理課



## (2) さまざまな就業の場で働く人の労働条件の向上

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>63 パートタイム労働・派遣労働・期間雇用(契約社員)等で働く人の労働条件の向上</b>				
事業所に対する男女共同参画社会に関する意識啓発事業	<p>&lt;25年度実績&gt; ・啓発事業を実施。</p> <p>&lt;26年度事業&gt; ・啓発事業を継続。 ・市内中小企業を中心に、男女共同参画に関する実態調査・啓発業務を実施予定。</p>	—	—	市民参画推進局 男女共同参画課
<b>64 家族従業者・家内労働者として働く女性の労働条件の向上</b>				
家族従業者等の活動報告と家内労働の概況調査及び商店街や市場等における女性の活動事例等の紹介(再掲 33参照)	<p>&lt;25年度実績&gt; 事業継続</p> <p>&lt;26年度事業&gt; 事業継続</p>	—	—	市民参画推進局 男女共同参画課
推進会議ニュース「すくらむKOBÉ」における地域での男女共同参画への取り組みの紹介記事掲載(8参照)	<p>&lt;25年度実績&gt; VOL.26(8月発行)において、家族(母と娘)で頑張っている歯科用品販売店を紹介。 VOL.27(2月発行)において、「踊り」を通じて交流や文化を発信に取り組んでいる女性を紹介。平成25年度こうべ</p> <p>&lt;26年度事業&gt; 25年度と同様に、年2回発行予定。</p>	(8に計上)	(8に計上)	市民参画推進局 男女共同参画課
<b>65 農漁業に従事する女性の労働条件の向上</b>				
男女共同参画推進会議における情報・意見交換(再掲 8参照)	<p>&lt;25年度実績&gt; (8参照)</p> <p>&lt;26年度事業&gt; (8参照)</p>	(8参照)	(8参照)	市民参画推進局 男女共同参画課
農漁業女性団体活動助成 農協、漁協の女性団体に対し活動助成を行い、団体としてのエンパワメントを図り、もって女性の意思決定の場への参画を促進する。	<p>&lt;25年度実績&gt; 事業継続</p> <p>&lt;26年度事業&gt; 事業継続</p>	1,200	1,200	産業振興局計画課
<b>66 女性農漁業者の積極的な育成支援</b>				
認定農業者制度における女性担い手農業者の育成 認定農業者制度により、市がつくった方向に沿って効率的、安定的な農業経営の確立をめざす農家の農業経営改善計画を市が認定して支援を行う。	<p>&lt;25年度実績&gt; 担い手農家等育成懇話会 3回開催</p> <p>&lt;26年度事業&gt; 担い手農家等育成懇話会 3回開催</p>	240	240	産業振興局計画課
女性担い手農業者の育成支援 農業技術、経営に関する研修会の開催等により女性農業者の育成を支援する。	<p>&lt;25年度実績&gt; 事業継続</p> <p>&lt;26年度事業&gt; 事業継続</p>	—	—	産業振興局計画課
女性起業農業者の育成支援 道の駅「淡河」の女性グループ活動(レストランでの食材供給、メニュー作成及びその運営)への支援を行う。	<p>&lt;25年度実績&gt; 事業継続</p> <p>&lt;26年度事業&gt; 事業継続</p>	—	—	産業振興局計画課

### 課題3 女性の就業機会の拡大

#### (1) 女性の就業支援と起業支援

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>67 就業支援のための講座及び情報提供・相談の充実</b>				
<b>KOBE Job Navi(神戸市しごと情報案内板)への情報提供掲載</b> 求職者に対する就職支援の内容を広く周知するため、インターネットを活用して情報提供を行う。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 講習会や相談会の開催情報、支援窓口等を掲載 <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	—	—	産業振興局経済企画課
<b>神戸ワーク・ネットワーク(就業促進協議会)</b> 神戸の各界で構成する協議会を設立し、連携・協力して神戸市域の就業支援施策を進める。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 就労相談、就職面接会、就労支援セミナー、事業創造型インターンシップ、採用力アップセミナー、メンター育成研修の実施 <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	9,668	11,659	産業振興局経済企画課
<b>新規就農支援事業</b> (対象)市内で就農を希望する者 (内容) 「就農支援里親事業」 就農及び就農後のフォローアップ 「就農相談」 各種相談	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> JA新規就農者塾(6名、うち女性3名) 就農相談 <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 就農相談等随時	960	960	産業振興局計画課
<b>若年者人材育成支援事業</b> ・神戸ものづくり職人大学 地場産業(神戸洋服、神戸靴、神戸洋家具)の後継者育成のための神戸ものづくり職人大学を運営する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 神戸ものづくり職人大学(第5期生25名、うち女性13名) <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 神戸ものづくり職人大学(第5期生25名、うち女性13名)	17,181	17,925	産業振興局ファッション産業課
<b>ソフトウェア人材育成事業</b> 市内中小企業の従業員を対象に、専用のソフトウェア研修室において低廉な料金でパソコンやインターネット等ネットワークを採り入れた研修を実施する。 これらの研修は、就業を目指す学生や主婦等にも門戸を開放している。 (内容)パソコン初心者のための「パソコン入門」からWindowsの基礎操作ができる人や各アプリケーションの基礎を習得した人のための「WORD2007初級～中級」「EXCEL2007初級～中級」へと、ステップアップしやすいように各講座にランク付けをした講座体系で実施している。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> パソコン入門講座・タッチタイピング体験講座 ワード(初級・中級) エクセル(初級・中級・上級・) アクセス(入門) ホームページビルダー(入門・応用) パワーポイント(入門・体験) インターネット入門 電子メール(入門) Windows8(入門・活用講座) ゆっくりパソコン倶楽部 <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	771	759	(公財)神戸市産業振興財団
<b>就業・チャレンジセミナー</b> 就職や起業、地域活動などにチャレンジしようとする女性のキャリアプラン作りを応援するセミナーを開催する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 7月13日「女性のための就業・チャレンジ相談会」講師:上芝美恵 2名 11月27日「再就職に生かす心理学 交流分析で自分発見」講師:吉田弦 44名 1月24日「楽しく学べるソーシャルビジネス」講師:狩野仁未 29名 2月7日「女性のための就業・チャレンジ相談会」3名 <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	— (1に計上)	— (1に計上)	市民参画推進局男女共同参画課(男女共同参画センター)
<b>就業・チャレンジ相談</b> 就職や起業、地域活動などにチャレンジしようとする女性の相談に女性キャリアカウンセラーが対応する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> (123参照) <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	— (123に計上)	— (123に計上)	市民参画推進局男女共同参画課(男女共同参画センター)

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>68 起業についての講座の実施と相談窓口の充実</b>				
<b>神戸開業支援コンシェルジュ</b> 企業・開業に関するセミナーや様々な課題を解決するための専門相談、経営サポート付起業家オフィスの提供など、開業から事業の実施まで一貫して支援する。 (対象)神戸市内で独立・開業を目指す方～創業後1年以内の方	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> ・KOBEO創業塾 受講者 36名 ・インキュベーション施設 新規入居 22社  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> ・KOBEO創業塾は再編	832	780	(公財)神戸市産業振興財団
<b>中小企業者、創業予定者を対象とする各種相談事業の実施</b> 神戸商工会議所と(公財)神戸市産業振興財団が連携し、ワンストップ機能を充実し、相談に応じ問題の解決を支援する。なお、専門家による相談は次のとおり。 ・経営相談(中小企業診断士) ・技術相談(技術士) ・法律上の問題に関する相談(弁護士)	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> ・経営相談(中小企業診断士) ・技術相談(技術士) ・法律上の問題に関する相談(弁護士)  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	5,736	5,736	(公財)神戸市産業振興財団
<b>SOHOプラザ/KFM・SPにおける各種相談事業の実施</b> (対象)ベンチャー企業、創業予定者(内容)起業に関する各種相談の受付、情報誌の発行・閲覧、ウェブサイトの運営	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> ・各種相談業務 KFM 112件、SP 62件、計 174件 ・セミナー開催 KFM 12回、SP 5回、計 17回  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> ・各種相談業務 KFM130件、SP 65件、計195件 ・セミナー開催 KFM 10回、SP 5回、計 15回	8,914	9,085	産業振興局ファッション産業課
<b>KOBEDリームキャッチプロジェクトの実施</b> 神戸を拠点に新規事業に挑戦する中小企業や起業家の事業化を総合的にサポートする「KOBEDリームキャッチプロジェクト」を実施し、ビジネスプランの事業化を支援する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> ・第16回募集(5/15～7/3) 応募数60件 ・認定 8件  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> ・第17回募集(5/1～7/2)	7,457	7,247	(公財)神戸市産業振興財団

(2) 女性の職業意識・能力の向上

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>69 女性の職業観や職業意識、仕事に必要な能力を育成する講座などの充実</b>				
<b>神戸市看護大学の運営</b> 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる看護専門職の育成を行うため、平成8年に神戸市看護大学を設置、運営している。平成12年には大学院看護学研究科を設置した。 平成17年度には助産学専攻科、平成18年度は大学院博士課程を設置した。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 学生数 454人(25年4月1日現在) ・大学 372人 ・大学院 前期課程 41人 後期課程 25人 ・専攻科 16人  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 学生数 468人(26年4月1日現在) ・大学 378人 ・大学院 前期課程 47人 後期課程 27人 ・専攻科 16人	252,965	301,447	保健福祉局看護大学
<b>就業・チャレンジセミナー</b> (再掲 67参照)	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> (67参照)  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> (67参照)	(67参照)	(67参照)	市民参画推進局男女共同参画課(男女共同参画センター)
<b>女性活躍推進事業の実施</b> (再掲 53参照)	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> (53参照)  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> (53参照)	(53参照)	(53参照)	市民参画推進局男女共同参画課
<b>70 女性の自主的学習活動への支援</b>				
<b>就業・チャレンジ情報コーナー</b> 男女共同参画センター内に、就業・チャレンジに関連する講座、相談機関、支援制度等についての情報を集めた情報コーナーを運営する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 設置場所:男女共同参画センター1階交流コーナー  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	—	—	市民参画推進局男女共同参画課(男女共同参画センター)



## 基本目標4 女性に対するあらゆる暴力の根絶

### 課題1 神戸市配偶者等暴力(DV)対策基本計画(第2次)の推進

#### (1) 相談機能の充実

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>71 神戸市配偶者暴力相談支援センターの充実</b>				
<b>配偶者暴力相談支援センター業務</b> 改正「配偶者からの暴力(DV)防止法」及びこれに基づく国の基本方針に対応して、配偶者暴力相談支援センターの業務を開始し、被害者支援の一層の強化を図る。 (業務内容) ・相談業務 ・カウンセリング ・保護命令のための手続き支援 ・関係機関への同行支援及び安全確保や自立支援等のための連絡・調整 ・専門家によるスーパーバイズの実施	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 相談件数 延べ2,424件(電話相談1,921件、面接相談299件、カウンセリング204件) 同行支援 24件 保護命令書面提出25件 証明書発行55件  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	16,517	17,013	市民参画推進局 男女共同参画課
<b>72 相談窓口の充実</b>				
<b>配偶者暴力相談支援センター業務</b> (再掲 71参照)	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> (71参照)  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	— (71参照)	— (71参照)	市民参画推進局 男女共同参画課
<b>犯罪被害者等の支援に関する「相談窓口」</b> 犯罪被害者等の支援に関する相談を総合的に行う「相談窓口」を設置し、必要な情報提供や助言を行う。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 相談件数：述べ9件(電話相談5件、面接相談4件)  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 犯罪被害者等の支援に関する「総合相談窓口」事業の継続	—	—	保健福祉局人権推進課

## (2) 被害者の安全確保の徹底

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>73 被害者の安全確保の徹底</b>				
<b>DV被害者支援活動への補助</b> 民間団体が行っているシェルター運営や、PTSDを抱えるDV被害者や日本語の不自由な外国人DV被害者などへの関係機関・施設への同行援助に対して補助を行う。	<25年度実績> 事業継続  <26年度事業> 事業継続	1,200	1,200	市民参画推進局 男女共同参画課
<b>神戸市母子・婦人短期保護事業</b> (内容)家庭からの逃避あるいは不測の事態により生活の本拠を喪失するなどにより保護を必要とする時、市内の母子生活支援施設に一時的に入所させ、問題解決のための指導を行う。 (対象)原則として市内在住の母と20歳未満の児童、18歳以上65歳未満の女性。 (補助金)生活資金 1人900円/日 事務費 1件3,000円/日 備品購入費 1施設150千円以内/年	<25年度実績> 短期保護件数 36件 (内、DVを含む「家庭からの逃避」による保護 17件)  <26年度事業> 事業継続	3,825	3,960	こども家庭局こども家庭支援課
<b>神戸市DV対策関係課長連絡会議</b> 市域におけるDVへの対応に関し、庁内の関係各課が相互に連携しながらDV被害者の防止から被害者への適切な支援の取り組みを支援する。 (内容) 関係各課の取り組みについての情報交換、DV対策についての研究協議、個別事例の研究 等	<25年度実績> 実施なし  <26年度事業> 実施未定	—	—	市民参画推進局 男女共同参画課 (男女共同参画センター)
<b>74 被害者の情報管理の徹底</b>				
<b>「ひょうごDV防止ネットワーク会議」(県立女性家庭センター主催)への参加</b>	<25年度実績> 第1回 平成25年12月3日 第2回 平成26年3月12日  <26年度事業> 事業継続	—	—	市民参画推進局 男女共同参画課 (男女共同参画センター)・こども家庭局こども家庭支援課

## (3) 被害者の自立支援と生活再建の支援

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>75 生活基盤を整えるための支援</b>				
<b>生活保護</b>	<25年度実績> 事業継続 (予算額はDV被害者を含む生活保護費全体の額)  <26年度事業> 事業継続 (予算額はDV被害者を含む生活保護費全体の額)	86,851,616	85,440,988	保健福祉局保護課 各区保健福祉部
<b>児童及び妊婦の福祉に関する相談・調査・母子生活支援施設における保護</b> 母子家庭の母またはこれに準ずる状態にある者の自立支援を図るため、生活相談や就業について相談に応じる。	<25年度実績> 事業継続  <26年度事業> 事業継続	4,507	4,590	こども家庭局こども家庭支援課 各区こども家庭支援課
<b>母子福祉センターの支援</b> 母子家庭の福祉増進を目的として設置。技能習得や教養講座の開催、法律相談等を行う。	<25年度実績> 事業継続  <26年度事業> 事業継続	7,798	8,021	こども家庭局こども家庭支援課

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>76 住宅の確保に向けた支援</b>				
<b>母子生活支援施設への入所</b> 住宅に困窮し、生活上様々な問題を抱えている母子家庭が入所し、問題解決に取り組み、母の就労や世帯の自立を支援することで、児童の健全育成を図る。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> H24年度新規入所件数 39件 (内、DVを含む「家族からの逃避」による入所 20件)  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	471,785	570,660	こども家庭局こども家庭支援課 各区こども家庭支援課
<b>市営住宅の活用</b> 一定の要件を満たすDV被害者の優先入居や目的外使用による提供	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 優先入居により1世帯入居 目的外使用について要綱を制定し、対象者が適切に利用できるように手続きを簡略化  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	—	—	住宅都市局住宅部住宅政策課・住宅管理課
<b>77 就業の支援(その1)</b>				
<b>母子家庭等自立支援教育訓練給付金事業</b> 母子家庭の母又は父子家庭の父に対して、就業に結びつけるために受講した指定講座に要した費用の一部(受講費用の20%:上限10万円)給付を行うことにより、母子及び父子家庭の自立促進を図る。【西区の回答】	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 支給件数 12件  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	264	306	こども家庭局こども家庭支援課 各区こども家庭支援課
<b>77 就業の支援(その2)</b>				
<b>母子家庭等高等職業訓練促進給付金事業</b> 母子家庭の母(所得要件あり)が一定の資格を取得するために2年以上養成機関等で修業する場合に、生活費の負担軽減のため、修業期間中の一定期間(平成24年3月31日までに修業を開始した者は全期間対象。平成24年4月1日～平成25年3月31日までに入学したものは上限2年)について訓練促進給付金を、また修業修了時に修了支援給付金(平成20年4月以降に修業を開始した者対象)を支給することにより、能力開発を支援し自立促進を図る。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 支給件数 88件  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	161,278	125,542	こども家庭局こども家庭支援課 各区こども家庭支援課
<b>母子家庭等就業・自立支援センター事業</b> 母子家庭の母及びそれに準ずるものに対し、就業相談や就業支援セミナーの実施、就業情報の提供など一貫した就業支援サービスを行い、母子家庭等の自立促進を図る。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 就業相談:相談者総数 72人 就業セミナー:総参加者数 44人  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	10,311	10,398	こども家庭局こども家庭支援課 各区こども家庭支援課

事業名と内容	25年度実績と26年度予定	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>78 子どもへの支援</b>				
<b>子ども家庭センター実施の相談事業</b> 24時間・365日、虐待に関する電話相談を受け付けており、地域における身近な育児相談窓口として各区に設置している「子育て支援室」と連携しながら虐待の早期発見・早期対応に努める。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 事業継続  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	10,711	10,906	こども家庭局こども家庭センター
<b>面会の仕組みの検討</b> DV被害者の離婚後の子どもの実態調査	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 調査結果を参考に、DV家庭に育った子どもや、被害から逃れたあとの養育親への支援策を検討。  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	—	—	市民参画推進局 男女共同参画課 こども家庭局こども家庭支援課
<b>子どもへの心理的ケアの実施</b> 学校での教育相談体制を充実する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> スクールカウンセラーの全中学校区へ原則2名を拠点校配置し、すべての学校で定期的な相談活動を行った。  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> スクールカウンセラーの全中学校区へ2名を配置し、原則全中学校で月4回、全小学校で月2回実施の定期的な相談活動を行う。	251,904	251,036	教育委員会事務局 指導課
<b>79 高齢者・障がい者への支援</b>				
<b>あんしんすこやかセンターでの研修の実施</b>	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 25年度より事業者に委託  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 引き続き事業者に委託	—	—	※25年度より事業者に委託
<b>障がい者に対する支援</b>	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 障害者地域生活支援センターと神戸市配偶者暴力相談支援センターとの連携 (合同研修会への参加:平成26年2月26日)  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	—	—	保健福祉局障害者支援課
<b>80 外国人への支援</b>				
<b>DV防止啓発パンフレット等の発行</b> DV被害者の相談窓口を紹介した外国語パンフレットの発行。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、タガログ語  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	—	—	市民参画推進局 男女共同参画課 (男女共同参画センター)

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>81 心理的ケアの充実</b>				
女性のための相談室の運営 (123参照)	<25年度実績> (123参照)  <26年度事業> (123参照)	(123参照)	(123参照)	市民参画推進局 男女共同参画課 (男女共同参画センター)
女性のためのDV相談室の運営(配偶者暴力相談支援センター) (再掲 71参照)	<25年度実績> (71参照)  <26年度事業> (71参照)	(71参照)	(71参照)	市民参画推進局 男女共同参画課 (男女共同参画センター)
DV被害者グループカウンセリング事業 DV被害から子どもとともに逃れた母親を対象としたグループセラピーを実施する	<25年度実績> 延べ45名参加  <26年度事業> 事業継続	520	524	市民参画推進局 男女共同参画課 (男女共同参画センター)
DV被害当事者グループ活動支援事業 定期的に被害当事者が集り情報交換したり、たがいに語り合う場を設ける。	<25年度実績> 平成23年6月～ 月1回開催  <26年度事業> 事業継続	—	—	市民参画推進局 男女共同参画課 (男女共同参画センター)
精神保健福祉専門医療相談 こころの健康センターでの専門医による思春期とアルコール・薬物専門医療相談	<25年度実績> 思春期9回 アルコール・薬物6回  <26年度事業> 事業継続	435	353	保健福祉局こころの健康センター

(4) 教育・啓発の推進

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>82 市民・企業に対する啓発</b>				
DV防止キャンペーンの実施 (88参照)	<25年度実績> (88参照)  <26年度事業> (88参照)	(88参照)	(88参照)	市民参画推進局 男女共同参画課
DV防止啓発パンフレット等の発行 一般市民、DV被害者向けに、DV問題についての啓発を行い、また、DV被害者の相談窓口を紹介する。	<25年度実績> リーフレット、カード、ポスターなど  <26年度事業> 事業継続	—	—	市民参画推進局 男女共同参画課 (男女共同参画センター)
DV防止セミナー 一般市民を対象に、DV問題についての理解を高め、被害の防止、被害者への支援等についての啓発を行う。	<25年度実績> DV情報提供会 6,9,12,3月第1金曜日 21名 9月26日「モラルハラスメントってなに？」講師:川喜田好恵氏 26名 11月28日「親密な関係における暴力」講師:中村正氏 27名  <26年度事業> 11月21日「DVの連鎖」講師:活水女子大学健康生活学部教授 石川由香里氏	(1に計上)	(1に計上)	市民参画推進局 男女共同参画課 (男女共同参画センター)
男女共同参画センターにおける講座 護身及び防犯知識の習得・実技により、女性に対する暴力被害を防止する。	<25年度実績> (1参照)  <26年度事業> 事業継続	—	—	市民参画推進局 男女共同参画課 (男女共同参画センター)

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>83 若年層等への教育・啓発及び教育関係者に対する啓発</b>				
<b>デートDV予防啓発事業</b> 中学生・高校生へのデートDV予防啓発事業を実施する	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 中学校 12校 高等学校 3校 教職員研修 0件  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	301	548	市民参画推進局 男女共同参画課 (男女共同参画センター)
<b>人権啓発冊子「あすへの飛翔」</b> デートDVを含むさまざまな人権課題についてとりあげ、人権意識の高揚と啓発を推進する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> ・15,000部 ・市立中学1年生全員及び啓発行事等で配布  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> ・15,000部 ・市立中学1年生全員及び啓発行事等で配布	763	763	保健福祉局人権推進課
<b>教育関係者に対するデートDVに関する講演の実施</b>	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 教育関係者に対して、デートDVに関する研修等の実施を働きかけ  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	— (デートDV予防啓発事業に計上)	— (デートDV予防啓発事業に計上)	教育委員会人権教育課
<b>84 医療関係者に対する啓発</b>				
<b>医療関係者向けDV対応マニュアルの配布</b>	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 事業継続  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	—	—	市民参画推進局 男女共同参画課
<b>医療関係者への情報提供</b>	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> ポスター・カードの配布  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	—	—	市民参画推進局 男女共同参画課
<b>85 福祉関係者に対する啓発</b>				
<b>民生委員向けDV対応マニュアルの配布</b>	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 事業継続  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	—	—	市民参画推進局 男女共同参画課

(5) 推進体制の充実

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>86 被害者支援を担う関係者の人材育成</b>				
<b>DV防止セミナー</b> (再掲 82参照)	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> (82参照)  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> (82参照)	(82参照)	(82参照)	市民参画推進局 男女共同参画課 (男女共同参画センター)
<b>DV被害者支援関係者向け研修の実施</b> 配偶者暴力相談支援センター及び区の相談員等関係機関の支援者向け研修を実施する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 7月13日「被害者支援機関の昨日と支援の実際について」 72名 講師:兵庫県女性家庭センター 課長補佐 他 9月26日「スーパーバイズ研修」 12名 12月4日「切れ目のない支援のために～行政と民間でできること～」 27名 講師:民間支援団体スタッフ 他 2月26日「DV被害者を理解し、支援者の対応技術の向上を目指す」 59名 講師:立命館大学大学院教授 内藤みちよ氏  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	—	—	市民参画推進局 男女共同参画課 (男女共同参画センター)



事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>87 関係機関の連携・協力</b>				
庁内DV関係課長会議・ネットワーク会議の実施	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> (1)神戸市DV検討会の報告について (2)情報共有  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	—	—	市民参画推進局 男女共同参画課

## 課題2 女性の人権尊重の啓発

### (1) 女性に対するあらゆる暴力の根絶に向けての啓発の推進

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>88 女性に対するあらゆる暴力を許さない社会環境づくりへの啓発</b>				
<b>社会の風紀環境を浄化する運動の推進</b> 都道府県に対して実施要請されている上記運動の一環として設置されている「ひょうごの風紀環境をよくする会」に各区保健福祉部の婦人相談員および母子自立支援員が参加し、協力を行っている。 (目的) 1. 女性の基本的人権を尊重し、売買春をなくするための啓発 2. 性に関する正しい認識の普及 3. 関係機関・団体との連携	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 「ひょうごの風紀環境をよくする会」の一環として研修や講習会に参加 「発達障害者の理解とDV被害について」 11月28日  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 「ひょうごの風紀環境をよくする会」の一環として研修や講習会に参加予定	—	—	こども家庭局こども家庭支援課
<b>DV防止キャンペーンの実施</b> 啓発資料を配布する等のキャンペーンを実施し、市民にDV防止についての周知・啓発を行う。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 事業継続  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	68 (予算は男女共同参画課分のみ)	60 (予算は男女共同参画課分のみ)	市民参画推進局 男女共同参画課・こども家庭局こども家庭支援課
<b>89 性の商品化を防ぐ啓発</b>				
<b>有害環境浄化対策の推進</b> 神戸市青少年育成協議会とともに青少年を取りまく有害環境を浄化するための啓発と実践活動を強化し、地域ぐるみの環境浄化運動を展開する。 ・環境浄化推進キャンペーン 青少年にとって有害な環境を浄化するため、広報こうべ、ポスター、チラシ等による啓発キャンペーンを幅広く行う。 ・地域活動の推進 地域ぐるみの環境再点検を行うとともに、有害広告物、自販機等の撤去・監視活動を行う。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 地域環境の再点検を行うとともに、NTTからの委嘱により電話ボックス内に貼り付けられたピンクビラの撤去活動を継続的に実施。  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 地域環境の再点検を行うとともに、NTTからの委嘱により電話ボックス内に貼り付けられたピンクビラの撤去活動を継続的に実施。	87	89	こども家庭局こども青少年課
<b>青少年を出会い系サイト等から守る運動の推進</b> 出会い系サイトなどをはじめとする有害環境から青少年を守るため、市と地域住民との一体的な取り組みを推進するとともに、啓発活動を強化し、ミニフォーラムの開催など地域ぐるみの運動を展開する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> メディアリテラシーの醸成事業 7か所 メディア学習リーダーセミナー 2回  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> メディアリテラシーの醸成事業 8か所 メディア学習リーダーのセミナー 2回	— (93に計上)	— (93に計上)	こども家庭局こども青少年課

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>90 セクシュアル・ハラスメント防止のための啓発</b>				
<b>「セクシュアル・ハラスメント防止ハンドブック」の作成・配布</b> 職場はもとより、地域や学校においても起こりうるセクシュアル・ハラスメントについて、正しい理解とその防止に役立てるために、啓発冊子を作成・配布する。	<25年度実績> 事業継続  <26年度事業> 事業継続	—	—	市民参画推進局 男女共同参画課
<b>セクシュアル・ハラスメント防止のための啓発ビデオの貸出し制度</b> ビデオ貸出し制度を設け、行政機関、企業、団体、学校等への啓発を図る。	<25年度実績> 事業継続  <26年度事業> 事業継続	—	—	市民参画推進局 男女共同参画課 (男女共同参画センター)
<b>91 女性への暴力に関する実態把握</b>				
<b>市政アドバイザーへの意識調査の実施</b> (再掲 9参照)	<25年度実績> (9参照)  <26年度事業> (9参照)	(9参照)	(9参照)	市民参画推進局 男女共同参画課

(2) メディアにおける女性の人権の尊重

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>92 メディアにおける女性の人権尊重についての啓発</b>				
<b>広報紙等への掲載</b> 女性の人権尊重についての啓発を行う。	<25年度実績> 広報こうべ等に相談窓口やセミナー開催について掲載。  <26年度事業> 事業継続	—	—	市民参画推進局 男女共同参画課
<b>93 男女共同参画の視点を持ち、メディアからの情報を読み解く能力の向上・育成</b>				
<b>男女共同参画の視点を持ちメディアからの情報を読み解く能力の向上・育成</b> 子どもたちの情報活用能力を育成することを目的として、情報教育における情報モラル教育を推進する。	<25年度実績> ①メディアリテラシーの醸成事業 7か所 ②メディア学習リーダーセミナー 2回 ③情報モラル研修(スマホ・ネット社会の光と影)2回  <26年度事業> ①メディアリテラシーの醸成事業 8か所 ②メディア学習リーダーのセミナー 2回 ③情報モラル研修2回	323	323	子ども家庭局 子ども青少年課(①、②) 教育委員会事務局 教育企画課(③)
<b>94 男女共同参画の視点からの表現についての啓発</b>				
<b>「男女共同参画を進めるために」の配布</b> 「神戸市男女共同参画の推進に関する条例」のあらまし、及び男女共同参画の視点からの公的広報の手引きを掲載した冊子を作成・配布し、職員の理解を深める。	<25年度実績> 事業継続  <26年度事業> 事業継続	—	—	市民参画推進局 男女共同参画課



## 基本目標5 あらゆる人の自立を支える社会環境の整備

### 課題1 あらゆる人が安心して暮らせる環境の整備

#### (1) 安心できる地域生活の実現

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>95 市民の福祉課題に対する相談対応の総合化(ワンストップサービス機能の充実)</b>				
<b>「ふれあいのまちKOBÉ・愛の輪運動」の展開</b> 市民一人ひとりが福祉に対する理解と認識を深め、「福祉の心」を育むよう行政、職場、地域等の団体が会員となって福祉教育を自ら進めるために、平成2年10月に設置した推進委員会を中心に「ふれあいのまちKOBÉ・愛の輪運動」を全市的に展開し、福祉都市づくりの基盤整備を行う。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 啓発活動 ・広報誌「さずなKOBÉ」の発行(年3回) ・講演会(平成25年7月23日) ・愛の輪ふれあいコンサート(平成25年11月9日) ・福祉教育記念講演会(平成25年12月15日)  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 引き続き、福祉都市づくりの基盤整備のため、啓発活動を行っていく。	31,652	33,730	保健福祉局計画調整課
<b>ボランティア情報システム</b> 神戸市社会福祉協議会、ボランティア情報センターと、震災後開設した各区ボランティアセンターがボランティア情報を共有し、コーディネート機能を強化するとともに、全市レベルの広範な情報提供や相談事業を展開するための情報ネットワークシステム。(8年9月～)	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> システム保持  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 引き続き情報システムを活用し、全市レベルの情報共有をし円滑なボランティアコーディネートを行えるようにする。	4,989	5,131	保健福祉局計画調整課

#### (2) 介護の社会化・男女共同参画の推進

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>96 介護の社会化についての啓発</b>				
<b>高齢者相互支援事業</b> 一時的な疾病やけが等により日常生活に支障が生じ、かつ介助を得ることができない高齢者に買い物・掃除など日常生活の世話をを行うための老人クラブ会員を派遣する「高齢者相互支援事業」に対して助成する。(12年度～)(派遣対象)65才以上の高齢者等	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 被派遣対象者数 372人 派遣回数 1,752回  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続(高齢者相互支援事業)	16,193	16,452	保健福祉局高齢福祉課
<b>介護保険制度の広報</b> 介護保険制度の円滑な実施のため、被保険者をはじめとする市民に対して広報PRを行う。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> ・「神戸市の介護保険のあらまし」「介護保険ポケットガイド」等のパンフレットの作成・配布 ・「出前トーク」の活用などによる地域での説明会の実施 ・「神戸ケアネット」ホームページの活用 ・「広報こうべ」など各種媒体による広報の実施  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	2,306	3,489	保健福祉局介護保険課
<b>97 介護について学習する機会の充実</b>				
<b>市民福祉大学講座「介護セミナー」</b> 一般市民を対象として、在宅介護についての知識と技術を講義と実習で学ぶ講座を実施。 (内容) 年4回実施 1回1～4日間	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> (35参照)  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	—	—	保健福祉局計画調整課
<b>介護教室</b> 在宅における介護のための情報や知識について学ぶ機会を提供し、また参加者同士が交流を図ることによって在宅介護の視野を広げる。 (場所)しあわせの村内 垂水年金会館(H23～)	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> しあわせの村 3回 垂水年金会館 4回  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> しあわせの村 2回(1回 15人) 垂水年金会館 4回(1回 15人)	—	—	(公財)こうべ市民福祉振興協会

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>98 高齢者虐待の早期発見・早期対応と相談機能の充実</b>				
<b>高齢者虐待防止対策</b> 平成17年度より各区に高齢者虐待防止ネットワーク運営委員会を設置。虐待防止に向けた関係機関の役割や連携協力体制のあり方を検討し、虐待ケースの早期発見・早期対応を図る。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 高齢者虐待防止ネットワーク運営委員会 全市10か所  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	4,707	5,063	保健福祉局介護保険課
<b>99 介護保険制度の円滑な運営(その1)</b>				
<b>介護保険制度</b> 市民が希望するサービスを自由に選択できるように、介護サービス基盤の整備を行うとともに、市民への積極的な情報の提供、サービスの質の評価等を行い、「利用者本位」のサービス提供ができるような体制づくりに努める。(12年度～)	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> (神戸市介護保険事業計画に基づく) ・訪問介護(ホームヘルプ) 25,402人/月 ・訪問入浴介護 5,136回/月 ・訪問看護 60,895回/月 ・訪問リハビリテーション 903人/月 ・通所介護(デイサービス) 20,328人/月 ・通所リハビリテーション(デイケア) 5,454人/月 ・福祉用具貸与 21,610人/月 ・短期入所生活介護(ショートステイ) 41,684日/月 ・短期入所療養介護(ショートステイ) 5,112日/月 ・居宅療養管理指導 6,993人/月 ・福祉用具購入費の支給 601件/月 ・介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム/小規模含む) 5,133人/月 ・介護老人保健施設(老人保健施設) 4,589人/月 ・介護療養型医療施設(療養病床等) 769人/月 ・認知症高齢者グループホーム 1,694人/月 ・特定施設入居者生活介護 3,504人/月  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> (神戸市介護保険事業計画に基づく) ・訪問介護(ホームヘルプ) 25,414人/月 ・訪問入浴介護 5,733回/月 ・訪問看護 37,078回/月 ・訪問リハビリテーション 1,191人/月 ・通所介護(デイサービス) 21,388人/月 ・通所リハビリテーション(デイケア) 6,084人/月 ・福祉用具貸与 21,593人/月 ・短期入所生活介護(ショートステイ) 48,919日/月 ・短期入所療養介護(ショートステイ) 4,519日/月 ・居宅療養管理指導 8,796人/月 ・福祉用具購入費の支給 723件/月 ・介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム/小規模含む) 5,477人/月 ・介護老人保健施設(老人保健施設) 4,579人/月 ・介護療養型医療施設(療養病床等) 888人/月 ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護 283人/月 ・認知症高齢者グループホーム 1,703人/月 ・特定施設入居者生活介護 4,099人/月	110,812,728	117,862,165	保健福祉局介護保険課
<b>介護保険に関する各種相談窓口の充実</b>	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> あんしんすこやかセンター 75か所  <b>&lt;26年度予定&gt;</b> 事業継続	1,257,830	1,261,421	保健福祉局介護保険課

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>99 介護保険制度の円滑な運営(その2)</b>				
<b>あんしんすこやかプランの実施</b> 在宅高齢者の安心で健やかな自立生活を支援するため、「介護予防サービス」「生活環境改善支援サービス」「家族介護・生活支援サービス」を柱とした「あんしんすこやかプラン」を介護予防から、生活支援、ひとりぐらし対策にいたる総合的な施策として推進する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 「介護予防サービス」 ・生きがい対応型デイサービス(介護予防型デイサービス) ・配食サービス(栄養改善) ・訪問指導 「生活環境改善支援サービス」 ・住宅改修助成・貸付 ・電磁調理器の給付 「家族介護・生活支援サービス」 ・生活支援ショート ・介護用品の支給 ・訪問理美容サービス ・認知症高齢者訪問支援員派遣事業(ほっとヘルパーサービス)  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	828,222	814,922	保健福祉局介護保険課
<b>100 介護予防対策等の実施</b>				
<b>第4期神戸市介護保険事業計画の実施</b> 予防の重視や制度の適正な運営、住みなれた地域での生活の継続などの観点から策定された第4期神戸市介護保険事業計画に基づき、利用者に見合ったサービスが適切に提供されるよう、介護保険制度の円滑な実施を図る。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 第5期神戸市介護保険事業計画の実施(99参照)  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 第5期神戸市介護保険事業計画の実施及び第6期計画の策定	110,812,728	117,862,165	保健福祉局介護保険課
<b>地域支援事業の実施</b> 要介護・要支援状態になる前からの介護予防を推進するとともに、地域における包括的・継続的なマネジメント機能を強化するため、地域支援事業を実施する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> あんしんすこやかセンター(地域包括支援センター)の運営(103参照) 介護予防事業対象者(特定高齢者)の把握事業  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	2,456,918	2,484,958	保健福祉局介護保険課

(3) 在宅福祉サービスの基盤整備

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>101 在宅福祉・保健サービスの充実(その1)</b>				
<b>集団指導事業</b> 投薬等に関する正しい知識の普及や家族同士の交流等を図るために当事者やその家族を対象としたセミナーを実施する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 精神保健福祉セミナー(家族セミナー) 8回 うつセミナー 5回  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 精神保健福祉セミナー(家族セミナー) 8回 うつセミナー 5回	356	349	保健福祉局こころの健康センター
<b>高齢者介護支援センター管理運営事業</b> 在宅で生活している介護を必要とする高齢者やその家族を支援するため設置している施設で、介護保険制度による短期入所(ショートステイ)、通所介護(デイサービス)、在宅介護支援センターの施設を有しており、併設の特別養護老人ホームと一貫した運営により地域での在宅サービスから入所者へのサービスまで行っている。 18年度より指定管理者制度により運営(利用料金制)	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 実施施設 12施設 ショートステイ 300床 デイサービス 502人分  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 実施施設 12施設 ショートステイ 300床 デイサービス 507人分	43,092	43,092	保健福祉局高齢福祉課

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>101 在宅福祉・保健サービスの充実(その2)</b>				
<b>生活支援ショートステイ</b> 介護保険で「非該当」と判定された高齢者が一時的に在宅生活が困難となった場合に、養護老人ホーム等に短期入所させ、心身の安定が図られるよう支援し、要介護状態への進行を予防する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 実施施設 16施設 実利用者 35人 利用回数 35回、184日/年  「要支援1」「要支援2」認定者についても次の場合に限り利用を認める。 ①主たる介護者が入院したとき ②主たる介護者が負傷し、又は病気にかかったとき ③主たる介護者がその主たる介護者の家族を看護しているとき ④主たる介護者が出産し、又は主たる介護者の家族の出産を介助するとき ⑤主たる介護者が冠婚葬祭に出席するとき ⑥主たる介護者が震災、風水害、火災その他の災害を受けたとき ⑦主たる介護者が失踪したとき ⑧当該要支援認定者の介護を目的として当該要支援者の居宅の増築・改築、修繕又は模様替えを行うとき (利用日数)原則、6か月間に7日以内  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 実利用者 24人 利用回数 24回、124日/年	520 (再掲)	468 (再掲)	保健福祉局介護保険課
<b>生きがい対応型デイサービス(介護予防型デイサービス)</b> 運動器の機能向上など介護予防の取り組みが必要な高齢者に介護予防や生きがいづくりなどを目的とするデイサービスを身近な地域福祉センターなどで実施する。(入浴・送迎なし)	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 利用者 1,486人/週・75,793人/年  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 市内141ヶ所で開催。 今後も新規事業者を受け入れ、実施箇所の拡大を図る。	249,521 (再掲)	238,712 (再掲)	保健福祉局介護保険課
<b>配食サービス(栄養改善)</b> 栄養改善が必要な高齢者を対象に居宅を訪問して栄養のバランスのとれた食事を提供するとともに、安否確認を行う。また、必要に応じて食生活改善相談を行う。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 配食数 342,996食 登録者数 2,630人  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 配食数 351,378食	132,916 (再掲)	126,782 (再掲)	保健福祉局介護保険課
<b>あんしんすこやか窓口運営事業</b> 利用者が適切な介護サービスの提供を受けられるように、相談や情報提供を行い、高齢者及び家族の支援を行っている。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 相談件数 35922件 訪問件数 1,397件  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	49,947	41,213	保健福祉局介護保険課
<b>神戸リハビリテーション病院の運営</b> (対象)脳卒中後遺症者等 (目的)家庭・社会復帰 (内容) ・リハビリテーションを主として医療・看護・介護サービスの提供・検診サービスの提供(MR検査)	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 入院 155.9人/日 56,921人/年 外来 7.7人/日 1,863人/年 紹介MR検査 790件/年  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 入院 157人/日 57,300人/年 外来 8人/日 1,950人/年 紹介MR検査 800件/年		—	(一財)神戸在宅ケア研究所
<b>多目的ショートステイ施設事業</b> (対象)障害者及び高齢者 (目的)宿泊・休養の場及び研修・訓練・介護相談等のサービスの提供、社会参加の促進と福祉の増進 (内容)宿泊利用、高齢者支援事業(健康教室、デイサービス)	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 健康教室 10回 107人 ⇒10回 97名 介護予防教室 190回 1,768人 ⇒143回 1,582名  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 健康教室 10回(1回 10人) ⇒民間事業者へ移管		—	(公財)こうべ市民福祉振興協会

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>101 在宅福祉・保健サービスの充実(その3)</b>				
<b>訪問看護事業</b> (対象)市内居住者で在宅寝たきりまたはこれに準じた状態にある者及び在宅で継続して療養を受けている者で、医師が必要と認めた者。 (内容) ・訪問看護 ・訪問リハビリテーション (負担)経費の一部を本人が負担	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> ・しあわせ訪問看護ステーション 20,866回 ・東灘しあわせ訪問看護ステーション 12,423回 ・西部しあわせ訪問看護ステーション 22,100回 ・兵庫しあわせ訪問看護ステーション 8,546回  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> ・しあわせ訪問看護ステーション 21,300回 ・東灘しあわせ訪問看護ステーション 12,600回 ・西部しあわせ訪問看護ステーション 23,700回 ・兵庫しあわせ訪問看護ステーション 9,200回		—	(一財)神戸在宅ケア研究所
<b>地域見守りネットワークの推進</b> 民生委員児童委員、友愛訪問活動ボランティアによる地域福祉活動と公的な福祉サービスとの円滑な連携を図るため、社会福祉協議会や関係団体と協力して小地域単位のネットワーク活動の展開を図る。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 173地域 599回  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 173地域で開催予定	9,550	9,550	保健福祉局介護保険課
<b>102 特別養護老人ホームなど施設の整備</b>				
<b>特別養護老人ホームの整備</b> 介護保険制度の円滑な実施を図るため、特別養護老人ホームの整備を行う。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 25年度整備 1か所 計92か所  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 26年度整備 5か所 計97か所	706,000	899,000	保健福祉局高齢福祉課
<b>介護老人保健施設の整備</b> 介護保険制度の円滑な実施を図るため、介護老人保健施設の整備を行う。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 25年度整備 1か所 計54か所  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 26年度整備 1か所 計55か所	23,000	23,000	保健福祉局高齢福祉課
<b>介護老人保健施設の運営</b> 病状が安定し、治療の必要がない者を対象に、家庭復帰を目的として看護・介護や日常生活訓練などのサービスを提供する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> ・老人健康センター 入所者数 50.4人/日 18,388人/年 通所者数 12.5人/回 5,457人/年 ・介護老人保健施設リハ・神戸 入所者数 86.6人/日 31,605人/年 通所者数 23.1人/日 6,422人/年  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> ・老人健康センター 入所者数 51.8人/日 18,920人/年 通所者数 13人/回 5,680人/年 ・介護老人保健施設リハ・神戸 入所者数 85.5人/日 31,206人/年 通所者数 22.1人/日 6,774人/年	74,000	74,000	(一財)神戸在宅ケア研究所
<b>健康づくりの支援</b> (対象)60歳以上の男性 (目的)男性高齢者の食生活の改善や自立を支援すること (内容)調理の基本知識から指導する「60歳からの男性料理教室」	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 3回 72人  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 年3回・2コース (各コース12人)		—	(公財)こうべ市民福祉振興協会



事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>103 地域ケアシステムの推進</b>				
<b>あんしんすこやかセンター(地域包括支援センター)の運営</b> 保健・医療・福祉の専門職相互の連携やボランティアなどの住民活動も含めた連携により、高齢者が住み慣れた地域で継続して生活できるよう、高齢者に対する総合的なマネジメントを行う。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 市内78の日常生活圏域(概ね中学校区)に75センターを設置 (3センターが2圏域を担当)  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	1,257,830	1,261,421	保健福祉局介護保険課
<b>高齢者虐待防止対策</b> 平成17年度より各区に高齢者虐待防止ネットワーク運営委員会を設置。虐待防止に向けた関係機関の役割や連携協力体制のあり方を検討し、虐待ケースの早期発見・早期対応を図る。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 高齢者虐待防止ネットワーク運営委員会 全市10か所  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	4,707	5,063	保健福祉局介護保険課
<b>104 地域との協働による見守りシステムの推進</b>				
<b>地域見守りの全市展開</b> ・見守り推進員 あんしんすこやかセンターに各1人配置。見守りの必要なひとりぐらし高齢者等がいる世帯を地域で見守りができる体制づくりのための支援・補助等を行い、介護予防の推進を図る。また、見守りの必要なひとりぐらし高齢者等が多い大規模な災害公営住宅等に巡回又は高齢化率の高い公営住宅の住戸「あんしんすこやかルーム」に常駐し、安否確認等の見守り活動を行う。 ・生活援助員(ライフサポートアドバイザー=LSA) シルバーハウジングに派遣、常駐。 ・民生委員支援員 民生委員活動を支援するため、民生委員支援員を必要に応じて配置し、見守りの充実を図る。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> ・見守り推進員 133人 ・あんしんすこやかルーム 42カ所 ・生活援助員 54人 ・民生委員支援員 55人  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> ・見守り推進員 133人 ・あんしんすこやかルーム 42カ所 ・生活援助員 54人 ・民生委員支援員 55人	736,495 (見守り・あんしんすこやかルーム・生活援助員のみ)	724,106 (見守り・あんしんすこやかルーム・生活援助員のみ)	保健福祉局介護保険課 (民生委員支援員については計画調整課)

(4) ユニバーサルデザインのまちづくり

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>105 ユニバーサルデザインの視点に立つ公共建築物、交通施設、道路、公園等の整備(その1)</b>				
<b>神戸市バリアフリー基本構想の策定・推進</b> 神戸市交通バリアフリー基本構想[目標年次:H22]の次期計画である、神戸市バリアフリー基本構想[目標年次:H32]を策定・推進する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 「神戸市バリアフリー基本構想」(H24.3策定)に基づき、「神戸市バリアフリー推進会議」を開催し、進捗確認や情報交換を行うと共に、バリアフリーに関する各種調査、関連する施設職員等を対象とした心のバリアフリー啓発研修等を実施した。  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 上記基本構想に基づき、「神戸市バリアフリー推進会議」を開催し、進捗確認や情報交換を行うと共に、バリアフリーに関する各種調査、関連する施設職員等を対象とした心のバリアフリー啓発研修等を実施する。	1,003	807	保健福祉局計画調整課

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>105 ユニバーサルデザインの視点に立つ公共建築物、交通施設、道路、公園等の整備(その2)</b>				
<b>都市施設整備の推進</b> ・鉄道駅舎エレベーター等設置補助及びエレベーター整備資金融資 鉄道駅舎にエレベーター等を設置する事業に対し、一部補助及び融資を行う。 ・ノンステップバス導入促進補助 ノンステップバス購入費の一部を民間バス事業者に助成 ・「福祉のまちづくり条例(兵庫県)」に基づいて、建築物の建設にあたっては、バリアフリー化を図るよう、届け出義務を課している。 ・都市施設整備推進資金融資 既存施設の改修費に対して低利融資	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> ・鉄道駅舎EV等設置補助 JR住吉駅・元町駅等 内方線等 ・鉄道駅舎EV整備資金融資 神鉄鈴蘭台駅・山陽滝の茶屋駅・神戸高速新開地駅 ・ノンステップバス導入促進補助:山陽バス7台・神姫バス5台・阪急バス1台 計13台  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> ・鉄道駅舎EV等設置補助 JR甲南山手駅・兵庫駅等 内方線等 ・鉄道駅舎EV整備資金融資 神鉄鈴蘭台駅・山陽滝の茶屋駅・神戸高速新開地駅 ・ノンステップバス導入促進補助:山陽バス8台・神姫バス6台・阪急バス1台・みなと観光バス6台 計21台	249,136 (計画調整課分は188,765) (障害福祉課分は37,782)	249,136 (計画調整課分は173,469) (障害福祉課分は37,737)	保健福祉局計画調整課・障害福祉課
<b>「だれでもトイレタウン」計画</b> すべての人にやさしいユニバーサルデザインの取り組みの一つとして、市民に身近な「トイレ」を取り上げ、車いす使用者、高齢者、乳幼児連れの人、妊婦、子供、オストメイトなど、だれもが使いやすい多機能・多目的トイレ(こうべ・だれでもトイレ)の整備を進めるために、「だれでもトイレタウン」計画を進めている。 「だれでもトイレタウン」計画は、三宮・元町・北野・ハーバーランドなどの都心地域を中心に、「こうべ・だれでもトイレ」の整備を公共の建物で進めるとともに、民間の建物にも協力していただくというものである。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> ・umie モザイク、東灘図書館等にて整備。 ・冊子「こうべ・だれでもトイレマップ」の増刷。 増刷部数:2000部 配付先:各区役所、出張所、連絡所、障害者地域生活支援センター、神戸市総合インフォメーションセンターほか 用途:だれでもトイレの概要・設置場所などを市民や来街者に知らせする。  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> ・中央図書館・KONAN食彩館等にて整備予定。	514	0	住宅都市局計画部まちのデザイン室
<b>バリアフリー法に基づく特定建築物認定の推進</b> 多数の人々が利用する建築物(特定建築物)のバリアフリー化について、法律で課される基準以上のより望ましいレベルの誘導基準を満たす場合、建築主等の申請に基づき認定を行う。また、その指導・助言を行う。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 事業継続 ・5件認定  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続 ・引き続き、バリアフリー法の誘導基準に適合した建築物の認定を行う。	—	—	住宅都市局建築指導部建築安全課



事業名と内容	25年度実績と26年度予定	25年度予算 額(千円)	26年度予算 額(千円)	所管課
<b>105 ユニバーサルデザインの視点に立つ公共建築物、交通施設、道路、公園等の整備(その3)</b>				
<p><b>ユニバーサル歩道整備事業～だれもが安心して歩きやすいみちに～</b> だれもが安心して歩ける安全なみちづくりをめざして、地域の方々の参画のもと身近なみちのバリアフリーなどについて学び、ユニバーサルデザインの観点から、みちの点検等を行っていくとともに、全市的に歩道の段差や波打ちの解消等を行う「ユニバーサル」歩道整備事業を体系的に推進する。</p> <p>(1)だれもが歩きやすいみちに ①バリアフリー道路特定事業 ②あんしん歩道整備事業 ア. 歩道段差解消 イ. 波打ち歩道の解消 (2)市民参画・ユニバーサルデザインの観点からみちを点検 ①みち・みず・みどりの学校 小学校の“総合的な学習”の時間に、子ども達と先生、保護者、建設局の職員が一緒になって、身近なまちの歴史やみちのバリアフリーなどの実地体験・勉強を行う。 ②交通安全総点検 小学生、高齢者、地域の住民、車椅子利用者など、さまざまな道路利用者と公安委員会、道路管理者が合同でみちの安全性やバリアフリーなどの点検を毎年各区1地区程度実施し、必要な対策を行う。</p>	<p><b>&lt;25年度実績&gt;</b> (1)だれもが歩きやすいみちに ①バリアフリー道路特定事業:23年度に策定した基本構想に基づき、バリアフリー道路特定事業計画を策定。 ②あんしん歩道整備事業 ア. 歩道段差解消:駅周辺の未整備箇所や、高齢化率の高い地域、子育て世帯の多い地区など新たな視点も含めて実施。(11地区) イ. 波打ち歩道の解消:約3.2km (2)市民参画・ユニバーサルデザインの視点からみちを点検 ①みち・みず・みどりの学校:51校にて実施 ②交通安全総点検:9地区にて実施</p> <p><b>&lt;26年度事業&gt;</b> (1)だれもが歩きやすいみちに ①バリアフリー道路特定事業:24年度に策定したバリアフリー道路特定事業計画に基づき実施。(1地区) ②あんしん歩道整備事業 ア. 歩道段差解消:駅周辺の未整備箇所や、高齢化率の高い地域、子育て世帯の多い地区など新たな視点も含めて実施。(11地区) イ. 波打ち歩道の解消:約3.6km (2)市民参画・ユニバーサルデザインの視点からみちを点検 ①みち・みず・みどりの学校:40～50校にて実施 ②交通安全総点検:9地区にて実施</p>	587,910	475,360	建設局道路部工務課・計画課
<p><b>ユニバーサルデザイン公園の整備～子どもと環境を育てるユニバーサルな公園をめざして～</b> 誰もが利用しやすいユニバーサルデザインを取り入れた公園を目指した改修を行う。具体的には、園路のバリアフリー化や、高齢者や障害者にも利用しやすい休憩所・ユニバーサルベンチの設置、子どもが安全に遊べるよう、衝撃緩和素材を用いた遊具下の舗装など、子育て中の親子でも安心して利用できる公園づくりを行う。</p>	<p><b>&lt;25年度実績&gt;</b> ・市内63公園(元町北・高塚公園他)のバリアフリー整備を実施。(トイレ改修、スロープ・手すり等の設置、路面改修) ・子育て中の親子でも安心して利用できる公園づくりを市内46公園において実施。(遊具等の更新・改修)</p> <p><b>&lt;26年度予定&gt;</b> ・市内60公園(本山北町・脇浜公園他)のバリアフリー整備を実施。(トイレ改修、スロープ・手すり等の設置、路面改修) ・子育て中の親子でも安心して利用できる公園づくりを市内49公園において実施。(遊具等の更新・改修)</p>	534,600	486,300	建設局公園砂防部緑地課
<b>106 高齢者等に配慮した市営住宅等の整備(その1)</b>				
<p><b>高齢者等に配慮した市営住宅等の整備事業</b> 建て替えを行う市営住宅では住戸内外の段差解消や手すり設置など高齢者等すべての人に優しい仕様で整備を行うとともに、既存住宅ではエレベーターの設置や団地内通路の段差解消等による一層のバリアフリー化を推進する。</p>	<p><b>&lt;25年度実績&gt;</b> ・建替住宅 2団地164戸完成 1団地154戸工事中 ・EV設置住宅 3団地327戸 エレベーター6基</p> <p><b>&lt;26年度事業&gt;</b> ・建替住宅 1団地154戸完成 4団地364戸着工予定</p>	建設工事 2,146,100	建設工事 2,073,146	住宅都市局住宅整備課

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>106 高齢者等に配慮した市営住宅等の整備(その2)</b>				
<b>既存住宅のバリアフリー化事業</b> 市営住宅でバリアフリー未対応の住戸について、室内における段差解消のため手摺設置等を実施し、バリアフリーに配慮した住戸へ改修する。あわせて共用部の通路・集会所等へも可能な範囲でバリアフリー化を図るため、手すり等の設置を行う。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 共用部・集会所等の共用部改修を中心に12か所で整備を実施した。 また、住戸内改修時に可能な範囲で手摺設置等を実施した。  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 空き家修繕・計画修繕時に住戸内段差部への手すり設置を進めていく。(10団地で実施予定) また、引き続き共用部・集会所等の共用部のバリアフリー化に配慮した改修を行う。	17,677	100,704	住宅都市局住宅整備課
<b>107 住宅等のバリアフリー化に関する支援</b>				
<b>共同住宅バリアフリー改修補助事業</b> 共同住宅の階段への手すり、出入口へのスロープの設置工事等共用部分のバリアフリー化を進めるための工事費用の一部を補助する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 手すり、スロープ等の設置58団地  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	15,500 (手すり、スロープ等の設置 15,000)	15,500 (手すり、スロープ等の設置 15,000)	住宅都市局住宅政策課
<b>神戸市すまいの安心支援センター“すまいるネット”における相談・アドバイザー派遣</b> “すまいるネット”において住宅等のバリアフリー化を含むあらゆる住まいの相談に対応。必要な場合は専門家(現地簡易アドバイザー)を現地に派遣しアドバイスを実施。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 一般相談5,708件 専門相談119件 現地簡易アドバイザー派遣10件  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	一般相談 21,780 専門相談 3,064 現地簡易アドバイザー 430	一般相談 21,874 専門相談 3,152 現地簡易アドバイザー 491	住宅都市局住宅政策課
<b>「神戸の住宅設計基準(KOHDES:コーデス)」の策定及コーデスマニュアルの発行</b> 「生活者にやさしいすまいづくり」を具体化するため、日常生活の安全性と快適性を考慮したバリアフリー住宅の設計基準として「神戸の住宅設計基準」を定め、平成10年3月よりコーデスマニュアルを販売。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 5冊販売  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	—	—	住宅都市局住宅政策課
<b>バリアフリー住宅改修補助事業</b> 神戸市内の既存の住宅への手すりの取り付け、段差の解消などバリアフリー化を進めるための工事費用の一部を補助する。(対象:要支援、要介護を受けていない高齢単身世帯もしくは高齢夫婦世帯)	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 26年度事業開始のため実績なし  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 5月9日～ 情報公開 5月22日～ 受付開始	—	30,444 (手すりの取り付け・段差解消等27,000千円)	住宅都市局住宅政策課

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>108 ユニバーサルデザインの普及(その1)</b>				
<b>こうべUD広場、ユニバーサルデザインの普及・啓発</b> 年齢、性別、文化、身体状況など、人々が持つ様々な個性や違いを越えて、一人ひとりが互いに多様性を認め合い、思いあう心を持ち、はじめから、だれもが利用しやすいように、まちや建物、製品、環境、サービスづくりを行っていかうとするユニバーサルデザイン(UD)の考え方を神戸のまちづくりに取り入れ、15年5月に発足したこうべUD広場と連携して、ユニバーサル社会の実現をめざし、様々な取り組みを推進する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講義、ワークショップや実習等を通して、わかりやすくUDについて学べるよう、市民講座「こうべUD大学」を開催した(年10回)。</li> <li>・こうべUD広場を定期的に開催した(毎月1回)。</li> <li>・UDに取り組む市民団体、学校、企業等と連携を図り、その取り組みを発信し、UDの啓発を図るため、「こうべユニバーサルデザインフェア」を開催した。</li> <li>・職員のUD意識向上、スキルアップのためにUD職員研修を行った。</li> <li>・その他、市内イベントへや各所展示スペース等での啓発を行った。</li> </ul> <b>&lt;26年度事業&gt;</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講義、ワークショップや実習等を通して、わかりやすくUDについて学べるよう、市民講座「こうべUD大学」を開催する(年10回)。</li> <li>・こうべUD広場の定期的な開催(毎月1回)</li> <li>・UDに取り組む市民団体、学校、企業等と連携を図り、その取り組みを発信し、UDの啓発を図るため、「こうべユニバーサルデザインフェア(仮称)」を開催する。</li> <li>・職員のUD意識向上、スキルアップのためにUD職員研修を行う。</li> <li>・その他、市内イベントへや各所展示スペース等での啓発を行う。</li> </ul>	3,978	3,978	保健福祉局計画調整課
<b>ユニバーサルサービスの推進、学校・地域におけるUD教育の推進</b> 市民・事業者等の活動の中で、あらゆる人の立場で求められるサービスや取り組みをユニバーサルサービス(US)と位置づけし、推進するとともに、学校・地域等にUDサポーターを講師で派遣し、普及啓発に努めていく。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こうべUDサポーターと協働で教材を開発するとともに、地域・学校等にサポーターを市民講師として派遣し、出前授業を行い、UD教育を推進した。</li> <li>・小学校3～6年生とその保護者を対象に、施設見学や体験等を通じて、親子でUDを楽しくより分かりやすく学ぶことのできる「夏休み親子UD体験教室」を開催した。</li> <li>・地域組織が実施する先進的なUDの視点での取り組みを、UDサポーターと共に取材し、各地域での活動の参考として頂くため、取材結果を冊子にして配布するなど、広く情報発信を行うと共に、ふれあいのまちづくり協議会を主体としたUDの考え方を取り入れた事業への助成を行うなど、地域でのUDの推進を図った。(累計49事業)</li> </ul> <b>&lt;26年度予定&gt;</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こうべUDサポーターと協働で教材を開発するとともに、地域・学校等にサポーターを市民講師として派遣し、出前授業を行い、UD教育を推進する。</li> <li>・小学校3～6年生とその保護者を対象に、施設見学や体験等を通じて、親子でUDを楽しくより分かりやすく学ぶことのできる「夏休み親子UD体験教室」を開催する。</li> <li>・地域組織が実施する先進的なUDの視点での取り組みを、UDサポーターと共に取材し、取材結果を冊子にして配布するなど、広く情報発信を行うと共に、ふれあいのまちづくり協議会を主体としたUDの考え方を取り入れた事業への助成を行うなど、地域でのUDの推進を図っていく。</li> </ul>	1,449	1,449	保健福祉局計画調整課

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算 額(千円)	26年度予算 額(千円)	所管課
<b>108 ユニバーサルデザインの普及(その2)</b>				
<b>ユニバーサルデザインの普及・啓発</b> すべての人にとって利用しやすく、住みやすいまちづくりを進めるために必要な考え方や行動を、広く区民に普及するため、地域が主体となった「人にやさしいまち」の学習会やワークショップへ講師派遣などの支援を行う。又、区ホームページ内でUD啓発に関するページを運営し、区内のUD事業の紹介を行う。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> ・区内で開催される「人にやさしいまち学習会・ワークショップ」を支援 (妙法寺地区:9月3日開催、板宿地区:平成26年1月22日開催) ・神戸まつり「須磨音楽の森」でパネル展示とUDグッズ体験を出店 ・区ホームページ内に「すまUDチャレンジ」を開設  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> ・神戸まつり「須磨音楽の森」で出店展示 ・区内で開催される「人にやさしいまち学習会ワークショップ」を支援 ・ホームページでの区内のUD事業紹介 ・区庁舎1階ギャラリースペースにおいて、UDに関する展示スペース(パネル展示とUDグッズ体験コーナー)を一定期間設ける	347	0	須磨区 (まちづくり推進部 まちづくり課)
<b>こうべユニバーサルデザイン都市づくり交流会の展開</b> 市民や来訪者が安心して快適に暮らせる「ユニバーサルなまち・神戸」をめざして、市内主要施設の管理・運営事業者、ユニバーサルな活動をしている団体や、まちづくり関係団体等を対象に、ユニバーサルデザイン(以下UD)に関する先進的な取り組み事例の紹介や情報交換の場として、講座・交流会を開催する。あわせて、障がい者の方と一緒に施設やまちを見て回り、改善点などをアドバイスしてもらい、今後の施設改修につなげていく取り組み(UD取材)も展開していく。 また、建築UDの体系化に向けた検討会を開催し、「建築UD推進ガイドライン」を作成する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> ・「こうべUD都市づくり講座」を開催。 ・「UD取材」を計2回実施。 ・UD取材結果普及啓発用ビラ及びパネル作成  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> ・「こうべUD都市づくり講座・交流会」を計2回程度開催予定 ・「UD取材」を計2回程度実施予定 ・UD取材結果普及啓発用ビラ及びパネル作成予定 ・建築UD推進ガイドラインの作成予定	1,562	1,487	住宅都市局計画 部まちのデザイン 室

## (5) 高齢者の主体的生活を支える条件整備

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>109 高齢者の学習機会の充実</b>				
<b>老人クラブ会長研修会</b> 老人クラブ指導者等の資質向上を図るため、実施される会長研修会に対し経費の助成を行う。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 参加者 747人 日 時 6月27日 場 所 神戸文化ホール(中)  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 日 時 6月26日 場 所 神戸文化ホール(中)	1,512	1,512	保健福祉局高齢福祉課
<b>老人美術作品展</b> 老人の趣味の作品発表の場を設けることにより、老人の生きがいを高めることに寄与する。 (対象)60歳以上の神戸市民	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 出品点数 187作品  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続(老人美術作品展)	900	900	保健福祉局高齢福祉課
<b>老人クラブ育成援助</b> 老人クラブの健全な活動を促進するため、その運営に必要な経費の一部を助成する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 事業継続(老人クラブの活動支援)  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続(老人クラブの活動支援)	66,879	66,770	保健福祉局高齢福祉課
<b>老人クラブ活動推進員の設置</b> 老人クラブの育成充実を図る活動推進員を配置。 (役割)老人クラブの活動推進のための企画立案、運営指導、調査研究等及び研修会(会長研修、指導者研修ほか)の開催など。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 事業継続(活動推進員の設置)  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続(活動推進員の設置)	4,068	4,068	保健福祉局高齢福祉課
<b>高齢者学習センターの運営</b> 書道・華道・謡曲等の文化的サークル活動及び卓球・フォークダンス等のスポーツ活動を通じて他の高齢者との交流を深め、生きがいを見いだす場を、高齢者に提供する。12年9月に、生涯学習支援センターに移転。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 事業継続  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	93,281 (指定管理料)	115,605 (指定管理料) ※修正の可能性あり	教育委員会事務局生涯学習課
<b>110 高齢者の就業機会の確保</b>				
<b>シルバー人材センター</b> 60歳以上の健康で働く意欲のある高齢者に雇用とは異なる臨時的・短期的な就業の機会を提供し、あわせて高齢者の生きがいづくりに貢献する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 契約金額 3,603,154千円 (請負:3,543,021千円、シルバー派遣事業:60,133千円) 会員数 11,321人 就業率 61.2%(派遣を含む就業率61.9%) ・就業開拓推進会議設置による就業開拓の推進強化 ・広報活動の充実・強化 ・安全・適正就業の推進 ・第3次中期経営計画の推進  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	33,856	33,856	市民参画推進局勤労市民課((公財)神戸いきいき勤労財団)



事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>111 高齢者の生活安定の推進</b>				
<b>神戸いきいき勤労財団事業</b> 神戸いきいき勤労財団において、生涯生活設計等のため各種事業を実施。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> ・社会貢献・塾(受講者23人) ・コミュニティビジネス実践講座(受講生18人) ・生涯現役セミナー(受講者数366人) ・熟年生活講座(受講者数268人) ・ワーク・ライフ・バランス講座(受講者数25人) ・女性のライフプラン講座(受講者数52人)  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	882	706	市民参画推進局 勤労市民課((公財)神戸いきいき勤労財団)
<b>高齢者福祉月間の実施</b> すべての市民が高齢者問題を理解し敬老思想の普及並びに高齢者福祉の進展を図るため、高齢者福祉月間を実施する。 (13年度～ 高齢者保健福祉月間へ名称変更)	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 敬老祝い金対象者数 88歳 6,804人 100歳 416人 高齢者訪問  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続(敬老祝い金)	81,996	88,385	保健福祉局高齢福祉課
<b>高齢者福祉啓発</b> 市民の高齢者福祉に対する理解を深めるため、冊子等を作成し、高齢者や民生委員等に配付する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 「あんしんすこやかガイドブック」 30,000部作成  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続(「あんしんすこやかガイドブック」の作成)	1,360	1,348	保健福祉局高齢福祉課
<b>貸金庫サービス</b> 自分で財産を保全することが十分にできない場合に、本人の意思に基づいてその財産を金融機関の貸金庫に保管して盗難や火災から財産を守ることにより、日常生活を安心して送ることができるように支援する。(神戸市社会福祉協議会が実施) (内容)預貯金通帳、証書、有価証券などの財産の保全、出し入れ	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 年度末契約件数16件  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	48,387	84,453	保健福祉局計画調整課
<b>日常的金銭管理サービス</b> 外出が困難な高齢者(65歳以上)を対象に、銀行や郵便局からのお金の出し入れをお手伝いすることによって、日常生活を安心して送ることができるよう支援する。(神戸市社会福祉協議会が実施)	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 年度末契約数570件  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続			

## (6) 児童虐待の防止・要保護児童への支援

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>112 児童虐待(DV被害者の子どもを含む)の早期発見・早期対応と相談機能の充実</b>				
<b>こども家庭センター機能強化</b> ・児童虐待対応協力員の配置 ・児童虐待防止サポート制度(弁護士より法律的なアプローチの助言を得るための制度) ・児童虐待を行った親への支援 ・児童の安全確保	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> ・対応協力員1人配置 ・弁護士3人 ・保護者向け再発防止カウンセリング ・医療的支援強化 ・緊急一時保護体制の充実 ・法医学専門医師診断体制 等  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	8,786	8,820	こども家庭局こども家庭センター
<b>こども家庭支援室の運営</b> 児童虐待の未然防止、被虐待児童への対応を行うとともに、子育て支援の充実を図るため、地域の身近な子育ての相談窓口を各区に設置。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 24年度よりこども家庭支援室に名称変更し事業継続  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	4,267	4,311	こども家庭局こども家庭支援課
<b>児童家庭支援センターの運営</b> こども家庭センターと連携し地域に密着したきめ細やかな相談支援ができるよう市内2か所のセンターを運営 ・24時間の電話相談、来所による相談やカウンセリングを行う。 ・市町村やこども家庭センターでの虐待ケースの会議や要対協ケース検討会等への参加	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> (2か所) ・相談件数 2,555件 ・市町村やこども家庭センターでの虐待ケースの会議や要対協ケース検討会等への参加 144回  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	25,320	25,320	こども家庭局こども家庭支援課
<b>児童虐待防止110番</b> 子育ての悩みなどをもとにおこる虐待に対し電話相談を実施し、必要な助言指導を行う。また、緊急を要する場合は関係機関と連携し、相談者への支援を行う。(平日10～16時)	下段の夜間・休日相談体制の充実の件数が実績となる。	—	—	こども家庭局こども家庭センター
<b>夜間・休日相談体制の充実</b> 深夜・休日に関わらず、子育ての悩みなどをもとにおこる虐待に対し電話相談を実施する。緊急かつより高度な専門的な対応が求められる中、24時間、365日電話相談体制を整備し、児童虐待の防止を図る。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 通報 187件 相談 411件  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	10,711	10,906	こども家庭局こども家庭センター
<b>児童虐待・非行等対策地域協議会</b> 虐待の早期発見・早期対応及びその防止を図るため、児童に関する機関が連携し、通告体制の確立等を図る。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> ・第13回協議会 5月23日開催 ・第14回協議会 11月28日開催  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	78	80	こども家庭局こども家庭センター
<b>養育支援ヘルパー派遣事業</b> 家庭養育上の問題を抱える家庭や子どもの児童養護施設等退所後の自立へのアフターケアが必要な家庭にホームヘルパーを派遣し、家事・育児の指導・援助を行う。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 12世帯137回  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	862	801	こども家庭局こども家庭支援課



事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>113 児童虐待防止のための啓発</b>				
<b>児童虐待防止のための講演会・シンポジウムの開催等</b> 子育てを通じた児童虐待とその防止をテーマに講演会・シンポジウム等の開催や、オレンジリボンキャンペーンを実施し、市民等への啓発を図る。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 11/7 子育て市民講座「地域における児童虐待の対応」 1/30 神戸市子どもサポーター(主任児童委員)研修 11月ほか オレンジリボンキャンペーン(児童虐待防止推進月間である11月を中心に実施) <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	5,564	5,229	子ども家庭局子ども家庭支援課
<b>児童虐待防止のための啓発</b> ①育児不安軽減に係る個別カウンセリング事業 ②啓発	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> ①育児不安や精神的ストレスを抱えた保護者に対して穏やかな子育てを支援する個別カウンセリング。 ②地域の子育て支援者に対して、児童虐待の防止と早期発見など適切な対応についての啓発を行う。 <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	500	512	中央区 (保健福祉部子ども家庭支援課)
<b>子どもが暴力から自分を守るための学習支援事業</b> 小学校児童と教職員・保護者・地域の支援関係者を対象に、児童虐待等の暴力について学び、子どもや大人(支援者)がともに児童虐待防止に取り組めるようにする。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> ①子どもが暴力から自分を守るための教育プログラム(CAP):4小学校(平野・夢野の丘・湊山・会下山) <b>&lt;26年度事業&gt;</b> ①子どもが暴力から自分を守るための教育プログラム(CAP):1小学校(夢野の丘)	542	138	兵庫区 (保健福祉部子ども家庭支援課)
<b>子どもの虐待予防ネットワーク連絡会</b> 子育て支援に関わる各機関・団体の実務担当者が連携を図り、より適切なサービス提供につなげる。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 講義と事例検討 本区1回、北神1回 本区:9月5日 講話「対応困難な母親の理解と関わり～パーソナリティ障害と発達障害に焦点をあてて」 北神:8月20日 講演「気になる家庭・関わりの難しい家庭への支援」・グループワーク「虐待等気になる親子や困っていることについて」 <b>&lt;26年度予定&gt;</b> 本区1回実施予定。 北神8月5日	126	111	北区 (保健福祉部子ども家庭支援課北神保健福祉課)
<b>学校・地域と連携したCAP等の実施</b> ※CAP Child Assault Prevention(子どもへの暴力防止) 区内の各小学校と連携し、地域や親、子どもを対象に児童虐待などの予防・早期発見の取り組みや、子どもの安全を守るための取り組みを実施する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 小学校5校で開催 <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 希望のある小学校で開催の計画	750	500	垂水区 (まちづくり課)
<b>児童虐待予防事業</b> 区民生委員児童委員協議会が、小学校と協力して、子どもへの暴力予防プログラムを児童、保護者、地域住民、教職員に対して研修することに助成	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 伊川谷小学校8/29,10/2,10/8,10/11 有瀬小学校12/20,12/24,2/6,2/7 <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 高和小学校	1,389	849	西区 (保健福祉部健康福祉課)

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>114 要保護児童への支援の充実</b>				
こども家庭センター機能強化 (再掲 112参照)	<25年度実績> (112参照)  <26年度事業> (112参照)	(112参照)	(112参照)	こども家庭局こども家庭支援課
こども家庭支援室の運営 (再掲 112参照)	<25年度実績> (112参照)  <26年度事業> (112参照)	(112参照)	(112参照)	こども家庭局こども家庭支援課
児童養護施設等家族療法事業 (再掲 112参照)	<25年度実績> (112参照)  <26年度事業> (112参照)	(112参照)	(112参照)	こども家庭局こども家庭支援課

**課題2 社会的支援を必要とするあらゆる人のための支援の充実**

(1) ひとり親家庭(母子・父子家庭)への自立の支援

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>115 ひとり親家庭への支援(その1)</b>				
母子世帯福祉乗車証の交付 母子世帯に対し福祉乗車証を交付することにより日常生活の便宜を図る。	<25年度実績> 事業継続  <26年度事業> 事業継続	310,989	310,989	こども家庭局こども家庭支援課
母子家庭等医療費公費負担 母子家庭等の医療費の一部を助成することにより、これらの家庭の保健の向上及び福祉の増進に寄与する。	<25年度実績> 母子家庭等医療費公費負担 332,796件  <26年度事業> 事業継続	839,937	467,914	こども家庭局総務課
母子指導育成事業 母子生活支援施設入所者の指導の一環として各種行事の実施及び事業助成を行い、入所者の自立更生を図る。各区保健福祉部に母子自立支援員・婦人相談員を配置し、ひとり親家庭及び要保護女子の生活上の相談指導を行う。	<25年度実績> 事業継続  <26年度事業> 事業継続	866	881	こども家庭局こども家庭支援課
母子寡婦福祉団体 母子家庭等の福祉増進を図るため、母子寡婦福祉推進事業として指導者養成、市民啓発等を行う。	<25年度実績> 事業継続  <26年度事業> 事業継続	1,712	1,712	こども家庭局こども家庭支援課
母子家庭等自立支援教育訓練給付金事業 (再掲 77参照)	<25年度実績> (77参照)  <26年度事業> (77参照)	(77参照)	(77参照)	こども家庭局こども家庭支援課
母子家庭等高等職業訓練促進給付金事業 (再掲 77参照)	<25年度実績> (77参照)  <26年度事業> (77参照)	(77参照)	(77参照)	こども家庭局こども家庭支援課
母子家庭等就業・自立支援センター事業 (再掲 77参照)	<25年度実績> (77参照)  <26年度事業> (77参照)	(77参照)	(77参照)	こども家庭局こども家庭支援課

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>115 ひとり親家庭への支援(その2)</b>				
<b>母と子のふれあい事業</b> ふれあい機会の少ない母子家庭に、低廉な料金でその機会を提供し、母と子のふれあいや母子家庭相互の交流を深め、自立意欲の促進を図る。	<25年度実績> 事業継続  <26年度事業> 事業継続	864	889	こども家庭局こども家庭支援課
<b>母子福祉センター運営事業</b> 母子家庭や寡婦の自立促進のため、技能習得や教養講座等を開催。	<25年度実績> 事業継続  <26年度事業> 事業継続	7,798	8,021	こども家庭局こども家庭支援課
<b>母子家庭等日常生活支援事業</b> 小学校6年生までの児童を扶養している母子家庭等が、一時的な疾病または母・父の出張、冠婚葬祭、その他やむを得ない事由により、一時的に日常生活に支障がある場合、保育所の送迎や家事援助などの支援を行う。 ・母子家庭等 母子家庭の母と子および同居の祖父母に派遣 ひとり暮らしの寡婦に派遣 ・父子家庭 父子家庭の父と子および同居の祖父母に派遣	<25年度実績> 事業継続  <26年度事業> 事業継続	933	960	こども家庭局こども家庭支援課
<b>母子(寡婦)福祉貸付・父子家庭児童福祉貸付</b> (目的)ひとり親家庭の生活の安定および児童の健全育成を図る。 (内容) ・母子家庭一事業、技能修得、転宅、就学支度など13種 ・父子家庭一修学、修業、就学支度、就職支度 (対象) ・母子家庭一母および児童 ・父子家庭一児童	<25年度実績> 事業継続  <26年度事業> 事業継続	183,187	199,767	こども家庭局こども家庭支援課
<b>母子家庭等法律相談事業</b> 母子家庭および寡婦の抱える複雑多様な問題の解決に必要な助言を行うため、弁護士による法律相談を実施する。 原則として、毎月第1・2・3金曜 13～16時	<25年度実績> 事業継続  <26年度事業> 事業継続	1,091	1,124	こども家庭局こども家庭支援課

(2) 障がいのある人(大人・子どもを含む。)の自立及びその家族への支援

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>116 障がいのある人への理解促進のための啓発(その1)</b>				
<b>普及啓発事業</b> 精神障害の正しい理解と精神障害者に対する偏見等を拭い去るため、講演会を実施する。	<25年度実績> ・障害者週間講演会(こころの健康フェスタ) 3月5日 於:男女共同参画センター 講師:高野奈美恵氏 テーマ「怒りのコントロール」 110人 ・精神保健福祉ボランティア講座 9月11日から11月1日の間5日 於:神戸市社協 講師:医療・福祉関係者 テーマ:精神保健福祉関係 149名 ・こころの日講演会 6月30日 於:男女共同参画センター 講師:井上和臣氏(精神科医) テーマ「うつのリハビリテーション」 152人  <26年度事業> ・障害者週間講演会(こころの健康フェスタ) ・精神保健福祉ボランティア講座 ・こころの日講演会	293	293	保健福祉局こころの健康センター

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>116 障がいのある人への理解促進のための啓発(その2)</b>				
<b>市民啓発</b> ・心の輪を広げる体験作文募集、障害者週間のポスター募集(対象) 作文 小学・中学・高校・一般 ポスター 小学・中学 ・一般紙での紙面広告	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 応募状況 ・作文 31編 ・ポスター 29点 ・紙面広告 12月3日付 神戸新聞朝刊  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	1,069	1,770	保健福祉局障害福祉課
<b>117 障がいのある人の地域生活への移行への支援</b>				
<b>障害者の地域移行支援</b> 施設や精神科病院に入所・入院している障害者が地域での生活に移行し、いきがいをを持って自立した暮らしを送ることができるよう支援する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> ・地域支援コーディネーターの配置 市内3ヶ所 ・体験型グループホーム事業の実施 市内3ヶ所  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> ・地域支援機強化専門員(地域支援員)の配置 市内5ヶ所 ・体験型グループホーム事業継続	23,301	3,770	保健福祉局障害者支援課
<b>118 障がいのある人の就労の促進</b>				
<b>障害者就労推進センター</b> 啓発、相談、情報提供、職場開拓、訓練及び就職後のアフターケアを実施。 18年度は北部地域、20年度は西部地域に、22年度には東部地域に地域障害者就労推進センターを設置し、より身近な地域での障害者就労支援に努めている。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 事業継続  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	59,710	72,979	保健福祉局障害福祉課
<b>障害者トライアル実習</b> 障害者福祉施設等からの一般就労の拡大を図るため、施設等を利用している障害者に対して、市役所内において短期間の実習機会を提供し事務補助全般を行う。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 障害福祉課にて知的障害者1名、精神障害者3名、発達障害者1名を受入。総務部、健康部、高齢福祉部、障害者支援課、こども家庭局にて知的障害者を各1名受入。  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 障害福祉課にて知的障害者1名、精神障害者3名、発達障害者1名を受入。総務部、健康部、高齢福祉部、障害者支援課、こども家庭局にて知的障害者を各1名受入。	1,959	1,636	保健福祉局障害福祉課
<b>知的障害者訓練雇用事業</b> 市役所内の事務補助等の業務について、訓練的に従事し、経験を積み、一般企業等への就労につなげていくことを目的として、本市で知的障害者を一定期間雇用する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 知的障害者1名  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 知的障害者1名	920	795	保健福祉局障害福祉課
<b>特例子会社設立促進事業補助</b> 障害者の雇用の場を拡大するため、市内に特例子会社を新設または増設等することで新たに障害者を雇用する事業主に対し、設立に要する経費の一部を助成する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 26年度から事業開始のため実績なし  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 申請のあった事業主に対して、補助金を交付する。	—	10,000	保健福祉局障害福祉課
<b>障害者の就労支援</b> 福祉就労の場の増加や工賃の増額をはかるため、企業・大学内授産活動を支援する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 事業継続  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	9,769	7,718	保健福祉局障害福祉課

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>119 障がいのある人及びその家族への相談・情報提供の充実</b>				
<b>精神保健福祉相談</b> 各区保健福祉部において、精神科医師、精神保健福祉相談員による精神保健福祉相談を実施する。 さらに必要により在宅の精神障害者に対して訪問を行い、個別指導を図る。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 相談件数18,220件(実人数5,699名) 訪問件数1,328件(実人数946名)  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	6,625	6,727	保健福祉局障害福祉課
<b>コミュニケーション確保事業</b> 市民相互のコミュニケーションの円滑化を推進するため、聴覚、言語機能又は音声機能の障害のため、意思疎通を図ることに支障がある障害者に、手話通訳者、要約筆記奉仕員または盲ろう者向け通訳・介助員を派遣するなどの支援を行うことにより、聴覚障害者等の福祉の向上を図る。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 手話通訳者または要約筆記奉仕員を派遣  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> ・事業継続 ・盲ろう者向け通訳・介助員を派遣	48,256	56,336	保健福祉局障害者支援課
<b>障害者総合支援法の円滑実施</b> 障害の種別(身体障害・知的障害・精神障害・難病)をこえた共通の仕組みとして、平成18年4月施行の障害者自立支援法(平成24年4月～障害者総合支援法)について、引き続き円滑実施に向けた取り組みを行う。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> ・障害福祉サービス等の提供 ・法改正対応  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> ・事業継続 ・法改正対応	30,268,916	34,120,822	保健福祉局障害者支援課
<b>120 障がいのある人の家族の仲間づくりへの支援</b>				
<b>障害児の子育て教室</b> (再掲 43参照)	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> (43参照)  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> (43参照)	(43参照)	(43参照)	こども家庭局こども家庭支援課

(3) 外国人の自立の支援

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>121 外国人への支援の充実(その1)</b>				
<b>日本語教室の開催</b> ボランティア団体開催の日本語教室を支援	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 5教室  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 25年度と同内容で事業継続	1,800	1,800	市長室国際交流推進部(公財)神戸国際協力交流センター
<b>外国人生活支援事業助成</b> 外国人が暮らしやすいまちづくりに資する事業を実施する民間団体の活動を支援することにより、地域の国際化を推進する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 外国人生活支援事業3件  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	400	200	市長室国際交流推進部(公財)神戸国際協力センター
<b>外国人市民会議の設置</b> 外国人市民の市政への参画を推進し、ともに生きる社会を築くにあたり、外国人市民に神戸市政についての意見、提案等を求め、それらを市政に反映させるため、外国人市民会議を設置する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 開催回数1回 テーマ:神戸市国際化推進大綱の進捗について 外国人児童・生徒の支援について 他  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	312	327	市長室国際交流推進部
<b>新たな医療通訳派遣システム構築事業</b> 日本語の理解が不十分な市内外国人市民に対し、医療通訳サービスを提供できるシステムづくりをおこなう	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> H23年度に神戸市内の医療機関で外国人市民が受診する場合に、一定の専門知識と技能を持った医療通訳の派遣が受けられる標準的システムを民間ベースで自立的・持続的に運営できるよう構築した。H25年度は構築したシステムを中央市民病院・西市民病院・西神戸医療センターで実施した。  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 市民病院での実績を踏まえ課題を整理し、民間医療機関に対してもサービスの周知に努め、システムへの参画を促進していく。	—	—	市長室国際交流推進部



事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>121 外国人への支援の充実(その2)</b>				
<b>日本語の短期習得サポート事業</b> 既存の日本語教室への通学が困難な外国人住民が、地域における日常生活や職場生活において最低限身につけておく必要がある日本語を短期間で習得することができるような学習方法の開発・マニュアル化・普及を行う。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> H23年度にNPO法人への委託により、外国人が短期間で生活に必要な日本語を習得するための新たな教材や教え方のマニュアルの作成および講座を開催した。作成したテストについて、神戸国際協力交流センターのHPに掲載しダウンロードできるようにしている。平成25年度には、外国人支援団体が文化庁委託事業として実施した、日本語学習教材「こうべを楽しもう」の制作や日本語教室の運営支援を行った。  <b>&lt;26年度予定&gt;</b> 開発した教材についてNPOや関係諸団体と連携し普及・活用を図る。	—	—	市長室国際交流推進部
<b>外国人のためのワンストップサービス</b> (公財)神戸国際協力センターの運営する「神戸国際コミュニティセンター」の情報提供機能、相談機能等の窓口機能を充実し、外国人のためのワンストップサービス機能を推進する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 外国人生活相談・専門相談の実施 月～金 英語・中国語 月・水 ベトナム語 火・木 ポルトガル語・スペイン語 金 韓国語・朝鮮語 水 フィリピン語(タガログ語)  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 上記に加え、市民相談室との連携による専門相談を行う。	KIC分 3910 ※	KIC分 4022 ※	市長室国際交流推進部(公財)神戸国際協力交流センター
<b>災害時における在住外国人支援</b> 災害時における情報発信・通訳ボランティア制度の運営を外国人コミュニティなどと連携して行うとともに、防災カードを配布するなどして、外国人市民にとって安全・安心な暮らしやすいまちをめざす。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 災害時通訳ボランティアの募集・登録・研修を実施 登録者93人  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 上記に加え、防災カードを更新する。	370	285	市長室国際交流推進部(公財)神戸国際協力交流センター
<b>中央区ホームページの多言語化</b> 中央区ホームページの多言語化を推進し、外国籍市民も利用しやすいHPを作成する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 毎月、区民広報誌「中央」の英・中国・ハングル語のダイジェスト版を掲載(アクセス数、月平均各200件)  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	300	300	中央区まちづくり推進課
<b>青少年国際交流キャンプ</b> 外国人学校と市内小学校児童が、1泊2日のキャンプを通じて、自然の中での新しい仲間づくりと国際交流を体験できる場を提供する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 実施時期 9月14、15日 於)しあわせの村  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 実施時期 9月13、14日 於)しあわせの村	547	563	こども家庭局こども青少年課
<b>外国人市民生活サポート事業</b> <b>外国人市民支援事業</b> 生活相談員研修の実施など、外国人市民へのサポート体制をさらに充実させる。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 外国人市民相談員研修の実施、区役所窓口の多言語対応、同行通訳の実施。  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 同行通訳について、タイ語とインドネシア語での対応を開始する。 また、外国人に対する多言語メールマガジンの配信を開始する。	— (ワンストップサービスの※を含む)	— (ワンストップサービスの※を含む)	市長室国際交流推進部((公財)神戸国際協力交流センター)
<b>外国語版「ごみと資源の出し方ルールちらし」の作成</b> 市内在住の外国人の方向けに、ごみの出し方ルールの周知を図るとともに、日本における生活習慣等への理解を通して、地域でのコミュニケーションを深めよう。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 外国語版「ごみと資源の出し方ルールちらし」の作成  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	94	94	環境局業務課

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>121 外国人への支援の充実(その3)</b>				
<b>外国語版「お店や会社などの事業系ごみの出し方ルールチラシ」の作成</b> 市内在住の外国人の方向けに、事業系ごみの出し方ルールを周知を図るとともに、日本における生活習慣等への理解を通して地域でのコミュニケーションを深めてもらう。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 排出ルールの変更に伴い、6カ国語(英語、中国語、韓国語、ベトナム語、ポルトガル語、スペイン語)表記のチラシの発行(各2,000部) <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	600	— (事業系ごみ指定袋全体の予算となるため外国語表記の表示にかかる予算のみで計上はしていない。)	環境局事業系廃棄物対策室
<b>事業系ごみ指定袋への外国語表記の表示</b> 市内在住の外国人事業者の方向けに、ごみの分別の徹底を図るとともに、日本における生活習慣等への理解を通して地域でのコミュニケーションを深めてもらう。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 事業継続 <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	— (事業系ごみ指定袋全体の予算となるため外国語表記の表示にかかる予算のみで計上はしていない。)	— (事業系ごみ指定袋全体の予算となるため外国語表記の表示にかかる予算のみで計上はしていない。)	環境局事業系廃棄物対策室
<b>家庭系ごみ指定袋への外国語表記の表示</b> 市内在住の外国人の方向けに、ごみの分別の徹底を図る。	<b>&lt;25年度実績&gt;※</b> 家庭系ごみ指定袋への外国語表記の表示 <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	— (家庭系ごみ指定袋全体の予算となるため外国語表記の表示にかかる予算のみで計上はしていない。)	— (家庭系ごみ指定袋全体の予算となるため外国語表記の表示にかかる予算のみで計上はしていない。)	環境局資源循環政策課
<b>多文化コミュニティ形成事業</b> 各外国人コミュニティの意見交換の場として「多文化コミュニティのつどい」を開催し、外国籍市民間及び区民、行政(市)との交流・情報交換を促進することで、誰もが住みやすいまちの実現を目指す。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 5月31日、3月26日「多文化コミュニティのつどい」開催 10月20日「多文化交流フェスティバル」開催(参加者約1,000人) 2月16日「多文化交流カフェ」開催(参加者約50人) <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	2,520	2,263	中央区まちづくり推進課



## 基本目標6 生涯を通じた心身の健康づくり

### 課題1 生涯を通じた男女の健康保持及び増進

#### (1) 生涯を通じた男女の健康保持及び増進

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>122 男女の健康づくり対策の充実(その1)</b>				
<b>骨粗しょう症検診</b> 18歳以上の女性と40歳以上の男性を対象に、寝たきりの原因となる骨折を起こしやすい骨粗しょう症を早期に発見するため、骨粗しょう症検診を実施する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 問診、骨密度測定(超音波法) 受診者数 17,049人  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 問診、骨密度測定(超音波法) 受診者数 18,000人予定	1,000	1,000	保健福祉局健康づくり支援課
<b>特定健診・特定保健指導等の実施</b> 平成20年4月から医療保険者に義務付けられる特定健診・特定保健指導について、国民健康保険事業においても、その円滑な実施に努める。また、後期高齢者・若年者などについても健診・保健指導(若年者のみ)を実施し、市民の健康増進をはかる。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> ※毎年11月の法定報告で数値が確定するため平成25年度実績は未確定。 【参考】平成24年度実績 特定健康診査受診者数 78,727人 特定健康診査受診率 31.1% 特定保健指導終了者数 551人 特定保健指導実施率 5.9%  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 対象者数 282,000人予定	894,970	876,261	保健福祉局健康づくり支援課
<b>こころの健康づくり対策</b>	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> ・神戸市の自殺対策への意見聴取のための「自殺対策推進懇談会」開催 ・啓発キャンペーン・講演会による普及啓発 ・神戸いのち大切プラン中間評価 ・相談窓口カード作成、配布 ・自殺予防とこころの健康電話相談 ・ハローワーク神戸「こころの健康相談」の実施 ・ゲートキーパー養成研修の実施 ・24時間の電話相談を実施している団体への支援 ・神戸G-Pネット情報センターの運営 ・自殺未遂者対策 ・かかりつけ医等に対するうつ病対応力向上のための研修会開催 ・自死遺族を支援するNPO法人等への支援  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> ・神戸市の自殺対策への意見聴取のための「自殺対策推進懇談会」開催 ・啓発キャンペーン・講演会による普及啓発 ・相談窓口カードの配布 ・自殺予防とこころの健康電話相談 ・ハローワーク神戸「こころの健康相談」の実施 ・ゲートキーパー養成研修の実施 ・24時間の電話相談を実施している団体への支援 ・神戸G-Pネット情報センターの運営 ・自殺未遂者対策 ・かかりつけ医等に対するうつ病対応力向上のための研修会開催 ・自死遺族を支援するNPO法人等への支援	32,285	31,520	保健福祉局こころの健康センター
<b>老人スポーツ大会</b> 全市あるいは区単位で、老人スポーツ大会を開催するとともに、ゲートボール大会に助成し、高齢者の健康増進を図る。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 事業継続  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続(老人スポーツ大会)	1,333	1,333	保健福祉局高齢福祉課

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>122 男女の健康づくり対策の充実(その2)</b>				
<b>健康ライフプラザの運営</b> 中高年層を中心とする市民、勤労者を主な対象とし、「心とからだ」の健康づくりを栄養・運動・休養の総合的な面から支援し、健康に関する各種情報提供を行う健康づくりの中核施設として「健康ライフプラザ」を運営する。  (場所)キャナルタウン中央(JR兵庫駅南) (事業内容)健康づくり事業、健診事業、健康づくり支援事業等 (施設概要) ・3F[ヘルスチェックゾーン] 検査・健診施設 ・4F[ヘルスコミュニケーションゾーン、健康インフォメーションゾーン] トレーニングルーム、スタジオ、食生活指導室、情報コーナー ・5F[イベント・セミナーゾーン] 多目的室、ランニングトラック	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 健康づくり教室の開催 351回 トレーニングジムの個人利用 102,473人 (うち女性 48,162人)  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 健康づくり教室の開催 355回 トレーニングジムの個人利用 101,200人 (うち女性 47,564人)	127,214	131,843	保健福祉局地域保健課
<b>市民健康大学講座</b> 保健医療と各種疾病に関する知識の普及をめざし、市民の健康の維持増進をはかるため、ライフサイクルに応じた健康管理と疾病予防に関する健康大学を開催する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 年間13回開催  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 年間13回開催予定	2,000	2,057	保健福祉局健康づくり支援課
<b>こうべ長寿祭</b> 高齢者の心身の保持・増進と生きがいの高揚を目的として、総合的なスポーツ、文化行事を実施し高齢者スポーツ、文化の振興を図る。 (実施種目) 卓球・ゲートボール・ソフトテニス・剣道・ソフトボール・テニス・弓道・ゴルフ・パタンク・グラウンドゴルフ・家庭バレーボール・バドミントン・ウォークラリー・合唱コンクール・美術作品展・囲碁・将棋	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 17種目実施 スポーツ大会 13種目 文化行事 4種目  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 17種目実施 スポーツ大会 13種目 文化行事 4種目	4,771	4,771	保健福祉局高齢福祉課
<b>123 女性のための総合的相談体制の充実</b>				
<b>女性のための相談室の運営</b> <面接相談>(予約制) 1 こころの悩み相談 2 法律相談 3 からだの相談 4 就業・チャレンジ相談 <一般電話相談>	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> ・こころの悩み相談 380件 ・法律相談 209件 ・からだの相談 10件 ・就業・チャレンジ相談 22件 ・一般電話相談 1,645件  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	6,189	6,314	市民参画推進局男女共同参画課(男女共同参画センター)
<b>女性外来</b> 女性のみを対象に、女性の医師が、更年期障害などや「何科にかかればよいのかわからない」という方の相談を扱う 15年4月～診療開始	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 事業継続  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	10,182	10,182	保健福祉局(地方独立行政法人神戸市民病院機構中央市民病院)
<b>124 女性が受診しやすい環境づくり(その1)</b>				
<b>女性外来</b> (再掲 123参照)	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> (123参照)  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> (123参照)	10,182	10,182	保健福祉局(地方独立行政法人神戸市民病院機構中央市民病院)

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>124 女性が受診しやすい環境づくり(その2)</b>				
<b>子宮がん検診</b> 20歳以上の偶数年齢女性を対象に指定医療機関において検体を採取し、細胞診を行う。 また、21年度から25年度まで、一定の年齢の方(20、25、30、35、40歳)にがん検診無料クーポン券を送付していたが、26年度は、検診対象年齢初年度(20歳)の方へのクーポン券の送付を引き続き行うとともに、過去(H21～H24)の対象者のうちクーポン券を使わなかった方へ、再度クーポン券を送付するなどの受診勧奨事業を実施予定。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 受診者数 31,773人  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 受診者数 29,962人予定	256,405	252,921	保健福祉局健康づくり支援課
<b>乳がん検診</b> 40歳以上の偶数年齢女性を対象に指定医療機関及び地域巡回検診車で、マンモグラフィ、視診、触診及び自己触診の指導を行う。 また、21年度から25年度まで、一定の年齢の方(40、45、50、55、60歳)にがん検診無料クーポン券を送付していたが、26年度は検診対象年齢初年度(40歳)の方へのクーポン券の送付を引き続き行うとともに、過去(H21～H24)の対象者のうちクーポン券を使わなかった方へ、再度クーポン券を送付するなどの受診勧奨事業を実施予定。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 受診者数 30,897人  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 受診者数 29,996人予定	313,140	338,438	保健福祉局健康づくり支援課
<b>125 男性のための相談体制の充実</b>				
<b>男性外来</b> 男性のみを対象に、泌尿器科などの相談を扱う 15年7月～診療開始	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 事業継続  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	1,294	1,387	保健福祉局(地方独立行政法人 神戸市民病院機構 中央市民病院)
<b>こころの健康づくり対策</b> (再掲 122参照)	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> (122参照)  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> (122参照)	—	—	保健福祉局 こころの健康センター
<b>126 性についての人権を尊重する啓発</b>				
<b>女性のための健康とからだセミナーの実施</b> 女性が「自分のからだ」と向き合いながら、健康的に、自律的・主体的に生きていくことを学ぶ。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 5月18日「プレ・マタニティのための妊活入門 妊娠のあれこれ」講師:岸本喜代子氏 15名 6月22日「女性外来をご存知ですか?」講師:西大條靖子氏 26名 9月21日「30代からのプレ更年期講座」講師:岸本喜代子氏 11名 12月18日「回想法でこころとからだの活性化!」講師:津田恵理子氏 51名 2月12日「ボールを使った骨盤調整トレーニングで毎日を楽しく」講師:谷村亜希子氏 28名  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	—  (1に計上)	—  (1に計上)	市民参画推進局 男女共同参画課 (男女共同参画センター)

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>127 女性の人権を尊重する視点からの性教育の充実</b>				
<b>性教育の実施</b> 命の教育の観点から、男女の体の特徴や互いの心くばりの大切さを扱った学習を発達段階に応じて行っている。健康教育の内容の一つとして「性に関する指導手引き書」(小学校編・中学校編)を使用した授業を行う。性教育にあたっては、愛情・友情・相互理解といった人間尊重の精神を基盤に、生命の尊厳、男女の特性などを理解させることによって、豊かな人間の育成に寄与する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 学習指導要領に従って、児童・生徒の発達段階と家庭・地域の状況に応じて保健学習や保健指導で実施  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 学習指導要領に従って、児童・生徒の発達段階と家庭・地域の状況に応じて保健学習や保健指導で実施	—	—	教育委員会事務局健康教育課
<b>健康教育推進指定校</b> 生涯を通して健康で安全な生活を送ることができるようにすることをめざして、指定校にて研究推進を行う。 小学校1校(2年間)・中学校1校(1年間) 公開授業と研究発表	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> ※25年度は性教育をテーマとした研究発表なし。以下は参考。 ・垂水東中学校 研究主題「豊かな心をはぐくむ健康教育」 生徒のコミュニケーション能力や自尊感情の醸成を図ることを中心に据えた健康教育を推進する 研究発表会(公開授業等)の実施 ・高津橋小学校 研究主題「生涯にわたる健康の保持増進を目指す健康教育」 授業を中心とした健康教育を推進する 研究発表会(公開授業等)の実施  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> ・南五葉小学校(26・27年度) 研究主題「心と体の健康づくり」 ～心穏やかなこどもの育成～ ・伊川谷中学校 研究発表会、授業公開予定 研究主題「自他を大切にし、互いに認め、高め合う集団の育成」	—	—	教育委員会事務局健康教育課
<b>教職員研修 課題研修講座「健康教育」</b> 市立学校園教員を対象に、性教育のあり方や進め方について認識を深め、指導力の向上を図る。 また、性教育に関する専門的知識、技能、態度を養い研修意欲の充実を図る。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 1月14日:「命・性を考える」  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 1月13日:「命・性を考える」	—	—	教育委員会事務局総合教育センター

**課題2 健康をおびやかす問題についての推進**

(1) HIV/エイズ及び性感染症対策の推進

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>128 正しい情報の提供と感染防止のための啓発</b>				
<b>エイズ及び性感染症に関する予防啓発</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>啓発用冊子やポスターの配布</li> <li>健康教育の実施</li> <li>啓発イベントの実施</li> <li>ボランティア活動の支援</li> </ul>	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内中学生、高校生等へエイズと性感染症の予防啓発冊子を配布</li> <li>各区保健福祉部・保健所における中・高・大学生等への健康教育の実施</li> <li>ICAAP記念エイズ月間(7月)、KOBEエイズフェスタの開催(7月27日)</li> <li>広報紙KOBE等への啓発記事の掲載、イベント時や市民ギャラリーへのパネル展示</li> <li>ハイリスク層への啓発の実施</li> <li>エイズ予防サポートネット神戸によりボランティア活動支援の助成</li> <li>世界エイズデー記念シンポジウムの開催(12月1日)</li> </ul> <b>&lt;26年度事業&gt;</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内中学生、高校生等へエイズと性感染症の予防啓発冊子を配布</li> <li>各区保健福祉部・保健所における中・高・大学生等への健康教育の実施</li> <li>ICAAP記念エイズ月間(7月)、KOBEエイズフェスタの開催(7月12日)</li> <li>広報紙KOBE等への啓発記事の掲載、イベント時や市民ギャラリーへのパネル展示</li> <li>ハイリスク層への啓発の実施</li> <li>エイズ予防サポートネット神戸によりボランティア活動支援の助成</li> <li>世界エイズデー記念シンポジウムの開催(12月)</li> </ul>	3,105	3,079	保健福祉局健康部予防衛生課
事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>129 検査・相談体制の充実</b>				
<b>HIV・性感染症の検査</b> 区保健福祉部・保健所にて検査・相談を実施。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>各区保健福祉部において即日HIV・B型肝炎検査の実施</li> <li>各区保健福祉部、保健所においてエイズ及び性感染症の相談の実施</li> <li>夜間HIV抗体検査(同時にクラミジア・梅毒も検査可能。年間51回)を毎週水曜日に実施</li> <li>即日HIV・B型肝炎検査(年間15回土曜)実施(夜間・即日とも場所はセンタープラザ西館)</li> </ul> <b>&lt;26年度予定&gt;</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>各区保健福祉部において即日HIV・B型肝炎検査の実施</li> <li>各区保健福祉部、保健所においてエイズ及び性感染症の相談の実施</li> <li>夜間HIV抗体検査(同時にクラミジア・梅毒も検査可能。年間51回)を毎週水曜日に実施</li> <li>即日HIV・B型肝炎検査(年間15回土曜)実施(夜間・即日とも場所はセンタープラザ西館)</li> </ul>	21,308	20,417	保健福祉局健康部予防衛生課



## (2) 薬物乱用、喫煙・飲酒対策の推進

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>130 薬物乱用防止に向けた啓発・教育の充実(その1)</b>				
<b>青少年育成市民運動での啓発</b> 青少年の健全育成を市民すべての取組とし、市民意識の啓発・高揚を図るため、青少年育成市民運動強調期間を設けており、各区の主要拠点での街頭活動などで啓発活動を行う。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 青少年育成市民運動強調期間(年3回)などの機会に街頭キャンペーン等を実施  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 青少年育成市民運動強調期間(年3回)などの機会に街頭キャンペーン等を実施	880	905	こども家庭局こども青少年課
<b>各種広報媒体やイベント等を通じた啓発活動の実施</b> 市民参画推進局・保健福祉局・教育委員会が発行しているパンフレット、リーフレットへ記事を掲載するとともに、「地区大会」や「ダメ。ゼッタイ。普及運動」などのイベントを通じてシンナーや覚せい剤、違法ドラッグ等の乱用薬物の恐ろしさを普及啓発する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> リーフレット配布 各種イベントの実施・参加 (市内各地区組織による住民大会、麻薬・覚せい剤乱用防止運動街頭キャンペーンへの参加)  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> リーフレット配布、各種イベントの実施・参加 (市内各地区組織による住民大会、麻薬・覚せい剤乱用防止運動街頭キャンペーンへの参加)	333	833	保健福祉局健康部予防衛生課
<b>出前トークなど講座・研修会の開催</b> 市民参画推進局が主催する「出前トーク」に平成14年度より薬物乱用防止に関するメニューを設定し、シンナーや覚せい剤、違法ドラッグ等の薬物乱用の恐ろしさを普及啓発する。 また、薬物乱用相談担当職員や学校関係者向け研修会を関係機関と協力のもと実施する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 出前トーク、学校における講習会の実施 薬物乱用防止対策連絡会議  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 出前トーク、学校における講習会の実施 薬物乱用防止対策連絡会議	—	—	保健福祉局健康部予防衛生課・教育委員会事務局指導課
<b>「神戸市薬物等乱用防止対策推進本部」設置による庁内外協力体制の構築</b> 関係機関と地域が連携して薬物等乱用対策を推進する目的から、市長を本部長とする対策推進本部を設置し、その付属機関である推進会議において情報交換、活動方針の決定等を行う。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 「神戸市薬物等乱用防止対策推進本部推進会議」の開催(7月23日開催)  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 「神戸市薬物等乱用防止対策推進本部推進会議」の開催(7月24日開催)	30	30	保健福祉局健康部予防衛生課
<b>薬物等乱用相談窓口の設置</b> シンナーや覚せい剤等の乱用に係る相談に対応するため、保健所及び各区保健福祉部に設置する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 相談事業の実施  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 相談事業の実施	—	—	保健福祉局健康部予防衛生課
<b>不正大麻けし撲滅運動の実施</b> 5月1日～6月30日 全国的に展開 ポスターやリーフレットによる啓発のほか、警察や各区保健福祉部が連携のもと不正大麻・けしの除去活動を実施。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> ポスター、リーフレットによる啓発 不正大麻、けしの除去  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> ポスター、リーフレットによる啓発 不正大麻、けしの除去	—	—	保健福祉局健康部予防衛生課
<b>地区組織における薬物乱用防止活動の支援</b> 地区組織に対する薬物乱用防止活動資金の補助、活動時に使用する啓発資材の提供、関係職員の参加 等	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> リーフレット、ポスター等の啓発資材配布 住民大会等への参加 地区組織への活動資金の補助  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> リーフレット、ポスター等の啓発資材配布、住民大会等への参加、地区組織への活動資金の補助	300	300	保健福祉局健康部予防衛生課

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>130 薬物乱用防止に向けた啓発・教育の充実(その2)</b>				
薬物の影響に関する教育の実施	<p>&lt;25年度実績&gt; 学習指導要領に従って、小学校6年生・中学校3年生・高等学校1年生において、薬物の影響等について、発達段階に応じた学習を行う。</p> <p>&lt;26年度事業&gt; 学習指導要領に従って、小学校6年生・中学校3年生・高等学校1年生において、薬物の影響等について、発達段階及び地域の状況に応じた学習を行う。</p>	—	—	教育委員会事務局健康教育課
健康教育推進指定校 (再掲 127参照)	<p>&lt;25年度実績&gt; (127 参照)</p> <p>&lt;26年度事業&gt; (127 参照)</p>	—	—	教育委員会事務局健康教育課
<b>131 喫煙の有害性やアルコール依存症防止に関する啓発</b>				
市関連施設における禁煙の実施 庁舎内全面禁煙の実施	<p>&lt;25年度実績&gt; 継続実施</p> <p>&lt;26年度事業&gt; 継続実施</p>	—	70	行財政局人事課 (安全衛生委員会)・保健福祉局健康部地域保健課
	<p>&lt;25年度実績&gt; 継続実施</p> <p>&lt;26年度事業&gt; 継続実施</p>	—	—	教育委員会事務局健康教育課
講座・研修会の開催	<p>&lt;25年度実績&gt; なし</p> <p>&lt;26年度事業&gt; 未定</p>	—	—	保健福祉局健康部地域保健課・健康づくり支援課
喫煙や飲酒の影響に関する教育の実施	<p>&lt;25年度実績&gt; ・要請に応じ健康教育実施(出前トーク) 要請は特になし。 ・COPD健康相談事業 各区のイベントや健康教育の場で肺年齢測定を実施し、COPDの周知を図る。喫煙者に対しては禁煙指導を併せて行う。 実施回数:23回, 参加人数1,251名</p> <p>&lt;26年度事業&gt; 継続実施</p>	—	1,595	保健福祉局健康部地域保健課・健康づくり支援課
	<p>&lt;25年度実績&gt; 学習指導要領に従って、小学校6年生・中学校3年生・高等学校1年生において、たばこの害・主流煙と副流煙・喫煙の習慣・受動喫煙の害等について、発達段階及び地域の状況に応じた学習を行う。</p> <p>&lt;26年度事業&gt; 学習指導要領に従って、小学校6年生・中学校3年生・高等学校1年生において、たばこの害・主流煙と副流煙・喫煙の習慣・受動喫煙の害等について、発達段階及び地域の状況に応じた学習を行う。</p>	—	—	教育委員会事務局健康教育課



**課題3 妊娠・出産などの母性の保護と母子保健施策の充実**

(1) 妊娠・出産などの母性の社会的な重要性についての啓発の推進

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>132 妊娠・出産などの母性の社会的な重要性についての啓発</b>				
<b>女性のための健康とからだセミナーの実施</b> (再掲 126 参照)	<25年度実績> (126参照)  <26年度事業> (126参照)	—	—	市民参画推進局 男女共同参画課 (男女共同参画センター)
<b>133 母性について考える機会の提供</b>				
<b>思春期ヘルスケア事業</b> ・専門職のデリバリー授業 市内中学校へ医師や助産師など専門職を派遣する。中学1年生を対象に助産師により命の大切さや性について、中学3年生を対象に医師により性感染症予防について専門的立場からの知識普及を図る。 ・HIV検診・相談事業 HIV感染者の増加が著しい青少年層を対象に、平日夜間に都心部において、無料でHIV抗体検査及び相談を実施する。	<25年度実績> 専門職のデリバリー授業 中学1年生88校、3年生73校で実施  <26年度事業> 専門職のデリバリー授業継続	2,041	2,099	こども家庭局こども家庭支援課
<b>思春期ピアカウンセリング</b> 思春期は子どもが心身ともに成長し親となる一歩前の段階であり、将来子どもを産み育てるための素地を築き上げる(いわゆる「親育ち」)時期である。主に高校生を対象に、性と生について自己決定する力、人生を考える力を養うことに効果があるとされるピアカウンセリングを実施する。	<25年度実績> 市内高等学校2年生 1校延べ960人を対象に実施  <26年度事業> 事業継続	409	421	こども家庭局こども家庭支援課

(2) 妊娠・出産などの母性の保護・母子保健対策の充実

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>134 妊娠・出産などの母性の保護対策の充実</b>				
<b>妊婦健康診査</b> 妊婦の健康管理の充実及び経済的負担の軽減を図り、安心して妊娠・出産をできるよう妊婦健康診査の公費助成を実施する。 (21年4月から)妊婦全員に14回実施。 ・5,000円券14枚(基本的な検査の補助券)と1,000円券18枚(その他の検査の補助券)を交付。(24年4月から)多胎の妊婦には1000円券18枚を追加で交付。(26年4月から)2,000円券5枚(その他の検査の補助券)を追加で交付。	<25年度実績> 19,644人  <26年度事業> 事業継続	1,039,104	1,232,594	こども家庭局こども家庭支援課
<b>不妊に悩む方への特定治療支援事業</b> 不妊治療のうち、体外受精及び顕微授精(以下「特定不妊治療」という)については、1回の治療費が高額であり、その経済的負担が重いことから十分な治療を受けることができず、子どもを持つことを諦めざるを得ない方も少なくない。そこで、特定不妊治療に要する費用の一部を助成することにより、その経済的負担の軽減を図る。	<25年度実績> 延べ1,942組  <26年度事業> 事業継続	310,996	314,176	こども家庭局こども家庭支援課

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>135 母子保健対策の充実</b>				
<b>乳児(4・9か月)・1歳6か月児・3歳児健康診断</b> 心身の著しい発達をとげる乳幼児期において、健康診断を実施することにより健康状態を確認し、疾病・障害を早期に発見する。(その他は区保健福祉部で実施、9か月児は医療機関に委託実施)また子どもが健全に育つための環境を整えるため、子育てへの決め細やかな助言や不安の軽減、保護者自身の相談にも応じ、乳幼児の健康の保持増進を図る。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 4ヶ月 12,137人 9ヶ月 12,049人 1歳6ヶ月 12,299人 3歳 12,535人  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	282,901	284,504	こども家庭局こども家庭支援課
<b>乳幼児等医療費助成制度</b> 乳幼児等の医療費の一部を助成することにより、その疾病の早期発見と治療を促進し、乳幼児等の健やかな成長に寄与する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 乳幼児等医療費公費負担 1,859,693件  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 平成26年7月より外来の自己負担金を軽減。(3歳～中学3年生まで1日500円上限(2割負担)、月2回まで/1医療機関等ごと)	2,978,257	3,828,201	こども家庭局総務課
<b>新生児訪問指導</b> 全出生世帯を対象(17年～)に、保健師又は助産師が家庭訪問を行い、身体計測や育児や産後の生活に関する相談・指導・子育て支援に関する情報提供等を行う。また、19年度より産後うつへのスクリーニングツール(エジンバラ質問票)を用いて要支援者の早期発見・早期支援に努めている。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 11,367件  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	45,598 (母子保健指導を含む)	48,359 (母子保健指導を含む)	こども家庭局こども家庭支援課
<b>産後ホームヘルプサービス事業</b> 出産後間もない母親の精神的・肉体的に過重な育児負担の軽減と、児童虐待防止対策の一環としてホームヘルパーを派遣し育児・家事援助を行う。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 1,347回 195人  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	4,811	5,645	こども家庭局こども家庭支援課
<b>産後ケア事業</b> 家族などからの産後の援助が受けられない者で、育児支援を特に必要とする母子を対象に、心身の安定と育児不安を解消し、児童虐待の未然防止を目的として、助産所等で宿泊または通所で心身のケアや育児サポートを行う。	<b>&lt;26年度事業&gt;</b> 新規事業(平成26年11月開始)  委託契約をしている市内6か所の助産所にて ・母親の健康管理や産後の生活のアドバイス ・乳房のケアや授乳方法の指導 ・乳児の沐浴やスキンケアなどの育児技術の指導 ・育児相談や子育て情報の提供等を実施		36,550	こども家庭局こども家庭支援課

## 基本目標7 国際的協調の推進

### 課題1 国際理解と国際交流の推進

#### (1) 男女共同参画の視点に立つ国際理解と国際交流の推進

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>136 国際規範の理解のための啓発</b>				
<b>神戸婦人大学</b> (再掲 50参照)	<25年度実績> (再掲 50参照)  <26年度事業> (再掲 50参照)	(再掲 50参 照)	(再掲 50参 照)	市民参画推進局 男女共同参画課
<b>137 国際理解のための啓発</b>				
<b>国際理解のための市民講座</b> (趣旨)12月の人権週間にあわせ、在日外国人の問題を広く民族・文化をテーマとして、人権問題の側面からの内容を盛り込み、市民の理解と認識を高めるための啓発の一環とする。 (所管)市長室(国際交流推進部)、教育委員会(生涯学習課)の32局共管 (主担当は毎年持ち回り)	<25年度実績>  ①ミャンマー料理を作って食べて理解しよう 29名 ②外国人青年による楽しい語学文化ミニ講座 26名  <26年度事業> 事業継続	130  (※担当課 に関わらず 生涯学習課 予算)	130  (※担当課 に関わらず 生涯学習課 予算)	市長室(国際交流 推進部)、教育委 員会(生涯学習 課)
<b>学校国際交流支援事業</b> 神戸市とシアトル市の高校生及び神戸市の中学生とブリスベン市の中高生を相互に派遣交流することにより、両市の友好を深めるとともに、小・中・高等学校が独自に実施する国際交流事業の支援を行い、児童生徒の国際理解への関心・意欲の向上をはかる。	<25年度実績> ①神戸高校生シアトル教育交流 ・高校生10人、引率教員2人を7月末に派遣(1週間) ・11月にシアトルからの訪問を受入。 ②神戸中学生ブリスベン教育交流 ・中学生8人、引率教員2人を8月に派遣(1週間) ・9月にブリスベンからの訪問を受入。  <26年度事業> ①神戸シアトル教育交流 ②神戸ブリスベン教育交流	9,248	9,512	教育委員会事務 局指導課
<b>長期海外生活体験者への情報提供・相談の実施</b> 帰国児童生徒など海外生活体験者が、学校生活等に円滑に参画できるよう、情報提供や相談を通じて支援する。	<25年度実績> ・帰国・外国人児童生徒への情報提供・相談窓口 ・学校生活への適応 ①神戸生田中学校JSL教室(生田中学校生徒7人、その他8人に実施)<平成25年11月時点> ②「学校生活ガイドブック」(日本語、英語、中国語、韓国・朝鮮語、ベトナム語、ポルトガル語、スペイン語)の全面改定、フィリピン語新規作成 ③「子ども多文化共生サポーター」(県)の派遣 ④「外国児童生徒受入校支援ボランティア」(市)の派遣 ⑤就学支援ガイダンスの実施 ⑥「日本語指導支援者派遣調査事業」実施(人権教育課)本庄小、中央小、山の手小、兵庫大開小、駒ヶ林小、東灘小  <26年度事業> 上記事業継続	5,408	5,409	教育委員会事務 局指導課

事業名と内容	25年度実績と26年度事業	25年度予算額(千円)	26年度予算額(千円)	所管課
<b>138 在住外国人との交流の推進</b>				
<b>市民交流事業の推進</b> ・日本語・文化サポーター 登録ボランティアが外国人市民に対し日本語等をマンツーマンで教える活動 ・日本語サポーターのスキルアップ事業 日本語サポーターの日本語教授技術の向上を図るため講座を開催 ・多文化交流会 日本人・外国人の市民に対して、各種の講演会や交流会を開催 ・国際交流活動助成金の交付 国際交流団体が神戸市内で開催する行事に対して助成金(1件10万円以内)支給し、その活動を支援する。 ・国際交流フェア 民間の国際交流団体相互の情報交換・連帯を図るとともに、市民に団体の活動を紹介し、市民の国際交流活動参加の契機とする。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> ・日本語・文化サポーター 月平均251組 ・入門講座2コース、実践講座1コース ・多文化交流会 14回 ・国際交流活動助成金の交付 13件 ・国際交流フェア 日時 26年3月15日・16日 場所 神戸市勤労会館 ハーバーランドスペースシアター 参加団体 53団体  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 25年度と同内容で継続	11,606	12,005	市長室国際交流推進部(公財)神戸国際協力交流センター
<b>神戸アジア交流プラザの運営</b> アジアに関する情報の収集・提供・文化の紹介及び地域とアジアとのつながりを推進し、地域の活性化に寄与する。 (開館時間) 10時～17時30分 水・日祝及び年末年始は休館 (事業内容) ・情報提供 ・アジア語学サロン ・アジア文化ふれあいセミナー 在神のアジア出身者が自国の文化を日本語で紹介 ・市民国際交流講座 アジア各国の文化を日本語で紹介 ・外国人による児童国際理解教育 (目的)外国人が児童に母国の説話、遊戯、歌唱を紹介することにより、児童の異文化への理解を深める。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 民間団体に事業運営を委託して実施 ・アジア語学サロン 3講座 ・グローバルセミナー 4講座 ・市民国際交流講座 2講座 ・アジア文庫読書サロン 1講座 ・児童国際理解教育 児童館36か所  <b>&lt;26年度予定&gt;</b> 事業継続	12,301	12,653	市長室国際交流推進部(公財)神戸国際協力交流センター
<b>139 国際交流・国際協力への支援</b>				
<b>市民の海外活動への支援</b> 青年海外協力隊派遣隊員への活動の支援 青年海外協力隊員として派遣される市民に対する事前情報の提供	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> 年4回派遣(神戸市出身者累計528人)  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 事業継続	—	—	市長室国際交流推進部
<b>啓発及び広報</b> ホームページ等による情報発信	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> (公財)神戸国際協力交流センターの実施事業や行政・生活情報、国際協力・交流団体の情報などをホームページ(神戸市国際協力交流センター「神戸リビングガイド」)に掲載  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> リビングガイドを更新予定	—	—	市長室国際交流推進部(公財)神戸国際協力交流センター
<b>140 海外情報の収集と提供</b>				
<b>開発途上国の都市に関する諸情報の収集・提供</b> アジアの諸都市の都市データの収集及び蓄積をし、検索及び閲覧可能なデータベースの充実を図るとともに、これらの情報を国際協力諸団体、市民等に提供する。	<b>&lt;25年度実績&gt;</b> ホームページでの情報提供 ニュースレター「Asian Cities and People」や研修参加者のシティレポートなどを掲載  <b>&lt;26年度事業&gt;</b> 25年度と同内容で事業継続	250	250	市長室国際交流推進部(公財)神戸国際協力交流センター

## 参 考 資 料

- ・ 神戸市男女共同参画計画(第3次) 体系図
- ・ 神戸市男女共同参画の推進に関する条例
- ・ 神戸市男女共同参画審議会規則
- ・ 神戸市男女共同参画審議会委員名簿
- ・ 神戸市男女共同参画の推進に関する条例施行規則
- ・ 神戸市男女共同参画申出処理制度
- ・ 男女共同参画行政のあゆみ



# 神戸市男女共同参画計画（第3次） 体系図

## 基本目標 1 男女共同参画社会への啓発・教育の推進

課 題	施策の方向	具体的事業
1 あらゆる世代・立場を視野に入れた意識啓発への取り組み	(1) 男女共同参画に関する広報・啓発の充実	1 あらゆる世代・立場の市民および事業者を対象とした啓発 2 「男女共同参画推進月間」の実施 3 多様な広報媒体による広報・啓発の充実 4 地域社会での男女共同参画についての啓発 5 男性に対する男女共同参画についての啓発 6 人権教育・啓発の推進
	(2) 関係機関との連携による啓発の推進	7 企業・団体などへの出前講座の実施 8 男女共同参画推進会議による啓発事業の推進
	(3) 男女共同参画に関する調査・研究の推進	9 男女共同参画に関する調査 10 男女共同参画に関する情報の収集・整理・提供 11 市内大学での男女共同参画に関する研究の推進
	(4) 市職員に対する意識啓発の取り組み	12 市職員を対象とする意識調査 13 市職員に対する男女共同参画に関する研修の推進
	(5) 男女共同参画の視点に立つ社会制度・慣行の中立性への配慮、意識啓発	14 市民への広報・啓発活動の推進 15 男女共同参画に関連する法令等についての普及・啓発
2 男女共同参画の視点に立つ教育の推進	(1) 男女共同参画の視点に立つ家庭教育の推進	16 男女共同参画の視点に立つ家庭教育の推進
	(2) 男女共同参画の視点に立つ学校教育の推進（保育所・幼稚園を含む）	17 男女共同参画の視点に立つ指導計画の作成 18 男女共同参画に関する教材の充実・活用 19 教育・保育関係者への研修の充実 20 男女共同参画の視点に立つ主体的な進路・職業選択能力の育成 21 職業観・勤労観を育てる就労教育・キャリア教育の推進 22 共生の態度の育成 23 男女共同参画の視点に立つ技術・家庭科教育の推進および50音順名簿等の定着の促進 24 学校におけるセクシュアル・ハラスメントおよびデートDVの防止や対策の整備・充実
3 男女共同参画の視点に立つ生涯学習の充実	(1) 男女共同参画の視点に立つ生涯学習の推進	25 男女共同参画の視点に立つ学習機会の提供 26 参加しやすい講座の提供



## 基本目標2 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）が実現した社会の構築

課 題	施策の方向	具体的事業
1 ワーク・ライフ・バランスの推進の啓発	(1) ワーク・ライフ・バランスの推進のための教育・啓発	27 ワーク・ライフ・バランスの推進に関する市民、事業者および大学への啓発 28 ワーク・ライフ・バランスの推進に関する教育の充実 29 ワーク・ライフ・バランスの推進企業に対するインセンティブの創設
	(2) 多様な働き方を可能にする就業条件の整備	30 育児・介護休業法などの普及・啓発 31 労働時間短縮やフレックスタイム制・再雇用制度などの普及・啓発 32 正社員転換制度や短時間正社員制度などの普及・啓発 33 雇用でない就業形態についての情報提供等の支援や、家内労働法等の普及・啓発
2 男女ともに家庭・地域生活に積極的に参画しやすい環境の整備	(1) 家事・育児・介護への男性の積極的な参画の推進	34 男性の育児・介護休業の取得に向けての啓発 35 男性が参加しやすい家事・育児・介護講座の充実
	(2) 地域活動など市民活動への男女共同参画の推進	36 地域活動、防災福祉コミュニティ活動など市民活動への男女共同参画の推進 37 男女共同参画社会の実現をめざす市民活動への支援
3 子育てをしやすい環境の整備	(1) 仕事と子育ての両立支援の推進	38 保育所などの充実 39 保育所情報の提供 40 放課後児童健全育成事業の充実 41 子育てを支える多様な保育サービスの提供
	(2) 子育てをしやすいまちづくり	42 子育てについての相談の充実 43 「地域での子育て」支援 44 子育てリフレッシュステイ事業などの充実 45 児童館の整備・充実 46 子ども会活動などの支援 47 子連れで安心して行動できるまちづくり 48 小児科救急医療体制の整備

## 基本目標3 女性の社会への更なる参画の促進

課 題	施策の方向	具体的事業
1 政策・方針決定の場への女性の参画の促進	(1) 市政への女性の参画の促進	49 市の審議会などへの女性委員の登用促進 50 女性の人材を育成する場の充実 51 市政への女性の意見の反映
	(2) 企業・団体などにおける方針決定の場への女性の参画の促進	52 企業・団体などにおける方針決定の場への女性の参画の促進 53 女性の活躍を推進する研修プログラムの実施 54 女性リーダーの育成支援 55 政治・選挙への女性の参画を促進するための啓発
	(3) 市における女性職員の職域拡大と登用促進	56 ポジティブ・アクション(積極的改善措置)としての女性職員の職域拡大の促進 57 女性職員の管理職への登用の促進・支援 58 女性職員の働きやすい職場環境の整備

### 基本目標3 女性の社会への更なる参画の促進

課 題	施策の方向	具体的事業
2 就業の場における男女共同参画の推進	(1) 職場における男女共同参画の推進	59 男女雇用機会均等法などの普及・啓発 60 妊娠・出産などの母性の保護とそれを理由とした差別解消に向けての啓発 61 職場におけるセクシュアル・ハラスメント防止に関する啓発 62 企業のポジティブ・アクションへの取り組みについての啓発
	(2) さまざまな就業の場で働く人の労働条件の向上	63 パートタイム労働・派遣労働・期間雇用(契約社員)等で働く人の労働条件の向上 64 家族従業者・家内労働者として働く女性の労働条件の向上 65 農漁業に従事する女性の労働条件の向上 66 女性農漁業者の積極的な育成支援
3 女性の就業機会の拡大	(1) 女性の就業支援と起業支援	67 就業支援のための講座および情報提供・相談の充実 68 起業についての講座の実施と相談窓口の充実
	(2) 女性の職業意識・能力の向上	69 女性の職業観や職業意識、仕事に必要な能力を育成する講座などの充実 70 女性の自主的学習活動への支援

### 基本目標4 女性に対するあらゆる暴力の根絶

課 題	施策の方向	具体的事業
1 神戸市配偶者等暴力(DV)対策基本計画(第2次)の推進	(1) 相談機能の充実	71 神戸市配偶者暴力相談支援センターの充実 72 相談窓口の充実
	(2) 被害者の安全確保の徹底	73 被害者の安全確保の徹底 74 被害者の情報管理の徹底
	(3) 被害者の自立支援と生活再建の支援	75 生活基盤を整えるための支援 76 住宅の確保に向けた支援 77 就業の支援 78 子どもへの支援 79 高齢者・障がい者への支援 80 外国人への支援 81 心理的ケアの充実
	(4) 教育・啓発の推進	82 市民・企業に対する啓発 83 若年層等への教育・啓発および教育関係者に対する啓発 84 医療関係者に対する啓発 85 福祉関係者に対する啓発
	(5) 推進体制の充実	86 被害者支援を担う関係者の人材育成 87 関係機関の連携・協力
2 女性の人権尊重の啓発	(1) 女性に対するあらゆる暴力の根絶に向けての啓発の推進	88 女性に対するあらゆる暴力を許さない社会環境づくりへの啓発 89 性の商品化を防ぐ啓発 90 セクシュアル・ハラスメント防止のための啓発 91 女性への暴力に関する実態把握
	(2) メディアにおける女性の人権の尊重	92 メディアにおける女性の人権尊重についての啓発 93 男女共同参画の視点を持ち、メディアからの情報を読み解く能力の向上・育成 94 男女共同参画の視点からの表現についての啓発

## 基本目標5 あらゆる人の自立を支える社会環境の整備

課題	施策の方向	具体的事業
1 あらゆる人が安心して暮らせる環境の整備	(1) 安心できる地域生活の実現	95 市民の福祉課題に対する相談対応の総合化(ワンストップサービス機能の充実)
	(2) 介護の社会化・男女共同参画の推進	96 介護の社会化についての啓発
		97 介護について学習する機会の充実
		98 高齢者虐待の早期発見・早期対応と相談機能の充実
		99 介護保険制度の円滑な運営
		100 介護予防対策等の実施
(3) 在宅福祉サービスの基盤整備	101 在宅福祉・保健サービスの充実 102 特別養護老人ホームなど施設の整備 103 地域ケアシステムの推進 104 地域との協働による見守りシステムの推進	
(4) ユニバーサルデザインのまちづくり	105 ユニバーサルデザインの視点に立つ公共建築物、交通施設、道路、公園等の整備	
	106 高齢者等に配慮した市営住宅等の整備	
	107 住宅等のバリアフリー化に関する支援	
	108 ユニバーサルデザインの普及・啓発	
(5) 高齢者の主体的生活を支える条件整備	109 高齢者の学習機会の充実	
	110 高齢者の就業機会の確保	
	111 高齢者の生活安定の推進	
(6) 児童虐待の防止・要保護児童への支援	112 児童虐待(DV被害者の子どもを含む)の早期発見・早期対応と相談機能の充実	
	113 児童虐待防止のための啓発	
	114 要保護児童への支援の充実	
2 社会的支援を必要とするあらゆる人のための支援の充実	(1) ひとり親家庭(母子・父子家庭)への自立の支援	115 ひとり親家庭への支援
	(2) 障がいのある人(大人・子どもを含む。)の自立及びその家族への支援	116 障がいのある人への理解促進のための啓発
		117 障がいのある人の地域生活への移行への支援
118 障がいのある人の就労の促進		
119 障がいのある人およびその家族への相談・情報提供の充実		
120 障がいのある人の家族の仲間づくりへの支援		
(3) 外国人の自立の支援	121 外国人への支援の充実	

## 基本目標6 生涯を通じた心身の健康づくり

課題	施策の方向	具体的事業
1 生涯を通じた男女の健康保持及び増進	(1) 生涯を通じた男女の健康保持及び増進	122 男女の健康づくり対策の充実 123 女性のための総合的相談体制の充実 124 女性が受診しやすい環境づくり 125 男性のための相談体制の充実
	(2) 人権としての性への意識啓発	126 性についての人権を尊重する啓発 127 女性の人権を尊重する視点からの性教育の充実

## 基本目標6 生涯を通じた心身の健康づくり

課 題	施策の方向	具体的事業
2 健康をおびやかす問題についての対策の推進	(1) HIV/エイズおよび性感染症対策の推進	128 正しい情報の提供と感染防止のための啓発 129 検査・相談体制の充実
	(2) 薬物乱用、喫煙・飲酒対策の推進	130 薬物乱用防止に向けた啓発・教育の充実 131 喫煙の有害性やアルコール依存症防止に関する啓発
3 妊娠・出産などの母性の保護と母子保健施策の充実	(1) 妊娠・出産などの母性の社会的重要性についての啓発の推進	132 妊娠・出産などの母性の社会的重要性についての啓発 133 母性について考える機会の提供
	(2) 妊娠・出産などの母性の保護・母子保健対策の充実	134 妊娠・出産などの母性の保護対策の充実 135 母子保健対策の充実

## 基本目標7 国際的協調の推進

課 題	施策の方向	具体的事業
1 国際理解と国際交流の推進	(1) 男女共同参画の視点に立つ国際理解と国際交流の推進	136 国際規範の理解のための啓発 137 国際理解のための啓発 138 在住外国人との交流の推進 139 国際交流・国際協力への支援 140 海外情報の収集と提供

# 神戸市男女共同参画の推進に関する条例

平成 15 年 3 月 27 日

神戸市条例第 57 号

改正 平成 25 年 3 月 29 日条例 16 条の 2

## 目次

### 前文

### 第 1 章 総則（第 1 条—第 6 条）

### 第 2 章 男女共同参画の推進を阻害する行為の制限（第 7 条・第 8 条）

### 第 3 章 基本的施策（第 9 条—第 21 条）

### 第 4 章 神戸市男女共同参画審議会（第 22 条）

### 附則

個人の尊重と法の下での平等がうたわれている日本国憲法の下、国においては、男女平等の実現に向けて、女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約及び家族的責任を有する男女労働者の機会及び待遇の均等に関する条約を批准し、男女共同参画社会基本法（平成 11 年法律第 78 号）を制定するなどして、国際社会の取組と連動しつつ、法制度の整備が進められてきた。

神戸市においても、こうした国際社会や国内の動向を踏まえ、男女共同参画社会の実現を目指して様々な取組を進めてきた。しかしながら、今なお、社会には、性別による固定的な役割分担等とそれに基づく制度や慣行及び様々な形態の暴力等の人権侵害が存在しており、真の男女平等を達成するためには多くの課題が残されている。

一方で、少子高齢化が一層進行し、経済が成熟化するなど、社会経済情勢は急速に変化している。このことは、家族形態や地域社会の変化にも影響を与えており、社会の基礎である家族とそれを取り巻く地域社会とのつながりは、ますますその重要性が増大している。

このような状況に対応していく上で、男女が、互いを尊重し合い、責任を分かち合いながら共に力を合わせて有償又は無償の労働を担い、かつ、社会の様々な場で意思決定

の過程にかかわることができる男女共同参画社会づくりは、本市においても緊要な課題となっている。

こうした認識の下、市民のだれもが、性別によって活動を制限されることなく個人として尊重され、自律的に自分らしい生き方を選択することができる夢と活力あふれる神戸を、市、市民、事業者の協働により築くことを目指して、この条例を制定する。

## 第 1 章 総則

### （目的）

第 1 条 この条例は、男女共同参画の推進に関し、基本理念を定め、並びに市、市民及び事業者の責務を明らかにするとともに、市の施策の基本的事項を定めることにより、男女共同参画社会づくりを総合的かつ計画的に推進することを目的とする。

### （定義）

第 2 条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 男女共同参画 男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべきことをいう。
- (2) 積極的改善措置 前号に規定する機会に係る男女間の格差を改善するため必要な範囲内において、男女のいずれか一方に対し、当該機会を積極的に提供することをいう。

### （基本理念）

第 3 条 男女共同参画の推進は、男女の個人としての尊厳が重んぜられること、男女が性別による差別的取扱いを受けないこと、男女が個人として能力を発揮する機会が確保されることその他の男女の人権が尊重されることを旨として、行われなければならない。

- 2 男女共同参画の推進に当たっては、社会における制度又は慣行が、性別による固定的な役割分担等を反映して、男女の社会における活動の選択に対して中立でない影響を及ぼすことにより、男女共同参画の推進を阻害する要因となるおそれがあることにかんがみ、社会における制度又は慣行が男女の社会における活動の選択に対して及ぼす影響をできる限り中立なものとするように配慮されなければならない。
- 3 男女共同参画の推進は、男女が、社会の対等な構成員として、様々な政策又は方針の立案及び決定に共同して参画する機会が確保されることを旨として、行われなければならない。
- 4 男女共同参画の推進は、家族を構成する男女が、相互の協力及び社会の支援の下に、子の養育、家族の介護その他の家庭生活における活動について家族の一員としての役割を円滑に果たし、かつ、職域、地域等における活動を行うことができるようにすることを旨として、行われなければならない。
- 5 男女共同参画の推進は、男女が、妊娠及び出産の機能を有する女性の心身に対する理解を深めるとともに、対等な関係の下に性と生殖に関する互いの意思が尊重されること並びに男女の生涯にわたる健康の維持及び増進が図られることを旨として、行われなければならない。
- 6 男女共同参画の推進が国際社会における取組と密接な関係を有していることにかんがみ、男女共同参画の推進は、国際的な協調の下に行われなければならない。
- 7 男女共同参画の推進は、地域社会を構成する市民一人一人が自律的に、及び協働して取り組むことを旨として、行われなければならない。

#### (市の責務)

- 第4条 市は、前条に定める男女共同参画の推進についての基本理念にのっとり、男女共同参画の推進に関する施策(積極的改善措置を含む。以下同じ。)を策定し、及び実施しなければならない。
- 2 市は、市の職員一人一人の男女共同

参画に関する認識を高めるよう努めなければならない。

- 3 市は、男女共同参画の推進に関する施策を実施するため、財政上の措置その他の必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

#### (市民の責務)

- 第5条 市民は、男女共同参画に関する理解を深め、その推進に主体的かつ自律的に取り組むよう努めなければならない。

#### (事業者の責務)

- 第6条 事業者は、法人であるか個人であるかを問わず、その事業活動において、男女が職業生活と家庭生活等とを両立して行うことができる就業環境を整備し、及び職域における活動に平等に参画することができる機会を確保するよう努めるとともに、市が実施する男女共同参画の推進に関する施策に協力するよう努めなければならない。

## 第2章 男女共同参画の推進を阻害する行為の制限

### (性別による権利侵害の禁止)

- 第7条 何人も、社会のあらゆる場において、性別による差別的取扱い、セクシュアル・ハラスメント(性的な言動に対する相手方の対応によってその者に不利益を与え、又は性的な言動により相手方の生活の環境を害することをいう。)又は配偶者間など男女の間における身体若しくは精神に苦痛を与える暴力的行為を行ってはならない。

### (公衆に表示する情報に関する留意)

- 第8条 何人も、公衆に表示する情報において、性差別、性別による固定的な役割分担又は暴力的行為を助長する表現及び著しく性的感情を刺激する表現を行わないよう留意しなければならない。

## 第3章 基本的施策

### (男女共同参画計画)

- 第9条 市長は、男女共同参画の推進に関する施策を総合的かつ計画的に実施するための基本的な計画(以下「男女共同参画計画」という。)を策定するものとする。

2 男女共同参画計画は、次に掲げる事項について定めるものとする。

(1) 総合的かつ長期的に講ずべき男女共同参画の推進に関する施策の大綱

(2) 前号に掲げるもののほか、男女共同参画の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項

3 市長は、男女共同参画計画を策定するに当たっては、第22条第1項に規定する神戸市男女共同参画審議会の意見を聴くものとする。

4 市長は、男女共同参画計画を策定するに当たっては、市民及び事業者（以下「市民等」という。）の意見を反映することができるよう適切な措置を講ずるものとする。

5 市長は、男女共同参画計画を策定したときは、遅滞なく、これを公表するものとする。

6 前3項の規定は、男女共同参画計画の変更について準用する。

#### （施策の策定等に当たっての配慮）

第10条 市は、男女共同参画の推進に影響を及ぼすと認められる施策を策定し、及び実施するに当たっては、男女共同参画の推進に配慮するものとする。

#### （附属機関等への共同参画の機会確保）

第11条 市長は、審議会その他の附属機関を組織する委員を委嘱し、又は任命する場合には、男女の数の均衡に配慮するよう努めるものとする。

2 市は、女性職員の職域の積極的な拡大及び能力開発に努めるものとする。

#### （市民等の理解を深めるための措置）

第12条 市は、広報活動、広聴活動等を通じて、男女共同参画に関する市民等の理解を深めるよう適切な措置を講ずるものとする。

#### （男女共同参画推進月間）

第13条 市は、男女共同参画について広く市民等の関心と理解を深めるため、年1回、男女共同参画推進月間を設けるものとする。

#### （調査研究）

第14条 市は、男女共同参画の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進のために必要な調査研究を行うとともに、その成果を公表するものとする。

#### （家庭生活における活動とその他の活動の両立の支援）

第15条 市は、男女が共に、家庭生活における活動と職域、地域等における活動とを両立して行うことができるように、必要な支援を行うよう努めるものとする。

#### （雇用等の分野における男女共同参画の推進）

第16条 市は、事業者が、その事業活動において積極的改善措置を講ずることができるように、情報提供その他の必要な支援を行うよう努めるものとする。

2 市は、個人で営む事業にその家族が従事している場合において、その家族が経営の方針の立案及び決定に共同して参画する機会が確保されるように、情報提供その他の必要な支援を行うよう努めるものとする。

3 市は、必要があると認めるときは、事業者に対し、男女共同参画の状況に関する調査について協力を求めることができる。

4 市は、男女共同参画の推進に関して積極的な取組を行っている事業者の表彰を行い、当該取組を公表するものとする。

第16条の2 市長の附属機関として、神戸市男女いきいき事業所表彰選考委員会（以下「選考委員会」という。）を置く。

2 選考委員会は、前条第4項に規定する事業者の表彰に係る受賞者の選考に関する事務を行う。

3 前項に定めるもののほか、選考委員会の組織及び運営に関し必要な事項は、規則で定める。

#### （男女平等の視点に立つ学校教育及び社会教育の推進）

第17条 市は、学校教育及び社会教育の場において、男女平等を推進するための教育又は学習の充実のために必要な措置を講ずるものとする。

#### （市民等に対する支援）

第18条 市は、男女共同参画の推進に関する活動を行う市民等に対し、情報提供その他の必要な支援に努めるものとする。

#### （年次報告）



第 19 条 市長は、男女共同参画計画に基づいた施策の実施状況について年次報告書を作成し、これを公表するものとする。

**(市民等からの申出の処理)**

第 20 条 市長の附属機関として、男女共同参画苦情処理委員（以下「苦情処理委員」という。）を置く。

- 2 市民等は、市が実施する男女共同参画の推進に関する施策又は男女共同参画の推進に影響を及ぼすと認められる施策についての苦情又は提案（以下「苦情等」という。）並びに男女共同参画の推進を阻害する要因によって人権が侵害された場合の相談について、市長に申し出ることができる。
- 3 市長は、前項の申出があった場合、規則の定めるところにより、苦情処理委員に事案の調査及び処理を命ずるものとする。
- 4 苦情処理委員は、市長に調査結果を報告し、必要があると認めるときは、助言、是正の要望等必要な措置を講ずるよう市長に意見を述べることができる。
- 5 市長は、前項の意見を尊重して、必要な措置を講ずるよう努めるとともに、調査結果及び意見並びに講じた措置の内容を申出人に通知しなければならない。
- 6 市長は、前項の措置を行うに当たって、必要があると認めるときは、第 22 条第 1 項に規定する神戸市男女共同参画審議会の意見を聴くことができる。
- 7 前各項に定めるもののほか、市民等からの申出の処理に関し必要な事項は、規則で定める。

**(推進体制)**

第 21 条 市は、男女共同参画の推進に関する施策を総合的に実施するため、必要な推進体制を整備するものとする。

## 第 4 章 神戸市男女共同参画審議会

### (男女共同参画審議会)

第 22 条 市長の附属機関として、神戸市男女共同参画審議会（以下「審議会」という。）を置く。

- 2 審議会は、次に掲げる事務を行う。
  - (1) 諮問に応じ、男女共同参画計画そ

の他男女共同参画の推進に関する重要事項を調査審議し、及び意見を述べること。

- (2) 男女共同参画の推進に関する施策の実施状況について意見を述べること。
  - (3) 諮問に応じ、第 20 条第 2 項の苦情等の申出に関して意見を述べること。
- 3 審議会は、20 人以内の委員で組織する。
  - 4 前項の委員のうち男女いずれか一方の委員の数は、委員の総数の 10 分の 4 未満であってはならない。
  - 5 委員の任期は、2 年とする。ただし、再任を妨げない。
  - 6 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。
  - 7 前各項に定めるもののほか、審議会の組織及び運営に関し必要な事項は、規則で定める。

### 附 則

この条例は、平成 15 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 9 条、第 20 条及び第 22 条の規定は、規則で定める日から施行する。

（平成 15 年 7 月 7 日規則第 23 号により第 9 条及び第 22 条の規定は、平成 15 年 7 月 10 日から施行）

（平成 15 年 9 月 16 日規則第 28 号により第 20 条の規定は、平成 15 年 10 月 1 日から施行）

### 附 則

第 16 条の 2 は平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

## 神戸市男女共同参画審議会規則

平成15年7月9日

神戸市規則第24号

(趣旨)

第1条 この規則は、神戸市男女共同参画の推進に関する条例（平成15年3月条例第57号）第22条第7項の規定に基づき、神戸市男女共同参画審議会（以下「審議会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(委員)

第2条 委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 学識経験のある者
- (2) 市民
- (3) 事業者
- (4) 前3号に掲げる者のほか、市長が必要があると認める者

(会長及び副会長)

第3条 審議会に会長及び副会長を置く。

- 2 会長及び副会長は、委員の互選によって定める。
- 3 会長は、審議会に関する事務を処理し、審議会を代表する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第4条 審議会は、会長が招集し、会長が、その議長となる。

- 2 審議会は、委員の総数の半数以上の者が出席しなければ、会議を開くことができない。
- 3 審議会の議事は、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは、議長の決す

るところによる。

(部会)

第5条 審議会は、その定めるところにより、部会を置くことができる。

2 部会は、審議会の議決により付議された事項について調査審議し、その経過及び結果を審議会に報告する。

3 部会に属すべき委員は、会長が指名する。

4 部会に部会長を置き、当該部会に属する委員の互選により選任する。

5 第3条第3項及び前条の規定は、部会について準用する。

(意見の聴取に関する協力の要請)

第6条 審議会又は前条の部会は、必要があると認めるときは、関係者の出席及び意見の聴取に関し協力を要請することができる。

(庶務)

第7条 審議会の庶務は、市民参画推進局において処理する。

(施行細目の委任)

第8条 この規則に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、会長が定める。

附則

この規則は、平成15年7月10日から施行する。

附則（平成18年3月31日規則第121号）抄

この規則は、平成18年4月1日より施行する。

第6期 神戸市男女共同参画審議会委員名簿（五十音順）  
（任期：平成25年7月10日～平成27年7月9日）

氏名	性別	職業・役職
ありぞの 有園 博子	女	兵庫教育大学大学院教授
いとう 伊藤 公雄	男	京都大学大学院文学研究科教授
かつき 勝木 洋子	女	神戸親和女子大学発達教育学部教授
かとう 加藤 恵正	男	兵庫県立大学政策科学研究所教授
きたお 北尾 真理子	女	株式会社ダイバーシティオフィスK I T A O 代表取締役
こいけ 小池 弘三	男	須磨観光協会会長
こうの 河野 英司	男	連合神戸地域協議会事務局長
しかた 四方 智美	女	厚生労働省兵庫労働局雇用均等室長
たかだ 高田 昌代	女	神戸市看護大学看護学部教授
たつき 立木 茂雄	男	同志社大学社会学部教授
たなか 田中 裕子	女	株式会社夢工房代表取締役
なかい 中井 伊都子	女	甲南大学法学部教授
にしむら 西村 智	女	関西学院大学経済学部教授
はせがわ 長谷川 京子	女	弁護士
はなおか 花岡 正浩	男	神戸商工会議所サービス文化部会長 (神鋼ケアライフ株式会社代表取締役社長)
むらかみ 村上 早百合	女	神戸新聞地域総研副所長 兼 企画調査部長
やまうち 山内 隆	男	第12期市政アドバイザー
やまかわ 山川 由紀子	女	第12期市政アドバイザー
やました 山下 晃一	男	神戸大学大学院人間発達環境研究科 神戸大学発達科学部

## 神戸市男女共同参画の推進に関する条例施行規則

平成 15 年 9 月 17 日  
神戸市規則第 29 号

### (趣旨)

第 1 条 この規則は、神戸市男女共同参画の推進に関する条例（平成 15 年 3 月条例第 57 号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

### (苦情処理委員)

第 2 条 条例第 20 条第 1 項に規定する男女共同参画苦情処理委員（以下「苦情処理委員」という。）は、3 人以内とし、人格が高潔で、男女共同参画の推進及び行政に関し優れた識見を有する者のうちから、市長が委嘱する。

2 苦情処理委員のうち 1 人以上は、法律に関し学識経験を有する者でなければならない。

3 女性の苦情処理委員及び男性の苦情処理委員は、それぞれ 1 人以上でなければならない。

4 苦情処理委員の任期は、2 年とする。ただし、補欠の苦情処理委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 苦情処理委員は、再任されることができる。

6 市長は、苦情処理委員が心身の故障のため職務の遂行に堪えないと認めるとき、又は苦情処理委員に職務上の義務違反その他苦情処理委員としてふさわしくない非行があると認めるときは、これを解嘱することができる。

7 苦情処理委員の職務の執行の方針又は条例第 20 条第 4 項の意見に関する決定は、苦情処理委員の合議によるものとする。

### (身分証明書)

第 3 条 苦情処理委員は、職務を行う場合には、その身分を示す証明書を携帯し、関係者の請求があったときは、これを提示しなければならない。

2 前項の証明書は、様式によるものとする。

### (苦情処理委員の庶務)

第 4 条 苦情処理委員の庶務は、市民参画推進局において処理する。

### (申出の方法)

第 5 条 条例第 20 条第 2 項の申出（以下単に「申出」という。）は、次に掲げる事項を記載した書面を提出してしなければならない。ただし、当該書面を提出することができない特別の理由があると市長が認めるときは、次に掲げる事項を陳述してすることができる。

(1) 申出人の氏名及び住所（法人その他の団体にあつては、名称及び代表者の氏名並びに主たる事務所の所在地）

(2) 申出の趣旨及び理由

(3) 他の機関等への相談等の状況

(4) 男女共同参画の推進を阻害する要因によって人権が侵害された場合の相談（以下「相談申出」という。）にあつては、当該人権の侵害があつた日

(5) 申出の年月日

2 市長は、前項ただし書の規定による陳述を受けたときは、その内容を録取するものとする。

### (調査及び処理)

第 6 条 市長は、条例第 20 条第 3 項の規定による命令（以下「調査等命令」という。）は、次の各号のいずれかに該当する事案以外の事案について行うものとする。

(1) 裁判所において係争中の事案又は裁判所の確定した判決若しくは決定に係る事案

(2) 行政不服審査法（昭和 37 年法律第 160 号）に規定する不服申立ての審理中の事案又は裁決若しくは決定に係る事案

- (3) 雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律(昭和47年法律第113号)第12条に規定する紛争に係る事案
  - (4) 条例又はこの規則の規定に基づく苦情処理委員の行為に関する事案
  - (5) 人権の侵害があった日から1年を経過した日以後にされた相談申出に係る事案(市長が正当な理由があると認めるものを除く。)
  - (6) 前各号に掲げるもののほか、苦情処理委員に調査及び処理を命ずることが適当でないと認める事案
- 2 市長は、調査等命令をしたときは、その旨を申出人及び当該申出に係る市の機関又は関係人に対し、書面により通知するものとする。ただし、相談申出の場合において、相当な理由があると認めるときは、この限りでない。
- 3 市長は、調査等命令をしないことと決定し、又は取り消したときは、申出人に対し、その旨及びその理由を書面により通知するものとする。
- 4 苦情処理委員は、申出に係る調査及び処理を行うに当たり、市の機関に対し、説明を求め、その保有する関係書類その他の記録を閲覧し、若しくはその写しの提出を求め、又は関係人に対し、資料の提出若しくは説明を求めることができる。

**(必要な措置等)**

- 第7条 条例第20条第5項の措置は、書面による申出に係る市の機関に対する是正の指示又は当該関係人に対する助言若しくは是正の要望とする。
- 2 市長は、条例第20条第5項の措置を行わないことを決定したときは、前条第2項の規定による通知をした市の機関又は関係人に対し、速やかに、書面によりその旨を通知するものとする。

**(是正その他の措置の報告)**

- 第8条 前条に規定する是正の指示を受けた市の機関は、当該是正の指示に基づいて措置を講じたときは、その旨を書面により

市長に報告しなければならない。

**(申出の処理の状況の報告等)**

- 第9条 苦情処理委員は、毎年度1回、申出の処理の状況、これに関する所見その他の市長が必要があると認める事項についての報告書を作成し、市長に提出しなければならない。
- 2 市長は、前項の報告書及び次に掲げる事項を公表するものとする。ただし、公表に当たっては、個人に関する情報がみだりに公にされることのないよう最大限の配慮をするものとする。
- (1) 市長が申出に係る市の機関に対して行った是正の指示
  - (2) 前号の是正の指示に対して、市の機関が講じた措置

**(施行細目の委任)**

- 第10条 この規則に定めるもののほか、申出の処理に関して必要な事項は、市民参画推進局長が定める。

**附 則**

**(施行期日)**

- 1 この規則は、平成15年10月1日から施行する。

**(苦情処理委員の任期の特例)**

- 2 この規則の施行後最初に委嘱される苦情処理委員の任期は、第2条第4項の規定にかかわらず、平成17年3月31日までとする。

**附則**(平成18年3月31日規則第121号)抄  
この規則は、平成18年4月1日より施行する。

**附則**(平成19年3月30日規則第93号)抄  
**(施行期日)**

- 1 この規則は、平成19年4月1日から施行する。

## 神戸市男女共同参画申出処理制度

### 1 根拠

神戸市男女共同参画の推進に関する条例第 20 条  
神戸市男女共同参画の推進に関する条例施行規則

### 2 申出の対象

- (1) 市の男女共同参画に関する施策についての苦情又は提案の申出
  - ・市が実施する男女共同参画の推進に関する施策
  - ・市が実施する男女共同参画の推進に影響を及ぼすと認められる施策
- (2) 男女共同参画に関する人権が侵害された場合の相談の申出（市内で発生したものに限る。）
  - ・私人間における性別による差別的取扱いで、不利益や被害を受け、相手方に改善等を求めるもの。
  - (例) セクシュアル・ハラスメント、配偶者等との間の暴力、性別による差別的取扱いなど。

### 3 申出資格

神戸市内に在住、在勤又は在学する者、市内の事業者又は団体

### 4 対象外事案

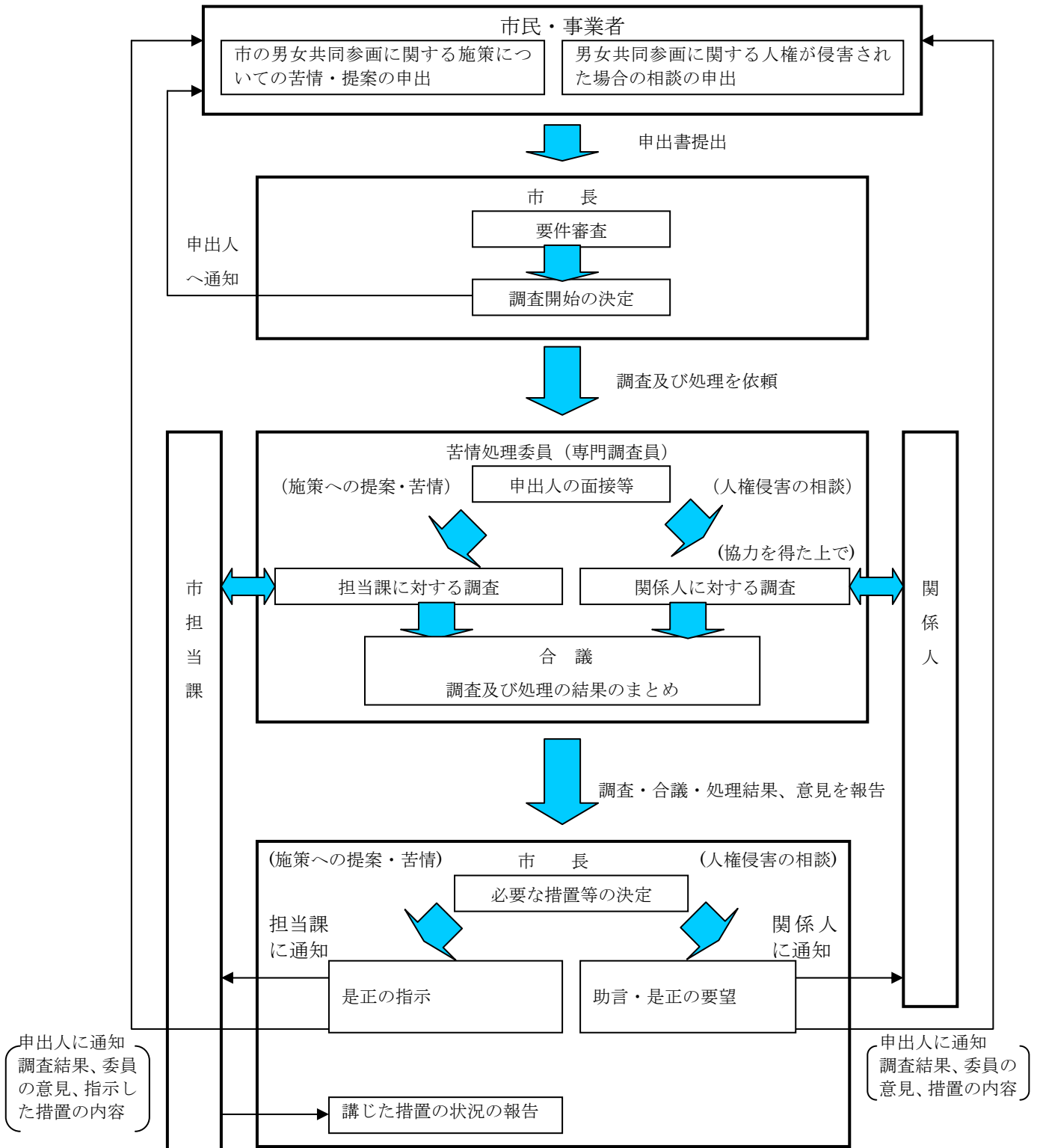
- ・裁判所において係争中の事案又は裁判所の確定した判決若しくは決定に係る事案
- ・行政不服審査法に規定する不服申立ての審理中の事案又は裁決若しくは決定に係る事案
- ・男女雇用機会均等法第 12 条に規定する紛争に係る事案（募集・採用、配置・昇進・教育訓練、一定の福利厚生、定年・退職・解雇における差別についての紛争）
- ・神戸市男女共同参画の推進に関する条例又は神戸市男女共同参画の推進に関する条例施行規則の規定に基づく苦情処理委員の行為に関する事案
- ・その他、議会に請願・陳情を行っている事案、監査委員に住民監査請求を行っている事案など、苦情処理委員に調査を命ずることが適当でないとする事項
- ・人権を侵害された場合の申出が、当該人権の侵害があった日から 1 年を経過した日以降にされた場合は、調査が困難なため、原則として制度の対象とならない。

### 5 処理の方法

申出があった場合、苦情処理委員は、申出の内容について、施策の担当機関又は申出に係る関係人から説明を受けるなどの調査を行う。

市長は、苦情処理委員の調査結果と意見を踏まえて必要があると認めるときは、施策については是正の指示を、人権侵害については、関係人に助言又は是正の要望を行

う。なお、必要に応じて、適切な機関へ引き継ぐこともある。  
 <処理の流れ>





## 6 委員名簿（敬称略 50音順）（平成25年11月現在）

### (1) 男女共同参画苦情処理委員

- ・ 有光 毬子 （生活協同組合コープこうべ 顧問）
- ・ 岸本 洋子 （弁護士）
- ・ 山下 淳 （関西学院大学法学部教授）

### (2) 専門調査員

- ・ 白岩 優姫 （大阪大学大学院人間科学研究科 博士後期課程）
- ・ 城内 喜博 （兵庫県経営者協会 常務理事）
- ・ 中村 留美 （弁護士）

## 7 平成25年度申出処理の状況（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

### (1) 申出及び相談件数

区分	24年度から引き継いだ件数	25年度申出件数	25年度問い合わせ・相談件数	計
施策	0	1	1	2
人権侵害	0	1	2	3
計	0	2	3	5

### (2) 申出の処理状況

区分	処理終了	処理継続中	計
施策	1	0	1
人権侵害	1	0	1
計	2	0	2

## 男女共同参画行政のあゆみ

西暦	元号	神戸市のあゆみ	国のあゆみ	世界のあゆみ
1975	昭和50		<ul style="list-style-type: none"> <li>・総理府婦人問題担当室設置</li> <li>・婦人問題企画推進本部設置(本部長:内閣総理大臣)</li> <li>・婦人問題企画推進会議設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際婦人年世界会議(メキシコシティ)[第1回]「世界行動計画」採択</li> </ul>
1976	51		<ul style="list-style-type: none"> <li>・育児休業法施行(教職員等)</li> <li>・民法一部改正(離婚後の婚氏統稱制度新設)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「国連婦人の10年」スタート</li> <li>・ILO事務局に婦人労働問題担当室設置</li> </ul>
1977	52	<ul style="list-style-type: none"> <li>・婦人問題担当室設置</li> <li>・神戸婦人大学開校</li> <li>・海外指導者研修第1回派遣</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・婦人問題企画推進本部「国内行動計画」決定</li> <li>・国立婦人教育会館開館</li> </ul>	
1979	54	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「第1回神戸婦人問題シンポジウム」開催</li> <li>・神戸婦人白書「78歳の時代」刊行</li> <li>・神戸市婦人問題推進庁内連絡会議設置</li> <li>・第1期神戸市婦人問題推進懇話会設置(S54.11~56.7)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約(女子差別撤廃条約)」を採択(第34回国連総会)</li> </ul>
1980	55		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「国連婦人の十年」中間年世界会議で「女子差別撤廃条約」に署名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「国連婦人の10年」中間年世界会議(コペンハーゲン)[第2回]において「国連婦人の十年後半期行動プログラム」を採択</li> </ul>
1981	56	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1期懇話会より「神戸市婦人計画のための5つの指針100の提言」提出(7月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民法、家事審判法一部改正(配偶者の相続分<math>1/3 \rightarrow 1/2</math>、寄与分与制度の新設)</li> <li>・「国内行動計画後期重点目標」策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「女子差別撤廃条約」発効</li> <li>・ILO総会「男女労働者特に家族的責任を有する労働者の機会均等及び均等待遇に関する条約(156号)」採択</li> </ul>
1982	57	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「神戸市婦人計画の指針」策定(4月)</li> <li>・第2期神戸市婦人問題推進懇話会設置、指針の推進とチェック(S57.10~59.10)</li> </ul>		
1983	58	<ul style="list-style-type: none"> <li>・婦人問題資料室開室</li> </ul>		
1984	59	<ul style="list-style-type: none"> <li>・婦人問題啓発紙「W&amp;M」発刊(~H11年度)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭科教育に関する検討会議報告</li> </ul>	
1985	60	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3期神戸市婦人問題推進懇話会設置、「神戸市婦人計画の指針」見直し開始(S60.1~62.3)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国籍法、戸籍法一部改正(父系血統主義→父母両系血統主義)</li> <li>・女子差別撤廃条約批准</li> <li>・生活扶助基準額の男女差解消</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「国連婦人の10年」最終年世界会議(ナイロビ)[第3回]において「西暦2000年に向けての婦人の地位向上のための将来戦略」を採択</li> </ul>
1986	61	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「2000年に向かってはばたく婦人展」の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女雇用機会均等法施行</li> <li>・国民年金法一部改正(婦人の年金権保障)</li> </ul>	
1987	62	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3期懇話会より「神戸市婦人計画の指針」見直しに関する提言(3月)</li> <li>・神戸市パート婦人の調査(3月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・婦人問題企画推進有識者会議意見書提出</li> <li>・「西暦2000年に向けての新国内行動計画—男女共同参加型社会の形成を目指す」策定</li> </ul>	
1988	63	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「神戸市女性計画」策定(3月)</li> </ul>		
1989	平成元	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生向け男女平等啓発資料「できることいっぱい」発行</li> <li>・小学生に対する男女の役割に関する意識調査(9月)</li> </ul>		
1990	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第4期神戸市婦人問題推進懇話会設置(H2.7~4.2)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・国連経済社会理事会「婦人の地位向上のためのナイロビ将来戦略に関する第1回見直しと評価に伴う勧告及び結論」を採択</li> </ul>
1991	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第4期懇話会より「高齢化社会の進展にともなう女性施策のあり方」について提言(8月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「西暦2000年に向けての新国内行動計画」第1次改定</li> </ul>	
1992	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神戸市生活学習センター開館(3月)</li> <li>・女性計画推進室に改称</li> <li>・「神戸市女性計画」部分改定(6月)</li> <li>・女性のための相談室開設(9月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育児休業法施行(民間企業・国家公務員)</li> <li>・婦人問題担当大臣設置</li> </ul>	

西暦	元号	神戸市のあゆみ	国のあゆみ	世界のあゆみ
1993	平成5	<ul style="list-style-type: none"> <li>「神戸市民の男女共同社会に関する意識調査」(2月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学校の技術・家庭科男女共修開始</li> <li>パートタイム労働法施行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国連総会「女性に対する暴力の撤廃に関する宣言」採択</li> </ul>
1994	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>第5期神戸市女性計画推進懇話会設置(H6.4~8.4)</li> <li>女性問題学習ハンドブック発行</li> <li>人材リスト作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高校の家庭科男女共修開始</li> <li>男女共同参画室設置</li> <li>男女共同参画審議会設置</li> <li>男女共同参画推進本部(本部長:内閣総理大臣)</li> <li>子どもの権利条約批准</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際人口・開発会議(カイロ)「カイロ宣言及び行動計画」採択</li> </ul>
1995	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>(阪神・淡路大震災&lt;1月17日&gt;)</li> <li>被災女性のための「こころのケア特別相談」</li> <li>被災女性のための就業支援講座</li> <li>第1回神戸女性フォーラム開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>育児休業法改正(→育児・介護休業法)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国連人権委員会「女性に対する暴力をなくす決議」採択</li> <li>第4回世界女性会議(北京)において「北京宣言及び行動綱領」採択</li> </ul>
1996	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>「男女が共につくり共にになう社会の実現に向けた啓発事業のあり方」提言</li> <li>第6期神戸市女性計画推進懇話会設置(H8.12~10.3)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>男女共同参画審議会が「男女共同参画ビジョン」答申</li> <li>「男女共同参画2000年プランー男女共同参画社会の形成の促進に関する西暦2000年までの国内行動計画」策定</li> </ul>	
1997	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>「新しい女性計画への意見を聴く会」開催(8月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>男女雇用機会均等法改正</li> <li>労働基準法改正</li> <li>育児・介護休業法改正(一部を除き平成11年4月1日より施行)</li> </ul>	
1998	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>第6期懇話会より「新・神戸市女性計画」に対する提言(3月)</li> <li>男女共同参画課に改称</li> <li>「こうべ男女共同参画プラン21」策定(9月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>男女共同参画審議会「男女共同参画社会基本法(仮称)」答申</li> </ul>	
1999	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>神戸市男女共同参画推進本部設置(本部長:市長)(1月)</li> <li>神戸市男女共同参画推進会議設置(4月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>男女共同参画社会基本法公布・施行</li> </ul>	
2000	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1期神戸市男女共同参画懇話会設置(H12.3~14.3)</li> <li>「女性の登用促進のための人材リスト」作成(3月)</li> <li>神戸市男女共同参画センター設置(神戸市生活学習センターをリニューアル・オープン)(4月)</li> <li>「できることいっぱい」改訂版発行</li> <li>「こうべ男女共同参画推進月間」設置(毎年10月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ストーカー規制法施行</li> <li>「男女共同参画基本計画」策定</li> <li>人権教育・啓発推進法施行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国連女性2000年会議(ニューヨーク)開催</li> </ul>
2001	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>セクシュアル・ハラスメント防止ハンドブックの発行</li> <li>第1期懇話会より「男女共同参画社会の形成の促進に関する施策の基本的な方向に関する論点整理」報告(3月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中央省庁等改革により内閣府に男女共同参画局、男女共同参画会議を設置</li> <li>「仕事と子育ての両立支援策について」閣議決定</li> <li>配偶者暴力防止法の施行</li> <li>育児・介護休業法改正(一部を除き平成14年4月1日より施行)</li> </ul>	
2002	14	<ul style="list-style-type: none"> <li>「仕事と子育ての両立に関する企業及び従業員調査」(3月)</li> <li>第2期神戸市男女共同参画懇話会設置(H14.3~15.7)</li> <li>第2期懇話会より「こうべ男女共同参画プラン21の見直しについて」報告(8月)</li> <li>「条例の制定について市民の意見を聴く会」開催(9月)</li> <li>「こうべ男女共同参画プラン21」第1次改定(11月)</li> </ul>		

西暦	元号	神戸市のあゆみ	国のあゆみ	世界のあゆみ
2002	平成14	・第2期懇話会より「神戸市における男女共同参画社会の実現に関する条例の基本的考え方について」提言(12月)		
2003	15	・「神戸市男女共同参画の推進に関する条例」施行(4月) ・神戸市男女共同参画審議会設置(7月) ・神戸市男女共同参画申出処理制度開始(10月) ・「こうべ男女いきいき事業所表彰」制度開始(10月)	・「女性のチャレンジ支援策について」(男女共同参画会議) ・女子差別撤廃委員会最終コメント ・次世代育成支援対策推進法施行 ・少子化社会対策基本法施行	
2004	16	・審議会より「神戸市男女共同参画計画の策定について」答申(2月) ・「神戸市男女共同参画計画」策定(4月)	・「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律の一部を改正する法律」成立(5月)施行(12月)	
2005	17	・第2期神戸市男女共同参画審議会設置(7月)	・「男女共同参画計画(第2次)」策定(12月) ・「女性の再チャレンジ支援プラン」策定(12月)	・第49回国連婦人の地位委員会／「北京+10」閣僚級会合(ニューヨーク)開催
2006	18	・配偶者暴力相談支援センター業務開始(11月)	・「男女雇用機会均等法」改正 ・東アジア男女共同参画担当大臣会合開催 ・「女性の再チャレンジ支援プラン」改定(12月)	
2007	19	・第3期神戸市男女共同参画審議会設置(7月) ・審議会より「神戸市男女共同参画計画の見直しについて」答申(11月)	・「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)憲章」及び「仕事と生活の調和推進のための行動指針」策定(12月)	
2008	20	・「神戸市男女共同参画計画(第2次)」策定(3月)	・「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律の一部を改正する法律」施行(1月)	
2009	21	・「神戸市配偶者暴力対策基本計画」策定(3月) ・第4期神戸市男女共同参画審議会設置(7月)	・「次世代育成支援対策推進法」改正の一部施行(4月) ・女子差別撤廃委員会からの最終見解(8月) ・「育児・介護休業法」改正の一部施行(9月)	
2010	22	・審議会より「神戸市男女共同参画計画(第3次)の策定について」答申 ・「神戸市配偶者等暴力(DV)対策基本計画(第2次)」の策定について」答申(11月)	・「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)憲章」及び「仕事と生活の調和推進のための行動指針」一部改正(6月) ・「育児・介護休業法」改正施行(6月) ・「第3次男女共同参画基本計画」策定(12月)	・第54回国連婦人の地位委員会／「北京+15」閣僚級会合(ニューヨーク)開催
2011	23	・「神戸市男女共同参画計画(第3次)」策定(3月) ・「神戸市配偶者等暴力(DV)対策基本計画(第2次)」策定(3月) ・第5期神戸市男女共同参画審議会設置(7月)		・UN Women発足
2012	24	・「別居親と子どもの面会交流に関する調査」(3月)	・「女性の活躍促進による経済活性化」行動計画～働く「なでしこ」大作戦～策定(6月) ・「育児・介護休業法」改正の全面施行(7月)	
2013	25	・「神戸市男女共同参画の推進に関する条例」一部改正施行(4月) ・第6期神戸市男女共同参画審議会設置(7月)	・「男女共同参画の視点からの防災・復興の取組指針」策定(5月) ・「日本再興戦略」の中で女性の活躍推進を成長戦略の中核として位置付け(5月) ・ストーカー規制法改正施行(10月)	

西暦	元号	神戸市のあゆみ	国のあゆみ	世界のあゆみ
2014	26		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律」改正施行(1月)</li> <li>・「男女雇用機会均等法」改正施行(7月)</li> <li>・「女性の活躍推進に向けた公共調達及び補助金の活用に関する取り組み指針について」策定(8月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「APEC 女性と経済フォーラム 2014」(北京)開催(5月)</li> </ul>



**神戸市市民参画推進局市民生活部男女共同参画課**

〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5番1号

TEL 078-322-5179 FAX 078-322-6034

<http://www.city.kobe.lg.jp/life/community/cooperation/>

神戸市広報印刷物登録 平成26年度第241号（広報印刷物規格A-6類）



この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。